禁覆

0017785000

0017785-000

法令

３２８．６１１－Ｎ９５５９ｓ

諸外国ニ於ケル自作農地ニ関スル法律

農林省農務局

其の１－２

１９２７－１９３３

ACI

禁覆

シコ 213

昭和二年十一月

諸外國ニ於ケル自作農地ニ關スル法律（其ノ一）

農務局

328.611
N959A

C611.23

國會圖書館
41. 8. 27
國會圖書館藏

贈寄
村上竜太郎
殿

704120

正誤表

頁	數	行數	誤	正
凡例	一	九	Allotment	Allotment
〃	二		三獨逸ニ關スル參考書ニ左記ヲ追加ス (八)北海道拓殖銀行(多木晃氏調査報告ノ普魯西ノ地代銀行	
目次	一	八	三三・	三四・
〃	二	六	一九六・	一九五・
〃	二	七	一九六・	一九五・
本文一〇		一二	爲シメル	爲シタル
〃	一七	二	準備テ爲シタルコト	準備テ爲シタルコト
〃	二七	八	該條項ニ基キテカ裁判所	該條項ニ基キテ裁判所
〃	三一	一	土地委員會委員又其以下	土地委員會委員又ハ其以下
〃	三二	三	同第四十八條	同法第四十八條
〃	三九	四	價額又若當事者カ	價額又若シ當事者カ
〃	三九	一〇	若右ノ年金	若シ右ノ年金
〃	三九	一〇	價却セラルトキハ	價却セラルルトキハ
〃	四〇	一三	負債利息、及土地ノ	負債利息及土地ノ
〃	四三	一三	(利息附賦拂ニ…)	(利息附賦拂ハ…)
〃	四三	一五	土地勝買法	土地購買法
〃	四五	一	大藏省ハ若六箇月	大藏省ハ若シ六箇月
〃	四六	六	定メタルル	定メラルル
〃	四八	一〇	土地委員員	土地委員會
〃	四八	一三	支拂ハラシム	支拂ハシム
〃	五五	一五	地力官憲	地方官憲
〃	五八	一	貨與	貸與
〃	八五	九	年賦金ニ減額	年賦金ノ減額
〃	八六	二	支フヘキ	支拂フヘキ
〃	九四	九	ル分トキハ	ルトキハ
〃	一三〇	一五	先チテ	先立チテ
〃	二〇二	一四	半年ニ毎賦金	半年毎ニ賦金
〃	二三六	四	此ノ限リニ非ス	此ノ限リニ在ラス
〃	二三九	八	第三・	第二・
〃	二四三	六	此チ	之チ
〃	二四四	五	此チ	之チ
〃	二四四	一四	農務水產者・	農務水產省・
〃	二四六	六	此チ	之チ
〃	二四八	五	年金	年賦金
〃	二四八	七	此チ	之チ
〃	二四九	八	此チ	之チ
〃	二五六	八	此チ	之チ
〃	二五七	六	此チ	之チ
〃	二五九	一〇	移住土地法	土地定著法
〃	二六〇	一八	第三欄	第二欄
〃	二六三	一二	「勞働」ナル話・	「勞働」ナル語・
〃	二六三	一六	千九百六年小農地殖民法	千九百十六年小農地殖民法
〃	二七六	一四	ontie	on the
〃	二七七	一	earment	easement
〃	二八七	一	大要チノプレバ	大要チ述フレハ
〃	二八八	一七	支拂ス	支拂フ
〃	二九二	五	廢止セラクルモノ	廢止セラレタルモノ
〃	二九二	一三	und Posen, Vom, 26. April,	und Posen, Vom 26. April,
〃	三〇六	七	同一ノ效力チス	同一ノ效力チ有ス
〃	三一〇	七	洲會議員	州會議員
〃	三一〇	八	洲ノ公報	州ノ公報
〃	三一六	七	取扱細則ニ據テ	取扱細則ニ依テ
〃	三一六	一六	大藏大臣	大藏大臣
〃	三四八	一三	國債權	國債
〃	三八五	五	Ca ses	Caisses
〃	四五八	一	士地	土地
〃	四六八	一五	補充的	補充的

贈 寄 村上竜太郎

凡例

本調査ハ大正十年及大正十三年農務局編纂諸外國ニ於ケル小農地設定ニ關スル法律(第一卷　第二卷)及大正十年諸外國ニ於ケル小作ニ關スル法令(第一卷)ノ外左ノ著書雜誌ヲ參考トシ又ハ之等ヨリ譯出セリ

1′ 英吉利ニ關スルモノ

(1) Published by Authority;—The Public General Acts, 1870—1916

(2) M. J. Boun;—Irland und Die Irische Frage. 1918

(3) Curts & Gordon;—Agricultural Tenancies. 1910

(4) W. H. Aggs;—Chitty's Statutes. Band 18 & Band 20.

(5) A. J. Spencer;—The Small Holdings and Alloments Act, 1908—1919.

(6) Johnston;—On Small Holdings and Allotments Act. 1909

(7) Internatinal Review of Agricultural Economics.

(8) Henry D. Harben M. A.— The Rural Problem. 1913

11′ 佛蘭西ニ關スルモノ

(1) Code Civile.

(2) Louis Martim et Le Courcelle;— Code Rurale. 1914

(3) Annuaire International de Legislation Agricole IXème Annee—1919.

(4) E. Jouzier;— Economie Rurale. 1920

(5) Gaston Griolet, Charles Nergé avec M. Henry Bourdeaux;—Code Forestier et Code Rurale. 1914

(6) E. Jouzier;— Legislation Rurale. 1913

(7) Publications du service du credit, etc;— Le credit agricole—Encouragment àla petite Proprieté rurale, 1914

三、獨逸ノ關スルモノ

(1) Bürgerliches Gesetzbuch für das Deutsche Reich.

(2) Landwirtschaftsrat, Okt. 1920

(3) M. Krause — Agralgesetz.

(4) Das gesamte deutsche und preussische Gesetzgebungsmaterial. 1908. 1893.

(5) Reiches Gesetzblatt. 1902

(6) Dr. Arndt;— Deutsches Landwirtschaftsrecht, 1.

(7) A. Büchenberger;— Agrarwesen und Agrarpolitik von W. Wygodzinski. 1814

四、丁抹ノ關スルモノ

(1) H. Ridert Haggard;— Rural Denmark and its Lessons. 1917.

(2) de Legislation Agricole, 1918. 1919.

諸外國ニ於ケル自作農地ニ關スル法律

目次

第一編　愛爾蘭ニ於ケル自作農地創設ニ關スル法律……一

法律ノ沿革及其ノ概要……一

第一　千八百七十年ノ地主小作人法……七

第二　千八百八十二年ノ濱網小作料法……一五

第三　千八百八十五年ノ土地購買法……一九

第四　千八百八十七年ノ土地法……二三

第五　千八百八十九年ノ土地購買法改正法……四八

第六　千八百九十一年ノ土地購買法……四九

第七　千八百九十三年ノ禰窓地方局法……八二

第八　千八百九十六年ノ土地法……八四

第九　千八百九十九年ノ禰窓地方局法……一〇二

第十　千九百一年ノ土地購買法……一〇五
第十一　千九百三年ノ土地法……一〇六
第十二　千九百九年ノ土地法……一五四
第二編　英克蘭ニ於ケル小農地設定ニ關スル法律……一九〇
法律ノ沿革及其ノ概要……一九〇
第一　千九百八年乃至千九百十九年ノ小農地及分課地法……一九六
（一）千九百八年ノ小農地及分課地法……一九六
（二）千九百十年ノ小農地法……二四一
（三）千九百十九年ノ土著法……二四二
第二　千九百十六年ノ小農地殖民法……二六四
第三　千九百十九年ノ土地獲得（補償評價）法……二六八
第四　千九百二十三年ノ農業信用法……二七七
第三編　獨逸ニ於ケル自作農地創設ニ關スル法律……二八四
法律ノ沿革及其ノ概要……二八四

第一　西普魯西及「ポーゼン」二州ニ於ケル獨逸人ノ移住奬勵ニ關スル法律並ニ其ノ改正法……二九二
（一）千八百八十六年ノ內地移住奬勵法……二九二
（二）千八百九十八年ノ內地移住奬勵法……二九五
（三）千九百二年ノ內地移住奬勵法……二九六
（四）千九百八年ノ內地移住奬勵法……二九七
第二　地代農地（小自作農地）ニ關スル法律……三〇三
（一）地代銀行法……三〇三
（二）千八百九十年ノ地代農地法……三四一
（三）千八百九十一年ノ地代農地奬勵法……三四二
（四）千九百十六年ノ移住奬勵法……三四八
第三　帝國殖民法……三五〇
（一）千九百十九年ノ農業殖民地設定法（廢止）……三五〇
（二）千九百十九年ノ帝國殖民法……三五三
第四　普魯西ニ於ケル家產ニ關スル命令……三六一

第四編　佛蘭西ニ於ケル自作農地創設ニ關スル法律……三六九
法律ノ沿革及其ノ概要……三六九
第一　千九百八年ノ小自作農地低廉住宅供給法……三七三
第二　千九百十年ノ小自作農地設定其ノ他ニ對スル長期個人貸付法……三七七
第三　千九百十八年ノ恩給受領者小自作農地法……三七九
第四　千九百十九年ノ勞働者及貧困ナル家族ヲシテ小土地ヲ容易ニ取得セシムル目的ニテ縣及市町村カ此等ノ者ニ分配シ轉賣セムトスル耕作地ヲ取得スルコトヲ許ス法律……三八三
第五　千九百二十年ノ相互信用機關及農業的產業組合ニ關スル法律……三八五
附　錄……三九八
第五編　丁抹ニ於ケル小自作農地創設ニ關スル法律……四四四
法律ノ沿革及其ノ概要……四四四
第一　舊小自作農地法……四四七
（一）　千九百九年ノ小自作農地創設ニ關スル法律……四四七
（二）　千九百十七年六月二十二日ノ法律……四六一
（三）　千九百十七年ノ法律ノ增補ニ關スル法律……四六一
第二　新小自作農地法及關係法律……四七四
（一）　農業日雇人ノ爲ニ爲ス小敎區地賣却ニ關スル法律(千九百十九年十月四日)……四七四
（二）　公有地ノ賣却條件ニ關スル法律……（〃）……四七九
（三）　封土世襲領及信託世襲地ヲ自由地ニ移ス法律……（〃）……四八〇

諸外國ニ於ケル自作農地創設ニ關スル法律（其ノ一）

第一編　愛爾蘭ニ於ケル自作農地創設ニ關スル法律

法律ノ沿革及其ノ概要

一、英克蘭政府ハ愛爾蘭ヲ征服シテ以來兩人種間ノ結婚禁止、愛爾蘭語ノ使用禁止、英克蘭人ノ勢力扶殖ノ爲メニスル愛爾蘭人ノ土地ノ沒收又ハ其ノ海外ノ放逐、愛爾蘭ニ於ケル舊敎徒ノ壓迫及商工業ノ發展ノ阻止ヲナス等極端ナル壓政ヲ加ヘ來レリ之カ爲メ農村ニ於テハ土地ノ大部分ハ英克蘭人ノ所有ニ歸シ而モ此等地主ハ單ナル土地所有者タルニ止マラス裁判權ヲモ併セ有シ愛爾蘭人ヲ暴壓スルコト甚タシク遂ニ愛爾蘭人ハ米國獨立ノ影響ヲ受ケ一七九八年英克蘭ノ征服ヨリ免レントシテ動亂ヲ惹起スルニ至レリ英克蘭政府ハ之ヲ機トシテ愛爾蘭議會ヲ閉鎖シ益々壓政ヲ加フルト共ニ一面地主ハ愛爾蘭ヲ去リテ不在地主トナリ之カ爲極端ニ中間地主ヲ增加シ小作料ハ著シク引上ケラレ加フルニ屢々起リタル馬鈴薯飢饉ノ被害ニ因リ小作人ノ窮境ハ一層其ノ度ヲ高ムルニ至レリ

而シテ一八四五年乃至一八四八年ノ馬鈴薯飢饉ノ起ルヤ愛爾蘭小作人ハ到底國內ニ於テ其ノ生活ヲ維持シ能ハストナシ續々北米合衆國及加奈陀等ニ移住スルモノヲ生シ又一八五〇年ニ至リテハ小作人大同盟ヲ組織シ、小作權ノ安定、相當小作料ノ決定及小作權ノ自由賣買ノ確認等所謂三Fノ要求ヲ爲スニ至レリ

二　独ニ於テ一八五〇年「グラッドストン」氏内閣ヲ組織スルヤ愛爾蘭小作問題ノ解決ノ急務ナルコトヲ認メ之カ對策ヲ講スルニ至レリ

卽チ一八六九年ニハ愛爾蘭教會法ヲ公布シ次イテ翌一八七〇年ニハ第一回ノ土地法タル地主小作ニ關スル法律ヲ制定シテ大體「アルスター」州ニ行ハレ居タル小作慣行ヲ認メ之ニ法律的效果ヲ附與シ土地改良ニ對スル損害賠償、地主ノ不當ナル小作停止ノ防止、小作人ニ對スル土地購入資金ノ供給等ニ關スル法制ヲ定メタリ

然レ共(一)此ノ法律ハ土地購入資金ノ貸付ニ付キ小作人カ其ノ購入金ノ一部ヲ自ラ調達スルノ要アリシコト(二)地主カ自由ニ小作料ヲ引上クル實權ヲ握リ居タルコト(三)小作人相互間ニ小作地取得ノ競爭アリタルコト(四)裁判官カ本法ノ精神ヲ理解セサリシコト等ニヨリ小作人ハ此ノ法律ニ因リ充分ナル保護ヲ受クルコト能ハサリキ

其ノ後政府ハ一八八一年ニ至リ第二回ノ土地法(所謂農政改革法)ヲ制定シ(一)小作權ノ安定(二)小作權ノ自由賣買(三)相當小作料制度ノ制定(四)土地委員會設置(五)小作人ニ對スル自作農地購入資金ノ貸付等ニ關スル事項ヲ規定シ以テ小作人ノ三F'ノ要求ヲ認ムルニ至レリ然レ共自作農創設ニ關スル規定ハ前法律同樣土地購買資金ノ一部ヲ小作人ニ於テ自辯スル要アル等制度上ノ不備少ナカラサリシ爲其ノ效果大ナラサリキ

三　一八八一年ノ法律ニ依リ小作人ハ小作條件ノ改善ニ關スル要求ヲ相當充シ得ルニ至レルモ之ヲ以テ尙足ラスト爲シ耕作地ニ付完全ナル所有權ヲ獲得セムトスルノ要求著シク强マレリ

一八八二年「サルスブリー」氏内閣ヲ組織スルヤ彼ハ「グラッドストン」ガ小作制度ノ改善ニヨリテ愛爾蘭ノ小作問題ヲ解決セントセルニ反シ自作農ノ創設ニ依リテ之カ解決ヲ爲サムトシ一八八五年ノ土地購買法ヲ制定シ小作人カ土地ヲ購買セントスル場合ニ於テハ土地委員會ハ之ニ對シ土地代金ノ全額貸付ヲナシ之ニ對シテ小作人ハ土地代金ノ四分

(利息3½分元金償却金½分)ニ相當スル年賦金ヲ四十九年間支拂フコトトセリ

此ノ法律ハ一八八七年、一八八八年、一八九一年、一八九六年及一九〇一年等ニ於テ改正セラレ殊ニ一八九一年ノ改正ハ(一)土地購買貸付金ニ對スル利率ヲ引下ケ元金償還金ヲ增加シ(二)地主ニ對スル土地代金ノ支拂ハ2¾分付土地債券ヲ以テ支拂フコトトシ(三)新ニ稠密地方局ヲ設ケ小農場ノ耕作面積擴張ニ關スル事業ヲ行ハシムルコトトセリ然レトモ此等ノ法律ハ何レモ土地價格ノ決定ニ關シテ據ルヘキ標準ヲ示ササリシコト及土地債券ノ價格ノ下落等ニヨリ其ノ成績ハ未タ充分ナリト言フヲ得サリキ然レトモ一九〇三年ノ「ウインダム」條例ノ公布ヲ見ルニ至リ土地價格ノ標準ハ小作人カ其ノ小作地ノ相當小作料ヨリモ一割乃至四割廉キ年賦金ヲ支拂ヒテ自作農トナリ得ルカ如キ價格トシ其ノ他各種重要ナル改正ヲ爲シ自作農創設制度ニ一新紀ヲ畫シ之カ事業ハ著シク其ノ效果ヲ擧クルニ至レリ

四　今一九〇三年ノ法律ノ大要ヲ述フルニ土地價格ニ關シテハ前述ノ如キ標準ヲ定メタルカ其ノ他ノ重ナル事項トシテハ

(一)　自作農創設ノ仲介方法トシテ左ノ三種ヲ認メタルコト

(イ)　地主ト小作人トカ直接賣買契約ヲ結ヒタル場合ニ於テ其ノ購入資金ヲ土地委員會ヨリ貸付クルモノ

(ロ)　土地委員會カ土地ヲ地主ヨリ取得シ之ヲ小作人ニ賣渡スモノ

(ハ)　土地委員會カ土地判事ヨリ土地ヲ買取リテ之ヲ小作人ニ賣渡スモノ

(二)　自作農創設機關ニ付テハ既設ノ土地委員會ノ委員中三名ヲ以テ別ニ領地委員會ヲ設置シ大農場ヲ買ヒ入レテ數人又ハ數十人ノ自作農ヲ一度ニ創設シ得ルノ途ヲ開キテ著シク事業ノ促進ヲ計リタルコト

(三)　本事業ニ要スル資金ノ財源ニ付テハ國家カ2½分利附公債ヲ英克蘭銀行及愛爾蘭銀行ヲシテ發行セシメ之ニ依リ

テ得タル資金中ヨリ公債發行ニ要シタル費用ヲ控除セル金額ヲ以テ愛爾蘭土地購入基金ヲ設ケ地主ニ對シ此ノ基金中ヨリ現金ヲ以テ土地代金ノ支拂ヲ爲スコト

(四) 土地購買者ノ借入金ハ七千磅ヲ限度トシ之カ償還方法ハ2¾分ノ利子ト½分ノ元本償還金トヲ合シタルモノ3¼分ヲ以テ年賦償還金トシ六十八年半内ニ償還セシムルコト

(五) 土地購入補助基金ト稱シテ地主ノ土地賣却奬勵ノ爲メノ基金ヲ設ケタルコト等ナリトス

カクテ本法律ハ土地ノ賣却ニ重キヲ置キ事業ノ進捗ヲ期シ之カ實績著シカリシモ地主ニ對スル土地代金ノ支拂ハ現金ヲ以テ之ヲ行ヒタル爲メ之カ資金ヲ得ル爲ノ公債ノ募集等ニ關シ相當困難アリシニ因リ此等ノ事項ニ付改正ノ要アルニ至レリ

五、一九〇九年ノ法律ハ「バーレル」法ト稱シ一九〇三年ノ法律ニ改正ヲ加ヘタルモノニシテ其ノ主ナル改正點ハ

(一) 領地委員會ニ對シ自作農創設ノ爲一定ノ土地ニ付强制徵收ヲ爲スノ權限ヲ附與セルコト

(二) 地主ニ對シテハ土地代金ノ一部又ハ全部ヲ二分七厘五毛利附ノ土地債券又ハ三分利附ノ土地債券ノ額面價格ノ八分引ニテ交付スルコトニ改正セルコト

(三) 地主ニ對スル土地賣却奬勵金ノ金額ヲ引下ケ其ノ交付ニ付テモ低廉ナル價格ヲ以テ提供スル地主ニハ多クノ奬勵金ヲ與フルコト

(四) 從來ノ貸付最高限度七千磅ヲ三千磅ニ引下ケタルコト

(五) 自作農創設ノタメ蒙リタル損失ハ之ヲ「アイルランド」開發助成金ヨリ補償スルコト等ナリトス

要之愛爾蘭ニ於ケル自作農創設ニ關スル法律ハ數度其ノ制定ヲ見タルモ一九〇三年及一九〇九年ノ土地法ヲ以テ現行制度ノ骨子トス

今自作農創設ニ關シ(一)貸付金ノ限度(二)土地代金ノ支拂方法(三)償還方法等ノ變遷ヲ表示セハ左ノ如シ

(一) 貸付ノ制限

一人當三千磅以下ヲ原則トシ適當ト認ムル場合ニ五千磅ニ及フ(一九〇九年土地法第十五條)

制限ノ沿革

(イ) 一八七〇年地主小作人法ニハ制限ナシ

(ロ) 一八八一年土地法ハ三千磅ヲ原則トシ五千磅ニ及フコトヲ得

(ハ) 一八八七年土地法ハ五千磅

(ニ) 一八八八年土地購買法(改正法)ハ三千磅ヲ原則トシ五千磅ニ及フコトヲ得

(ホ) 一九〇三年土地法ハ七千磅

(二) 貸付方法ノ變遷

(イ) 一八七〇年地主小作人法ハ現金

(ロ) 一八八一年土地法ハ現金

(ハ) 一八八五年土地購買法モ現金

(ニ) 一八九一年土地購買法2¾分利附保證土地債券(guaranteed land stock)ノ額面ヲ以テ之ヲ行フ

(ホ) 一九〇三年土地法ハ現金

(ヘ) 一九〇九年土地法ハ三分利附保證債券ヲ以テ行フコトヲ得トシタリ

法律	購入土地價額ニ對スル貸付額限度	年賦金率			年限
		利息	償還元金	計	
一八七〇年ノ地主小作人法	購買價額ノ 2/3	3	1/2	3½	三十五年
一八八一年ノ土地法	〃 3/4	3½%	1½%	5%	同
一八八五年ノ土地購買法	全額	3⅛	7/8	4	四十九年
一八九一年ノ土地購買法	〃	3½	1½	5	同
一八九六年ノ土地法	〃	2¾	1¼	4	同
一九〇三年ノ土地法	〃	2¾	1¼	4	七十三年（十年毎ニ三回遞減）
一九〇九年ノ土地法	〃	2⅝	1/2	3¼	六十八年半
備考 領地委員會ノ貸付ハ通常年賦償還金カ其ノ土地ノ相當小作料ヨリ低率ナルコトヲ要件トス（一九〇三年ノ土地法尚自作農地創設ニ關スル諸法律ヲ列記スレハ左ノ如シ（本書ニ記載セルモノノミ）					六十五年半

第一　千八百七十年ノ地主小作人法
第二　千八百八十二年ノ滯納小作料法
第三　千八百八十五年ノ土地購買法
第四　千八百八十七年ノ土地法
第五　千八百八十九年ノ土地購買法改正法

第六　千八百九十一年ノ土地購買法
第七　千八百九十三年ノ周密地方局法
第八　千八百九十六年ノ土地法
第九　千八百九十九年ノ周密地方局法
第十　千九百一年土地購買法
第十一　千九百三年ノ土地法
第十二　千九百九年ノ土地法

第一　千八百七十年ノ地主小作人法（本法第一條乃至第三十條、第四十二條、第五十七條乃至七十三條ハ關係ナキニヨリ省略）

（The Land Lord and Tenant (Ireland) Act, 1870）

第二章　小作人ニ對スル土地賣却

第三十二條　以下規定スル所ニ從ヒ愛爾蘭ニ於ケル小作地ノ地主及小作人ハ兩者合意ヲ以テ定メタル價格ヲ以テ其小作地ヲ小作人ニ賣却スル旨ヲ契約スルコトヲ得

右契約ノ成立シタル場合ニ於テハ兩當事者若ハ相手方ノ同意ヲ得タル一方當事者ハ小作人ニ對スル小作地賣却ヲ土地財產裁判所（本章ニ於テハ之ヲ裁判所ト謂フ）ニ申請スルコトヲ得

第三十三條　省略（英國ニ於ケル特殊ノ土地財產權者ノ土地賣却權ニ關スル規定）

第三十四條　右ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ地主ハ費用ノ擔保トシテ裁判所ノ決定セル金額ヲ供託スルコトヲ要ス
供託アリタル場合ニ於テハ裁判所ハ申請アリタル小作地ニ關シ其ノ狀況、利害關係者、價格及地主ノ賣却能力其ノ他裁判所ノ適當ト認ムル事項ヲ調査シ其ノ申請ヲ是認シタルトキハ其ノ賣却ヲ有效トシテ地主ハ小作人ニ對シ必要ナル權利ノ讓渡ヲ爲スモノトス

第三十五條　省略（裁判所ニ依ル小作地讓渡ノ效果ニ關スル規定ニシテ英國ニ於ケル特殊ノ土地財產權者ヲ前提トスル規定）

第三十六條　省略（同上）

第三十七條　裁判所ハ本法ニ依リテ賣却セラレタル小作地ニ付キ權利ヲ有スルカ賦課ヲ有スルカ又ハ其ノ他ノ利害關係ヲ有スル者ノ權利及優先權ヲ決定シ其ノ權利及優先權ニ從ヒテ購買金ヲ分配スルモノトス
購買金ヲ直接ニ分配スルコトヲ得ス又ハ其ノ權利者ヲ確認スルコトヲ得ス若ハ其ノ他ノ理由ニ依リテ裁判所カ利害關係者ノ權利ヲ保護スルニ便宜ナリト認メタルトキハ裁判所ハ其ノ金ヲ裁判所若ハ指定ノ銀行ニ指定ノ勘定ニテ預託スルコトヲ命シ且之ヲ確認シ得ル場合ニ於テハ命令ヲ以テ其ノ金ニ關スル信託ヲ宣告シ又ハ其ノ金ニ對スル權利若ハ利益ニ關スル事實ヲ陳述スルコトヲ得而シテ裁判所ハ其ノ金及其ノ投資若ハ請求並ニ之ヲ利害關係者ニ支拂フコトニ關シ事情ニ應シテ隨時命令ヲ發スルコトヲ得

第三十八條　本章ニ依リテ小作地ノ賣却アリタル場合ニ於テハ其ノ價格ニ對シ大藏省ノ指定スル一定割合ノ手數料ヲ徵ス此ノ手數料ハ國庫ニ支拂ハレ合衆王國整理基金中ニ計上セラルルモノトス

第三十九條　購買金カ裁判所又ハ指定ノ銀行ニ預託セラレタル場合ニ於テハ右賣却小作地ニ付キ權利、利益又ハ賦課ヲ有スル者ニ對シ大藏省ノ同意ヲ以テ其ノ元金又ハ利息ヲ無償ニテ支拂フコトヲ法律ヲ以テ規定スルコトヲ得
但シ右ノ規定ハ之ヲ權利ノ爭又ハ其ノ購買金ノ分配ニ關スル規則ニ違反シタルニ因リテ生スル費用ニ及ホスコトヲ得ス

第四十條　裁判所ハ負擔、地代及契約上ノ條件等ヲ分賦シ且必要ナル場合ニハ凡テノ問題ヲ決定スルノ全權ヲ有シ且如何ナル裁判所ノ命令ニ依リテモ本法ニ依ル職務ノ遂行ヲ制限セラルルコトナキモノトス

第四十一條　愛爾蘭樞密院ハ隨時左ノ事項ニ關スル規則ヲ發布シ又ハ之ヲ取消シ廢棄又ハ追加スルノ權限ヲ有ス
（一）本法本章ノ手續
（二）本法本章ノ規定ヲ施行スル方法ニ關スル形式竝ニ布令ノ公布
（三）本法本章ノ規定ヲ施行スル爲ニ課スル費用及手數料ノ標準竝ニ其ノ費用ノ賦課及費用手數料ノ負擔者、但シ手數料ノ額ニ付テハ大藏省ノ同意ヲ要スルモノトス
（四）利害關係者ニ對スル通知其ノ他本法本章ニ於テ命令ヲ以テ規定スヘキモノト定メタル事項
（五）本法本章ノ規定ヲ施行スルカ爲ニ規則ヲ制定スルノ必要アル前揭ト同樣又ハ同樣ナラサル其ノ他ノ事項
本條ニ基キテ樞密院カ規則ヲ制定スルニ際シテハ本法本章ノ規定ニ依ル賣却アリタルコトヲ登記シタル incumbrancer ニ對シテ郵稅前拂郵便ヲ以テ通知スヘキコト竝ニ此ノ通知ヲ發シタルコトノ證明ハ其ノ通知ヲ其ノ最後ノ知レタル住所地ニ宛テテ前拂郵便ヲ以テ投函シタルコトノ證明ヲ以テ足ル旨ヲ規定スルヲ要スルモノトス
本條ニ基キテ制定サレタル規則ハ本法ニ依リテ與ヘラレタル權限ヲ逸脫セサルモノトシ且本法ノ規定ト同一ノ效力ヲ有シ裁判上採用セラルルモノトス

本條ニ基キテ制定シタル規則ハ議會開會中ナラハ其ノ制定後三週間内ニ之ヲ議會ニ提出シ若シ議會開會中ニ非サルトキハ次ノ會期ニ於テ開院ノ日ヨリ三週間以内ニ之ヲ議會ニ提出スヘキモノトス

第三章　主務官廳ノ資金融通及權限

第四十二條　省略

第四十三條　主務官廳ハ隨時荒蕪地開墾ノ目的ノ爲ニ愛爾蘭ノ地主ニ對シ適當ト認ムル擔保ヲ以テ適當ト認ムル金額ヲ融通スルコトヲ得或ル地主カ荒蕪地ノ賣却ヲ契約シタルトキハ主務官廳ハ賣主及買主カ共同ニ提出スル擔保ヲ以テ購買金ノ半ヲ超ヘサル範圍ニ於テ適當ト認ムル金額ヲ融通スルコトヲ得

主務官廳カ右ノ融通ヲ爲シタル場合ニ於テ裁判所カ賦課命令ヲ發シタルトキハ其ノ荒蕪地及其ノ他擔保ニ供セラレタル土地ハ主務官廳ノ爲メニ其ノ融通金額ノ各百磅ニ付五磅ノ割合ヲ以テ年賦金ヲ賦課セラレ之ヲ三十五年間以内ニ償還スヘキコトヲ命セラルルモノトス

第四十四條　主務官廳ハ本法ニ依ル小作地購買ノ目的ノ爲ニ任意ノ小作人ニ對シ適當ナル擔保ヲ以テ其ノ小作地ノ價格ノ三分ノ二ヲ超ヘサル範圍ノ金額ヲ融通スルコトヲ得而シテ主務官廳カ右ノ融通ヲ爲シメル場合ニ於テ裁判所カ賦課命令ヲ發シタルトキハ其ノ小作地ハ主務官廳ノ爲ニ其ノ融通金額ノ各百磅ニ付五磅ノ割合ヲ以テ年賦金ヲ賦課セラレ之ヲ三十五年間以内ニ償還スヘキコトヲ命セラル

本條ニ依リテ資金ヲ融通セラレタル小作地ノ買主及其ノ買主ヨリ權利ヲ讓リ受ケタル者ハ其ノ小作地ニ賦課セラレタル年賦金カ未タ完濟セラレサル間ハ主務官廳ノ許可無クシテ其ノ小作地ヲ讓渡、割讓、分割又ハ轉貸スルコトヲ得サルモノトス

本條ノ規定ニ反シテ之ヲ讓渡、割讓、分割又ハ轉貸シタル場合ニ於テハ主務官廳ハ小作地ノ其ノ部分ヲ沒收シ公共的目的ノ爲ニ之ヲ保有スヘキモノトス

第四十五條　土地財產裁判所カ或ル小作地ノ賣却ヲ命シタル場合ニ於テハ主務官廳ハ小作地ノ小作人カ之ヲ購買セント欲スルトキハ法定ノ方法ヲ以テ主務官廳ニ對シ購買價格ノ三分ノ二ヲ超ヘサル資金ノ融通ヲ申請スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ主務官廳ハ價格其ノ他購買ニ關スル事項ニ關シ適當ト認ムル條件ヲ以テ資金ノ融通ヲ許可スルコトヲ得

右ノ小作人カ其小作地ノ購買者タルコトヲ宣告セラレ且土地價格ノ三分ノ一以上ヲ支拂ヒタル場合ニ於テハ主務官廳ハ其ノ小作人ニ代リテ購買金ノ殘高ヲ支拂フモノトス而シテ之ヲ支拂ヒタルトキハ土地財產裁判所ハ主務官廳ノ爲ニ其ノ小作地ニ融通資金ノ各百磅ニ付五磅ノ割合ヲ以テ年賦金ヲ賦課シ之ヲ三十五年間以内ニ償還スヘキコトヲ宣告スヘキモノトス

右ノ場合ニ於テ土地財產裁判所ノ命令ヲ以テ賦課セラレタル小作地ハ其ノ年賦金ノ完濟セラレサル間ハ主務官廳ノ許可無クシテ之ヲ讓渡、割讓、分割又ハ轉貸スルヲ得ス而シテ本條ノ規定ニ違反シテ之ヲ讓渡、割讓、分割又ハ轉貸シタル場合ニ於テハ主務官廳ハ小作地ノ其ノ部分ヲ沒收シ公共目的ノ爲メニ之ヲ保存スヘキモノトス

第四十六條　土地財產裁判所カ小作地ノ賣却ヲ命シタルトキハ該裁判所ハ本法ニ依リテ其ノ小作地ヲ購買セントスル小作人ニ對シ地區ノ形成其ノ他ノ方法ヲ以テ適當ナル便宜ヲ付與スヘキモノトシ其ノ目的ヲ達スルカ爲ニ主務官廳又ハ其ノ小作人ノ爲シタル申請ヲ聽取スヘキモノトス但シ利害關係人ノ利益ヲ害スルコトヲ得ス

第四十七條　或ル地主カ本法第二章ニ依リテ其ノ所有地ノ全部ヲ一括シテ賣却セントスル場合ニ於テ其ノ土地ノ價格ノ五分ノ四ヲ占ムル小作地ノ小作人カ其ノ小作スル小作地ヲ購買スル意思ヲ有シ且他ノ小作人ニ其ノ土地ノ殘餘部分ヲ購買シ其ノ價格ノ二分ノ一ヲ支拂フヘキ者存在セルトキハ其ノ土地ノ賣却ニ付テハ購買者カ全部其ノ地主ノ小作人ナルモノトシテ本法第二章ノ規定ニ依リテ行ハルルモノトス

此ノ場合ニ於テハ主務官廳ハ殘餘部分ノ購買者ニ對シ其ノ部分ヲ擔保トシテ購買金ノ二分ノ一ヲ融通スルコトヲ得而シテ此ノ融通ハ主務官廳ノ選擇ニ從ヒ其ノ殘餘地ノ全部ヲ擔保トシテ總購買者ニ對シ一括シテ之ヲ行ヒ又ハ各購買者別々ニ其ノ購買部分ヲ擔保トシテ之ヲ行フ方法ヲ組合セテ之ヲ行フコトヲ得ルモノトス

本條ニ依リ一人又ハ數人ノ購買者ニ對シ資金ヲ融通シタル場合ニ於テハ其ノ購買セラレタル土地ハ主務官廳ノ爲メニ民事裁判所ノ命令ニ依リ右融通資金ノ各百磅ニ付五磅ノ割合ヲ以テ年賦金ヲ賦課セラレ三十五年間以内ニ之ヲ償還スヘキコトヲ宣告セラルルモノトス

第四十八條　第一項省略（本法ニ依リ主務官廳ノ爲ニ課セル年賦金ト其ノ國特有ノ各種ノ土地負擔トノ順位ニ關スル規定）

右年賦金ノ償還期間ハ資金融通ノ日ヨリ之ヲ起算スヘキモノトシ且三十五年ノ償還期間内ノ每年ノ五月一日及十一月一日ノ兩度ニ等額ツツ償還スヘキモノトス

但シ五月及十月ノ償還額ハ必要ナル場合ニハ之ヲ不同ニ割當ツルコトヲ妨ケス

第四十九條　本法ニ依リテ賦課セラレタル年賦金ハ主務官廳又ハ愛爾蘭總督ニ依リ「十分ノ一稅ニ代ル地代負擔」ト同樣ノ方法ヲ以テ回收セラルルモノトス

主務官廳ノ職員ノ署名ヲ要スル旨ヲ記載セル證書ハ夫レニ記載セラレタル年賦金額ヲハ主務官廳ニ支拂フヘキ債務ヲ負ヘル證據タルモノトス

第五十條　本法ニ依リテ土地ニ賦課セラレタル年賦金ノ滯納部分ハ其ノ履行期後二年ヲ經過シタルトキハ之ヲ回收スルコトヲ得ス

年賦金ヲ賦課セラレタル土地ニ付キ相次イテ利益ヲ有スル地主存在スル場合ニ於テハ現ニ其ノ土地ヲ占有シ又ハ現ニ小作料若ハ利潤ヲ收得スル地主カ年賦金ノ滯納ヲ妨クルノ義務ヲ有スルモノトス

而シテ若シ此義務ヲ怠リタルカ爲ニ次ニ占有スル地主カ其ノ滯納部分ヲ支拂ヒタル場合ニ於テハ其ノ義務ヲ怠リタル地主ハ右ノ支拂ヲ爲シタル地主ニ對シ其ノ支拂金額ヲ返濟スルノ義務ヲ負フモノトス

第五十一條　或ル土地カ主務官廳ノ爲ニ年賦金ヲ課セラレタル場合ニ於テハ其ノ年賦金ノ支拂ヲ爲スヘキ者ハ主務官廳ニ對シ其ノ年賦金ノ時價ニ等シキ金額ヲ支拂ヒ以テ年賦金又ハ其ノ未拂部分ヲ完濟スルコトヲ得而シテ此ノ場合ニ於ケル年賦金ノ時價ハ本法附款ノ表ニ依リテ之ヲ計算スヘキモノトス

第五十二條　或ル者カ本法ニ依リテ其ノ小作地ヲ賣却シタルカ爲ニ其ノ元金ヲ受領スル權利ヲ有スル場合ニ於テハ主務官廳ハ其ノ者ノ請求ニ基キテ其ノ元金ヲ夫レト同價値ノ年賦金ニ振替エルコトヲ得

但シ前項ノ價値ハ之ヲ每年度百磅ニ付三磅十志ノ割合ヲ以テ計算スヘキモノトス

前項ノ者カ其ノ金額ヲ年賦ニテ受領スル權利ヲ有スル場合ニ於テハ主務官廳ハ其ノ年賦金ヲ夫レト同價値ノ元金ニ振替ユルコトヲ得

但シ其ノ價値ハ每年度百磅ニ付三磅十志ノ割合ヲ以テ計算スヘキモノトス

主務官廳ハ權利者ノ用意アル場合ニ於テハ本法ニ依ル小作地賣却ニ基ク購買金ノ分前又ハ利息ニ關スル或ル者ノ遲延セル未必的又ハ懷疑的又ハ其ノ他ノ權利ヲ元金又ハ年賦金ノ支拂ヲ以テ調停スルコトヲ得

第五十三條　主務官廳ハ資金ノ融通，保管資金ノ投資及處置其ノ會計竝ニ其他一般ノ職務執行ニ付テハ大藏省ノ隨時發布スル特別命令又ハ一般規則ニ依ル指揮ニ服シ且大藏省ノ指定セル期間内ニ其ノ指揮セル方法ニ從ツテ其ノ執行セル凡テノ事項ヲ報告スヘキモノトス

第五十四條　本法ノ目的ヲ達スルカ爲ニ主務官廳ハ總額百萬磅ヲ起エサル範圍内ニ於テ大藏省ノ定ムル金額ヲ大藏省ノ定ムル時期ニ其ノ定ムル方法ニ從ツテ受クヘキモノトス

大藏省ハ隨時主務官廳ニ對シ整理基金若ハ其ノ收益中ヨリ百萬磅ヲ拂渡スヘキモノトス

第五十五條　主務官廳ニ對シテ支拂ハレタル融通資金ノ元金又ハ年賦金ハ隨時之ヲ大藏省ノ指令ニ從ヒテ整理基金ニ返還スヘキモノトス

第五十六條　本法ニ依ル年賦金ニ對シテ權利ヲ有スル者カ民事裁判所ノ命令ヲ以テ之ヲ賦課スヘキコトヲ申請シタル場合ニ於テハ民事裁判所ハ其ノ賦課ヲ命スヘキモノトス而シテ此ノ場合ニ於テハ其ノ裁判所ノ管轄區域タル州ノ治安書記ハ其ノ事務所ニ裁判所ノ下セル賦課命令ノ登記等ヲ備ヘ付ケ任意ノ者ニ對シ一志ノ手數料ヲ以テ之ヲ閱覽セシムヘキモノトス

小作地ニ對シテ賦課命令ヲ下スニ付テハ其ノ小作地ノ全部若ハ一部ノ存在スル州ノ民事裁判所ハ其ノ小作地ニ對シ管轄權ヲ有スヘキモノト看做ス

第二　一八八二年ノ滯納小作料法（本法第一條乃至第十七條ハ關係ナキニヨリ省略）

（The Arrears of Rent (Ireland) Act, 1882）

第三章　移　住

第十八條　本法施行後ニ於テハ愛爾蘭ニ於ケル聯合教區ノ管理委員局ハ千八百四十九年ノ貧民救助法（愛爾蘭）改正法及其ノ後ノ改正法律ニ規定スル方法ヲ以テ其ノ聯合教區又ハ其ノ選擧區内ニ住スル貧民ノ移住費ヲ支辨シ又ハ其ノ支辨ヲ補助スルカ爲ニ負債スル權限ヲ有ス但シ左ノ規定ニ從フコトヲ要ス

(一)　貸付金ノ年賦支拂ニ關スル右法律ノ規定ハ之ヲ適用セス

(二)　貸付金ハ公共事業委員會ニ依リ公共事業貸付委員會ニ代リテ貸付ノ爲ニ託サレタル金額中ヨリ爲サルルモノトス

(三)　國庫ニ損失ヲ及ホササルカ爲ニ公共事業委員會ノ爲ス貸付金ニハ一箇年三分五厘ノ利率又ハ大藏省ノ隨時定ムル利率ノ利息ヲ付スヘキモノトス

(四)　公共事業委員會ノ爲シタル貸付金及其利息ハ其ノ貸付ノ日ヨリ起算シテ十五年以上三十年未滿ナル大藏省ノ隨時定ムル期間内ニ之ヲ償還スヘキモノトス

本法ニ於テ千八百四十九年ノ貧民救助法（愛爾蘭）改正法律ト稱スルハ今上皇帝治世第十二及第十三議會法律第百四號ヲ謂フ

第十九條　愛爾蘭公共事業委員會カ本法ニ依リテ爲シタル貸付金ニ關シ聯合敎區ノ管理委員局ヨリ支拂ヲ受ケ之ヲ土地委員會ニ支拂フヘキ殘額アルコトヲ確認シタル場合ニ於テハ地方局ハ捺印シタル命令ヲ以テ聯合敎區ノ管理委員ニ對シ確認セラレタル金額ヲ支拂フヘキコトヲ請求シ且其ノ命令ノ謄本ヲ其ノ聯合敎區ノ管理委員局及會計係ニ送付スヘキモノトス此ノ場合ニ於テハ會計係ハ管理委員ノ爲ニ現ニ管理委員ノ爲ニ所有スル金額又ハ其ノ金額ヲ以テ不足ナル場合ニ於テハ其ノ後ニ於テ管理委員ノ爲ニ受ケタル金額中ヨリ其ノ命令ニ記載セラレタル金額ヲ公共事業委員會ニ拂ヒ込ムヘキモノトス聯合敎區ノ管理委員ハ各選擧區ニ依テ支拂ハルヘキ割合ヲ以テ其ノ金額ヲ若干ノ選擧區ノ借方ト爲スヘキモノトス

第二十條　大藏省ハ隨時移住ノ目的ノ爲メニ聯合敎區ノ管理委員局若クハ愛爾蘭總督ノ許可シタル條件ヲ以テ公共事業委員會カ其ノ他ノ團體又ハ個人ニ對シ大藏省ノ定ムル規定ニ從ヒテ其ノ資金ヲ交付スルコトヲ許可スルコトヲ得前項ニ依リテ交付シタル資金ハ本法ノ規定ニ依ル借入金ト同一ノ目的及ヒ同樣ノ規則ニ從ヒテ之ヲ使用スヘキモノトス

公共專業委員會ノ交付スル金額ハ總額十萬磅以內ニシテ一人當リ五磅ヲ超ユルコトヲ得ス

其ノ交付金ハ本法附款第二ニ列擧セル聯合敎區及地方局カ愛爾蘭總督ノ許可ヲ以テ隨時設定シタル其ノ他ノ聯合敎區及選擧區ノ利益ノ爲ニノミ之レヲ爲スコトヲ得ルモノトス而シテ其ノ全部又ハ一部カ愛爾蘭公共事業委員會カ千八百七十九年十一月二十二日ニ發シタル公告附款ニ記載セラレタル州郎「ドネガル」「クレーア」「コーク」「ウエスト、ライヂング」「ケリー」「ゲールウェー」「レイトリム」「メーヨー」「ロスコムモン」及「スリゴ」ノ諸州內ニ存在スルモノナルコトヲ要ス

聯合敎區管理委員カ租稅ヲ重課スルニ非サレハ本法其ノ他ニ依ル資金ノ借入ニ依リテハ移住目的ニ對シ適當ナル補助ヲ爲スコト能ハス且充分ナル移住ヲ保證スルニ適當ナル準備ヲ爲シタルコトヲ認ムル旨ヲ陳述シテ愛爾蘭總督カ推選シタル場合ニ限リ各資金ノ交付ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

本條ニ依リテ交付スヘキ金額ハ土地委員會ヨリ公共事業委員會ニ拂込ミ土地委員會ノ債務ノ一部ヲ成シ第一次ニ愛爾蘭敎會財產資金ノ負擔トシ第二次ニ議會ノ定ムル方法ニ依リテ特別整理基金ノ負擔タルモノトス

第二十一條　愛爾蘭總督ハ隨時本法ニ依リテ移住費用ヲ受クル人々ノ滿足ナル移住ヲ保證スルカ爲ニ之等ニ關スル法則ヲ制定シ其ノ目的ノ爲ニ特別ナル事務官ヲ任命シ又ハ其ノ他便宜ノ方法ヲ以テ準備ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得而シテ移住目的ニ對スル本法ノ交付資金ハ愛爾蘭總督ノ定ムル方法ヲ以テ如上ノ準備ノ費用ヲ支拂フ爲ニ使用スヘキモノトス

第二十二條　千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法ニ指定セラレタル三人ノ委員ノ外本法ニ依リ「モンク」子爵閣下ハ一箇年三千磅ノ俸給ヲ以テ本法施行後三年間愛爾蘭土地委員會ノ委員タルモノトス

右ノ外千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法ニ於ケル裁判上ノ委員ニ非サル委員ニ關スル規定ハ(モンク)子爵閣下及以下ノ規定ニ依リテ其後任トシテ任命セラレタル者ニ對シ恰モ千八百八十一年土地(愛爾蘭)法ニ於テ裁判上ノ委員ニ非サル委員トシテ指定セラレタルモノト見做シテ之レヲ適用ス

右ノ二箇年內ニ於テ死亡、辭職、勤務不能其ノ他ノ事由ニ因リ「モンク」子爵閣下又ハ其ノ後任者ノ地位ニ缺ヲ生シタル場合ニ於テハ其ノ度毎ニ陛下ハ其ノ補缺トシテ適任者ヲ任命スル權限ヲ有ス

但シ斯ク任命セラレタル者ハ右二箇年ノ期間經過スル迄其ノ地位ニ在ルニ過キサルモノトス

千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法ニ依リ三人ノ委員ヲ以テ爲スヘキモノト定メラレタル處分法ノ他ノ行爲ハ本法制定後ニ於テモ同シク三人ノ委員ヲ以テ爲スコトヲ要シ又ハ爲シ得ヘキモノトス

第二十三條　土地委員會ハ隨意本法ニ依リテ爲スヘキ申請ノ方法ニ關シテ其ノ形式ヲ回覽セシムルコトヲ要シ且左ノ事項ニ關スル規則ヲ制定、變更、追加又ハ廢止スルコトヲ得ルモノトス

(一)　其ノ申請ヲ審理スヘキ土地委員會、民事裁判所、補助委員會若ハ土地委員會又ハ補助委員會ノ委員等ノ裁判機關

(二)　本法ニ依リテ申請ヲ爲スヘキ場合ノ方法、滯納小作料ノ支拂ニ充當シ得ヘキ小作人ノ不動産及動産ヲ表示スヘキ方法及本法ニ依ル申請ヲ審理スヘキ裁判所ノ訴訟手續

(三)　土地委員會ニ依テ審理セラレサリシ申請ヲ土地委員會ニ控訴スルコトヲ得ル場合ノ條件及其ノ場合

(四)　本法ニ依ル申請及控訴ニ對スル審理費用ヲ支拂フ方法

(五)　小作地カ本法ノ適用ヲ受クヘキ場合ニ於テ土地委員會及補助委員會ヨリ前ニ民事裁判所吏員ノ行フ職務ノ執行ニ關スル通告其ノ他本法ニ依リテ規定セラルヘキモノト定メラレタル事項

(六)　利害關係人ニ對スル通告其ノ他本法ニ依リテ規定セラルヘキモノト定メラレタル事項

(七)　負擔及負擔賦拂金ノ徵集、出訴、回收、計算及負擔金額ヲ調達スル爲ノ小作權賣却手續竝ニ其ノ賣却金處分ノ方法

(八)　其ノ他右列擧ノ事項ニ類似セルト否トヲ問ハス土地委員會ニ於テ本法施行ノ爲ニ規定ヲ設クルヲ以テ便宜ナリト認メタル事項

本條ノ規定ニ依リテ制定サレタル規則ハ本法ニ揭クル規定ト同一ノ效力ヲ有シ裁判上ノ注意ヲ拂ハルヘキモノトス

第二十四條　本法ハ愛爾蘭ニ於ケル千八百八十二年ノ滯納小作料法ト稱ス

第三　千八百八十五年の土地購買法

(The Land Purchase (Irland) Act, 1885)

本法ハ愛爾蘭ノ小作人ニ土地ヲ所有セシムル爲ニ其ノ購買ヲ容易ナラシムルノ目的ヲ以テ規定シタル法律ナリトス(千八百八十五年八月十四日)

第一條　本法ハ千八百八十五年ノ土地購買(愛爾蘭)法ト稱スルコトヲ得

土地委員會ニ依ル立替

第二條　土地委員會ハ地主ヨリ其ノ所有小作地ヲ小作人ニ購買セシムル爲ニ本法規定ニ依リ隨意ニ何レカノ基金ヨリ立替ヲナスコトヲ得

千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法第五章ノ規定ハ本法ニ依ル立替ニ關シ次ノ如ク改正ス

(イ)　立替金ノ拂戻カ本法ニ依ル預金(今後保證預金ト稱ス)ヲ以テ保證セラルルカ又ハ土地委員會カ其ノ他ニ保證タルヘキモノヲ確認シタル場合ハ同委員會カ小作地ヲ購買セントスル小作人ニ對シテ爲シ得ル立替ハ千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法第五章ノ規定ニ於テ小作人ニ爲スヘキ立替ハ原價又ハ價額ノ四分ノ三ト規定セルヲ改正シ購買金ノ全部ヲ立替フルコトヲ得ルモノトス

(ロ)　本法ニ依リ立替ヲ爲スニ當リ土地委員會ハ小作人ノ住居セル小作地又ハ其ノ小作地ニ當然從屬スヘキ小作地ノ

購買ヲ爲スヘキ旨申込書ヲ提出スヘシ

（八）　本法ニ依リ土地委員會ノ爲シ得ル立替金ハ總計五百萬磅ヲ超過スルコトヲ得ス、

第三條　土地委員會又ハ地主ヨリ小作地ヲ購買セントスル小作人ニ對シ土地委員會カ爲シタル立替金ニ對シ其ノ拂戻ヲ保證セントスル者ハ土地委員會ニ對シ保證預金トシテ立替金ノ五分ノ一ヲ降ラサル金額ヲ同委員會ニ預クル旨ノ契約ヲナスコトヲ得

同立替金ノ拂戻ヲ保證スヘキ意思ヲ有スル者カ土地ヲ賣却シタル地主ニシテ其ノ購買金ヲ土地委員會ヨリ或ハ同委員會ノ規定セル金額ヨリ支拂ハルヘキ權利ヲ有スル者ナル場合ハ其ノ地主ハ同委員會ノ許可ヲ得テ支拂ハルヘキ購買金額ヨリ預金スヘキ額ヲ差引キテ保證預金ニ充當スルコトヲ得土地委員會ハ保證預金ニ對シ年三分ノ利子ヲ支拂フヘキモノトス

土地委員會カ立替金ノ拂戻ニ對シ責任ヲ有スル者カ立替拂戻金ヨリ保證預金ト等シキ金額ヲ差引クコトナク其ノ全部ヲ拂戻セシコトヲ確メ其ノ旨ヲ命令ヲ以テ宣言スル迄ハ同委員會ハ本法ノ他ノ規定ニ從ヒテ保證預金ヲ留保シ全部ノ拂戻ノアリタル後ニ其ノ保證預金ヲ受クヘキ權利者ニ之ヲ支拂フヘキモノトス

土地委員會カ保證預金ヲ留保シ得ル期間内ハ本法ニ依ル保證預金ヲ以テ保證セル立替金ニ關シ土地委員會ニ對シ其ノ拂戻スヘキ金額ヲ支拂フヲ得サル債務ノ辨濟ニ適用スルコトヲ得

該命令ハ土地委員會カ小作地ノ賣却ニ關シテ行使シ得ヘキ權能ヲ行使シ其ノ賣却ニ付キテハ規定方法ニ依リタルニモ不拘尚小作地ニ關シ土地委員會ヘノ支拂ヲ保證セル金額ヲ支拂ハシムルニ失敗シタルコト或ハ土地委員會カ賣却ノ權能ヲ行使セント試ミタルモ行使スルコトヲ得サリシコトヲ同委員會ノ命令ニ依リテ明白トナリタルニ非サレハ發スルコトヲ得ス

土地委員會カ賣却ニ關スル權能ヲ行使セント試ミタルモ行使スルコトヲ得サリシコトカ同會ニ依リテ明白トナリ其ノ結果土地委員會カ保證預金又ハ其ノ一部ヲ小作地上ノ負擔ノ辨濟ニ適用スルニ至レル場合ハ何時ナリトモ、保證預金額及同負擔額ヲ支拂フヘキ責任ヲ有スル者カ耕作スル小作地ヨリ生スル利益ヲ以テ同保證預金ニ依リテ保證セラルル金額ノ支拂ヲ受クヘキ權利者ニ對スル支拂ニ充當スルコトヲ得而シテ斯ノ場合土地委員會ハ負擔ノ辨濟ニ充當シタル該保證預金額ニ對シテ該負擔（小作人ノ立替金未拂額）ノ支拂ハルル迄年三分ノ利子ヲ附スヘキコトヲ土地委員會ハ命令ヲ以テ適法ニ宣告スヘキモノトス

土著地賣却ノ購買金ヲ受取ルヘキ權利ヲ附與セラレタル受託人ハ土著地ノ終身小作人又ハ千八百八十二年ノ土著地法ノ意義ニ於ケル終身小作人ノ權利ヲ有スル者ノ請求ニ依リ同土著地ノ小作地ノ購買ニ對シテ爲サレタル立替金ノ拂戻ヲ保證預金ニ依リ保證スルコトヲ得、其ノ目的ノ爲ニ受託人、同終身小作人或ハ其ノ他ノ者ノ適當ト思惟スル額ヲ購買金ヨリ留保スヘキコトヲ土地委員會ニ申請シ委任スルコトヲ得

第四條　本法ニ依ル立替、千八百七十年ノ地主小作人（愛爾蘭）法或ハ千八百八十一年ノ土地（愛爾蘭）法ニ依ル立替及千八百八十三年ノ軌道公共企業（愛爾蘭）法ニ依リ小作人ニ爲ス立替ニ關スル千八百八十一年ノ土地（愛爾蘭）法第五章ノ規定ハ次ノ如ク改正スルモノトス

（イ）　前項ノ各立替金ハ其ノ金額百磅毎ニ四磅ノ割合ヲ以テ四十九年間毎年土地委員會ニ年賦支拂ヲナスヘキモノニシテ千八百八十一年ノ土地法ニ規定セル年金ヲ改正シテ夫ヨリモ小額ナル年金トナシタルモノトス

（ロ）前項ノ各年金又ハ年金ノ未償還ノ部分ヲ支拂フヘキ責任ヲ有スル者ハ同年金及年金ノ償還ヲ請求セラレタル部分ニ付時價ニ換算シテ其ノ全部又ハ一部ヲ土地委員會ニ償還スルコトヲ得、換算スヘキ時價ハ本法ノ附則ニ揭クル表（省略）ニ依リテ算出スヘキモノトス

（ハ）土地委員會ハ本法ニ依ル各年金ノ償還ヲ證書ヲ以テ保證セラルヘキモノトス、土地委員會ハ千八百八十一年ノ財產讓渡證書作成法第十九條第一項ニ依リ附與セラレタル抵當ニ關スル權能又ハ同證書ニ記載セル抵當ニ對スル權能ヲ行使スヘキ義務ヲ有スルモノトス

（ニ）千八百八十一年ノ土地法第五章ノ規定ハ本法ニ記載スル改正ニ從ヒ本法ニ依ル總テノ立替ニ適用スヘシ

土地判事カ小作人ニ其ノ小作地ヲ賣却シタル場合ニ於テハ本法ニ依リ立替ヲナシ且保證預金ヲ爲サシムル爲ニ同賣却ハ地主カ小作人ニ對シテ爲シタル賣却ト看做ス

土地ノ賣却

第五條　損失ヲ招クコトナクシテ轉賣ヲ爲シ得ルコトヲ認メタル場合ニ於テハ愛爾蘭土地委員會ハ之ヲ其ノ土地ノ各小作人ニ轉賣スル爲ニ所有地又ハ小作地ヲ購買スルコトヲ得

但シ前項ニ依ル所有地ノ購買ハ其ノ所有地ノ價額及數量ノ五分ノ四ヲ下ラサル範圍內トシ而モ小作人カ其ノ小作地ヲ購買スルモノト認メタル場合ニ於テノミ之ヲナスコトヲ得

此ノ條件ハ特別ナル理由アル場合ニハ大藏省ノ同意ヲ得テ之ヲ緩和スルコトヲ得但シ如何ナル場合ニ於テモ其ノ所有地ノ價額及數量ノ五分ノ三ヲ下ラサル範圍ニテ其ノ地ノ小作地ヲ購買スルモノト土地委員會カ認メタルコトヲ要シ且所有地ノ購買ニ際シテハ土地委員會ハ本法第三條ノ保證預金ヲ爲ス爲ニ購買金ノ五分ノ一ヲ下ラサル額ヲ留保スヘシ

小作人ハ其ノ小作地ヲ購買スルコトヲ得而シテ其ノ購買契約締結ノ前後ニ於テ土地委員會ニ對シ立替ヲ申請スルコトヲ得

所有地又ハ小作地ノ賣却者カ終身小作人ナルカ又ハ夫レト同一ノ權利ヲ有スル土地カ千八百八十二年ノ土著地法ノ意義ニ於テハ其ノ者ハ本法其ノ他ノ法律ニ依リテ改正セラレタルモノヲ除クノ外該法律ニ依リテ生スル資本金額ト看做シテ之ヲ投資シ若ハ使用スルコトヲ得ルモノトス

第六條　或ル小作地ノ小作人カ千八百八十二年ノ土著地法ノ意義ニ於ケル終身小作人ナルカ又ハ夫レト同一ノ權利ヲ有スル者ナルトキ且其ノ小作地ヲ其ノ小作人ニ賣却セル場合ニ於テハ其ノ者ハ絕對的土地所有者ト同一ノ程度ニ於テ其ノ購買金ノ四分ノ一ヲ超過セサル額ヲ其ノ小作地ノ負擔スル保證抵當ト爲スコトヲ得而シテ小作地購買ニ際シ小作人ノタメニ土地委員會カ立替ヲ爲シタル場合ニ於テハ右ノ抵當ハ土地委員會ノ爲ニ同委員會カ爲シタル立替ノ拂戾ノ保證金ト爲スヘキモノトス而シテ右ノ抵當ハ其ノ小作地ニ關シテ支拂ハルヘキ購買金ノ一部ヲ成スモノト看做サレ其ノ際抵當ヲ以テ保證セラルル金額カ支拂ハレタル場合ニハ恰モ千八百八十二年ノ土著地法ニ依リテ生スル資本金額又ハ其ノ他本法ニ依リテ支拂ハルヘキ購買金ト同樣ニ之ヲ處分スヘキモノトス本條ノ規定ハ終身小作人ニ對スルト同樣ノ方法ヲ以テ土著地ノ受託人ニ之ヲ適用ス

第七條　土地委員會カ所有地ヲ購買シタル場合ニ於テ其ノ地ノ小作人ニ賣却スルコトヲ得サリシ部分ハ適當ト認ムル方法ヲ以テ賣却スルコトヲ得

土地委員會ハ前項ノ規定ニ依ル部分ノ購買者ニ對シテハ其ノ部分ノ保證ヲ爲サシムルコトニ依リテ其ノ價額ノ半額ヲ立替フルコトヲ得、本條ニヨル土地部分ノ賣却ハ總テ之ヲ獨立ノ小作地ニシテ其ノ購買者カ其ノ購買ノ時ニ於テ其ノ

土地ノ小作人ナリシ場合ト同様ニ取扱ヒ立替金額ニ關スル前項ノ制限及賣却竝ニ土地委員會ノ立替ニ關スル規定ヲ適用ス

第八條　土地委員會カ小作人又ハ其ノ他ノ者ニ對シテ小作地ヲ賣却シ若ハ地主カ小作人ニ對シテ小作地ヲ賣却シ且土地委員會地主及小作人間ニ於テ其ノ賣却カ本法ニ依ル土地委員會ノ歸屬命令ニ依リテ效果ヲ生スル旨ヲ契約シ土地委員會カ之ヲ適當ト認ムル場合ハ權原ヲ調査シ確認シタル後委員會ノ捺印及委員ノ署名アル歸屬命令ヲ適法ニ發スヘシ同命令ハ小作地或ハ其ノ小作地ニ對スル委員會其ノ他ノ者ノ利益ヲ購買者ニ歸屬セシメ其ノ內容ノ如何ニ依リ購買者ニ對シ凡テノ負擔ヲ免除シ或ハ同命令ニ特ニ記載セル負擔ヲ課シ又ハ該小作地ニ法律上ノ影響ヲ及ホスヘキ負擔ヲ課スヘキモノトス

小作地又ハ其ノ利益ヲ購買者ニ歸屬セシムル命令ニシテ土地委員會カ本法ニ依リテ附與サレタル權利ヲ行使シテ作製シタル旨ノ記載アルモノハ其ノ小作地ニ包含セラルル所有地又ハ土地ノ利益ニ對シテ權利ヲ主張スル女皇陛下、皇太子、皇太孫其ノ他凡テノ者ヲ拘束シ且以下規定スル事項ヲ除クノ外凡テノ點ニ於テ裁判所法ニ基キ愛爾蘭高等裁判所衡平法部ノ土地判事ノ一人ニ依リテ署名捺印サレタル讓渡證書ト全ク同一ノ效力ヲ有スルモノトス

購買者カ其ノ小作地ノ小作人ナル場合ニ於テハ歸屬命令ニ依リテ歸屬セシメラレタル利益ハ其ノ小作人從來ノ享受セル利益ニ附加サレタルモノト看做サレ其ノ附加ヨリ生スル權利或ハ衡平權ニ服スルモノトス但シ其ノ歸屬命令ニ記載サレタル負擔權利又ハ地役權ニ服スルコトヲ要ス

小作地ヲ歸屬セシムル旨ヲ記載シタル歸屬命令ノ作用及效果ニ關スル本條ノ規定ハ小作地ノ利益ヲ歸屬セシムル旨ヲ記載シタル命令ニ之ヲ準用ス

第九條　(一)適當ト認ムル場合ニ於テハ土地委員會ハ命令ヲ以テ小作地ノ賣却ハ左ノ條件ニ服シテ爲サレタルコトヲ宣告スルコトヲ得

(イ)　其ノ小作地內ノ土地ヨリ支拂ハルヘキ主タル小作料（chief rent）又ハ第三者收得小作料（fee-farm rent）

(ロ)　其ノ小作地ニ賦課サレタル土地委員會ニ支拂フヘキ年金

(ハ)　土地委員會カ存續セシムルヲ以テ適當ト認メタル其ノ他ノ抵當又ハ負擔

(二)　適當ト認ムルトキハ土地委員會ハ適當ニシテ充分ナル調査ヲ爲シタル後命令ヲ以テ其ノ賣却カ共同使用權、通行權其ノ他同委員會カ其ノ小作地ニ影響アリト認メタル權利若ハ地役權ニ服シタルママ爲サレタルコトヲ宣告スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ宣告ノアリタル權利及地役權ハ其ノ小作地ニ影響ヲ及ホスヘキ共同使用權、通行權又ハ其ノ他ノ權利若ハ地役權ニノミ服シテ賣却サレタルモノト看做ス

土地委員會ハ又右ノ宣告ヲ爲ササルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ小作地ハ法律上當然其ノ小作地ニ影響ヲ及ホス

(三)　十分ノ一稅小作料負擔、免役小作料、御料地小作料又ハ該法律ニ記載サレタル讓渡ニ依リテ害セラレ若ハ影響セラルルコトナキ公共事業委員會ノ爲ノ負擔ニ關スル土地財產裁判所法第六十二條ノ規定竝ニ右免役小作料、御料地小作料、負擔ノ償却及森林及土地收入帝室委員會委員ニ對シテ發スヘキ通告ニ關スル右第六十二條ノ規定ハ本法ニ依ル歸屬命令ニ之ヲ適用ス

(四)　小作地內ニ含マルル土地カ抵當債務又ハ負擔ニ服セル場合ニ於テハ土地委員會ハ其ノ賣却ヲ認可シ又ハ完成ス

ル前ニ抵當權者、債權者又ハ利害關係者ニ對シテ土地委員會規則ノ規定セル通告ヲ發スヘキモノトス

(五) 地主カ小作人ニ對シテ其ノ小作地ヲ賣却スル場合ニ於テ土地委員會ノ歸屬命令ヲ以テ其ノ賣却ノ效果ヲ發生セシムルコトヲ契約シタルトキハ本法ノ規定ノ如何ニ拘ラス土地委員會ハ歸屬命令發布ノ申請アリタル後ハ何時タリトモ之ヲ發スルコトヲ得且地主カ終身小作人ナルカ又ハ夫レト同一ノ權利ヲ有スルモノニ過キスシテ其ノ小作地カ單獨ニ又ハ他ノ小作地ト共同ニ何等カノ債務又ハ年金負擔ニ服シ若ハ服セサル場合ニ於テモ之ヲ發スルコトヲ妨クス且是等ノ債務又ハ年金負擔カ其ノ賣却地ノ部分的利益即チ終身小作權又ハ夫レ以下ノ利益ニ影響ヲ及ホスニ過キスト謂フ事實ハ敢テ右歸屬命令發布ノ權利ヲ害スルモノニ非ス但シ裁判所カ適當ト認ムルトキハ如何ナル場合ニ於テモ其ノ購買金ハ裁判所ニ拂込ムヘキモノニシテ其ノ賣却地ニ對シテ主張スル他人ノ權利又ハ請求ニ關シテハ其ノ賣却地ヲ代表スルモノニシテ歸屬命令ニ別段ノ宣告アル場合ヲ除クノ外其ノ賣却地又ハ其ノ賣却地ノ債務又ハ年金負擔ニ關スル凡テノ者ノ權利及請求ハ其ノ歸屬命令ノアリタル日ヨリ其ノ購買金ニ移轉シ購買者ハ其ノ土地ニ關スル凡テノ債務又ハ請求ヨリ免カルルモノトス

第十條 土地委員會カ小作人又ハ其ノ他ノ者ニ對シテ小作地ヲ賣却シ且土地委員會ノ歸屬命令ヲ以テ其ノ賣却ノ效果ヲ發生セシムルコトヲ契約シタル凡テノ場合ニ於テ土地委員會ハ土地財產裁判所法ニ於ケル左記ノ條項ニ依リテ高等裁判所衡平法部ノ土地判事ニ附與シタル裁判權及其ノ他ノ權能ヲ有ス而シテ左記ノ條項ハ恰モ土地委員會ノ爲ニ記載セラレアルカノ如ク且其ノ目的カ本法ノ目的ヲ包含スルモノノ如クニ之ヲ本法ト合併ス

(イ) 裁判所ノ裁判權及其ノ他ノ權能ニ關スル第三十七條ノ規定ノ中土地委員會カ本法ニ依テ附與サレタル職務ヲ執行スルニ必要ナル部分

(ロ) 購買金ノ使用、留保及投資ニ關スル第六十四條及第六十五條ノ規定

(ハ) 受託人ノ任命ニ關スル第六十五條ノ規定

(ニ) 御料地小作料、免役小作料、債務及負擔ニ關スル第六十八條及第六十九條ノ規定

(ホ) 場合ニヨリ購買金ヲ裁判所ニ拂込ムコトニ關スル第七十條ノ規定

土地委員會カ便宜ト認ムル場合ニ於テハ其ノ購買金ハ本法ニ依リテ裁判所ニ拂込マルヘキモノニシテ其ノ拂込アリタルトキハ恰モ千八百八十二年ノ土著地法ニ基キ生シタル資本金額及同法ニ依リテ裁判所ニ拂込マレタル金額又ハ土地裁判所ノ命令ニヨリテ土地財產裁判所其ノ該條項ニ基キテカ裁判所ニ拂込マシメタル金額ト同樣ニ之ヲ投資又ハ使用スルコトヲ得ルモノトス

(ヘ) 小作料ノ割當ニ關スル第七十二條ノ規定 但シ該條ニ於ケル「小作料」ナル字句ハ第三者收得小作料ヲ包含スルモノトス

(ト) 無能力者ニ關スル第七十三條ノ規定

(チ) 訴訟ノ棄却ニ關スル第七十六條ノ規定

第十一條 本法ニ依リテ賣却セラルル土地カ共有又ハ共同若ハ交錯シテ二人以上ノ小作人ニ依リテ保有セラルル場合ニ於テハ土地委員會ハ地主又ハ小作人ノ請求ニ基キ且便宜ト認ムルトキハ其ノ土地ノ區分、交換又ハ分割ヲ爲スヘキ命令ヲ發スルコトヲ得而シテ土地財產裁判所法第七十九條乃至第八十二條ノ規定ハ本法ノ區分、交換及分割ニ之ヲ適用ス

第十二條　土地委員會カ本法ニ基ク賣却ヨリ生スル資本金額ヲ留保スル場合ハ夫レヨリ生スル所得ハ之ヲ賣却者又ハ其ノ資本金額ニ對シテ權利ヲ有スル者ニ拂渡スヘキモノトス

土地委員會ハ同會カ購買金ノ支拂ヲ受クヘキ權利アル者ト認メタル者ニ對シ同購買金ノ支拂ヲ爲スヘキコトヲ命令ヲ以テ命スルコトヲ得

本法ニ於テ明白ニ規定シタルモノヲ除クノ外本法ノ規定ハ賣却ニヨリテ生スル資本金ニ對スル債權者或ハ賣却シタル所有地又ハ小作地ニ對スル其ノ他ノ利害關係者ノ權利ヲ侵害スルコトナシ

第十三條　土著地ノ終身小作人又ハ夫レト同一ノ權利ヲ有スル者カ其ノ土地ノ全部又ハ一部ヲ土地委員會ニ賣却セントス欲スル場合ニ於テハ千八百八十二年ノ土著地法ノ爲ニ設ケラレタル土著地受託人無キトキ又ハ新受託人ヲ任命スルヲ以テ便宜ナリトスルトキハ土地委員會ハ本法ノ爲ニ土著地ノ受託人タルニ適當ナル者ヲ適法ニ任命スルコトヲ得

土地委員會カ小作人ニ轉賣スルノ目的ヲ以テ其ノ小作人ノ小作セル所有地ヲ購買スルヲ便宜ナリト認ムル場合ハ何時タリトモ該所有地ニ對シテ保有セラルル土地又ハ相續財產ヲ購買シ又同所有地ニ影響スル權利、地役權、負擔或ハ債務ヲ買收シ又ハ其等ヲ無效トナスコトヲ得

第十四條　賣却ニ際シ土地委員會カ其ノ購買者ニ立替ヲ爲シタル場合ハ同委員會ノ爲シタル歸屬命令或ハ讓渡證書ノ印紙稅及其ノ歸屬命令又ハ讓渡證書ヲ登記スル爲ニ支拂ヒタル手數料及印紙稅ヲ合算シタル總額ヲ其ノ小作人ニ負擔セシムヘシ

土地委員會ハ本法ニ依リテ當事者ノ署名捺印セル凡テノ讓渡證書及歸屬命令ヲ「ダブリン」ノ證書登記所ニ於テ登記シ其ノ寫ヲ地方登記ヲ爲ス爲ニ賣却小作地ノ存在スル州ノ警察署書記官ニ廻付スヘシ

小作地又ハ所有地ノ賣却ニ付土地委員會ニ交涉セントスル地主ハ自己ノ計算ニテ其ノ所有財產權ノ概要書ヲ提出シ尙土地委員會カ充分ナリト稱スルマテ該財產權ニ付證據ヲ擧ケテ證明スヘシ

土地委員會カ行フ小作地ノ賣却者又ハ購買者ノ所有財產權ノ調查ニ關シテハ其ノ賣却者又ハ購買者ハ何等ノ負擔ヲ受クルコトナシ

第十五條　土地委員會カ千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法第十三條ニ依リ又ハ同會カ土地ノ賣却ニ關シ附與セラレタル權能ヲ以テ小作地ヲ賣却シタル場合ニ於テハ其ノ購買者ハ同十三條ニ含マルル規定ノ如何ニ拘ラス同小作地ニ關シ其ノ購買金ヲ年賦償還ノ方法ニヨリ支拂フコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ賣却ノ手續ニ關スル規定ハ同年賦償還ニ對シ適用セサルモノトス

但シ前項ヲ除ク以外ノ場合ニ對シテハ同手續ヲ同條ニ規定セル方法ヲ以テ適用スヘシ

第十六條　土地委員會、愛爾蘭ニ於ケル高等裁判所或ハ小作地所在州ノ地方裁判所ノ請求ニ依リ小作地カ賣却セラレタル場合ハ同土地委員會、高等裁判所又ハ地方裁判所ハ購買者ノ申請ニ依リ購買シタル小作地又ハ其ノ一部ノ所有權カ同購買者ニ歸スヘキ命令ヲ州執行官吏ニ發スルコトヲ得而シテ其ノ州執行官吏ハ所有物引渡令狀ト同樣ノ方法ヲ以テ該命令ヲ執行スヘシ

追加規定

第十七條　千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法ニ從フ委員トシテ任命セラレタル三人ノ外ニ女皇陛下ハ御璽ヲ鈐セル命令書ヲ以テ愛爾蘭土地委員會ノ委員トシテ他ノ二人ヲ任命スルコトヲ得

前項委員ノ在職期間ハ各任命セラレタル日ヨリ三箇年ニシテ年二千磅ノ俸給ヲ受クルモノトス

斯クシテ任命セラレタル者及缺員ニ付今後規定ニ依リ任命セラレタル最高裁判所判事以外ノ土地委員會委員タルト同シク最高裁判所判事以外ノ愛爾蘭土地委員會委員ニ關スル千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法ノ規定ヲ適用セラルヘキモノトス

三箇年ノ在職期間内ニ於テ本條第一項ニ依リ任命セラレタル委員ノ内何レカニ死亡、辭職、執務ノ不能其ノ他ノ理由ニ依リ缺員ヲ生シタル場合又ハ其ノ後任者ニ缺員ヲ生シタル場合ハ何時タリトモ女皇陛下ハ御璽ヲ鈐セル命令書ヲ以テ適當ニ缺員ヲ滿スヘキ適任者ヲ任命スルコトヲ得斯クシテ任命サレタル者ノ在職期間ハ前任者ノ殘餘ノ期間ノミトス

本法ニ依リテ追加任命サレタル土地委員會委員ハ本法カ土地委員會ニ附與シタル職務ヲ特ニ處理スヘキモノトス

但シ同委員カ千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法ニ於ケル最高裁判所判事ヲ除ク他ノ土地委員會委員ニ任命セラレタル場合ハ愛爾蘭總督ハ隨時彼等ノ處理スヘキ職務以外ニ他ノ職務ノ處理ヲ命スルコトヲ得

追加任命ヲ受ケタル兩委員又ハ各委員ハ土地委員會ノ名ヲ以テ本法ヲ有效ニ行使スルコトヲ得而シテ兩委員又ハ各委員ノ爲シタルコトハ土地委員會ノ爲シタルト同樣正當ニシテ效力ヲ有スルモノナリトス

既ニ定メタル規定ノ如何ニ拘ラス千八百八十一年ノ法律ニ依リ任命サレタル三名ノ土地出席ノ上最高裁判所判事ノ審理決定ヲ要求スヘキ權利ヲ有スル利害關係人ハ本法ニヨリ生シタル法律上ノ疑問ニ對シテ同追加任命サレタル委員ノ追加土地委員會委員ハ本法ニ依リテ任命サレタルニモ拘ラス

委員會委員ノ出席ニヨリテ處理スヘキコトヲ必要トスル事項ハ同追加委員ヲ加ヘテ委員ノ何人タルカヲ問ハス三委員ノ出席ニ依リテ處理スルコトヲ得又同法ニ依リ三名ノ委員或ハ其以下ノ委員ニ依リテ適法ニ處理スルコトヲ得ル事項

ハ同追加委員ヲ加ヘテ委員ノ何人タルヲ問ハス三名ノ土地委員會委員又其以下ノ委員ニヨリテ處理スルコトヲ得

辯護士 (barrister-at-law or solicitor) ハ千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法又ハ本法ニ依リテ委員又ハ幫助委員ニ任命セラレ行動シタルノ理由ヲ以テ本業ヨリ退キタル者ト看做サルルコトナシ

第十八條　本法ヲ有效ニ行使スル爲ノ高等裁判所衡平法部ノ土地判事課又ハ同土地判事出仕ノ裁判所ニ職ヲ奉スル官吏ニシテ轉任ノ意思ヲ有スル者ハ大法官ノ任命ヲ以テ土地委員會ノ事務所ニ轉シ土地委員會ノ官吏トシテノ待遇ヲ受クルコトヲ得又土地委員會カ本法ニヨリ割當ツル職務ヲ履行スルニ於テモ同官吏ハ大藏省カ決定スル職務ニ對スル俸給ヲ支給セラルヘキモノトス

第十九條　愛爾蘭ニ於ケル高等裁判所衡平法部ノ現職判事ノ兩人又ハ其ノ何レカニ死亡、辭職或ハ其ノ他ノ理由ニ依リテ缺員ヲ生シタル場合及病氣ニテ暫ク缺席シタル場合其ノ他同判事カ千八百七十七年ノ最高法院裁判所(愛爾蘭)法第七十五條ニ依リ命セラレタル職務ヲ履行スルノ能力ヲ有セサルニ至リタル場合ハ何時タリトモ缺員トナリタル兩判事又ハ何レカノ判事ノ總テノ職務ハ高等裁判所ノ他ノ判事又ハ其ノ目的ノ爲ニ大法官ノ任命シタル破產裁判所判事ノ管理ノ下ニ履行サルヘキモノトス而シテ大法官ハ隨時自己ノ署名セル命令ヲ以テ該職務ヲ處理セシムヘキ判事ヲ命令スルコトヲ得但シ本法制定前ニ任命セラレタル判事ニ對シテハ同判事ノ承諾ナクシテ任命スルコトヲ得ス

第二十條　土地委員會ハ隨時愛爾蘭總督及大藏省ノ同意ヲ以テ本法ノ規定ヲ有效ニ行使スル爲ニ必要ナリト思惟セラル顧問官、審査官、辯護士、書記官其ノ他ノ者ヲ任命シ又ハ雇傭スルコトヲ得

第二十一條　土地委員會ハ本法ヲ有效ニ行使スル爲ニ規則ヲ設クルコトヲ得而シテ此ノ規則ハ千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法ニ依リテ作製セラレタルモノナリト看做サレ又土地委員會ハ本法ノ目的ノ爲ニ樣式及表ヲ作成シ採用スル

コトヲ得

第二十二條　千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法第四十八條ノ規定ノ如何ニ拘ラス其ノ規定ニ反シテ本法ニ依ル手續ニ關スル法律上ノ疑問ニ付キ爲サレタル判決ニ對シ不服ナル者ハ同判決ヲ愛爾蘭控訴院ニ控訴スルコトヲ得而シテ同第四十八條ニ土地委員會ハ所有地ノ購買又ハ土地委員會ヲ仲介トスル小作地ノ購買ニ關シ裁判權ヲ行使シ或ハ疑問ヲ判決スヘキ權能ヲ有セスト規定セル其ノ部分ハ玆ニ廢止スルモノトス

第二十三條　千八百六十九年ノ愛爾蘭教會法第三十四條第五項第一號ニ規定セル愛爾蘭教會財産委員會委員ニ屬スル小作人及借地人ハ同法ニ依リ該委員ヨリ土地ノ一部ヲ購買シ同委員會ノ許可ヲ得テ其ノ購買金ノ一部ヲ四歩ノ利子ヲ附シテ未償還ノ儘留保シ(四十九年間)其ノ支拂ヲ同委員ニ對シ賣却財産ノ單純抵當ヲ以テ保證シ又本條ニ規定セル元金(留保セル購買金)支拂ノ保證抵當ヲ數箇年以上ノ期間ニ亙リ利子ヲ附シ年賦金トシテ支拂フヘキ「賦拂抵當」ノ證書ヲ以テ保證スルコトヲ得而シテ前項ノ土地ノ購買及抵當證書ニ關スル權限ニ對シテハ土地委員會ハ千八百八十一年ノ愛爾蘭教會法改正法ニ依リ愛爾蘭教會財産委員會委員ニ代リ之カ繼承者トナリ得ルヲ以テ便宜上次ノ規定ヲ設クルモノトス

(一)　前項ノ單純抵當ヲ以テ保證セル場合ハ其ノ支拂フヘキ利率ハ土地委員會カ命令ヲ以テ宣告シタル日ヨリ三歩八分ノ一ノ率ニ減スルコトヲ得

(二)　前項ノ賦拂抵當ヲ以テ保證セル年金ヲ土地委員會ニ支拂フヘキ義務ヲ有スル者ハ該賦拂抵當ニ依リ保證セラルル未償還ノ額ヲ次ニ規定スヘキ條件ニ從ヒテ支拂フ旨ノ申請ヲ土地委員會ニ爲スコトヲ得

(イ)　前項ノ申請アリタル場合ハ土地委員會ハ其ノ賦拂抵當ヲ以テ保證セラレタル元金ノ未償還額及同賦拂抵當ヲ以テ保證セラレタル日ヨリ計算シ四十九年ノ期間ノ未滿期間ヲ命令ヲ以テ宣告スヘシ

(ロ)　四十九年ノ期間ノ內既ニ經過シタル期間ニ對スル未拂年賦金ノ支拂アリタル場合ハ土地委員會ハ同會カ三歩八分ノ一ノ利子ヲ附シテ支拂フヘキコトヲ命令ヲ以テ宣告シタル額ニ對シ同利子ヲ附シテ半期賦拂ヲ以テ支拂フコトヲ許可スルモノトス

(ハ)　前項年賦金ノ支拂ハ土地委員會ニ對シ同會カ定メタル樣式ニ依ル證書ヲ以テ保證セラレ同證書ハ賦拂抵當ニ代ルヘキモノニシテ印紙稅ヲ課セラルルモノトス

(三)　單純抵當ニヨリ保證セラルル債務ニ關スル命令ハ同命令ノ發セラルル前ニ當然支拂ハルヘキ債務ノ金利子カ支拂濟トナリ居ルニ非サレハ發スルコトヲ得ス

賦拂抵當ニ依リ保證セラルル債務ニ關スル命令ハ其ノ命令ヲ發スル前ニ當然支拂ハルヘキ年賦拂金カ支拂濟トナリ居ルニ非サレハ發スルコトヲ得ス

(四)　本條ニ規定シタル條項ハ教會カ其財産委員會委員ヨリ土地ヲ購買シタルニ付土地委員會ニ支拂フヘキ債務ニ對シテハ準用セサルモノトス

第二十四條　(一)本法ニ依リテ改正セラレタル千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法ニ從ヒ愛爾蘭土地委員會ハ所有地ノ購買又ハ立替ノ爲ニ合衆王國ノ國債整理基金ヨリ又ハ同基金ノ適用ニヨリ生スル金額ヨリ總額五百萬磅ヲ超過セサル額ヲ支出スルコトヲ得而シテ同金額ハ購買又ハ立替ノ爲ニ支出スヘキ金額ニ付規定スヘキ新ナル法律カ效力ヲ發生スルノ日迄支出スルコトヲ得

(二)　大藏省ハ千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法ニヨリ規定セル制限及方法ニ從ヒ本法ニ基キ國債整理基金ヨリ支出セラルヘキ總額又ハ其ノ一部ヲ借入ルルコトヲ得

第二十五條　本法內ニ規定サレタル事項ハ千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法ニヨル土地委員會ノ權能ヲ制限セサルモノトス

第二十六條　本條ニ揭クル字句ハ前後ノ文意上反對ノ解釋ヲナス必要アルニ非サレハ次ノ如キ意義ヲ有スルモノトス

「土地裁判所」法ナル字句ハ諸法律ヲ以テ改正シタル今上治世二十一年及二十二年ノ會期法第七十二章ノ「愛爾蘭ニ於ケル土地ノ賣却及移轉ヲ容易ナラシムルノ法律」ト稱スル法律ヲ意味スルモノトス

「大藏省」「大法官」「土地委員會」ナル字句ハ各「大藏省ノ委員」「愛爾蘭ノ大法官(The Lord High Chancellor of Ireland)及「愛爾蘭土地委員會」ヲ意味スルモノトス

其ノ他ノ字句ハ各千八百八十一年ノ土地(愛爾蘭)法ニ於ケルト同樣ノ意義ヲ有スルモノトス

「小作人」ナル字句ハ第三者借地料收得借地契約ニ依ル小作地ノ小作人ヲ包含スルモノトス

(附款省略)

第四　一八八七年ノ土地法(本法第一條乃至第九條ハ關係ナキニヨリ省略)

(The Irish Land Act, 1887)

第十條　千八百八十五年ノ土地購買法(愛爾蘭)ニ依リテナセル保證預金ニシテ若シ千八百八十二年ノ土著地法ニ依リテ生シタル資本ヲ以テ之ニ充當シ裁判所ニ拂込マレタルトキハ之ヲナセル者若ハ一時之ニ利害關係ヲ有スル者ノ申請ニ依リ發セラレタル高等裁判所ノ命令ニヨリ土地委員會ニヨリ投資スルコトヲ得又ハ受託者カ法律ニ依リ一時ノ受託金ノ投資ヲ許サレタル有價證券ニ之ヲ投資スルコトヲ得而シテ其ノ利息ハ之ヲ受クル權利アル者ニ對シ土地委員會ヨリ支拂ハルルモノトス

第十一條　千八百八十五年ノ土地購買法(愛爾蘭)ニ依リ小作地ヲ賣却スル場合ニ於テハ賣却者ヨリ其ノ小作地ヲ構成若ハ包含スル土地ニ對シ有スル負擔ノ受託者トシテ託セラレタル者又ハ其ノ賣却ヲ託セラレタル者ハ受託者ノ賣却收得トシテ受クル所ノ金額ヲ本法ニ依リ保證預金ニ充當スルコトヲ得

第十二條　本法ニ基ク小作地ノ賣却ニ依リ得タル賣却收得ニシテ該小作地ニ關シ土地負擔ヲ有スルカ爲ニ其債權者ニ歸スヘキ金額ヲ本法ニ依リテ保證預金ニ充當セラルル場合ニ於テハ若シ其ノ土地ノ負擔カ該小作地ノミナラス又他ノ土地ニ影響ヲ及ホス場合ハ委員會ハ右ノ負擔ハ保證預金トシテ充當セラレタル金額ノ程度ニマテ賣却前ト同一ノ優先權ヲ以テ前記他ノ土地ノ負擔ヲ繼續スヘキコトヲ命令ヲ以テ宣告スルコトヲ得

但シ右ノ命令ハ該賣却地ノ負擔ニ關係ヲ有スル他ノ土地ニ於ケル負擔ヲ託セラレタル者ノ同意及本條ノ目的ノ爲受託者トシテ又ハ其ノ他ノ者トシテ負擔ヲ託サレタルト否トヲ問ハス該負擔ニ關係ヲ有スル人々カ皆右ノ同意ヲ表シ得ルコトヲ委員會ニ於テ確カムルニアラサレハ之ヲナスコトヲ得ス

但シ又委員會ハ各當事者ノ權利及利害ヲ正當ニ顧慮シ斯ル人々ノ同意ヲ解除スルコトカ彼等ニ對シテ便宜ナリト思惟シタル場合ニハ同一命令若ハ他ノ命令ヲ以テ之ヲ省クコトヲ得

第十三條　土地委員會ハ訴訟若ハ民事訴狀手續ニ依リ債務ヲ回收スル合理的可能性ヲ有スル場合ニ其ノ方法ヲ以テ先ツ該債務ノ支拂ヲ强制シタル後ニ非サレハ千八百八十五年ノ土地購買法(愛爾蘭)ニ依ル保證預金ヲ以テ保證セラル

ル立替金ニ關シ其ノ受クヘキ金額ヲ取立テ得サル債務ナリトノ宣言命令ヲ同法第三條ニ依リテナスヲ得ス土地法（愛爾蘭）ニ規定セル他ノ賠償法ノ外同法ニ依リ土地委員會ニ支拂フヘキ年金ハ總テ本法制定前ニ發生シタルト制定後ニ發生シタルトヲ問ハス愛爾蘭ニテハ十分ノ一税ノ代リタル小作料ノ負擔ヲ取立ツル方法ヲ以テ土地委員之ヲ取立ツヘシ

第十四條 地主小作人間ニ小作地賣却契約成立シ土地委員會カ地主及小作人カ其ノ契約ヲ實行スルノ資格アルコトヲ確カメ且土地法（愛爾蘭）ニ依リ立替金ヲナスヘキコトヲ同意ヲナシタル場合ニハ賣買ノ完成ヲ容易ナラシムル爲左ノ規定ヲ適用ス

（一） 土地委員會ハ若シ適當ト思惟スルトキハ立替金ノ全部又ハ一部ヲ愛爾蘭銀行ニ拂込ミ委員會ノ指定スル信用トナスコトヲ得而シテ小作人カ購買金額ノ一部ヲ準備セル場合ニハ之ヲ同樣ノ信用ニ拂込マシムルコトヲ得又賣却土地ニ利害關係ヲ有スル者ノ請求ハ皆（小作人及小作人ニ從屬シテ請求スル人々ヲ除ク）債權者タルト否トヲ問ハス賣却ノ直前其ノ土地ニ附帶シタルト同樣ノ方法ヲ以テ之ヲ其ノ土地ノ購買金ニ附帶セシメ本法ニ記載セルカ如ク土地ニ對シテハ最早何等ノ效力ヲ有セス購買金ヨリ支出若ハ償還スヘキコトヲ命令ヲ以テ宣言スルコトヲ得而シテ土地委員會ハ地主其ノ他ノ人々ノ權利及優先權ヲ定メ此ノ權利ト優先權トニ從ヒテ購買金ヲ分配スヘシ購買金若ハ其ノ一部ヲ直チニ分配シ得サル場合若ハ其ノ分配ヲ受クルノ權利アル人々カ確定セサル場合又ハ其ノ他ノ理由ニ依リ土地委員會カ利害關係者ノ權利ヲ保護スル爲ニ便宜ト思惟スル場合ニハ土地委員會ハ場合ニ從ヒ或ハ之ヲ其ノ管理下ニ留メ或ハ千八百八十二年ノ土著地法ニ依リ生スル資本ニ關シ同法ノ規定セル方法ヲ以テ之ヲ分配シ且土地委員會カ確メタル範圍ニ於テ右ノ金額及其ノ分配金ニ關係アル受託者ヲ命令ヲ以テ宣言スルコトヲ得又ハ權利及利害ニ關シテ土地委員會ノ發見シタル事實若ハ事項ヲ言明スルコトヲ得而シテ土地委員會ハ場合ニ從ヒ或ハ購買金若ハ分配金及其ノ投資若クハ要求ニ關シ或ハ其ノ支拂若ハ利害關係者ニ對スル其ノ年收入ニ關シ隨時命令ヲ發スルコトヲ得

（二） 土地委員會ハ前述ノ如ク該命令ヲ發シタル際若ハ其ノ後ニ至リ讓渡證書ヲ以テ賣買ヲ行フヘシトノ契約ヲナセル場合ニ於テモ千八百八十五年ノ土地購買法（愛爾蘭）第九條第五項ニ揭ケタル權能ヲ行使スルコトヲ得

（三） 小作契約ニ依リテ保有セル小作地ヲ專用シ且其ノ小作料ヲ支拂フ者ハ該小作地ノ購買契約ヲ締結スルノ權能ヲ有ス小作地カ右ノ如キ者ニ讓渡サレ若ハ歸屬セシメラルル場合ニハ之カ爲ニ其ノ者ノ得タル利益ハ從前ノ該小作地ノ小作人ノ利益ニ附加シタルモノト看做シ其ノ讓受人ハ此ノ附加ヨリ生スル權利若ハ衡平權ニ服スルモノトス

第十五條 （一） 土地法（愛爾蘭）ニ依リテ賣却シタル土地カ他ノ土地ト共ニ御料地小作料（Crown rent）免役小作料（quit rent)又ハ十分ノ一税小作料負擔（titherentcharge）ヲ課セラルル場合ニハ土地委員會ハ若シ便宜ト思惟スルトキハ其ノ御料地小作料、免役小作料又ハ十分ノ一税小作料負擔ヲ其ノ公平ト認ムル方法ニ依リ賣却シタル土地ト然ラサル他ノ土地トノ間ニ割當ツルコトヲ得又右ノ土地カ他ノ土地ト共ニ土地改良費又ハ排水費ヲ課セラルル場合ニハ土木工事委員會委員ハ土地委員會ノ要求ニ依リ之ヲ該賣却地ト他ノ土地トノ間ニ割當テ且其ノ割當ヲ示セル證明書ヲ發行スルコトヲ得本條ニ基キテ行ハルヘキ割當ニ關シ賣却地ニ割當テタル小作料、小作料負擔及其ノ他ノ負擔ノ割當額ハ夫レノミニテ御料地小作料、免役小作料、十分ノ一税小作料負擔、又ハ賣却地ニ課スヘキ排水費ト看做ス

（二） 土地委員會ハ便宜ト思惟スルトキハ同委員會ノ決定セル價額ヲ以テ御料地小作料、免役小作料、十分ノ一税小作料負擔又ハ其ノ割當部分ノ償却ヲ命令スルコトヲ得土地委員會ハ又若シ便宜ト思惟スルトキハ其ノ爲ニ本法ノ定

ムル程度ニ依リ土地改良費若ハ排水費若ハ其ノ他ノ割當ノ償却ヲ命令スルコトヲ得

(三) 御料地小作料又ハ免役小作料ノ割當及償却ハ豫メ御料林及土地收入委員會委員ノ同意ヲ經スシテ之ヲ行フヲ得ス又土木工事委員會ノ委員ニ支拂フヘキ土地改良費若ハ排水費ノ割當及土地委員會ニ支拂フヘキ十分ノ一稅小作料ノ償却ハ豫メ大藏省委員會ノ委員ノ同意ヲ經スシテ之ヲ行フヲ得ス

本條ノ目的ノ爲ニ大藏省委員會ノ委員ハ同意ヲ與フル方法ト同意ヲ與ヘラルヘキ條件トヲ取締ルヘキ規則ヲ隨時定ムルコトヲ得

右ノ如キ賣却地カ他ノ土地ト共ニ本法ニヨリ決定サレタル土地ノ負擔ヲ受クル場合ニ於テ土地委員會ハ便宜ト思惟スルトキハ賣却地購買ノ爲立替ヘタル金額ヲ土地負擔ノ一部辨濟トシテ承諾スヘキコトヲ債權者ニ要求スルコトヲ得又便宜正當ト思惟スルトキハ賣却地カ一切土地負擔ヲ辨濟シタルコトヲ命令ヲ以テ宣言スルコトヲ得而シテ此ノ命令ヲ發スルニ當リ其ノ負擔中ニ揭クル土地ノ負擔ハ該土地ニ對スル負擔トナルコトナシ

第十六條 (一) 土地法(愛爾蘭)ニ依リテ賣却シタル土地カ他ノ土地ト共ニ年金又ハ小作料負擔ヲ課セラルル場合ニハ土地委員會ハ便宜ト思惟スルトキハ命令ヲ以テ之ヲ其ノ土地ト他ノ土地トノ間ニ割當ツルコトヲ得カクテ賣却スヘキ土地ニ割當テタル年金又ハ小作料負擔ハ其レノミニシテ之ヲ其ノ土地ニ課スヘキ年金又ハ小作料負擔ト看做ス

(二) 土地委員會ハ本條ニ依リテ附與セラレタル割當ノ權能ヲ行使スル場合及千八百八十五年ノ土地購買法(愛爾蘭)第十條ヲ以テ適用ヲ擴張セラレタル土地裁判法第七十二條ニ依リ附與セラレタル小作料割當ノ權能ヲ行使スル場合ニハ賣却地ニ割當タル年金、小作料負擔、又ハ小作料ハ其ノ土地ノ負擔タル事ナク其ノ購買金ニ轉嫁セラルルモノトス後者ノ割當權ハ讓渡證書ヲ以テ賣買ヲ實行スヘキ契約アリト雖如何ナル場合ニ於テモ之ヲ行使スルコトヲ得

(三) 土地委員會ハ賣却地ニ對シテ其ノ割當ラレタル年金、小作料負擔又ハ小作料ノ一部ヲ受クル權利アル者ノ申請ニ依リ又便宜ナリト認ムル場合ハ其ノ申請ナクトモ其ノ年金、小作料負擔又ハ其ノ割當テラレタル部分ノ償却ヲ命令スルコトヲ得然リト雖割當ヲナサルル事實アル場合ハ當事者間ノ契約ヲ以テ決定サレタル價額然サレハ當事者カ土地委員會ヲシテ之ヲ定メシムルコトヲ契約シタルトキハ同委會ノ定ムヘキ價額又若當事者カ契約ヲナササリシトキハ千八百七十年ノ地主小作人法(愛爾蘭)第二十五條及其ノ附款ニ規定セル方法ニ基キ仲裁ニ依リ決定セラルヘキ價額ヲ以テ賣却地ニ關スル年金小作料負擔又ハ小作料ノ償却ヲ命スルコトヲ得仲裁々判所ノ判決ハ土地委員會ノ裁判所ニ之ヲ記錄シ同附款ニ揭クル民事裁判所ニ關スル規定ハ本條ノ目的ノ爲之ヲ土地委員會ニ適用ス

本條ニヨル年金、小作料負擔又ハ小作料ノ支拂義務ヲ有スル土地ノ終身小作人タル者及右ノ年金小作料負擔又ハ小作地ニ關シ千八百八十二年ノ土著地法ノ意義ニヨル終身小作人ノ權能ヲ有スル者ハ之ヲ受クル權利アル者ト看做ス若右ノ年金、小作料負擔又ハ小作料カ本條ニ依リテ償却セラルトキハ購買金ハ該法ニ依リテ生スル資本トシテ取扱フモノトス

第十七條 土地委員會ニヨリテナサルル立替金ハ土地法(愛爾蘭)ニヨリ土地購買者一名ニ對シ總計五千磅ヲ超ユルコトヲ得ス

第十八條 (一) 土地委員會カ土地法(愛爾蘭)ニ依リテナス立替金ハ總テ該委員會ノ命令ニ依リテ保證セラレ該命令ハ斯カル立替金ヲ受クル土地カ命令ノ指示スル方法ニ依リ立替金ニ利息ヲ付シテ返還スヘキコトヲ宣言セルモノトス土地法ノ規定ニ依リ右ノ命令又ハ愛爾蘭高等裁判所衡平法部土地判事ノナセル命令ニ揭ケタル利息又ハ拂込金カ其ノ支拂ノ時期後四十日間延滯スルトキハ土地委員會ハ賣却ノ權能其ノ他千八百八十一年ノ「讓渡及財產法」第十

九條、第二十一條、第二十二條ヲ以テ抵當權者ニ附與セル他ノ權能ヲ適用シ得ヘキ範圍内ニ於テ適法ニ該權能ヲ行使スルコトヲ得土地委員會ハ斯カル賣却ヨリ生スル金額ヲ千八百八十五年ノ土地購買法（愛爾蘭）第十五條ニ規定セル方法ヲ以テ請求ス

（二）千八百八十一年ノ土地法（愛爾蘭）第三十四條第三項及千八百八十五年土地購買法（愛爾蘭）第四條(c)項ハ玆ニ之ヲ廢止ス

第十九條　愛爾蘭高等裁判所衡平法部判事カ土地ノ賣却ノ絶對命令ヲナシ受領者ヲ指定シタル場合ニハ同部判事ハ斯カル土地ニ於ケル小作地ノ小作人ヨリ支拂フヘキ小作料ノ臨時減額又ハ延滯小作料ノ一部免除ヲ其ノ適當ト思惟スル條件ニ依リテ行フコトヲ得

但シ之ハ一切ノ事情ニ照シ且之ニ同意ヲナシ若ハ同意ヲナササル當事者、地主、請願者或ハ債權者ノ利害ニ照シテナスヲ正當且便宜ト思惟スル場合ニ限ルモノトス

第二十條　土地法（愛爾蘭）ニ依リ小作人ヲシテ小作地ヲ購買セシムル爲本法制定ノ前後ニナセル立替ニ關シテ支拂フヘキ年金ハ總テ其ノ小作地ノ負擔トシ地主小作人又ハ以前ノ各自ノ地主小作人ノ何レカカ設定シタル一切ノ現在及將來ノ土地財產ノ負債利息、及土地ノ負擔ニ優先シテ支拂ハルヘキモノトシ其ノ立替金ヲナシタル時ノ前後ヲ問ハス免役小作料、其ノ他小作ニ伴フ費用、十分ノ一稅ニ代ルヘキ小作料負擔及公金立替ヲ認許スル法律又ハ土地改良ニ關スル負擔ヲ定ムヘキ法律等本法制定前ニ制定セラレタルモノニ依リテ設ケラレタル負擔ハ之ヲ例外トシ又（土地カ第三者借地料(free farm)ニ服シ若ハ小作料ヲ保留スルヲ條件トスル契約ニ依リ占有セラルル場合ニ於テ）斯ル第三者ノ借地料若ハ上記ノ留保セラレタル小作料モ之ヲ例外トス土地委員會ニ支拂フヘキ斯カル年金ハ總テ每年五月一日ト十一月一日トニ同一ノ半期支拂額ニテ之ヲ支拂フヲ得ヘシ斯カル年金ノ前半期支拂ハ右ノ支拂日ノ一ニ於テ其ノ立替ヲナサレサリシ場合ニハ立替日後第二ノ支拂日ニ支拂ヲナシ右前半期ノ支拂ト共ニ立替ノ日ヨリ其ノ次ノ第一支拂日迄年三歩八分ノ一ノ利率ヲ以テ該立替金ノ利息ヲ附シ支拂フヘシ而シテ場合ニヨリ土地委員會或ハ土木委員會ノ委員捺印アル證書ハ其ノ中ニ指名セル小作地ニ關シ前記何レカノ法律ニ依リ當然支拂フヘキ年金又ハ延滯年金ヲ土地委員會或ハ土木委員會ヘ支拂フヘキ證據トス

第二十一條　小作地カ土地委員會ノ訴訟ニ依リ賣却セラルル場合ニハ土地委員會ハ購買者ノ申請ニ依リ其ノ者ノ購買シタル小作地又ハ其ノ一部ノ購求者ニ其ノ小作地ヲ占有セシムルノ命令ヲ州執行官ニ發スルコトヲ得而シテ州執行官ハ占有地交付ノ令狀ト同樣ノ方法ヲ以テ此ノ命令ヲ執行スヘシ

第二十二條　本法制定ノ前後ニ於テ地主カ小作人ニ小作地ノ賣却ヲナスコトヲ契約シ小作人ヲシテ其ノ小作地ヲ買ハシムル爲ノ立替金ノ申請カ土地委員會ニヨリ認許セラレタル場合ニハ其ノ賣買契約ノ各當事者ハ略式方法ニ依リ其ノ契約ノ特種履行ヲ命セラルヘキ旨ヲ土地委員會ニ請求スルコトヲ得土地委員會ハ同樣ノ目的ニ對シ愛爾蘭高等裁判所衡平法部ノ有スルト同樣ナル申請決定ヲナシ及特種履行命令ヲ發スルノ權限ト裁判權トヲ有ス但シ土地委員會ノ爲セル他ノ命令ニ於ケルト同樣ノ控訴ヲ許スモノトス

第二十三條　土地裁判所法第七十條ヲ合併セル千八百八十五年ノ土地購買法（愛爾蘭）第十條ノ該號ハ其ノ中ニ揭載セル「土地判事」ナル語ニ代フルニ「土地委員會」ナル語ヲ以テ之ヲ改正ス而シテ千八百八十五年ノ土地購買法（愛爾蘭）第十三條ヲ以テ附與セラルル新受託者任命權ハ土地法（愛爾蘭）ニ依リ賣却ノ目的ノ爲新受託者ヲ任命スルニ必要ナル一切ノ場合ニ之ヲ適用ス

第二十四條　千八百七十年ノ地主小作人法（愛爾蘭）第四十四條、第四十五條及千八百七十二年ノ地主小作人法第一條第三項ニ依リ愛爾蘭土木工事委員會（本法ニ於テハ工事委員會ノ委員ト稱ス）ハ小作地ヲ購求セントスル小作人ニ對シ該小作地ノ價額ノ三分ノ二ヲ超エサル金額ヲ立替フルコトヲ契約スル權能ヲ附與セラレ立替金ハ前記諸條ニ依リテ定ムル負擔ヲ支拂フヘキ金又ハ小作人ヨリ三十五年間工事委員ニ支拂フヘキ立替金百磅毎ニ五磅ノ年金保證金ヲ以テ之ヲ返濟スルモノトス

又右ノ年金ノ計算ニ付テハ曩ニ利息ヲ一箇年三歩五厘ノ率ヲ以テ計算シタルモ利率ヲ減シ年金ノ期間ヲ延長シテ年金ノ額ヲ減スルヲ以テ便宜トスルカ故ニ左ノ規定ヲ設ク

（一）本法制定後次ノ年金支拂日ヨリ千八百七十年ノ地主小作人法（愛爾蘭）第一條ニ依リ小作地ニ課スル年金ハ立替金額ノ五分ナリシヲ四分ニ減シ（今後ニ揭クルモノヲ除ク）而シテ支拂日後工事委員會ノ委員カ命令ヲ以テ宣言シタル期間内ニ支拂スヘキ立替金ニ對シテハ年三歩八分ノ一ノ利子ヲ附スルモノトス而シテ此ノ命令ハ本法制定後直チニ之ヲ作リ該委員會ノ委員ノ指示スル方法ニ依リ該委員會委員カ年金支拂人ナリト認ムル者ニ對シ郵便其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ通知スヘシ

（二）但シ該委員會委員ハ特別ノ事情ニヨリ理由アリト認ムル場合ニハ其ノ正當ト認ムル期間ノ延長ヲ許スコトヲ得此ノ期間ハ如何ナル場合ニ於テモ立替ノ日ヨリ四十九年ヲ超ユルヲ得スシテ之ニ依リ年金ヲ整理シ從テ又命令ヲ變更スルモノトス

（三）本法制定後次ノ支拂日（第二十條ニ規定ス）ニ支拂期トナル年金ノ外ニ年賦金ノ未拂殘金アル場合ニハ本條ハ後ニ揭クル如キ大藏省委員會委員（本法ニ於テハ大藏省ト稱ス）ノ命令ニ依ル外之ヲ適用セス

（四）小作地購買者カ年金支拂ヲ延滯シタルコトニ對シ其ノ購買者ニ本條ノ規定ヲ適用スルト共ニ又延滯ニ付後ニ揭載スルカ如キ規定ヲナスカ正當ナリト認ムヘキ特別事情ノ存スルコトヲ大藏省カ工事委員會委員ノ報告ニ依リテ確認シタル場合ニ於テハ其ノ適當ト思惟スル場合支拂期トナレル六箇月間ノ年賦金額ヨリ少カラサル延滯金ノ部分ヲ命令ヲ以テ制限セラレタル時期内ニ支拂ヒ殘餘ノ延滯金ハ前記年金カ本法又ハ其ノ他ニ依リ終了スヘキ期間内ハ年三歩八分ノ一ノ利息ヲ附シ立替金返濟年金ニ添加シテ辨濟スヘキコトヲ命令シ得此ノ命令ヲ發シテ前記延滯金ノ一部ヲ返還スレハ本條ヲ適用シ從テ工事委員會ノ委員ハ命令ヲ以テ殘餘ノ延滯金ハ年金ニ添加シテ小作地ノ負擔タラシムヘキモノトス

（五）本條ニ依ル工事委員會委員ノ命令ハ場合ニヨリ或ハ前記法律第四十條又ハ第四十五條ニ依ル命令或ハ年金ヲ課スル保證又ハ證書ノ一部ヲ成スモノト看做ス

第二十五條　千八百六十九年ノ愛爾蘭教會法ニ依リテ行動スル委員會委員ハ同法第五十二條ニ從ヒ土地購買者又ハ土地ノ利害關係者ニ支拂擔保ヲ得テ購買金ノ一部ヲ信用貸シタルヲ以テ該信用貸金額又ハ其ノ一部ハ同法ニ依リテ行動シタル委員會委員ノ承繼者ナル愛爾蘭土地委員會ニ支拂フヘキ抵當債務ナリトス而シテ或場合ニハ單純ナル抵當ヲ以テ又或場合ニハ數年ニ亙ル期間ノ賦拂ニ依リ利息附ニテ元金ヲ支拂フヘキ賦拂抵當ヲ以テ保證セラル（利息附賦拂ニ本條ニテハ之ヲ賦拂ト稱ス）

右ノ如キ抵當ノ利率ハ一箇年四歩以上ニテ計算セラレタリト雖或場合ニハ千八百八十五年ノ土地購買法（愛爾蘭）第二十三條ニ依リ愛爾蘭土地委員會ノ命令ヲ以テ一箇年三歩八分ノ一ニ減セラレタリ又或場合ニハ本條ニ規定セル方法ニ依リ同樣ノ控除ヲ爲スヲ便宜トスルカ故ニ左ノ如キ規定ヲ設ク

（一）本法制定後次ノ小作料支拂日ヨリ又ハ本條ニ依リ命令ニ特定セラレタル其ノ後ノ日ヨリ上記ノ支拂抵當ニ關シ愛爾蘭土地委員會ニ支拂フヘキ年額ハ今後記載スヘキモノヲ除キ一箇年四歩ヨリ三歩八分ノ一ニ利率ヲ減シ其ノ利子ノ差額金丈ヲ同年金額ヨリ減スヘシ又期間ハ抵當ノ日附ヨリ四十九年ヲ超エサル範圍内ニ愛爾蘭土地委員會之ヲ延長スルコトヲ得

（二）本法制定後次ノ小作料支拂日ヨリ又ハ後ニ述フヘキ命令ニ特定セル其ノ後ノ支拂日ヨリ上記ノ單純抵當ニ關シ愛爾蘭土地委員會ニ支拂フヘキ年額ハ今後記載スヘキモノヲ除キ利息ニ付テハ一箇年三歩八分ノ一、元金ノ支拂ニ付テハ該日ニ右ノ抵當ノ下ニ支拂期ニ達セル元金額ノ八分ノ七トシ其ノ額ハ其ノ日ヨリ四十九年ノ間該抵當ノ利息ヲ支拂フヘキ日ニ半期拂ヲ以テ之ヲ支拂フヘシ是ニ依リテ抵當ハ延滯金返還ノ目的ニ對スル外終了スルモノトス

（三）年額及期間ヲ定ムル愛爾蘭土地委員會ノ命令ハ本法制度後直チニ之ヲ作成シ一時單純抵當ノ利息ヲ拂ヘル者又ハ賦拂抵當ノ賦拂金ヲ支拂ヘル者其ノ他同委員會カ之ヲ支拂フノ義務アリト認ムル者ニ對シ同委員會ノ指示スル方法ニ依リ郵便其ノ他ノ方法ヲ以テ通知スヘシ

（四）但シ愛爾蘭土地委員會ハ特別ノ理由アリト認ムル場合ニハ其ノ正當ト認ムル處ニ從ヒ期間ノ變更ヲ許スコトヲ得從テ期間ハ如何ナル場合ニ於テモ抵當ノ日附ヨリ四十九年ヲ超エサル範圍内ニ於テ命令ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得

（五）本法制定後次ノ小作料支拂日ニ於テ支拂フヘキ半期支拂額以上ニ單純抵當ノ利息又ハ賦拂抵當ノ賦拂ニ關シ不拂延滯金アル場合ニハ右ノ如キ抵當ニハ本條ヲ適用セス但シ大藏省カ土地委員會ノ報告ニ依リ右ノ如キ抵當ニ本條ヲ適用スルヲ正當ナリト確カメタルトキハ此ノ限ニアラス

（イ）大藏省ハ若六箇月間ニ支拂フヘキ利息又ハ賦拂金額以上ノ延滯金ノアリタルトキハ其ノ部分ニ付前ニ規定セルト同樣ノ方法ニ依リ之ヲ通知シ而シテ命令ニ依リ決定セラレタル期間内ニ之カ支拂ノアリタルトキハ其ノ延滯金ハ定期賦拂金ニ一箇年三歩八分ノ一ノ利息ヲ附シ該殘金ヲ拂フニ足ルヘキモノヲ追加シ本法又ハ其ノ他ニ依リ抵當ノ終了スヘキ期間内ニ之ヲ返還スヘシトノ命令ヲ發スルコトヲ得

（ロ）右ノ命令ヲ發シ延滯金ノ部分ヲ支拂フトキハ本條ヲ適用ス而シテ愛爾蘭土地委員會ハ斯カル抵當ニ關シ本條ニ依リ其ノ命令前ニ支拂フヘキ利息及賦拂金ノ延滯金カ支拂ハレタルト同樣ノ命令ヲ發スルコトヲ得此ノ命令ハ又上記ノ如キ抵當ノ追加ヲ規定スヘシ

（六）本條ニ依ル愛爾蘭土地委員會ノ命令及本法制定前タルト後タルトヲ問ハス千八百八十五年ノ土地購買法（愛爾蘭）第二十三條ニ從ヒ同委員會ノ發スヘキ命令ニ付其ノ中ニ揭クル抵當ハ命令ニ規定セル方法ニ依リテ改正セラレタルト同樣ノ效力ヲ有シ且其ノ命令カ本條ニ從ヒ債務ニ對スル追加ヲ規定スル場合ニハ抵當中ニ其ノ追加ヲ含メルト同樣ノ效力ヲ有ス而シテ該追加ハ抵當ヲ以テ設定セラレタル債務ト同一ノ優先權ヲ有シ又其ノ命令ハ右抵當償却ニ付公平ニ利害關係アル者全部ヲ拘束ス

（七）本條ノ規定ハ本法ノ制定前千八百八十五年ノ土地購買法（愛爾蘭）第二十三條ニ依リテ命令ヲナシタル抵當ニハ之ヲ適用セス

（八）本條ノ規定ハ永代小作地ノ購買者ニ之ヲ適用セス

第二十六條　小作地カ本法制定ノ前タルト後タルトヲ問ハス千八百七十年ノ地主小作人法（愛爾蘭）第四十四條又ハ第四十五條ニ依リ工事委員會ニ沒收セラレタルニ不拘同委員會ノ委員カ該沒收ニ關シ法律上ノ手續ヲ爲ササリシカ又ハ

爲シタルモ之ヲ放棄シタル場合ニハ同委員會ノ委員ハ適當ト思惟スルトキニ限リ大藏省ノ同意ヲ得テ工事委員會ノ委員カ關係者ナリト認ムル凡テノ者ニ對シ通知ヲ發シ其小作地ヲ沒收シタル日ヨリ沒收ヲ免レ而モ命令ヲ以テ指定セラレタルモノニシテ該地ノ讓受、又小作其ノ他沒收ノ原因タル行爲ノ一切ノ負擔ヲ辨濟シタルモノニ歸屬スヘキコトヲ命令スルコトヲ得

右ノ命令ハ完全ナル效力ヲ有シ小作地ニ利害關係ヲ有スル一切ノ人々ヲ拘束ス而シテ其ノ小作地ハ其ノ命令ノ發セラレタル日ヨリ千八百八十一年ノ地主小作人法（愛爾蘭）第三十條ヲ以テ定メラルル條件ニ服スルモノトス而シテ該條ハ土地委員會ニ代リ工事委員會ノ委員之ヲ適用ス

第二十七條　愛爾蘭土地委員會ハ千八百七十年ノ地主小作人法（愛爾蘭）及千八百八十一年ノ土地法（愛爾蘭）第三十五條ヲ以テ改正セル千八百七十二年ノ地主小作人法（愛爾蘭）第二十四條及第二十六條ニ依リ小作地ヲ購買セントスル小作人ニ對シ其ノ中ニ規定セル購買金ノ比率ヲ超過セサル金額ヲ立替フルノ權能ヲ附與セラレ其ノ立替金ハ右ノ諸條ニ規定セル負擔金又ハ小作人ヨリ三十五年ノ期間ニ立替金百磅毎ニ付五磅ノ年金保證金ヲ以テ愛爾蘭土地委員會ニ支拂フヘキモノトス

又其ノ年金ノ計算ニ付テハ利息ハ一箇年三分五厘ノ率ニテ計算セラレタルモ利率ヲ減シ年金ノ年限ヲ延長シ以テ年金ノ年額ヲ減スルヲ便宜トスルカ故ニ左ノ規定ヲナス

（一）本法制定後次ノ第一小作料支拂日ヨリ千八百八十一年ノ土地法（愛爾蘭）第三十五條又ハ同條ニ記載セル規定又ハ千八百八十一年ノ土地法（愛爾蘭）第二十四條若ハ第二十六條ニ從ヒテナセル立替金ノ返還ノ爲小作地ニ課スル年金ハ立替金額ノ五分ナリシヲ四分ニ減シ（今後ニ記載スルモノヲ除ク）愛爾蘭土地委員會カ命令ヲ以テ該小作料支拂日ニ支拂期ノ到來セル立替金額ニ付キテハ年三歩八分ノ一ノ利子ヲ附シテ命令ニヨリ指定サレタル支拂期間內ニ支拂フヘシ

此ノ命令ハ本法制定後直チニ之ヲ作成シ該委員會委員ノ指定スル方法ニ依リ該委員會カ年金支拂人ナリト認ムル者ニ對シ郵便其ノ他ノ方法ヲ以テ通知セラルヘキモノトス

（二）但シ該委員會ハ特別ノ事由アリト認ムル場合ニ於テハ其ノ正當ト認ムル期間ノ延長ヲ許スコトヲ得但シ此ノ期間ハ如何ナル場合ニ於テモ立替ノ日ヨリ四十九年ヲ過クルヲ得ス之ニ依リ年金ヲ整理シ又命令ノ變更ヲ行フモノトス

（三）本條制定後次ノ小作料支拂日ニ支拂フヘキ年金額以上ニ年金未拂ノ延滯金ノ存スル場合ニハ本條ハ今後ニ記載スヘキ大藏省ノ命令ニ依ルノ外右ノ年金ニ對シテ之ヲ適用セス

（四）小作地ノ購買者カ賦拂ヲ延滯スル特別事由ノ存スル場合ニ於テ其ノ購買者ニ本條ノ規定ヲ適用スルト共ニ延滯ニ對シ今後ニ記載スルカ如キ規定ヲナスヲ正當トナスヘキコトヲ大藏省カ愛爾蘭土地委員會ノ報告ニヨリテ確認シタル場合ニ於テハ大藏省ハ適當ト思惟スル場合ニハ支拂期トナレル六箇月間ノ年金賦拂額ヨリ少カラサル延滯金ノ部分ヲ命令ニヨリテ制限サレタル期間內ニ支拂ヘハ殘餘ノ延滯金ハ立替金返濟ノ年金額ニ年三歩八分ノ一ノ利息ヲ附シテ該殘餘ノ返濟スヘキモノヲ加ヘテ前記年金カ本法又ハ其ノ他ニ依リ終了スヘキ期間內ニ之ヲ返濟スヘシト命令スルコトヲ得此ノ命令ヲナシ延滯金ノ返還行ハルレハ本條ヲ適用ス從ツテ愛爾蘭土地委員會ハ命令ヲ發シ此ノ命令ヲ以テ殘餘ノ延滯金支拂ノ爲之ヲ年金ニ添加シ小作地ニ負擔セシム

（五）本條ニ依ル愛爾蘭土地委員會ノ命令ハ場合ニヨリ前記諸法ノ諸條ニ依ル命令或ハ年金ヲ課スル保證又ハ證書ノ

一部ヲ成スモノト看做ス

第二十八條　土地ノ購買者若ハ土地ノ利害關係者ニ對シナセル立替金又ハ右ノ者ヨリ支拂フヘキ購買金ニ關シ愛爾蘭土地委員會又ハ土木工事委員會ノ委員ヘ支拂フヘキ金額アリテ其ノ金額カ支拂後六箇月未滿ノ期間ニ支拂ハレサル場合ニハ場合ニヨリ愛爾蘭土地委員會或ハ土木工事委員會委員ハ右ノ如ク支拂期ノ到來セル金額ノ證明書ヲ附與スルコトヲ得此ノ證明書ハ千八百七十年ノ地主小作人法（愛爾蘭）第四十九條ニ依ル證明ト同樣ノ證據タルヘシ

第五　千八百八十九年ノ土地購買法改正法

（The Purchase of Land (Ireland) Amendments Act, 1889）

千八百八十五年ノ土地購買（愛爾蘭）法及其ノ改正法ヲ改正スル法律

第一條　千八百八十五年土地購買（愛爾蘭）法及同改正法ニ依リ地主ヨリ小作人ニ小作地ヲ賣却セントスル場合ニ於テ其ノ小作人カ更ニ其ノ小作地ニ接近スル土地又ハ土地委員員ニ於テ特殊ノ事由ニ依リ適法ニシテ且使用ノ便宜及利益ノ享受ノ爲適當ニ獲得スヘキモノト認ムル土地ヲ追加土地トシテ購入スルコトヲ希望スル場合ニ於テハ土地委員會ハ適當ト認ムルトキハ其ノ追加土地購買ノ爲ノ主要ナル金額ニ付其ノ小作人ニシテ該土地ヲ右法律ニ依リテ購買セントシツツアリシト同樣ノ方法ニ依リテ支拂ハラシム從前ノ法律ノ規定ハ本法ニ依リ購買者カ右ノ購買ノ時追加土地ニ付テモ小作人タリシト同樣ニ其ノ追加土地ノ賣却ニ適用セラルヘキモノトス

本法中如何ナル規定ニヨルモ一小作人ニ對シ土地委員會カ千八百八十五年土地購買（愛爾蘭）法ニ依リ附與セラレタル土地購買者ニ許可スヘキ額ヲ超過シタル貸付ヲ爲スノ權限ヲ有セサルモノトス

第二條　賣主カ終身地産者又ハ千八百八十二年土著地法ニ於テ使用セル意義ノ終身地産ノ權利ヲ有スルモノナルトキハ其ノ賣主ハ千八百八十五年土地購買（愛爾蘭）法第六條ニ依リ地主ニ附與セラレタル一切ノ權利ヲ有スルモノトス且右ノ第六條ノ規定ハ此ノ場合ノ賣却ニ一切之ヲ適用ス

本條ノ規定ハ終身地産ト同樣ニ固定地ノ管理者ニ之ヲ適用ス

第三條　本法ニ基キテ購買スル土地カ愛爾蘭租稅賦課地評價ニ關スル法律ニ依リ算定サレタル年價額十磅ヲ超エサル場合ヲ除クノ外一購買者ニ對シ本法ニ依ル土地ノ十英克以上ノ購買ニ對シテハ土地委員會ハ本法ニ依ル貸付ヲ爲ササルモノトス

第四條　本法施行ノ爲必要ナル規則ハ千八百八十一年土地權利（愛爾蘭）法ニ基ク規則ト看做シ土地委員會ニ於テ制定スヘキモノトス且樣式及表ハ本法ノ爲ニ土地委員會ニ依リテ制定シ適用スヘキモノトス

第五條　千八百八十五年土地購買（愛爾蘭）法、千八百八十七年土地權利（愛爾蘭）法及千八百八十八年土地購買（愛爾蘭）法改正法ハ本法ニ依リ明ニ變更シタルモノ又ハ互ニ矛盾スルモノヲ除クノ外本法ト共ニ一ノ法律トシテ解釋スヘキモノトス

第六條　本法ハ一切ノ目的ニ對シ千八百八十九年土地購買（愛爾蘭）法ト稱ス

第六　千八百九十一年ノ土地購買法

（The Land Purchase (Ireland) Act, 1891）

愛爾蘭ニ於ケル土地購買資金ヲ再ヒ規定シ土地委員會ヲ永續セシメ且愛爾蘭ニ於ケル稠密地方ノ開發ヲ規定スル法律

第一章　土地購買及土地委員會

第一條　（一）本法ヲ以テ修正セル土地購買法ニヨル立替金ハ本法施行後ハ本法ニ特別ノ規定ナキ限リ額面金額立替金額ニ等シキ保證附土地債券ノ發行ヲ以テ之ヲ爲シ賣主ハ購買小作地ノ賣主買主間ニ於ケルト同樣ニ此ノ債券ヲ額面額ニ等シキモノトシテ受領スルヲ要ス

（二）此ノ債券ハ額面金額百磅ニ付キ年二磅十五志ノ利率ノ年配當ヲ生スル資本債券ニシテ其ノ配當ハ七月及一月ノ第一日ニ於テ半年毎ニ支拂ハレ本法施行後三十年以後ニ於テハ（前ニ非ス）該條ニヨリ償却サルヘキ債券ト同樣ニ千八百八十八年ノ國債借換法第二條第二項ニ依リ償却セラルヘキモノトス且此ノ債券償却ノ目的ヲ以テ債券發行時ヨリ四十九年ノ期間滿了マテニ資本額面金額ノ年一分ヲ半年毎ニ支拂フヘキ減債基金ヲ設定スルヲ要ス

（三）上記配當及減債基金繰入金ハ本法規定ノ土地購買特別會計ヨリ之ヲ支出スヘク若シ不足アル時ハ不足額丈ケ政府特別資金ヨリ一時立替金トシテ支出シ此ノ立替金ハ本法ニ規定セル保證基金ヨリ政府特別資金ニ償却スルヲ要ス

第二條　購買年賦金ヲ支拂フ債務有ル者ハ

(a) 年賦金又ハ其ノ一部ヲ償却スルカ又ハ

(b) 支拂日又ハ其ノ後二週間內ニ其ノ支拂日ニ支拂フヘキ年賦金ノ四分ノ一ノ支拂ハ規定ノ方法ニヨリ保證附土地債券ノ額面ニ等シキ額ヲ國債委員ニ移轉シテ之ヲ爲スヲ得此ノ移轉ハ郵便貯金ヲ通シテ規定ノ方法ニヨリ行フヲ得

第三條　大藏省ハ一千萬磅ヲ下ラサル額面金額ノ保證附土地債券ヲ發行シタルトキハ其ノ發行前十二箇月以上ノ間ノ該債券ノ平均市價ヲ參照シ資本ノ額面金額百磅ニ付二磅十志ヲ超エサル率ノ配當ヲ有スル該債券ノ市價カ現金百磅ナルヘシト思量スル時ハ通告ニ定メタル日以後ハ以下ノ規定適用アルヘシトノ通告ヲ爲スヲ要シ從テ次ノ規定適用アルモノトス卽チ

(a) 上記ノ日以後ニ爲サレタル合意ニヨリ立替金トシテ發行セラレタル保證附土地債券ハ額面百磅ニツキ二磅十志ノ年配當ヲ生ス

(b) 此ノ立替ノ爲ニ發行セラレタル債券ノ減債基金ノ年額ハ額面百磅ニツキ一磅二志ノ利率トス

(c) 郡定利率ハ立替金百磅ニ付キ五志トス

(d) 立替返濟ノ爲購買年金ハ百磅ニ付キ年四磅ノ利息ヲ改メテ三磅十七志トス

(e) 保證附土地債券、其ノ配當金及其ノ減債基金ニ關スル本法ノ規定ハ該條規定ノ額ノ代リニ上述配當額及減債基金支拂額ヲ以テシ立替金ノ爲ニ發行シタル債券ニ適用ス

第四條　（一）土地委員會ハ土地購買特別會計ヲ設ケ規定ノ規則ニヨリ購買年金トシテ受領シタル凡テノ金錢ヲ立替金ノ支拂ノ爲ニ次ノ如ク使用スルヲ得

（二）年賦金ノ半年拂ニ付キテ出サレタル凡テノ金額ハ次ノ順序ニヨリ適用サルヘキモノトス

(a) 配當金及減債基金ノ拂込ヲ立替金ト同額ノ保證附土地債券ヲ以テ支拂フニ當リ

(b) 保證基金ヘ年額（本法ニテハ之ヲ郡定利息ト云フ）立替金百磅ニ付五志ノ利率ヲ以テ支拂フニ當リ右ノ保證基

金ノ目的ノ爲要求セラレサリシ利息ノ全部又ハ一部ハ其ノ基金ヨリ地方稅特別會計ニ對シ之ヲ支拂ヒ千八百八十三年乃至千八百八十六年ノ愛爾蘭勞働者法ニヨリ勞働者ニ住宅ヲ供給スル爲ニ使用スルヲ得但シ地方總督府ヲ代表スル總督カ右ノ使用ヲ不利ナリト認ムル時ハ總督ハ愛爾蘭遺產稅ノ郡ノ割當額ト同一ニ使用スルコトヲ命令スルヲ得本條ノ目的上其ノ利息カ地方稅特別會計ニ支拂ハレタル時ハ其ノ全部又ハ一部ヲ中止スルヲ得

(三) 小作地ノ所有者ニヨリ支拂ハレタルト保證據置金又ハ小作地賣却手續其ノ他ニヨリ支拂ハレタルトヲ問ハス購買年金ノ滯納ニ關シ特別會計ニ繰リ入レラレタル額ハ保證基金ニ支拂フヲ要ス

但シ其ノ額カ保證據置金ヨリ回復スルヲ得サル債務ノ履行ノ爲メニ使用シ得ヘキ時ハ其ノ半額ハ保證據置金ヨリ土地購買特別會計ニ支拂フヲ要ス而シテ其ノ半額ハ保證據置金ヨリ直チニ土地購買特別會計ニ繰入ルルヲ要ス本項ニヨリ保證基金ニ繰入レラレタル額ハ保證ニ關スル本法ノ規定ニ從ヒ半年拂年賦金ノ土地購買特別會計ニ繰入レタル額ト同樣ニ使用スルヲ得

(四) 購買年金ノ償却ニ關シ特別會計ニ繰入レタル額ハ凡テ小作地ノ所有者ヨリ受領セラレタルトヲ又ハ小作地賣買ニ付保證據置金ヨリ受領セラレタルトヲ問ハス(本法ニ反對規定アル場合ヲ除キ)土地購買特別會計ニ繰入レラレタル他ノ金錢ト共ニ減債基金ニ支拂フヘキモノトス

第五條 (一) 大藏省ノ指揮ニヨリ保證基金ヲ設ケ經常部ト臨時部トヲ分チ每會計年度基金ニ拂込ムヲ要ス

(a) 基金ノ經常部ハ

i 愛爾蘭遺產動產稅

ii 四萬磅、每會計年度政府特別資金ヨリ支出ス(本法ニテハ之ヲ大藏省分擔金ト呼フ)

iii 郡定利率

(b) 基金ノ臨時部ハ本法ニヨリ必要アル時ハ愛爾蘭地方稅及次ノ地方稅ヲ以テ充當ス

i 愛爾蘭ニ於ケル國有不動產上ノ地方稅ノ代リニ地方稅トシテ

ii 模範學校及國民學校ノ特別會計ノ下ニ愛爾蘭國民敎育委員ノ費用トシテ

iii 愛爾蘭ニ於ケル產業學校生徒補助ノ爲

iv 愛爾蘭ニ於ケル工場ノ學校長ノ俸給、工場醫務官及工場藥劑官ノ俸給及愛爾蘭ニ於ケル千八百七十八年ノ國民保健法ニヨリ任セラレ設置サレタル官吏ノ俸給補助ノ爲

v 愛爾蘭地方感化院ニ於ケル貧困狂人保護費用補助ノ爲

且保證基金ノ經常部及臨時部ヲ形成セル金額ハ本條規定ノ順序ニヨリ基金ノ目的ニ使用セラルヘキモノトス

(二) 保證基金ノ經常部ハ會計年度ニ於テ基金中ノ支拂ニ應スル爲要求セラレサル限リハ郡定利率ニ付キ本法ノ規定ニ從ヒ次ノ如ク適用サルヘキモノトス卽チ

(a) 愛爾蘭遺產動產稅ハ愛爾蘭地方稅會計ニ之ヲ支拂ヒ蘇格蘭及愛爾蘭ノ千八百八十八年ノ遺產動產稅法第三條規定ノ方法ニヨリ使用セラルヘキモノトス

(b) 大藏省分擔金ハ二十萬磅ニ滿ツルマテハ豫備費ニ入レ且其ノ目的ノ爲ニ要求セラレサル限リハ愛爾蘭地方稅會計ニ支拂フヘキモノトス而シテ本法ノ適用ナキ市街地ノ割當部分ハ愛爾蘭遺產動產稅ノ一部ト同樣ニ使用セラルヘク其ノ殘存部分ハ愛爾蘭遺產動產稅ニ於ケル各郡ノ割當部分ニ比例シテ各郡ノ間ニ分配セラルヘク此ノ殘存部分ハ千八百八十三年ヨリ千八百八十六年ノ愛爾蘭勞働者法ニヨリ各郡ニ於ケル勞働者住宅設置費用ニ對シ總督ノ

適當ナリト認ムル條件規則ニ從ヒ使用セラルヘキモノトス但シ地方總督府ヲ代表スル總督カ其ノ殘存部分ノ全部又ハ一部ヲ使用スル事カ不利益ナリト認ムル時ハ愛爾蘭遺產動產稅ニ於ケル其ノ郡ノ割當部分トシテ之ヲ使用スヘキ旨命令スルヲ得

(三) 保證基金ノ經常部ニ支拂フヘキ金錢ハ各會計年度毎ニ屢々既ニ增加サレタル基金上ノ負擔ヲ支拂フノ必要ナキ限リハ直ニ愛爾蘭地方稅會計ニ支拂フヲ要ス

第六條 (一) 土地購買特別會計カ配當金及減債基金ノ不拂ノ爲ニ不足スル時ハ其ノ不足額ハ保證金ノ負擔トナリ後ニ規定スル如ク各郡間ノ負擔ノ割當ニ從ヒ夫レヨリ土地購買特別會計ニ支拂フヲ要スルカ又ハ不足額カ政府特別資金ヨリ支拂ハレタル時ハ政府特別資金ニ支拂フヲ要ス

(二) 保證基金ノ經常部カ以上ノ負擔ヲ支拂フニ不足ナル時ハ大藏省ハ負擔ノ殘額ノ支拂ヲ要求サレタル金高及其ノ支拂期日ヲ記シタル通告書ヲ總督ニ送附スルヲ要ス而シテ若シ總督カ其ノ期日若ハ總督ノ申請ニヨリ大藏省ノ許シタル期日以前ニ通告ニヨリ定メラレタル年三歩又ハ大藏省ノ定メタル利息ヲ基金ノ臨時部ヲ成セル地方稅ヨリ保證基金ニ支拂フヘキコトヲ命スルヲ要ス而シテ後ニ規定スルカ如ク負擔ノ各郡間ノ割當ニ從ヒ以上ノ金額及利息ハ上記ノ諸稅ヨリ控除スルモノトス且大藏省ハ命令ヲ以テ命令ノ實行ニ必要ナリト認ムル規定ヲ設ケ命令ハ之ヲ適當ニ守ルヲ要ス

(三) 總督ハ上記ノ金額利息及本法ニヨル各郡間ノ負擔ノ割當ニ順ヒ保證基金ノ經常部ノ郡ノ割當部分ヲ超過シテ郡ニ課シタル金額ヲ徵稅法ニヨリテ取立ツルヲ要ス

右ノ目的ノ爲ニ總督ハ郡陪審裁判所祕書官ニ對シ總督カ大藏省ノ同意ヲ得テ相當ナリト認メタル金額及支拂期日ヲ記シタル金額ヲ郡ヲシテ陪審官ハ何等ノ手續ヲ踏マスシテ此ノ請求書ニヨリ支拂ハルヘキ金額ヲ郡ヲシテ徵收セシムル爲徵收費用ト共ニ通常ノ利息ヲ附シテ之ヲ郡ニ提供スルヲ要ス此ノ提供ナキ時ハ陪審判事ハ取立ツヘキ金額ノ徵收ヲ命令シ其ノ命令ハ提供ト同一ノ效力ヲ有スルニ至ルモノトス

郡會計官ハ陪審ノ決定ニヨリ爲サレタル提供ニ付キ第一ニ受入レタル金錢ヨリ郡ニ貸付クルコトヲ要求セラレタル額ヲ愛爾蘭地方稅特別會計ニ支拂フヲ要ス

斯ク本條ニヨリテ徵收セラレサリシ金錢ヨリ支出サレタル金額ニ代ルモノトス

(四) 保證基金上ノ負擔ハ同一ノ方法ニヨリ割當テラレ負擔サルヘキモノトス此ノ負擔ハ郡內ノ官憲ト人民トノ間ニ區別ナク本法ノ規定ニ從ヒテ總督カ大藏省ノ同意ヲ得テ發シタル規則ノ定ムルカ如キ方法ニヨリ負擔サルヘキモノトス且土地購買特別會計ヨリ保證基金ニ支拂ハレタル額ノ利益ハ其ノ負擔カ最初ニ負擔サレタルト同一ノ方法ニヨリ割當ツルヲ要ス

(五) 保證基金又ハ其ノ一部ニ對スル郡ノ割當部分ハ本法ノ目的上本條ニヨル規則ニ從ヒ總督之ヲ定ムルヲ要ス保證基金ノ割合ハ愛爾蘭遺產動產稅及地方稅ノ分配割合ヲ以テ本條ニヨリ規定スルヲ要シ又學校又ハ感化院ノ利益カ獨リ其ノ所在郡ニノミ限ラサル時又ハ救貧組合其ノ他カ二以上ノ郡ニ亙ル場合ニ於テハ各其ノ割當ヲ規定スルヲ要ス

(六) 此ノ基金又ハ本法ニヨル金額ニ付キテノ各郡間又ハ地力官憲ト人民トノ間ノ割當額ニ關シテ生スル爭及保證基金又ハ愛爾蘭地方稅特別會計ヨリノ支拂ニ關スル郡地方官憲人民ノ權利義務ニ關スル爭ハ凡テ總督之ヲ以テ終局ノ決定トス

第七條　土地購買法又ハ本法ノ規定ニ拘ラス本法通過後爲シタル立替金ニシテ小作地ノ爲ニ支拂ヒタル價格ノ四ノ三ヲ超エサルモノハ百磅ニツキ三磅十七志六片ノ年金ヲ以テ四十九箇年間ニ償還サルヘキモノトス而シテ此ノ年金額ハ各百磅毎ニ二志六片ノ利率ニテ支拂ハレ本法第四條所定ノ郡定利息同樣ニ使用セラルヘキモノトス

第八條　（一）小作地購買ノ立替金カ本法ニ定義セル小作地ノ年價格ノ二十倍以下ナル場合ニ於テハ其ノ年金ハ購買年金期間ノ最初ノ五年間內年價格ノ八割トス（立替金ノ四歩ノ年金ヲ超ユル購買年金ノ超過ハ本法ニ於テハ之ヲ「購買者ノ保險料」ト呼フ）但シ其ノ年金ハ申請ニ基キ其ノ五年經過後四歩ニ減シ期間ノ最初ノ十八年後ハ申請ニ基キ更ニ所定表ニ從ヒ購買者ノ保險料ヲ控除シ立替期間ノ最後ニ於テ年三歩ノ利息ニ代ル如キ點ニマテ減スルヲ要ス

（二）右ノ減少（利率ノ遞減）ハ凡テ小作地ノ其ノ時ノ所有者ノ信書其ノ他ニヨル申請ニ基キ土地委員會之ヲ決ス而シテ此ノ申請ナキ時ハ年金ハ變更セス但シ年金期間滿了前ニ年三歩ノ利息ノ立替金ニ代ルカ爲ニ所定表ノ定ムルトコロノ期日ニ於テ年金終了スルモノトス

（三）（一郡內ニ於ケル土地購買ノ爲ニ用ヒラレタル保證附土地債券ノ四分ノ一カ本法通過後三年內ニ使用セラレタル後ニ）總督カ土地委員會ノ報告ニ基キ本條ノ適用有ル購買年金カ郡ニ於テ五年間以上ノ期間ニ於テ年價格ノ八割支拂ヲ繼續スルコトカ購買者タル小作人ノ利益ニ對シ便宜ナリト考ヘ之ヲ公告セル時ハ本條ハ宣告ニ述ヘタル日ヨリ恰モ宣告ニ述ヘタル年數カ凡テ五年ニ代リタルモノトシ購買契約ノ締結サレタル小作地ニ課セラレタル年金ニ適用スルモノトス而シテ其年金ハ所定表ニ定メタル時ヲ以テ終了ス

（四）總督ハ土地委員會ノ報告ニ基キ前述ノ理由ニヨリ便宜ナリト認ムル時ハ次ノ宣言ヲ以テ前宣言ヲ撤回シ又ハ變更シ又ハ本項ノ規定ニヨリ新宣言ヲ爲スヲ得

但シ此ノ附隨宣言又ハ新宣言ハ宣言ノ日以前ニ購買契約ノ爲サレタル小作地ニ課セラレタル年金ニ影響ヲ及ホスコトナシ

（五）此ノ如キ宣言ハ單ニ前宣言ヲ撤回スル場合ヲ除キ三十日間以上議會ニ提出サルルマテハ其ノ效力ヲ生セス且議院ノ一カ之ニ反對スル決議ヲ爲スマテハ其ノ效力ヲ有ス

（六）購買者ノ保險料ノ全部又ハ一部カ支拂ハレ次イテ其ノ年金カ滯納セラレタル場合ニハ土地委員會ハ其ノ滯納カ特別ノ事情ニ基キ年金義務者ニ過失ナキモノト認ムル時ハ購買者ノ保險料ノ全部又ハ一部ヲ以テ其ノ滯納金ノ全部又ハ一部ニ充ツルヲ得

但シ年金ハ（本條上記ノ規定ニヨル減額ニ拘ラス）充當ノ日後二年又ハ最初ノ五年滿了ノ日ヨリ二年ヲ超エサル期間後又ハ本條ニヨル總督ノ宣言所定ノ日以後ニ於テ充當額ヲ補塡スルカ爲ニ土地委員會ノ指定スル期間之ヲ增額スルヲ得但シ其ノ年金ハ最初ノ五年間ノ年金ヲ超ユルヲ得ス

（七）會計年度ニ於テ總督カ土地委員會及地方總督府ノ報告ニ基キテ異常ノ農業上ノ災害ノ爲ニ其ノ郡ニ於ケル購買年金ノ不拂ヨリ生スル不足額ヲ全部又ハ一部本法前述ノ支拂方法ニ依ラスシテ豫備基金ヨリ支拂フヘキコトカ公益上必要ナリト考フル時ハ總督ハ大藏省ノ同意ヲ以テ其ノ立替ヲ命スルヲ得

但シ其ノ立替金ハ大藏省分擔金カ保證基金以外ニ用ヒラルル以前ニ之ヨリ支出シテ豫備基金ニ償却スルヲ要ス

（八）此ノ立替命令ハ購買年金義務者ニ對シ後ニ規定スル救助ヲ與フルヲ要スル程度ニマテ災害ヲ受ケタル各郡ニ於ケル其ノ選擧區ヲ各別ニ記スルヲ要ス而シテ其ノ特記サレタル選擧區ニ住スル者カ土地委員會ニ申請スル時ハ立替金ノ一部ハ之ヲ土地委員會ノ規則ニ從ヒ土地委員會ニヨリ特記サレタル購買年金ノ年賦金ノ全部又ハ一部ノ辨濟ト

シテ其ノ者ニ貸與シタルモノト看做ス而シテ該年金ハ土地委員會指定ノ日ヨリ五年ヲ超エサル期間内ニ於テ貸與シタルモノト看做サレタル額ヲ豫備基金又ハ大藏省分擔金ニ償却センカ爲ニ土地委員會指定ノ額ニマテ之ヲ增加スルヲ得

(九) 此ノ規則ハ(土地委員會ノ)出來得ル限リ次ノ諸規定ヲ定ムルヲ要ス

a 年賦金カ購買者ノ保險料ヨリ支拂ハレ得ル限度ニマテ借款ヲ起ササルコト

b 立替金ノ額カ全借款ノ支拂ニ應スルニ足ラサル場合ニハ斯ル借款ハ比例的ニ之ヲ減スルコト(無效トスルコト)

第九條 (一) 本條ヲ以テ改正セル土地購買法ニヨル立替金ハ千八百八十五年及千八百八十八年ノ土地購買法ヲ以テ許シタル一千萬磅ト共ニ土地委員會カ時々ニ必要トスル額タケ保證附土地債券ヲ發行シテ之ヲ得ヘキモノトス但シ郡ニ於ケル小作地購買ノ爲ノ立替金ハ後ニ規定スル場合ヲ除キ保證基金ニ於ケル其ノ郡ノ割當額ノ二十五倍ヲ超ユルヲ得ス

大藏省ハ郡ニ於ケル小作地購買ノ爲ノ立替金カ其ノ限度ニ接近シタリト考フル時ハ前會計年度ヲ根據トシテ保證基金ノ各郡ノ割當額ヲ直チニ決定スヘキ旨總督ニ對シ其ノ意見ヲ證明スルヲ要ス

(二) 大藏省ハ總督ニ對スル通知ニ於テ購買年金ヨリ減債基金ヘノ支拂額又ハ購買年金ノ償却支拂額ヲ以テ蓄積セラレタル減債基金ノ一部カ其ノ時ノ資本價格ヲ超工サルカ如キ郡ニ於テハ追加立替金ヲ爲スノ權限ヲ命令ニヨリ與フルヲ得前記資本價額ハ上記ノ支拂ニヨリ償却セラレタル保證附土地債券ノ資本ヲ含ムモノトス

(三) 千八百八十五年及千八百八十八年ノ土地購買法ニヨリ發行ヲ許サレタル金錢カ該法律ニヨリ立替金トシテ存スル限リハ地主小作人合意スル時ハ其ノ金ヲ以テ立替金トスルヲ得是等ノ立替金及其ノ償却ハ凡テ本法ノ通過ナカリシト同樣ニ夫等ノ土地購買法ノ規定ニ從フモノトス

(四) 土地購買法ニヨリ立替金ノ旣ニ爲サレタル小作地ノ購買ノ爲ニハ本法通過ノ前後ヲ問ハス且本法ニ依ルト否トヲ問ハス是等ノ立替金償却ノ全年金ヲ支拂ハルルカ或ハ償却セラルルマテハ本法ヲ以テ改正セル土地購買法ニ依テ立替金ヲ爲スヲ得ス

(五) 大藏省カ郡ニ於ケル年金ノ支拂ニ滯納アリ且保證基金ニ於ケル其ノ郡ノ割當額カ年々土地購買會計ノ缺損補塡ニ消費セラルルノ惧有リト認ムル時ハ大藏省ハ總督ニ對シ之ヲ證明シ總督ハ之ニ基キ大藏省カ立替金ヲ安全ニ償却セシメ得ルモノト考ヘルニ至リシコトヲ總督ニ通知スルマテ土地委員會ニ對シ其ノ郡ノ爲ノ立替金ノ中止ヲ命スルヲ要ス

第十條 千八百六十九年ノ愛爾蘭敎會法第五十二條ノ規定ニ拘ラス土地委員會カ愛爾蘭ニ於ケル敎會財產委員會ヲ代表シテ千八百六十九年ノ愛爾蘭敎會法ニ從ヒ其ノ土地ヲ土地ノ占有小作人ニ賣却スル時ハ本法ヲ以テ改正セル土地購買法ニヨル賣買アルモノト看做シ凡テ其ノ規定ニ從フモノトス

第十一條 (一) 總督ハ本法通過後一年内ニ各郡ニ付キテ購買ノ爲ニ本法ニ依リテ立替金ノ爲サレタル全農地及放牧地(小作地)ノ數ト課稅價格五十磅ヲ超ユル小作地ノ數トノ比例ヲ明確ニ確定告示スルヲ要ス

(二) 土地委員會ハ本法ニヨリテ立替金ヲ爲スニ當リ小作料五十磅ヲ超ユル農牧小作地購買ノ爲ニ本法ニ依リテ立替ヘラレタル全額カ其ノ郡ニ於ケル本法ニヨル立替金總額ニ比例シテ上記ノ比例ヲ超過セサランカ爲ニ其ノ比例ヲ參照スルヲ要ス

但シ土地委員會カ小作人ニ對スル立替金カ小作料五十磅ヲ超エサル同一地主ニ屬スル他ノ小作地ノ賣買ヲ效果有ラシムルニ必要ナリトノ意見ナル時ハ此ノ限ニ在ラス

(三) (a) 小作料五十磅ヲ超ユル小作地購買ノ爲ニ使用セラルル立替金カ價格五十磅ヲ超ユル小作地ノ階級ニ對シテ本條第一項及第二項ニヨリ定メラレタル保證基金ノ該郡ノ年割當額ノ割合ニ滿タサル時ハ其ノ差額ハ郡内ニ於テ本法ニヨリ購買立替金ノ爲サレ得ル小作地購買ニ使用スル爲ニ普通基金ニ繰入ルルヲ要ス

(b) 小作料五十磅ヲ超エサル小作地購買ノ爲ニ使用セラルル立替金額カ價格五十磅ヲ超エサル小作地ノ階級ニ對シテ本條第一項第二項ニヨリ定メラレタル保證基金ノ該郡ノ年割當額ノ割合ニ滿タサル時ハ其ノ差額ハ郡内ニ於テ本法ニヨリ購買立替金ノ爲サレ得ル小作地購買ニ使用スル爲ニ普通基金ニ繰入ルルヲ要ス

(c) 土地委員會ハ各會計年度末ニ於テ明細計算書ヲ少ナクトモ郡内二種ノ新聞ニ公表シ本項ノ規定ニヨリ前年度ノ普通基金ニ繰入レラレタル額及其ノ小作地ノ階級ヲ發表スルヲ要ス

(d) 普通基金ヨリノ立替金ヲ許可スルニ當リ土地委員會ハ出來得ル限リ前記規定ノ比例カ其ノ申請ノ認可サルルヲ妨ケサリシナラハヨリ早ク認可サルヘカリシ申請ヲ第一ニ選擇スルヲ要ス

(四) 本條ニ規定スルトコロハ何等今後現實ニ爲サレタル立替ヲ無效トスルコトナシ

第十二條 (一) 保證基金又ハ愛爾蘭地方特別會計ノ支拂ニヨル郡官憲又ハ人民ノ基金割當額又ハ權利義務ニ付テノ總督ノ決定ハ其ノ後一箇月以内ニ之ヲ「タブリンガゼット」ニ公表シ且郡内ノ少クトモ一新聞ニ發表スルヲ要ス

此ノ期間内ニ利害關係アル官憲又ハ人民ヨリ理由ヲ附シテ書面ニヨル異議ヲ申立テタル時ハ其ノ異議ハ樞密院ニ於テ其ノ申立ヲ聞キ樞密院ハ總督ニ對シ忠告ヲ爲スヲ要ス而シテ其ノ忠告有ルマテハ總督ノ決定ハ中止セラレ其ノ後ハ忠告ニ從フヘキモノトス (國王ノ爲ノ異議ノ申立ニ付テモ亦同シ)

(二) 樞密院ハ大法官ノ定メタル表ニヨリ異議申立人官憲又ハ人民ノ出席シタルモノニ依リ又ハ對シテ其ノ費用ノ支拂ヲ命スルヲ得

(三) 本條ハ適宜ノ修正ヲ加ヘ小作地ノ總數ト課稅價格五十磅ヲ超ユル小作地トノ比例ニ付テノ總督ノ宣告ニモ適用有リ此ノ場合ニ於テハ (賣主タルト買主タルトヲ問ハス) 本法ニヨル立替金ニ關シ此ノ宣告ニヨリ地位ニ影響ヲ受クル者十人ハ金錢上ノ利害關係有ルモノト看做サル

第十三條 (一) 小作契約カ千八百七十九年五月一日マテニ終了シ前地主又ハ其ノ權原アル承繼者カ本法通過後六箇月以内ニ土地購買法又ハ本法ヲ以テ修正セル土地購買法ニヨリ前小作人又ハ其ノ代理人ニ其ノ小作地ヲ賣却スル合意ヲ爲スモ適法ナリトス

(二) 土地委員會ハ此ノ目的ノ爲ニ購買者カ合意ノ契約ヲ爲シタル日ニ於テ小作人トシテ小作地ヲ占有シタルト同樣ニ同一ノ方法ニヨリ且同一ノ條件ニ從ヒテ立替ヲ爲スヲ得從テ本法ヲ以テ改正セル土地購買法ノ凡テノ規定ハ此ノ合意及立替ニ適用有ルモノトス

(三) 土地委員會カ小作地ノ一時的價格ノ減少ナクンハ該小作地カ立替金ノ擔保トシテ充分ナリト認ムル時ハ斯ル一時的價格減少ヨリ生スル危險ノ擔保ヲ供セシメテ立替ヲ爲スヲ得

第十四條 賣買ノ受託者トシテ又ハ賣却權能ヲ有スル受託者トシテ不動產ニ付權利ヲ有スル自然人及法人、慈善ノ爲ノ受託者、委員、高等教育其他公共目的ノ爲ノ受託者ハ恰モ個人ト同樣ニ本法ヲ以テ改正セル土地購買法ニヨル賣却權能ヲ有シ購買金ノ處分ニ關スル該法律ノ規定ニ服シ該法律トハ獨立ニ賣買ヲ爲ス場合ニ必要トセラルル同意ニ服スル

第十五條　（一）　大藏省ハ本法ノ目的ノ爲ニ必要ナル時ハ保證附土地債券ヲ作リ土地委員會規定ノ方法ニ依リ之ヲ發行ス而シテ千八百七十年國債法ハ特別資金ニ更ニ負擔ヲ加フルコトナク該法律附款第一ニ規定セラレタルモノトシ此ノ債券ニモ適用ス大藏省ハ此ノ債券ヲ該法律第五章ノ規定ニ從ヒテ千八百八十年貯蓄銀行法及千八百八十七年貯蓄銀行法ノ意義ニ於テハ國債債券ト看做ス

（二）　總テノ人ハ國債委員ヲモ含ミ國債證券ニ於ケルト同シク此ノ債券ニ投資スルノ權能ヲ有ス且又國債委員ハ大藏省ト交涉シテ定メタル制限內ニ於テ申請アル時ハ保證附土地債券ノ額面額ト同額ヲ引換ニ國債證券ヲ與フルヲ要ス

（三）　債權拘束、債權負擔年金、小作料ノ受託者ハ任意ニ夫等ノ支拂ニ代ヘテ夫レト同額ノ額面額ノ保證附土地債券ヲ受クルヲ得（信託ヲ生シタル契約ニ定メナキ擔保ヲ以テスル投資ヲ一般的ニ禁止シタル時ト雖）

（四）　小作地カ土地判事ニヨリ其ノ小作人又ハ土地委員會ニ賣却セラルル場合ニ於テハ土地判事ハ購買金ノ支拂トシテ額面價格ト等シキ保證附土地債券ヲ受領スルヲ得

（五）　大藏省ハ規則ヲ以テ該債券ノ基礎ヲ定メ且立替ノ爲ニ發行セラレタル債券ノ配當ノ開始及立替ト配當ノ開始トノ間ノ期間配當ト同一利率ノ利息ノ支拂ヲ規定スルヲ要ス而シテ此ノ利息ハ土地購買特別會計ヨリ支拂フヲ要シ且必要ナル時ハ配當ノ一部ト同樣ニ特別資金及保證基金ヨリ支拂フヲ要ス

（六）　減債基金ヘノ拂込金ハ購買者ノ保險料ヲ含ミ國債委員ニ支拂フヲ要ス國債委員ハ元金及其ノ利息ヲ規定ノ方法ニヨリテ本法ノ目的ノ爲ニ使用シ且投資スルヲ要ス

（七）　規定ノ規則ニ從ヒ保證基金ノ經常部及豫備基金ハ土地購買特別會計ノ一時的立替又ハ本法ノ施行ト關係有ル目

的ノ爲ニ使用スルヲ得此ノ豫備基金ハ斯ク使用セラレサル限リハ之ヲ投資スルヲ要シ其ノ收益ハ其ノ基金ノ一部ヲ成スヘキモノトス

（八）　千八百八十八年ノ蘇格蘭及愛爾蘭遺產動產稅法第一條ニ定メラレタル支拂ハ本法ニヨル保證基金カ愛爾蘭地方稅特別會計ニ代レルモノトシテ支拂ハルヘキモノトス

（九）　本法ニヨリ特別資金ヨリ支拂フヘキモノト定メラレタル凡テノ金額ハ規定ノ時又ハ規定ナキ時ハ大藏省ノ定メタル時期ニ於テ其ノ基金又ハ夫レヨリ生シタル收益ノ上ニ課セラレ又ハ夫レヨリ支出セラルヘキモノトス

（十）　大藏省ハ購買者ノ保險料ヲ含メル減債基金、土地購買特別會計保證基金、保證据置金及豫備基金ト一會計又ハ一基金ヨリ他ノ會計又ハ基金ヘノ支拂及貸附金額及本法其ノ他ノ規則施行ノ目的上必要ナル如キ賣買セラルヘキ擔保トノ間ノ割當ヲ爲スヲ得

（十一）　規定ノ名目ヲ有シ規定ノ會計ニ屬スル保證附土地債券ノ發行ハ立替及購買金ノ支拂及土地委員會カ保證据置金トシテ爲セル一定金額ノ留保ト同一ニシテ購買金及保證据置金ニ關スル土地購買法ノ規定ハ夫レ夫レ斯ク發行セラレタル保證附土地債券ニ適用有ルモノトス本法ニヨリ立替金ノ爲サレタル場合ニ於テ保證据置金ニ付支拂フヘキ利息ハ本法ニヨリ改正セラレタル土地購買法ニ從ヒ他ノ方法ニ投資セラルルマテハ年三步ヲ改メテ百磅ニ付二磅十五志ノ利率トス

第十六條　千八百八十七年ノ愛爾蘭土地法第二十條ヲ本法ニヨリテ爲サレタル立替金ニ對シテ適用スルニ當リテハ該條ハ「三」ノ字ハ「三ト八分ノ一」ト代ルモノトシテ解釋スルヲ要シ該條ニ於ケル利息ハ本法ノ目的上購買年金ノ一部タルモノト看做ス但シ其ノ部分ハ減債基金ニ拂ヒ込ムヲ得サルモノトス

第十七條　賣買ノ手續中ニ於テ土地委員會カ十分ノ一小作料負擔又ハ最初ノ小作料ヲ購買金ヨリ償却セラレ且他ノ負擔ノ優先權ヲ害スルコトナク償却スルヲ得ルモノト考フル時ハ土地委員會ハ地主ノ申請ニ基キ愛爾蘭教會財産基金ノ償却ノ爲ニ支拂フヘキ額面額ニ至ルマテ其ノ保證附土地債券ヲ該委員會ニ移轉シテ十分ノ一小作料負擔又ハ最初ノ小作料償却ニ對シ保證附土地債券ノ其ノ額ヲ移轉スルヲ得該債券ノ利息ハ愛爾蘭教會財産基金ノ爲ニ土地委員會ニ支拂フヲ要ス

國債委員ハ要求有ル時ハ本法ニヨリ減債基金ニ使用スヘキモノトシテ手中ニアル金錢ヨリ支出シテ愛爾蘭教會財産基金ノ爲ニ額面額ト等シキ價格ヲ以テ保證附土地債券ヲ購買スルヲ要ス

第十八條　千八百八十二年ノ土著地法ノ意義ニ於テ土著地ナル土地カ本法ヲ以テ改正セル土地購買法ニヨリ賣却セラルル時及其ノ土地カ千八百六十九年ノ愛爾蘭教會法第十二條ノ規定ニヨリ設定サレタル年賦抵當（iustalment mortg-age）ニ服スルカ又ハ千八百七十二年愛爾蘭教會改正教會法ニヨリ十分ノ一小作料負擔ノ購買ニ關シ支拂フヘキ年賦金又ハ千八百六十九年ノ愛爾蘭教會法又ハ千八百七十二年愛爾蘭教會改正教會法ニヨリ十分ノ一小作料負擔金抵當、負擔、年賦金又ハ其ノ土地ニ付キテ賣却ニ際シ割當テラレタル金額ヲ償却スルカ爲ニ其ノ金額ヲ使用スルモ適法ナルモノトス

第十九條　（一）小作人ニ賣却セラレタル小作地ニ含マレタル土地カ千八百八十二年乃至千八百九十年ノ土著地法ノ意義ニ於ケル土著地ニシテ且其ノ小作地ノ購買金カ土著ノ受託者ニヨリテ受領セラレタル場合ニ於テハ此ノ受託者ハ千八百八十二年乃至千八百九十年ノ土著地法ノ規定スルトコロニ從ヒ又ハ要求スル同意ニ從ヒ任意ニ土著地法ノ許シタル擔保ヲ以テ又ハ其ノ時ノ終身小作人及其ノ配偶者ニ次イテ終身間又ハヨリ大ナル利益ニ付キ金錢ヲ受ク

ル權利有ル人ノ同意セル他ノ擔保ヲ以テ其ノ金ヲ投資スルヲ得若シ斯ル人カ無能力者ナル時ハ同意ハ土地財産權裁判所法第七十三條ニ規定セル方法ニ依リテ之ヲ爲スヲ得

（二）右ノ權利ヲ有スル者カ受託者ナル場合ニハ何等ノ責任ヲ負フコトナクシテ右ノ同意ヲ與ヘ且賣買契約ヲ爲サレサル前ニ同意ヲ爲スヲ得而シテ右ノ權利ヲ有スル者カ普通法上ノ小作權者ナル場合ニ於テハ普通法上ノ小作人ノ全財産價格ノ半額以上ヲ代表スル者ノ過半數ニ於テ右ノ同意ヲ與フルヲ得

（三）土著地ノ場合ニ於テ土著財産ノ受託者無キ時ハ賣買契約ノ締結前ニ千八百八十二年乃至千八百九十年ノ土著地法ニヨリ受託者ヲ任命スルヲ得而シテ右ノ土著財産ノ受託者ハ賣買契約ノ締結前ニ賣買ニヨリ生スル金額ノ投資セラルヘキ擔保ニ同意スルヲ得

（四）本條ハ右ノ投資カ千八百八十二年乃至千八百九十年ノ土著地法ニヨリ認許サルルニ非サレハ土著契約ニ依リテ特ニ禁シタル擔保ニ於ケル投資ヲ認許スルヲ得ス但シ一般ニ土著契約ニ記載ナキ擔保ニヨル投資ノ禁止アル場合ニ於テモ其ノ效力ヲ有スルモノトス

第二十條　十分ノ一小作料負擔年金、小作料負擔、小作料又ハ夫等ノ割當部分カ千八百八十七年ノ愛爾蘭土地法ノ規定ニヨリ償却スヘキコトヲ命セラレタル場合ニ於テハ土地委員會ハ其ノ償却金ニ關シ該法律第十四條第一項規定ノ權能ヲ有シ該法律第十六條ノ規定ハ十分ノ一小作料負擔小作料ニ影響シテ優先小作料又ハ第三者收得小作料ニ適用有ルモノトス

第二十一條　本法ノ規定ニヨリ郡定利息又ハ大藏省分擔金ノ全部又ハ一部カ郡内ニ於ケル勞働者住宅ノ建設費用ノ爲ニ使用セラルル時ニハ千八百八十三年ノ愛爾蘭勞働者法第十六條ハ改良計畫カ住宅ニ當テラルヘキ半「エーカー」ヲ超

過セサル地區又ハ庭園ニ付キテ規定セル範圍ニ於テ適用ナキモノトス而シテ斯クノ如キ住宅ハ其ノ地區又ハ庭園ヲ設クヘキモノトス・

但シ該法律ノ規定アルニ拘ラス地方官憲カ右ノ金額ヲ以テ現存住宅ヲ購入シ又ハ修繕スルモ適法ナリトス

第二十二條　（一）二郡以上ニ亙ル小作地ハ本法ノ目的上土地委員會カ小作地ノ面積及價格ヲ參照シテ決定シタル何レカ一方ノ郡ノ土地ニ在ルモノト看做ス

（二）本法附款明記ノ都市郡及町村郡ハ本法ノ目的上其ノ目的ノ爲ニ其ノ中ニ命名シタル郡ニ含マルルモノト看做ス且本法ニ從ヒ其ノ郡ニ付キ徵收セラルヘキ金額ハ總督之ヲ都市郡又ハ町村郡ト郡ノ他ノ部分トノ間ニ面積ノ課稅價格ニ比例シテ割當ツヘキモノトス而シテ本法ノ徵收ニ關スル規定ハ適當ノ修正ヲ加ヘ特ニ郡ノ陪審裁判ハ都市又ハ町村郡ノ陪審裁判ニ代リ公金ノ提供ニ付陪審官ノ權限ヲ與ヘラレタルモノニ代リテ右ノ都市又ハ町村ノ郡ニ適用スルモノトス

（三）本法ノ規定ハ本法附款第二所揭ノ都市ニハ適用ナシ但シ大藏省分擔金及愛爾蘭遺產動產稅ノ割當ニ付テハ本法ノ適用有ルモノトシテ其ノ權利ヲ有スルモノトス

（四）但シ斯ル市街地ノ町會カ決議ヲ以テ宣言スル時ハ本法ハ本法附款第一所揭ノ都市同樣ニ適用有ルモノトス郡ノ一部ニ付キテモ亦同シ而シテ斯ル市街地カ二以上ノ郡ニ亙レル時ハ其ノ各部分ハ其ノ部分ノ存スル郡ノ一部ト做ス

第二十三條　（一）保證据置金ハ其ノ一部ト雖直チニ實行スルヲ得サル擔保ヲ以テスルヲ得ス

（二）土地購買法ノ規定ニ拘ラス立替金カ該法律又ハ本法ニヨル小作地ノ購買金ノ四分ノ三ヲ超ユル立替金ノ場合ニ於テハ凡テ土地委員會ハ保證据置金ヲ立替金ヨリ留保スルヲ要ス但シ其ノ据置金カ以外ノ目的ノ爲設ケラレタル時ハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條　土地委員會カ小作地賣却ノ權能ヲ行使スルニ當リ過失ニヨリ法律上行使スルヲ得ル購買年金ノ支拂ニ依テ斯ル小作地ヲ賣却シ且其ノ購買者カ當時其ノ小作地ニ關スル保證据置金ノ所有者ニシテ且夫レヨリ生スル收益ヲ受クル權利ヲ有スル者ナル時ハ土地委員會ハ斯ル購買者ノ請求ニヨリ且其ノ据置金ニ特ニ利害關係有ル者ノ同意ヲ得テ其ノ据置金ヲ年金額ヲ支拂フニ要求セラレタル購買金ノ支拂ノ爲ニ其ノ範圍ニ於テ使用スルヲ得而シテ小作地ノ購買者ハ保證据置金ノ資本ヲ受クル權利有ル者ノ利益ノ爲ニ其ノ額タケヲ負擔シ購買金ノ將來ノ年賦金ニ服スヘキ旨ヲ命令ヲ以テ宣言スルコトヲ得

第二十五條　土地委員會カ委員會ニ對スル支拂債務ノ不履行ノ爲ニ小作地ヲ賣却セシムル權利有ル時ハ常ニ其ノ適當ト認ムル高等法院ノ規則ノ定ムル方法ニヨリ州執行官ヲシテ該小作地ヲ占有セシムヘク高等法院ニ控訴スルヲ得然ル時ハ高等法院ハ適當ノ證據ヲ參照シ其ノ命令ヲ發スルヲ得州執行官ハ占有取得ノ爲其命令ヲ實施スルヲ得本條ニヨリ發セラレタル命令ハ其ノ裁判所ノ發シタル命令ニ付現行法上存スル控訴權ニ服ス

裁判所ハ其ノ手續ニヨリ土地委員會ニ對シテ支拂フヘキ金額ヲ定メ若シ命令ヲ以テ制限シタル期間内ニ命令ノ發セラレタル者カ其ノ手續費用ト共ニ其ノ額ヲ支拂フヘキ時ハ土地委員會ハ夫レニ從ヒ之ヲ認證スルヲ要シ斯ル命令ハ發セス且實行スルヲ得ス

第二十六條　（一）千八百八十一年愛爾蘭土地法第十九條ノ規定及其ノ改正規定ハ土地購買法律及本法ニヨル小作地購買ノ爲ニ爲サレタル立替金ニ付凡テノ場合ニ適用ス而シテ小作料決定ニツキ土地委員會ニ該法ヲ以テ附與シタル

權能ハ賣買契約ノ認許ニ當リ土地委員會之ヲ行使スルヲ要ス而シテ其ノ目的ノ爲ニ該條及該法ニ於ケル「勞働者」ナル文字ハ農業ノ普通ノ季節ニ於ケル占有カ小作地ニ於ケル雇傭仕事ナル者ヲ意味シ且牧者ヲモ含ムモノトス

(二) 土地委員會ノ任命シタル視察員ハ小作地カ使用セラレタル立替金ノ爲ノ充分ナル擔保ヲ生スルヤ否ヤ及小土地上ニ雇傭セラルル勞働者ノ住宅供給狀態ヲ視察シ土地委員會ニ之ヲ報告スルノ義務ヲ有ス

(三) 命令カ小作地ノ雇傭勞働者ノ利益ノ爲ニ發セラレタル時ハ此ノ命令ニヨル罰金回復ノ爲ノ手續ハ只其ノ勞働者カ雇傭關係ヲ離レタルノ故ヲ以テ無效トスルヲ得ス

第二十七條 (一) 大藏省ハ本法本章ヲ效果有ラシメンカ爲規則ヲ定ムルヲ得特ニ次ノ諸點ニ付キテ

(a) 減債基金ト債券ノ發行及購買又ハ償却サレタル時ノ債券ノ燒棄及減債基金ヘノ繰入及燒棄債券ノ爲ノ配當

(b) 徵稅長官及會計檢査長官其ノ他ニヨル支出收入ニ關スル會計檢査

(c) 有ノ如キ規則ニヨリ出サレタル證書ノ決濟

(二) 右規則ハ之ヲ議會ニ提出シ本法ニ於テ規定セラレタルト同一ノ效力ヲ有シ債券ノ發行償却又ハ減債基金ニ關スル範圍ニ於テハ議會ノ同意ナクシテ之ヲ變更スルヲ得ス

第二十八條 (一) 本法施行後土地委員會ハ之ヲ永久存續スヘキモノトス但シ大法官ハ司法委員以外ノ委員ヲ無能力不都合ノ故ヲ以テ變更スルヲ得

(二) 凡テノ變更命令ハ其ノ理由ヲ述フルヲ要シ三十日以內ニ議會ニ提出セラルルカ又ハ兩院中ノ一カ之ニ反對スル決議ヲ爲スニ非サレハ其ノ效力ヲ發生セス

(三) 前述ノ場合ヲ除キ各委員ハ (司法委員ヲ除キ) 愛爾蘭區裁判所判事ト同樣ニ其ノ地位ヲ保證セラル而シテ其ノ俸給ハ政府特別資金ヨリ之ヲ支給ス

但シ委員ハ本法ノ理由ニヨリ恩給ヲ受クルノ權利ヲ有セス但シ本法通過セサルトキ權利有ル者ハ此ノ限ニ在ラス

(四) 大法官ハ高等法院ノ裁判長及書記長ヲ除キ高等法院ノ判事ヲ以テ改正セル土地購賣法ノ目的ノ爲ニ其ノ指定スル期間內兼任司法委員トシテ指名スルヲ得右指名セラレタル判事ハ其ノ期間內該法律ノ司法委員ト同樣ニ法律上ノ爭ヲ決シ控訴ヲ受理スルノ裁判權ヲ有ス

(五) 司法委員ハ臨時ニ其ノ聯合ヲ行フヲ得ス又ハ缺員有ル時ハ大法官ハ他ノ判事ヲ指名シテ臨時其ノ代理ヲ命スルヲ得右指名セラレタル判事ハ其ノ缺員又ハ職務不行使ノ期間內司法委員ト同一ノ裁判權ヲ有ス

(六) 高等法院ノ判事ニシテ千八百八十八年一月一日以前ニ任命セラレタルモノハ其ノ同意ナクハ本條ニヨル指名ヲナスヲ得ス

(七) 總督及大藏省カ土地委員ノ多數ノ委員ヨリノ報告ヲ受ケ之ヲ考慮シタル後土地委員會ノ幹部ノ永久的組織トシテ必要ニシテ且適任ナリト決定シタル土地委員會ノ補助委員及土地委員會ノ被用者ハ本法通過後最初ノ一月一日ヨリ土地購買法ニ拘ラス老齡退役法 (恩給法) 第十七條ノ意味ニ於テ國王ノ永久的官吏タルモノトス

以前ニ愛爾蘭教會財產委員會又ハ土地委員會ニ任用セラレ繼續シテ國王ノ官吏タル者ニ於テハ愛爾蘭教會財產委員又ハ土地委員會ノ下ニ於ケル就官年限モ老齡退役恩給年限計算ノ上ニ加算スヘク且大藏省ノ決定シタル退役恩給ハ愛爾蘭教會財產基金ノ負擔トシ該基金ヨリ支拂フヘキモノトス

(八) 千八百八十五年愛爾蘭土地購買法第十七條ノ規定ニ拘ラス委員ハ土地購買法及本法施行ノ爲ニ該法律ヨリ生スル法律上ノ爭點ヲ司法委員ノ決定ニ委スルヲ得然レトモ其ノ決定ニ付キテハ該委員ハ司法委員ニ參加スルノ必要ナシ

第二十九條 (一) 千八百八十五年愛爾蘭土地購買法第十七條ノ規定ハ千八百八十一年ノ愛爾蘭土地購賣法第五章及其ノ改正法律ニヨル土地委員ノ裁判權ヲ制限スルモノト推定スルヲ得ス且該法律施行ノ爲土地委員ノ爲シタル行爲ハ土地委員會ノ爲シタル行爲ト同樣ニ有效ナルモノトス

但シ之ニ不服有ルモノハ該法律施行ノ爲ニ委員カ單獨ニ爲シタル決定ニツキ控訴スルヲ得而シテ其ノ控訴カ法律上ノ問題ナル時ハ司法委員ニ、其ノ他ノ事件ニ付キテハ三名ノ委員ニ爲スヘク其ノ中ノ一人ハ司法委員他ノ一人ハ千八百八十五年ノ土地購買法ニヨリ任セラレタル委員他ノ一人ハ千八百八十一年ノ土地法ニヨリ任セラレタル委員トス但シ該法律實施ノ爲ノ土地委員會ノ命令ハ第一ニハ單獨委員之ヲ爲スヘキモノトス

(二) 土地購買法及本法ニヨル立替金ノ認許ノ義務ハ相當小作料カ千八百九十一年六月一日以前ニ申請セラレタル相當小作料カ處理サルルマテハ千八百八十五年ノ土地購買法ニヨリ任セラレタル委員專ラ之ヲ履行スヘキモノトス

(三) 千八百八十五年ノ土地購買法ニヨリ任セラレタル委員ハ千八百八十五年ノ土地購買法第十七條ニヨリ總督カ何等ノ命令ヲ發セスト雖千八百八十一年ノ土地法ニヨリ任セラレタル土地委員會委員ニ(司法委員ヲ除ク)ト同一裁判權ヲ有ス

(四) 單獨委員ノ決定ニヨリ認許サレタル本法ニヨル立替金ノ擔保カ不充分ナリト認ムル時ハ總督ハ本條規定ノ方法ニヨリ三人ノ委員ニヨリ再審スヘキコトヲ要求スルヲ得

(五) 小作人ニヨル土地ノ獲得ニ關シテ本法施行ノ際有效ナル一般的規則及命令ハ後ニ規定スル規則ニヨリ明白ニ變更セラルルマテハ本法ニヨリ發セラレタル命令ト同樣ニ本法ヲ以テ改正セル土地購買法ニ依ル凡テノ手續ニ於テ有效ナルモノトス

(六) 本法ヲ以テ改正セル土地購買法ヲ實施スルカ爲ニ土地委員會ノ發スル凡テノ規則ハ司法委員ヲ含ミテ委員ノ過半數ヲ以テ作ルヲ要ス

第三十條 千八百八十一年ノ愛爾蘭土地法第四十三條及第四十四條ニヨリ土地委員ニ附與セラレタル代表ノ權限ハ土地購買法ヨリ生スル義務ノ履行ニ付テハ適用ナキモノトス

第三十一條 小作人カ土地購買法ニヨリ小作地ヲ購買スルノ契約ヲ締結セル場合ニ於テハ土地委員會ハ賣買契約カ規定スル場合ニ適當ト認ムル時ハ賣買ノ目的上小作地ノ境界タ|バリー(appurtenances)等ニ關シテ生スル凡テノ疑問ヲ決定スルノ權限ヲ有ス

第三十二條 土地委員會ハ本法及千八百八十五年及千八百八十八年ノ土地購買法ニ依ル立替金ニ關スル決定ヲ總督カ規則ヲ以テ定ムル方法ヲ以テ公示スルヲ要ス

第三十三條 土地委員會ハ每年規定ノ時ニ於テ定期ノ決算報告ヲ爲シ直チニ議會ニ提出スルヲ要ス此ノ決算報告ハ各費ニ付明細ニ示スヲ要ス卽チ

a 本法ニヨル立替金ノ決算報告卽チ

一、其ノ購買ノ爲ニ立替金ノ爲サレタル小作地ノ位置、面積、課稅價格及小作料(法定又ハ契約上ノ)

二、小作地ノ賣主買主

三、購買金、立替金及保證基金ノ總額
四、其ノ小作地ニ付本法ヲ以テ改正セル千八百八十一年ノ土地法第十九條ニ依リテ發セル命令ノ內容
b　過失ニヨリ購買年金ヲ拂ハサリシ場合ニ關シ上記ノ明細及立替ノ日附及年賦金ノ額及過失ニヨル年賦金回復ノ手續及小作地賣却ノ際ノ損失高ノ決算報告
c　次ノ決算報告
一、臨時ニ政府特別資金ヨリ支拂ヒタル額及保證基金ヨリ土地購賣特別會計又ハ政府特別資金ヘ拂込ミタル金額
二、本法ニヨリ勞働者住宅供給費用ノ爲ニ使用シタル額
三、本法ニヨリ爲サレタル提供
四、郡官憲人民ノ基金又ハ本法ニ關係アル金額ニ對スル割當額ニ關シ及小作料五十磅ヲ超過スル小作地ト其ノ他ノ小作地トノ間ノ立替金ノ割合ニ關シテ總督ノ發シタル規則及決定
五、本法ニヨル購買者ノ保險料ヨリ支拂ハルル額及豫備基金ヨリ支拂ハレ本法ニヨリ右基金ニ償還セラルル金額

第二章　稠密地方

第三十四條　（一）本法通過後二十年間及其ノ後議會ニ於テ反對ノ決定ヲ爲スマテハ愛爾蘭稠密地方局ナル一局ヲ設ケ書記長及總督カ特ニ農業及林業ヲ代表スル者ト指名シ且局外員タル土地委員會ノ一委員及他ノ五名ノモノヲ以テ組織ス書記長不在ノ時ハ總督附副書記官之ニ代ル
（二）陛下ハ親署アル證書ニヨリ局外員以外ノ官吏ノ缺員ヲ任命補充シ且同樣ニ漁業農業其ノ他特殊ノ事件ニ關スル局ノ事務ノ目的上三名ヲ超エサル臨時局員ヲ任命スルヲ得
臨時局員ノ任期ハ其ノ證書所定ノ期間內トス
（三）臨時局員ヲ除ク三名ノ局員ハ定足數ヲ成シ局ノ事務ハ三名ノ局員之ヲ行フヲ得
第三十五條　（一）本法本章ノ目的上百五十萬磅（本法ニテハ之ヲ剩餘教會稅ト呼フ）ヲ年二歩四分ノ三ノ利息ヲ附シテ愛爾蘭教會財產基金ノ負擔トス此ノ利息ハ後ニ規定スル保證基金ノ目的上必要トセラレサル限リハ本法ノ目的上稠密地方局ノ命スルカ如ク處分シ支拂ヒ又ハ使用セラルヘキモノトス
（二）土地委員會ハ大藏省ノ指定スル時期ニ於テ剩餘教會稅ニ對スル利息ヲ支拂フヲ要シ必要ナキ限リ大藏省ノ指定ニ從ヒ投資スルヲ得、投資ノ元金及收益ハ利息同樣ニ之ヲ處分スルヲ得
（三）土地委員會ハ大藏省ノ同意ヲ得テ大藏省及總督ノ意見ニテハ保證基金ノ臨時部ノ目的上モ必要ナキモノトセラルル剩餘教會稅ノ元金ヲ本法ノ目的上稠密地方局ノ指定スルカ如ク處分支拂使用スルヲ得
（四）千八百八十一年ノ土地法（愛爾蘭）第三十二條、千八百八十二年ノ滯納小作料法（愛爾蘭）第二十條及千八百八十三年ノ愛爾蘭鐵道及公共會社法第十二條ハ之ヲ廢止ス
（五）借款ニ基キテ支拂フヘキ凡テノ金錢ヲ否ミテ愛爾蘭再生產公債基金、海上及沿海漁業基金及海上及沿海漁業基金ノ一部ヲ成セル二萬磅ヲ除キ其ノ基金ニ基キテ利息配當其ノ他ノ爲ニ年々支拂フヘキ收益ハ本法ノ目的上局ノ自由處分ニ委セラル但シ其ノ基金カ本法通過前ニ使用セラレタル郡ニ於テノミ之ヲ使用スヘク該二萬磅ハ公共事業委員之ヲ保留シ本法ノ通過ナカリシモノノ如ク稠密地方以外ニ於テ支出スヘキモノトス
第三十六條　（一）本法施行ノ際一郡ノ（ヨーク郡ニ於テハ一區ノ）人口ノ二割以上ノ者カ全課稅價格ヲ人口數ヲ以テ

除シタル時各一人ニ付キ一磅十志以下ナル選擧區ニ住スル場合ニ於テハ其ノ選擧區ハ本法ノ目的上地理上夫レノ存在スル郡トハ別ニ一郡ヲ成シ（本法ニテハ之ヲ稠密地方郡ト呼フ）保證基金ノ一部ニ於ケル一郡ノ割當額ニ關スル本法ノ規定ハ必要ナル修正ヲ加ヘテ右ノ郡ニテ適用有ルモノトス

（二）本法通過後一年以內ニ稠密地方局カ本條ノ規定ノ下ニ前述ノ區以外ノ選擧區ヲ包含シ又ハ之ヨリ除外スルヲ適當ト認ムル時ハ總督ハ局ノ報告ニ基キ適法ニ右ノ區ヲ包含又ハ除外スルヲ得

（三）剩餘教會稅ノ利息ハ保證基金ノ臨時部ヲ成シ其ノ基金ノ目的上國有財產上ノ稅率ニ從ヒ使用スルヲ要シ人口ニ比例シテ稠密地方ノ間ニ分配スルヲ要ス

（四）「模範學校及ヒ國立學校」ト稱スル會計中ノ地方稅ハ稠密地方郡ニ對スル保證基金ノ臨時部ヲ成ササルモノトス

（五）本法ニヨリ金錢ヲ稠密地方郡ヲ除外シタル他ノ郡ヨリ徵收スヘキ時ハ其ノ一部ト雖其ノ郡內ノ世襲財產ニ課シ又ハ之ヨリ取立ツルヲ得サルモノトス

（六）本法ニヨリ金錢カ稠密地方郡ヨリ徵收セラルヘキ場合ニ於テハ其ノ額ノ半額ハ剩餘教會稅ノ利息ニ於ケル其ノ郡ノ割當額ヨリ支出スルヲ要ス殘餘ハ總督之ヲ他ノ郡ヨリ徵收スルヲ要シ其ノ請求ハ之ヲ陪審裁判所ノ書記ニ送リ之ニ從ヒ支拂フヲ要ス但シ稠密地方郡內ノ世襲財產ニ課シ之ヨリ取立ツヘキモノトス

第三十七條（一）小小作地ヲ稠密地方郡ニ統一センカ爲ニ稠密地方局ハ

(a) 自ラ處分シ得ル金錢ヨリ小作地ノ占有者ノ（其ノ家族ト共ニ）移住ニ對スル特別補助ヲ與ヘ其ノ小作地ノ利益ヲ隣接小作人ニ與ヘ且小小作地ヲ統一シ又ハ土地委員會ニ其ノ利益ヲ與フルコトヲ條件トシテ最初ニ移住シタル土地ニ有利ナル狀況ニ於テ土著セシムルヲ得

(b) 購買年金及保證據置金ノ割當ニヨルト又ハ小作地上ノ利益ノ購買ノ爲ノ立替金ヲ爲スニヨルトヲ問ハス土地委員會ヲシテ小作地ノ統一ヲ容易ナラシメルコト

右立替金ハ之ヲ局ノ準備金ヨリ支出シ立替カ土地購買法ニヨリ爲サレタルト同樣ニ小作地ニ課ス年金ヲ以テ償却スヘキモノトス但シ年金ノ爲ニ土地委員會ノ受クル金額ハ凡テ局ニ支拂フヲ要ス其ノ年金ハ統一小作地ニ之ヲ課スヘク購買小作地ニノミ課スヘキニ非ス而シテ購買セラレサル小作地ノ部分ノ優先負擔及各小作地ノ小作料ニ服スルモノトス

（二）小作地ハ本條ニ依リテ之ヲ統一スルモ局ノ意見ニヨリ課稅價格二十磅ヲ超ユルモノニ增大スルヲ得ス

（三）稠密地方郡ニ於テ本法ニ依ル債券ノ發行ヲ以テスル立替ニヨリテ購買サレタル小小作地ハ其ノ上ニ課セラレタル購買年金ノ繼續スル間近隣ノ小作地ノ占有者及土地委員會以外ノ者ニ之ヲ賣却スルヲ得ス若シ賣却サレタル時ハ土地委員會ハ條件違反ノ爲ト同樣ニ千八百八十一年ノ土地法第三十條ニヨリ其ノ小作地ヲ賣却スルヲ得

（四）土地委員會ノ爲ス小作地ノ購買ハ稠密地方局ノ手ヲ通シテ行ヒ局ニ備ヘタル金ヨリ支出シ局ト賣主トノ合意セル價格ヲ以テス若シ合意成ラサル時ハ土地委員會其ノ市價ヲ決ス

（五）稠密地方郡ニ於ケル小小作地カ（本條ニヨルト土地購買法ニヨルトヲ問ハス）賣却セラルルノ義務有リ又ハ土地委員會ニヨリ購買セラレタル時ハ小作地統一ノ目的ヲ以テ近隣小作地ノ占有者ニ賣却スヘク努力スルヲ要ス

（六）賣買ハ土地委員會ノ定ムル條件價格ニ依リ之ヲ爲ス而シテ其ノ價格ハ統一後ノ二小作地ノ價格ト統一前ノ購買者ノ小作地ノ價格トノ差額ヨリ大ナルヲ得ス

(七) 購買金ハ土地購買法ニヨル購買ト同様ニ之ヲ立替フルヲ得但年金ハ統一サレタル小作地ノ負擔ニシテ購買サレタル小作地上ノミナラス購買セラレサリシ小作地ノ部分ノ負擔ニモ服スルモノトス

第三十八條 (一) 本法ニヨリ統一シタル小作地上ニハ住宅ハ只一個タルヘク若シ二個以上ヲ使用スル場合ニ於テハ土地委員會ハ後ニ規定スルトコロニヨリ其ノ使用カ許サレタル場合ヲ除キ其ノ小作地ヲ契約條件違背ノ爲ト同樣ニ千八百八十一年愛爾蘭土地法第三十條ニヨリ賣却スルヲ得

(二) 稠密地方局ハ特別ノ理由有リト認ムル時ハ土地委員會ノ許可ヲ求ムルヲ得此ノ時ニ於テハ土地委員會ハ統一小作地上ノ他ノ家屋ノ前占有者又ハ其ノ家族ノ一員カ局ノ同意スル期間及條件ニ依リ該家屋及夫レニ附屬スル四分ノ一「エーカー」ヲ超エサル庭園ノ管理人トナルコトヲ許可スルヲ得

(三) 本法ニヨリ統一セラレタル小作地カ統一ノ結果又ハ只一個ノ家屋ノミカ該小作地上ノ住宅トシテ使用シ得ル結果ニヨリテ其ノ價額カ他ノ統一セラレタル小作地ヨリ低キ場合ニ於テハ土地委員會ハ稠密地方局ノ要求ニ基キ其ノ差額ヲ決定シ稠密地方局ハ其ノ額ヲ自ラ處分シ得ル金錢ヨリ支出シテ損失ヲ蒙リタル者ニ支拂フヲ要ス若シ土地委員會ニ對シテ支拂ハレタル時ハ小作地上ノ購買年金ノ支拂ノ爲ニ使用スルヲ要ス

(四) 小作地ノ併合統一ニ關スル本法ノ規定ハ周密地方局カ適當ナリト認ムル時ハ小作地ノ一部ニ付テモ適用有ルモノトス

第三十九條 (一) 稠密地方局ハ適當ト認ムル時ハ次ノ事ヲ爲スヲ得

(a) 稠密地方郡ノ一部ヲ形成シ且全課稅價格ヲ人口數ヲ以テ除シタル時各一人ニ付キ一磅十志ナル選擧區ヨリノ移民保護及最初ニ移住シタル土地ニ都合良キ狀況ニ於テ土著セシムルコト

(b) 右ノ選擧區內ノ占有者ニ賣却スルカ爲ニ適當ナル馬鈴薯及燕麥ノ種子ヲ備フルコト

(c) 農業、林業、畜產業、紡織業、漁業其ノ他適當ナル產業ノ保護開發（玆ニ漁業ト云フハ埠頭港灣ノ建設漁撈用船舶用具ノ供給其ノ他漁撈ニ關係有ル產業ヲ含ム）等本法第二章ノ目的上必要ナリト認ムル時ハ土地委員會ハ購買又ハ小作權ノ設定ニヨリ其ノ土地ヲ保有シ適當ナリト認ムル條件ヲ附シテ稠密地方局ノ管理ニ附スルヲ得

(二) 右ノ種子ノ賣買ハ現金ヲ以テスルヲ要シ且現金ヲ以テ支拂フヲ得サル場合ニ於テハ（運般貯藏其ノ他ノ費用ヲ含ミ）種子ノ價格以下ニ賣買スヘキモノトス但シ其ノ費用カ此ノ目的ノ爲ニ同局ニ特ニ與ヘラレタル特權ニヨリ支拂ハルル場合ニ限ルモノトス

(三) 同局ノ指名シタル者ハ適當ノ時期ニ於テ占有者ニ適當ノ通告ヲ與ヘタル後種子ヲ買ヒタル占有者ノ土地ニ立入リ適當ニ播種サレタリヤ否ヤヲ審査スルヲ得

(四) 同局ハ直接又ハ間接ニ本條ニ從ヒ自由ニ處分シ得ル金錢ヲ使用シテ行動スルヲ得且局ノ適當ト認ムル條件ヲ以テ特權ヲ與ヘ貸金ヲ爲スヲ得

貸金ノ元金又ハ利子ヨリ生スル金錢ハ局ノ自由ニ處分シ得ルモノトス

第四十條 (一) 總督ハ土地委員會ノ吏員ニ命シテ局ノ認メテ適當ナリトスル書記其ノ他ノ者ノ義務ヲ履行セシムルヲ得且此ノ目的ノ爲ニ土地委員會ノ永久的幹部ニ吏員ヲ增加スルヲ得總督若シ是等ノ吏員ニシテ不充分ナリト認ムル時ハ大藏省ノ許可ヲ得テ局ニ必要ナル吏員ヲ使用スル權限ヲ與フルヲ得

(二) 局員ハ臨時ノ目的ノ爲ニ本條ニヨル吏員トシテ選任セラルルコトアリ然レトモ其ノ吏員タル期間ハ局員トシテ行動スルヲ得ス

(三) 局ノ使用スル吏員ノ俸給又ハ報酬及局ノ管理費用ハ大藏省之ヲ定メ議會ノ定メタル豫算ヨリ之ヲ支拂フ

(四) 稠密地方局ハ本法本章ニヨリ金錢ヲ備ヘタル目的ノ爲ニ不動産又ハ動産ノ贈與ヲ受クルヲ得而シテ意見一致スル時ハ贈與者ノ指揮ニ從ヒ之ヲ使用スルヲ得

(五) 局ニ與ヘラレタル不動産、局ノ爲シタル投資又ハ局ニ與ヘラレタル擔保ハ土地委員會之ヲ保持又ハ贈與ヲ受ケ土地委員會ハ本法本章ノ目的ノ爲又ハ事情ノ要求スルトコロニ從ヒ之ヲ信託的ニ保持スルヲ得

(六) 稠密地方ハ年々及特別ノ目的ノ爲ニ臨時ニ大藏省ノ定ムル形式ニヨリ局ノ支出スヘキ額ヲ示シテ豫算ヲ大藏省ニ提出スルヲ要ス而シテ稠密地方局ハ豫算ニ從ハスシテハ金ヲ支出スルヲ得ス但シ大藏省ノ認許ヲ得テ愛爾蘭ノ地方債ノ爲ニ使用シ得ヘキ金錢中ヨリ剩餘教會稅ノ年收入ヲ擔保トシテ保證基金及局ノ處分權有ル金錢ノ目的ノ爲ノ收入ノ責任ヲ考慮シ大藏省カ保證基金ニヨリ與ヘラレタル擔保ニ損害ヲ與フルコトナクシテ適當ニ借用シ得ヘキモノト考フルタケノ金額ヲ借入ルルヲ得

(七) 稠密地方局ハ其ノ受領及支出ノ決算書ヲ保存スルヲ要シ其ノ決算書ハ大藏省ノ定ムル規則ニ從ヒ會計檢査ヲ行ヒ且議會ニ提出スルヲ要ス

第四十一條 稠密地方局ハ千八百九十一年以後每年本法ニ依ル手續ニ依リ總督ニ對シ報告書ヲ作ルヲ要シ其ノ報告書ハ之ヲ議會ニ提出スルヲ要ス

第三章 定義、廢止其ノ他

第四十二條 本法ニ於テ標題又ハ內容カ反對ニ規定セサル限リハ

「地方總督府」ト云フハ愛爾蘭總督府ヲ云ヒ

「規定ノ」ト云フハ本法ニ從ヒ大藏省ノ作レル規則ニ規定セルヲ云ヒ

「愛爾蘭地方稅特別會計」ト云フハ千八百八十八年ノ蘇格蘭愛爾蘭遺產動產稅法ニヨリ遺產動產稅ニ關シ愛爾蘭地方稅特別會計ニ支拂ハルヘキ稅ヲ云ヒ

「政府特別資金」ト云フハ聯合王國ノ政府特別資金ヲ云フ

「國債證券」ト云フハ千八百八十八年ノ國債借換法ニヨル永久的年金ノ資本債券ヲ云ヒ

「陪審裁判」ト云フハ提出條件ヲ含ミ且「陪審判事」ト云フハ高等法院ノ判事ヲ含ミ「郡會計官」ト云フハ財政委員會及郡會計ヲ扱フ他ノ者ヲ含ム

「課稅價格」トハ世襲財產又ハ面積ニ付テ云フトキハ世襲財產又ハ其ノ面積ニ含マレタル世襲財產ノ愛爾蘭價格測定法律ニヨル課稅價格ヲ云ヒ

「小作地ノ年價格」トハ土地購買法ニヨル立替ノ爲ノ使用ノ日ニ於テ其ノ土地ノ小作料タル年額ヲ云ヒ地主カ其ノ日以後五年間救貧稅又ハ陪審又ハ十分ノ一小作料負擔ノ爲ニ支拂フヘキ平均年額ヲ控除シタルモノトス但シ使用サレタル立替金カ認許サレタル後購買者ハ土地委員會ニ申請シテ小作地ノ年價格ヲ決定シ其ノ額ヲ年價格ト稱ス

「購買年金」ト云フハ本法ニヨル債券ノ發行ニヨリテ爲サレタル小作地購買ノ爲ノ立替金償却ノ爲ノ年金ヲ云ヒ「人口」ト云フハ最近ノ統計ニヨル人口ヲ云ヒ

「地方稅」ト云フハ地方稅補助又ハ地方的目的ノ爲ニ議會ノ備ヘタル金錢ヨリ支拂ハレタル稅ヲ云ヒ

「土地購買法律」ト云フハ千八百七十年ノ地主小作人法(第二章第三章)千八百七十二年ノ地主小作人法千八百八十一年ノ土地法(第五章第六章第七章)千八百八十三年ノ鐵道公共會社法(第二章)千八百八十五年及千八百八十八年ノ土地購買法千八百八十七年ノ土地法(第二章第四章)及千八百八十九年ノ土地購買法改正法ヲ云ヒ是等及本法ハ之ヲ千八百七十年乃至千八百九十一年ノ土地購買法ト呼フ「千八百八十五年及ヒ千八百八十八年ノ土地購買法」ト云フハ千八百八十五年ノ土地購買法及千八百八十八年土地購買法改正法ヲ云ヒ

「愛爾蘭教會財産基金」ト云フハ千八百八十一年ノ愛爾蘭教會法改正法ニヨリ土地委員會ノ管理スル基金ヲ云ヒ

「小小作地」ト云フハ課稅價格十磅又ハ稠密地方局ノ定メタル額以下ナル小作地ヲ云ヒ

「占有者」ト云フノハ小作人タルト地主タルトヲ問ハス占有者ヲ云ヒ

「郡」ト云フハ財政目的上郡ト分離サレタル郡中ノ區ヲ意味シ

「土地判事」ト云フハ高等法院ノ衡平法部ノ土地判事ヲ云フ

The Land Judge of the Chancery Division of the High Court.

第四十三條 (一) 附款第三所揭ノ法律ハ該表所揭ノ範圍ニ於テ玆ニ之ヲ廢止ス

(二) 本法ハ土地購買法律ト共ニ解釋スルヲ要シ千八百九十一年ノ愛爾蘭土地購買法ト稱スルヲ得

附款

第一附款 郡中ニ包含セラルル都市郡及町村郡

名稱	包含スル郡
キルケニー市ノ郡	キルケニー
キヤリツクファーガス町ノ郡	アントリム
ゴールウエー町ノ郡	ゴールウエー
ドロゲダ町ノ郡	ルース

第二附款 本法ノ適用ナキ都市

ダブリン
コーク
ベルファスト
リメリツク
ロンドンデリー
ウオーターフオード

第三附款 廢止法律

本法ノ施行ニヨリ廢止セラルヘキ法律

號及年度	名稱	廢止ノ範圍
ヴイクトリア第四十	千八百八十一	第四十一條「二人ノ委員」以下「本法通過」マテ

四年及第四十五年ノ法律第四十九號	年ノ愛爾蘭土地法	「七年ノ期間内ヨリ」ノ語 「任命セラレタル者」ヨリ本條ノ終リマテ 第五十三條　總督及大藏省カ本法ニヨリ任命シタル吏員其ノ他國王ノ永久的官吏ニ適用アル部分 第三條「土地委員會」ヨリ「年利率」マテ債券ニヨル立替金ニ關スル部分 第十七條「繼續スルヲ要ス」ヨリ「任命」マテ 「三年ノ期間内」ノ語 「任命セラレタル者」ヨリ「爲シタル」マテ 第二十四條　本條最初ニ現ハルル 「政府特別資金ヨリ」ノ語ヨリ本條ノ終リマテ
ヴィクトリア第四十八年及第四十九年ノ法律第七十三號	千八百八十五年ノ愛爾蘭土地購買法	
ヴィクトリア第五十一年及第五十二年律法第四十九號	千八百八十八年ノ愛爾蘭土地購買法改正法	第五條

第七　千八百九十三年ノ稠密地方局法

(The Congested District Board (Irland) Act 1893)

土地ノ購買及保有ニ關スル愛爾蘭稠密地方局ノ權限ヲ改正スル法律（千八百九十三年八月二十四日）

略稱及解釋

第一條　本法ハ愛爾蘭ニ於ケル千八百九十三年ノ稠密地方局法ト稱シ愛爾蘭ニ於ケル千八百九十一年ノ土地購買法第二章ノ一部トシテ解釋セラルヘキモノトス

稠密地方局ニ依ル土地購買及所有權保有

第二條　（一）愛爾蘭稠密地方局ハ千八百八十一年ノ土地購買（愛爾蘭）法第二章ノ目的ヲ達スル爲ニ稠密地方州ニ於ケル小小作地擴張ノ目的ヲ達スル爲ニ土地ヲ獲得スル權限ヲ有シ其ノ獲得シタル土地ニ付テハ千八百七十年乃至千八百九十一年ノ土地購買（愛爾蘭）法ノ意味ニ於ケル地主タルモノトス

（二）稠密地方局ヲシテ土地、所有權、投資又ハ擔保ヲ保有セシムルカ爲ニ其ノ隨時ノ任命ニカカル委員二名ノ氏名ヲ高等法院ニ「愛爾蘭稠密地方局受託人」トシテ登記スヘキモノトス而シテ稠密地方局ノ獲得シタル土地、擔保及其ノ他ノ所有權ハ右受託人カ稠密地方局ノ委託ニ依リ受託人ノ名ヲ以テ之ヲ保有スヘキモノトシ受託人タル者ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テハ讓渡又ハ保證無クシテ新ニ登記セラレタル受託人ニ移轉シ其ノ者カ稠密地方局ノ指揮ヲ受ケテ之ヲ處理スヘキモノトス

（三）以前ニ土地委員會カ稠密地方局ノ爲ニ獲得シタル總テノ土地ハ本法ニ依ル受託人ノ登記アリタルトキハ讓渡無

クシテ其ノ受託人ニ移轉シ且之ヲ以テ本法ノ目的ノ爲ニ稠密地方局カ正當ニ獲得シタルモノト看做ス

(四) 千八百九十一年ノ土地購買(愛爾蘭)法第三十九條ノ內土地委員會ノ土地獲得及保有ニ關スル部分及第四十條第五項ハ之ヲ廢止ス

第八　千八百九十六年ノ土地法

(本法第一條乃至第二十四條、第四十八條乃至第五十二條及第一附款ハ關係ナキニヨリ省略)

(The Irish Land Act,1896)

第三編　土地購買

第二十五條　(一)　本法ノ開始後土地購買法ニ依リテ爲セル立替金ニ在リテハ購買年賦金ハ

(a) 年賦金ノ最初十年間ハ立替金總額ニ依リ

(b) 第二第三ノ十年間ハ本條ニ規定セル如ク前十年末ニ不拂タルコトヲ確定セル立替金ノ部分ニ依リ

(c) 第三十年ノ末以後ハ本條ニ規定セル如ク其當時不拂タルコト確定セル立替金ノ部分ニ依リ

之ヲ計算シテ支拂ヒ本條ニ規定セル如ク立替金全部ノ支拂濟トナルマテ引續キ之ヲ支拂フヘシ

(二)　土地委員會ハ國庫ノ定ムル規則ニ從ヒ

(a) 每年十月末ニ立替金中幾許カ資本ノ拂戻金ニ相當スル購買年賦金ニ付其ノ十年間ノ割戻額ヲ確カメテ立替金ノ殘金ヲ算出シ之ヲ未拂額トシ之ニ依リ爾後ノ年賦金ヲ計算シテ支拂ハシメ

(b) 何時立替金全部カ資本ノ拂戻金ニ相當スル購買年賦金ノ蓄積ニ依リ拂戻サレタルヤ否ヤヲ確ムヘシ

(三)　年賦金ヲ課セラレタル小作地所有者カ每十年末前規定ノ時期內ニ於テ土地委員會ニ對シ來十年間ノ年賦金ハ本條ニ依リテ規定サレタル方法ヲ以テ減額セサルヘキコトヲ屆出テタルトキハ年賦金ノ變更ヲ行ハス

(四)　年賦金額カ本條ニ規定セル如ク再度計算セラレタル場合ニハ土地委員會ハ之ヲ證明スヘシ其證明書ハ一切ノ目的ニ對シ確定的ノモノニシテ委員會ハ千八百九十一年ノ所有名義地方登記法(愛爾蘭)ニ依リ之ヲ登記官憲ニ送付シテ登記セシムヘシ

(五)　本條ノ前記規定ハ本法開始前土地購買法ニ依リテ爲セル立替金ニ對スル年賦金ノ場合ニ之ヲ適用ス但シ左ノ條件ニ從フ

(a) 立替金拂戻ニ對スル年賦金支拂ノ始マリタル後十年以上經過シタル場合ニハ右開始後前期滿十年末ニ未拂殘ノ立替金額ヲ確カメ今期十年ノ年賦金ニ減額ハ本法開始後次ノ小作料支拂日ヨリ之ヲ起算ス

(b) 購買者ノ保險金カ支拂ハレタル場合ニハ延滯金ト相殺セサル該支拂金額ハ恰モ資本ノ拂戻金タル購買年賦金ノ一部トシテ最初ノ十年末ニ之ヲ計算ニ入レ右ノ如ク支拂ヘル購買者ノ保險金ト延滯金トノ相殺ニ關スル規定ハ右十年末以後之ヲ適用セス

第二十六條　(一)　土地委員會ハ千八百六十九年ノ愛爾蘭教會法第五十二條ニ依リ單純抵當ニ對シ利息ヲ支拂フノ責任アル者ノ申請アリタル場合ニシテ之カ適當ト認ムルトキハ命令ヲ以テ其ノ抵當ヲ未拂抵當債務ノ元金拂戻ヲ擔保スル抵當ニ變更スルコトヲ得此拂戻ハ元金ニ對シ一箇年四步ノ率ヲ以テスル年賦金トシ一箇年三步八分ノ一ノ利息ヲ附シ元金全額ノ支拂アルマテ該抵當ニ對スル利息ノ支拂ニ付キ定メタル日ニ於テ半箇年期ニ支拂フヘキモノトス此命令ハ衡平法上該抵當ノ償却義務アルト否トヲ問ハス利害關係者全部ヲ拘束ス

（二）土地委員會ハ千八百六十九年ノ愛爾蘭教會法第五十二條及其ノ修正法律ニ依リ本條ニ依リ又ハ依ラスシテ抵當債務ヲ支フヘキ年賦金ノ割拂計算ニ對シ購買年賦金ノ計算ニ關スル上記規定ヲ準用スルコトヲ得

第二十七條　千八百九十一年ノ土地購買法（愛爾蘭）ニ依リ郡割賦金ニ充ツルヲ要スル金額ヲ本法實施後支拂期限ニ到達スル年賦金ノ割拂ニ關シテ之ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡割賦金ニ充テス國債委員ニ支拂ヒテ資本ノ拂戻金タル購買年賦金ノ部分トシテ充當スヘシ

第二十八條　（一）本法施行後小作地ノ購買ニ關スル立替金及本法制定後支拂フヘキ購買年賦金ノ割賦拂ハ購買者ノ保險金ヲ以テ支拂フヘカラス

（二）本法實施ノ日ニ支拂フヘキ購買年賦金ニ付本條ヲ以テ變更セル其ノ額ハ土地委員會之ヲ證明シ千八百九十一年ノ所有名義地方登記法（愛爾蘭）ニ從ヒ登記官憲ニ送付シテ之ヲ登記セシムヘシ

第二十九條　（一）土地委員會ハ立替金ヲ爲スニ際シ擔保預金ナクトモ其ノ立替金ノ拂戻擔保充分ナリト認ムルトキハ全部又ハ一部ノ擔保預金ヲ爲シ若ハ其ノ留保ヲ廢スルコトヲ得

（二）土地委員會ハ適當ト認ムルトキハ千八百九十一年ノ土地購買法（愛爾蘭）又ハ千八百九十一年ノ小作料償却法（愛爾蘭）ニ依リ立替金ニ關シテ爲シ若ハ留保シタル擔保預金ノ全部又ハ一部ヲ申請ニ基キテ其ノ受領權アル者ニ支拂フコトヲ得但シ該預金ノ一部カ土地購買法ニ從ヒテ事實充當セラレタル場合ハ此ノ限リニ在ラス

（三）千八百九十一年ノ土地購買法（愛爾蘭）又ハ千八百九十一年ノ小作料償却法（愛爾蘭）ニ依ラスシテ立替ヲ爲セル場合ニ於テハ土地委員會ハ十年末ニ本法ノ規定ニ依リ拂戻アリタリト確定セル立替金ノ部分ニ等シキ金額ヲ其ノ受領權アル者ニ擔保預金中ヨリ支拂フコトヲ得

第三十條　千八百八十年ノ土地購買法修正法（愛爾蘭）第二條ノ規定ニ依リ一名ノ購買者ニ立替ヘタル金額ノ計算ニ付テハ他人ノ財産ノ受託者又ハ死者ノ代理者タル購買者ニ對シテ爲セル立替金ハ若シ其ノ者カ其ノ時代理人タルコトヲ宣明スルトキハ之ヲ算入セス（本法制定後ニ爲セル立替金ニ關シテ）斯カル場合ノ立替金ハ同條ノ目的上之ヲ右立替金ノ恩澤ヲ受ケタル者ニ爲シタルモノト看做ス

第三十一條　（一）本法ヲ以テ修正セル土地購買法ニ依リ土地ヲ賣リタル場合又ハ土地判事カ土地ヲ其小作人ニ賣リテ其ノ賣却ノ目的上土地購買法ニ依リ立替金ヲ爲シタル場合又ハ貸地人カ千八百九十一年ノ小作料償却法（愛爾蘭）ニ依リテ小作料ノ償却ニ同意ヲ表シタル場合ハ斯カル土地ノ賣却又ハ斯カル同意ノ結果タル償却ハ本條ニ定義セル優先利益全體又ハ其ノ內ノ一ヨリ之ヲ履行セシム從テ斯カル場合ニ於テハ總テ土地ハ單純借地ノ購買者ニ歸屬シ優先利益及其ノ價額ハ土地ノ購買金上ニ留置權トナリ此購買金中ヨリ償却シ又ハ支拂フヘキモノトス

（二）歸屬命令ハ其ノ命令ニ規定スル例外及留保ニ從フ但シ購買契約ニ其ノ例外及留保ヲ記載セルカ又ハ後ニ至リ賣主買主共ニ之ヲ承知シテ土地委員會之ヲ承認シ土地委員會カ其ノ例外及留保ノ結果ヲ買主ニ說明シテ買主之ヲ了解シタルカ又ハ賣主ノ辯護士（Beliciter）以外ノ辯護士ガ買主ノ代理人タルコトヲ確カメタル場合ニ限ル

（三）千八百八十五年ノ土地購買法（愛爾蘭）第十條及千八百八十七年ノ土地法（愛爾蘭）第十五條及第十六條ヲ以テ土地委員會ニ附與シタル割當權及償却權ハ優先利益ニ之ヲ適用シ公平ト認ムヘキ方法ニ於テ之ヲ行使スルヲ得且其ノ行使ハ賣却地ト優先利益ニ服スル土地ノ殘部トノ間ノ割當ニ於テノミ之ヲ制限スルコトナシ

（四）土地判事カ小作地ヲ其ノ小作人ニ賣却シ之カ爲ニ土地購買法ニ依リテ立替金ヲ爲ス場合ニハ土地判事ハ恰モ土

地委員會ト同樣ニ本法ヲ以テ修正擴張セル千八百八十七年ノ土地購買法(愛爾蘭)第十五條、第十六條及千八百九十一年ノ土地購買法(愛爾蘭)第二十條ヲ以テ土地委員會ニ附與シタル割當權及償却權ヲ有ス

(五) 優先利益及其ノ割當部分ニ關シテ支拂フヘキ代價又ハ賠償ハ年賦金第三者收得小作料及小作料ノ償却ニ付キ前記諸條ニ規定セル方法ニ於テ之ヲ定ム但シ裁判所カ斯カル優先利益ハ受クルノ權利アル者ノ爲ニ評價シ得ヘカラサル價額ノモノナリトノ意見ヲ懷クトキハ優先利益ヲ顧ミスシテ土地ノ購買金ヲ分配スルコトヲ得

(六) 優先利益又ハ規定ニ依リテ生スル利益カ千八百八十二年乃至千八百九十年ノ遺産地法ノ意義內ニ於ケル遺産地ナルトキハ終身小作人タル者又ハ右ノ法律ニ依リテ終身小作人ノ權能ヲ有スル者ハ優先利益ヨリノ賣却ノ履行ニ關シ且購買金ヨリノ賣却金ノ償却又ハ支拂ニ關シテ同意ニ參加スルノ權能ヲ有ス

(七) 優越利益カ千八百八十七年ノ土地法(愛爾蘭)ヲ以テ定義セル債權拘束ニ服スル場合ニハ裁判所ハ恰モ其債權拘束カ賣却地上ニ直接ニ課セラレタル場合ト同一ノ權能ヲ有ス

(八) 「優越利益」ナル語ハ女皇陛下及陛下ノ承繼者ヲ含メル或人ニ賣リタル土地ニ關シテ支拂フヘク又ハ爲スヘキ小作料、第三者收得小作料、年賦金、手數料、租稅竝ニ勞務及土地占有ノ根據タル小作料第三者收得小作地其ノ他小作地貸附證書ニ載セタル不動產權、例外、留保、契約證書、條件又ハ約束ヲ含ム

又若シ土地カ終身間又ハ永ク更新シ得ヘキ年間又ハ賣却ノ日ニ六十年ヨリ少カラサル年カ未タ滿期トナラサル期間ノ小作契約ニ依リテ占有セラルルトキハ斯ル小作契約ノ終了又ハ斯ル期間ノ滿了ニ於テ豫期シ得ヘキ繼承權若ハ不動產權ヲ含ミ其ノ繼承權若ハ不動產權カ女皇陛下及其承繼者ニ歸屬スルコトアルモ差支ナシ

(九) 本條ノ規定ハ賣却法ニ關シ一般社會又ハ社會ノ如何ナル階級ノ權利ニモ影響ヲ及ホサス

(一〇) 土地委員會又ハ高等裁判所ハ如何ナル場合ニ於テモ千八百七十四年ノ賣主買主法又ハ其ノ修正法ヲ以テ買主ニ禁スル所有名義ニ關スル要求ヲ行フノ權ヲ附與セラルルコトナシ

第三十二條 (一) 土地委員會ハ歸屬命令ヲ作リ又若シ之ヲ廢スルヲ適當トスルトキハ其ノ必要ト認ムル條件、例外及變更ニ依リテ小作地購買契約ヲ命令スヘシ立替金ヲ支拂フトキハ此命令ハ恰モ購買小作地ニ關シテ委員會ノ爲シタル歸屬命令ト同一ノ效力ヲ有シ歸屬命令ニ關スル本法ノ規定ハ之ニ適用セラレ又之ニ從テ解釋セラルヘシ

(二) 土地委員會ハ歸屬命令後直チニ小作地ニ關スル規定ノ明細書ヲ作成シ千八百九十一年ノ所有名義地方登記法(愛爾蘭)ニ依リ之ヲ登記官憲ニ移送シテ小作地ノ所有權ニ對スル購買者ノ所有名義ヲ登記セシムヘシ

(三) 同法第三十四條(登記ノ訂正ニ關スル)ハ歸屬命令又ハ命令ヲ恰モ登記ナルカノ如ク之ヲ歸屬命令ニ適用ス但シ本法ノ目的上裁判所ノ裁判權ヲ土地委員會カ行使スルハ此ノ限ニ在ラス

(四) 購買約束歸屬命令及命令ハ購買者ノ利益ヲ變シテ不動產ト爲スノ效力ナシ

第三十三條 (一) 立替金ノ分配目的其ノ他立替金ノ取扱上千八百八十七年ノ土地法(愛爾蘭)第十五條、第十六條其ノ他土地購買法中廢止セラレサル規定又ハ本法中借地ニ課スル負擔ノ償却又ハ割當其ノ他借地購買法ノ分配ニ關スルモノハ恰モ金額カ借地ナルカノ如ク之ヲ適用ス

(二) 上記第十六條ニ依リテ割當テタル年賦金第三者收得小作料又ハ小作料ノ償却價額ニ關スル約束ノ目的上裁判所ハ右ノ如キ約束ヲ爲シ得ル當事者又ハ裁判所ノ價額ニ同意ヲ表シ得ル當事者ヲ決定スルコトヲ得

(三) 本條ヲ以テ修正セル前記諸條ハ之ヲ年賦金第三者收得小作料又ハ小作料ニ適用スルト同樣ニ年賦金第三者收得小作料又ハ小作料ニ關スル臨時責任ニ之ヲ適用シ臨時責任カ評價シ得ヘキ價額ヲ有セサルトキハ其ノ責任ニ關係ナ

ク金額ヲ分配スルコトヲ得

(四) 年賦金第三者收得小作料又ハ小作料ニ關スル責任カ割當テラレテ購買金ヨリ償却セラレ其ノ責任ニ關スル賠償權存在スル場合ニハ購買金ニ對シテ權利ヲ有スル者ハ右ノ如ク償却セラレタル年賦金第三者收得小作料又ハ小作料ノ比例分ニ對シテ權利ヲ有スルコト恰モ其ノ者カ之ヲ購買シタルト同樣ナルヘシ、裁判所ハ利害關係者全部ニ相當通知ノ後右ノ如ク購買セル年賦金第三者收得小作料又ハ小作料ノ部分ノ今後ノ支拂及其ノ責任アルヘキ土地ニ關スル規定其ノ他裁判所カ此ノ規定ノ施行ニ必要ナリト認ムル規定ヲ設クヘシ

第三十四條 (一) 本法ニ依リ歸屬命令ヲ以テ買主ニ歸屬シタル小作地ハ引續キテ尙其ノ附屬物ヲ有シ且場合ニ從ヒ從來存在セル地役權權利及附屬權利ニ服ス若シ小作地カ其ノ土地ノ他ノ部分ト所有者ヲ異ニシタルトキハ地主ノ許可ニ依ルト否トヲ問ハス地役權若ハ權利タル如キ方法ト期間トニ依リ從來事實上享有シタル特權ハ本條ノ意義ノ範圍ニ於ケル地役權若ハ權利ニシテ場合ニ從ヒ或ハ其ノ小作地ニ附屬シ或ハ其ノ小作地上ニ行使シ得ヘキモノトス

(二) 若シ土地委員會カ適當ト思惟スルトキハ歸屬命令ハ賣却カ特別ノ地役權權利又ハ附屬權利ナクシテ行ハルルコト又ハ特別ノ地役權權利又ハ附屬權利ニ服シテ行ハルルコトヲ宣言スルコトヲ得此ノ宣言ハ完全ナル效力ヲ有ス

(三) 本條ハ恰モ千八百五十八年ノ土地裁判所法(愛爾蘭)ニ必要ナル變更ヲ加ヘテ之ヲ本法ニ再ヒ規定シタルト同樣ニ同條ニ從ヒテ土地判事ノ行ヒタル賣却若ハ所有名義宣言ニ之ヲ適用ス

第三十五條 (一) 本法施行後小作地ノ買收契約ヲ爲シ之ヲ土地委員會ニ提出スル場合ニハ若シ其ノ賣買行ハルルトキハ買主ハ約束ノ日ニ其ノ小作地ニ關シテ存在セル義務ニ關シ賣主ニ對シテ一切ノ責任ヲ免カル此ノ義務中ニハ其ノ日ニ存在シタル賃借料及延滯金全部ヲ含ム然レトモ若シ立替金ヲ拒否スルトキハ約束ハ無效ニシテ小作人ハ恰モ約束ナカリシト同シク小作料及延滯料支拂ノ責任ヲ負フ但シ約束ノ日ニ存シタル右ノ小作料及延滯金ニ關スル訴訟ハ賣買ノ實行未了ノ際ニ之ヲ提出スルヲ得ス

(二) 右約束ノ日ヨリ購買年賦金ノ開始スルマテノ購買金ノ利息ハ五月一日ト十一月一日トニ購買者ノ半年期拂トシ恰モ小作地ニ課シタル購買年賦金ノ割賦拂ト同樣ニ之ヲ土地委員會ニ支拂ヒ又同委員會之ヲ集メテ取立ツヘキコトシ委員會之ヲ受取リタルトキハ立替金ノ日以後ノ期間ニ關シ千八百八十七年ノ土地法(愛爾蘭)第二十條ニ依リテ支拂フヘキ利息ニ之ヲ充當シ又同條ニ從ヒテ之ヲ約束ノ日ニ於ケル小作料受領者其ノ他小作料ヲ受クルノ權利アルコトヲ自ラ證明スル者ニ支拂フモノトス而シテ若シ立替金ヲ拒否スルトキハ地主ハ之ヲ小作料ノ支拂トスルコトヲ小作人ニ許ス

第三十六條 小作人カ一時金小作料ヲ支拂ヒ且第三者收得小作料ヲ賣主ニ支拂フノ約束ヲ約款トシテ地主小作人間ニ借地ノ賣買ノ行ハルル場合ニハ土地委員會ハ若シ共ノ擔保ヲ可トスルトキハ其ノ購買ノ爲小作人ニ對シ本法ヲ以テ修正セル土地購買法ニ依リ地主ニ支拂フヘキ一時金小作料額ヲ超過セサル金額ノ立替ヲ爲ス、但シ左ノ條件ニ從フ

(イ) 其ノ立替金ハ土地委員會カ第三者收得小作料ノ資本價額ナリト認ムル金額ヲ控除シタル後其ノ小作地ニ付テノ地主ノ利益ノ賣買價額ヲ超過セサルコト

(ロ) 土地委員會カ第三者收得小作料カ小作地ノ相當小作料ナリト認ムル額ノ半額以上ナル場合ニハ立替ヲ爲ササルコト

(ハ) 第三者收得小作料ニ關シテハ小作料不拂ニ對スル占有回收訴訟ヲ提起セサルコト

(ニ) 第三者取得小作料ハ歸屬命令ニ留保シ購買年賦金ハ第三者取得小作料上ニ優先權ヲ有スルコト

(ホ) 土地委員會ハ擔保ヲ可ナリトスルトキハ小作地購買ト同樣ニ第三者收得小作料ノ償却ニ對シ更ニ立替ヲ爲スヲ得ルコト

(ヘ) 本法ニ依リテ小作地ヲ賣却スル場合ニハ負擔割當ニ關シ土地購買法及本法ヲ以テ附與シタル權能ハ之ヲ購買金ト第三者收得小作料トノ間ノ負擔割當ニ適用シ千八百八十七年ノ土地法(愛爾蘭)第十五條ノ規定ハ債權拘束者カ其ノ債權拘束ノ一部辨濟トシテ購買金ヲ承諾スルニ關シ恰モ第三者收得小作料カ該規定ノ意義內ニテ他ノ土地ナルカノ如ク之ヲ適用ス

第三十七條 (一) 土地委員會カ千八百八十七年ノ土地法(愛爾蘭)第十五條ニ從ヒ千八百六十九年ノ愛爾蘭敎會法第七條千八百七十二年ノ同修正法ニ規定セル如ク租稅ニ關スル控除ヲ爲シタル後十分ノ一第三者收得小作料ノ純金額ノ二十倍ヨリ少カラサル價額ニテ十分ノ一第三者收得小作料ノ償却ヲ命スル場合ニハ其ノ償却ニ關シテハ國庫ノ同意ヲ要セス

(二) 上記ノ規定ハ他ノ法律ヲ以テ修正セル千八百六十九年ノ愛爾蘭敎會法第三十二條ニ依リ土地委員會ニ支拂フヘキ一切ノ年額ニ之ヲ適用セスト雖土地委員會ハ年額カ五十二年ノ期間ニ非スシテ四十五年ノ期間タル標準ニテ計算セル額ニテ十分ノ一第三者收得小作料ノ償却ヲ命スルコトヲ得

第三十八條 (一) 土地委員會ハ千八百八十一年ノ土地法(愛爾蘭)第三十條又ハ賣却權ニ依リ小作地ノ賣却ヲ行フトキハ其ノ小作地ヲ區分シテ賣却スルコトヲ得

(二) 本法ヲ以テ修正セル千八百八十五年ノ土地購買法(愛爾蘭)第十五條ハ愛爾蘭敎會財產委員會ノ後繼者タル土地委員會ノ小作地賣却ニ之ヲ適用ス

(三) 小作地カ將來ノ年賦金支拂義務ニ服シ土地委員會カ之ヲ區分シテ賣却シ若ハ借地ノ小區分ヲ認許セル土地購買法ニ依リ其ノ權能ヲ適用シテ之ヲ賣却スル場合ニハ土地委員會ハ其ノ便宜ナリト認ムル方法ニ年賦金ヲ割當ツルコトヲ得又ハ若シ適當ト思惟スルトキハ上記ノ如キ土地ノ部分ヲシテ年賦金又ハ其ノ一部又ハ其ノ延滯金ノ將來ノ責任ヲ免カレシムル命令ヲ爲スコトヲ得

(四) 土地委員會カ借地ヲ賣却スル場合ニハ其ノ購買ハ千八百八十一年ノ土地法(愛爾蘭)第三十條ノ規定ニ從ヒ恰モ地主カ小作人ニ賣リタル借地ノ購買金タルカ如ク之ヲ支拂ヒ之ヲ分配ス

第三十九條 總督カ千八百九十一年ノ土地購買法(愛爾蘭)第五條(二)ニ依リ同條ニ規定セル金額ヲ勞働者住宅設備費ニ充當スルノ規則ヲ制定スルニ付附與セラレタル權能ハ之ヲ擴張シテ千八百九十一年ノ同法制定後何時ニテモ該住宅設備上生セル經費支出ニ該金額ヲ充當スルノ規則ヲ定ムル權能ヲ包含スルコトトス

第四十條 本條ヲ適用スル借地ヲ包含スル土地ノ絕對賣却命令カ千八百五十八年ノ土地裁判所法(愛爾蘭)ニ依リテ爲サレ受取人カ其ノ土地ニ對シテ指定セラルルカ又ハ其ノ土地カ價額ニ關スル所有者ノ同意ヲ要セスシテ本法ト無關係ニ賣ラルヘキ事情ニ在ル場合ニハ左ノ規定ハ效力ヲ有ス

(a) 土地委員會ハ土地判事ノ請求ニ依リ二名ノ委員ヲシテ其ノ土地、其ノ事情及土地購買法ニ依リ其ノ借地ヲ相當ニ小作人ニ賣ルヘキ價額竝ニ條件ヲ調査報告セシム

(b) 土地判事ハ小作人ヲ含メル當事者全部ニ審理ノ機會ヲ與ヘ且土地又ハ其ノ一部ノ購買ニ關スル報告及申込其ノ他提供セラルル事項及土地ノ一般事情ヲ考究シタル後其ノ土地上ノ各借地ヲ小作人トシテ占有セリト思ハルル者ニ對シ其ノ人ヨリ支拂フヘキ延滯小作料ノ責任ナキ小作地ノ單純借地權ヲ土地判事カ其ノ土地ノ利害關係者全部

ノ利益ニ照シテ相當且正當ト認ムル價額及條件ニテ賣却センコトヲ申込ムヘシ該條件ハ或ハ價額ノ一部ノ現金支拂ヲ要スルヤ否ヤニ關シ或ハ一人ノ小作人ニ對スル申込カ一定期間内ニ爲セル他ノ小作人ヘノ申込ノ承諾ヲ條件トスルヤ否ヤトヲ問ハス

(c) 申込ハ小作人トシテ占有セリト思ハルル人ニ對シ土地委員會ノ適當ト認ムル方法ニ依リ之ヲ通知スヘシ若シ申込ノ承諾アルトキハ條件ノ成就ト同時ニ其ノ者ハ土地購買法ノ意義内ニ於テ小作地ノ購買ヲ約束シタルモノト看做シ從テ賣買ハ完成ス

(d) 土地判事ハ其ノ土地ノ小作地ノ小作人カ數ニ於テモ亦愛爾蘭評價法ノ課稅價額ニ依レル價額ニ於テモ其等ノ四分ノ三ヨリ少カラサル程度マテ本條ニ依リ申込ヲ承諾シタリト思惟シタル場合ニ於テハ事情ニ照シテ便宜ト認ムル分トキハ殘餘ノ小作人カ申込ヲ承諾シタルモノト看做シテ本條及土地購買法ヲ適用スヘキコトヲ命令スルコトヲ得但シ此命令ハ借地ノ購買金カ千八百八十八年ノ土地購買法修正法(愛爾蘭)第二條ヲ以テ課スル立替金額ノ制限ヲ超過スル小作人ニ對シテハ之ヲ適用セス此小作人ノ借地ハ上記四分ノ三ノ見積リニ付之ヲ考慮ニ入レサルモノトス

(e) 土地判事カ本條ニ依リテ爲セル命令ノ爲ニ困却スル者ハ費用ノ擔保ニ關スル規則ヲ含ミ規定ノ規則ニ從ヒテ土地判事又ハ控訴裁判所ノ許ヲ得テ控訴裁判所ニ控訴スルコトヲ得控訴裁判所ノ判決ハ終審トス

(f) 受取人カ土地ノ一部ニ對シテ指定セラレタル場合ニハ土地ト同樣ニ其ノ部分ニ本條ヲ適用ス

(g) 本條ノ上記規定ハ農業地タルカ牧場地タルカ又ハ一部分農業地一部分牧場地タル借地ニノミ之ヲ適用ス

(二) 土地判事又ハ收入判事ノ貸附ノ下ニ借レル地區ヲ占有シ之ニ對シテ小作料ヲ支拂ヘル者ハ(土地所有者ニシテ邸宅又ハ其ノ土地ノ一部ヲ成セル莊園ヲ占有セル者ヲ含ム)其ノ地區ノ購買ヲ約束スルコトヲ得茲ニ於テ其ノ地區ハ小作地、其ノ者ハ小作人ト看做シ又場合ニ從ヒ或ハ土地判事或ハ收入判事ハ土地購買法ノ意義内ニ於ケル地主ト看做ス

(三) 千八百五十八年ノ土地裁判所法(愛爾蘭)ニ從ヒ土地又ハ其ノ一部ノ絕對賣却命令ヲ爲シタル後ハ受取人カ其ノ土地ニ對シテ指定セラルルコトナク又其ノ土地カ價額ニ關シ所有者ノ同意ヲ得スシテ本法ト無關係ニ賣却セラルル如キ事情在ラスト雖モ何時ニテモ所有者ノ申請ニ依リ本條ノ上記規定ヲ適用シ得ヘキ限リ其ノ土地ニ適用ス但シ所有者ニ對シテ邸宅又ハ土地ノ一部ヲ成セル莊園ヲ購買スル爲ノ立替ヲナサス

(四) 本條施行ノ爲本法第二編ニ依ル規則ヲ設クルコトヲ得

第四十一條 本法ヲ以テ修正セル土地購買法ノ施行ヲ單獨ニ掌レル土地委員ノ命令ノ爲ニ困却セル者ハ其ノ委員カ法律委員ニシテ問題カ法律問題ナルトキハ法律委員ニ於テ其ノ事件ヲ再審スルコトヲ要求スルコトヲ得又他ノ場合ニ於テモ法律委員一名他ノ委員二名ニテ問題ヲ再考センコトヲ要求スルコトヲ得右二名中ノ一名ハ已ムヲ得サル不參、病氣又ハ缺員ノ場合ノ外千八百八十五年ノ土地購買法(愛爾蘭)ニ依リ任命セラレタル委員トス但シ法律委員カ可ナリトフ認ムルトキハ此等三名ノ委員ニテ事件ノ再審ヲ行

第四十二條 賣却權ヲ有スル占有地抵當權者ハ土地購買法ノ一切ノ目的上之ヲ地主ト看做ス

第四編 稠密地方局

第四十三條 (一) 稠密地方局カ周密地方ノ郡ニ於ケルト其ノ他ニ於ケルトヲ問ハス土地ノ購買ヲ約シタル場合ニハ土

地委員會ハ稠密地方ノ郡ノ利益ノ爲ニ土地ノ購買及金額ヲ言明セル同局ノ要求ニ依リ恰モ同局カ本法ヲ以テ修正セル土地購買法ニ依リ小作地ヲ購買セル小作人ト同樣ニ本條ノ規定ニ從ヒ同局ニ對シ購買金ノ立替ヲ爲スヲ要ス

(二) 千八百九十一年ノ土地購買法(愛爾蘭)第二編ニ依ル附帶負擔中國庫ノ定ムヘキ部分ヲ含ミ本條ニ依ルト否トヲ問ハス從前ノ負擔ヲ教會剩餘補助金(千八百九十一年ノ土地購買法(愛爾蘭)第三十五條ニ揭クル)ニ對スル郡ノ割前利益ヨリ差引キタル後立替金カ其ノ二十五倍ヲ超過シ又ハ從來ノ郡ノ利益ノ爲ニ買ヒタル土地ノ未拂立替金ヲ合計シテ右ノ二十五倍ヲ超過スルトキハ立替ヲ爲スヲ得ス

(三) 立替金ハ恰モ小作地ヲ買收スル小作人ノ支拂フ年賦金ト同額ノ利息及資本拂戻額トヲ含ミタル均等年賦金ヲ以テ稠密地方局ヨリ之ヲ拂戻スヘシ其ノ年賦金ノ額ハ教會剩餘補助金ノ利息ヨリ土地委員會之ヲ控除スヘシ

(四) 土地委員會カ稠密地方局ヨリ小作地ヲ購買スル小作人ニ立替ヲナス場合ニハ其ノ立替金額ハ同局カ稠密地方ノ郡ノ利益ノ爲ニ購買シタル土地ノ立替金ニ對シ支拂フヘキ債務ヲ同委員會ト同局トノ間ノ協定ニ依リテ相殺シ同局ヨリ同委員會ヘ支拂フヘキ年賦金ノ比例部分ノ償却トシテ之ヲ取扱フ

(五) 周密地方局カ稠密地方ノ一郡以上ノ利益ノ爲ニ土地ヲ購買スル場合ニハ周密地方局ハ各郡ノ利益ノ爲ニ立替ヘラルルモノトシテ取扱ルヘキ購買金ノ部分ヲ土地委員會ニ提出スル請求書ニ記載スヘシ

(六) 土地委員會ハ千八百九十一年土地購買法(愛爾蘭)ニ定義セル小小作地ヲ小作人カ稠密地方局ヨリ購買スル場合ニハ立替ヲ爲スヲ得ス

(七) 稠密地方局ハ賣買ノ際小作期間ノ經過年數カ六十年未滿ナル小作地ヲ購買スルヲ得ス但シ其ノ小作契約滿了ノ際ニ豫期スヘキ歸屬地ヲ占有若ハ買收スルハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條 (一) 稠密地方局ハ小小作地ノ小作人ニ協定價額ヲ以テ土地ヲ賣却シ其ノ購買金ノ全部又ハ一部ヲ購買者ノ掛ケトナスコトヲ得此ノ購買金ニ對シテハ同局ノ滿足スル擔保ヲ供セシメ協定ニ依リ半箇年毎ニ支拂フヘキ年賦金ヲ以テ之ヲ支拂ヒ且協定利率ヲ計算ス

(二) 此ノ賣買執行ノ爲稠密地方局ノ受託者ハ右ノ年賦金ヲ課セラレタル購買者ニ土地ヲ讓渡スルコトヲ得但シ其ノ讓渡ハ小作地ニ於ケル購買者ノ利益ヲ變更シテ不動產トナスノ效力ヲ有セス

(三) 土地讓渡ノ明細書ハ之ヲ土地委員會ニ移牒スルコトヲ得玆ニ於テ同委員會ハ小作地ニ課セル年賦金ノ半箇年割賦拂ノ割當額ヲ發行シ之ニ關シテ同委員會ノ受取リタル金額全部ヲ稠密地方局ノ貸方ニ記入シ卽チ同局ニ支拂ヒ本條ニ依リテ割當額ヲ發行セル割賦拂全部ノ明細書ヲ同局ニ提出シ其ノ明細書ニハ支拂濟ノモノト支拂未濟ノモノトヲ示ス

(四) 稠密地方局ノ受託者ハ支拂未濟割賦拂金ノ取立ニ付土地委員會カ土地購買法ニ依リ年賦金ノ支拂未濟割賦拂金ノ取立ニ付有スルト同一ノ救濟法ヲ有ス

(五) 本條ニ依リテ購買セル小作地ハ購買金支拂ノ年賦金ニ服スト雖千八百九十一年ノ所有名義地方登記法(愛爾蘭)ノ規定ニ從ハス土地購買法ニ依リテ年賦金ニ服スル小作地ニ關スル同法ノ一切ノ規定ニ從フ是等ノ規定ニ依リテ所有者死亡ノ爲ニ細分シタル小作地ヲ賣却スルヲ要スル權能ハ稠密地方局カ其ノ細分ヲ知リタル後十二箇月以內ニ之ヲ行使スルヲ得ルモノニシテ所有者ノ死後十二箇月以內タルヲ問ハス

(六) 小小作地ノ合併ニ依リ合併小作地ノ一部カ本條ニ依リテ年賦金ニ服シ他ノ合併小作地ノ部分カ小小作地ニアラサル場合ニハ稠密地方局ハ其ノ合併小作地ノ占有者ト其ノ者カ土地購買法ニ依リテ其ノ小作地ヲ購買スヘキコトヲ

約束スルヲ得土地委員會ハ其ノ約束ヲ認許シ恰モ其ノ占有者カ小作契約ニ依リテ其ノ小作地全部ヲ占有セルモノトシテ立替ヲナス

(七) 土地委員會カ右ノ立替ヲナストキ本條ニ依リ年賦金ヲ以テ支拂フヘキ購買金元金ノ殘額ハ立替金ヨリ同局ヘ拂戻セルモノトシテ取扱ヒ購買者モ小作地モ該年賦金ニ關シテ一切ノ責任ヲ免カル

第四十五條 本法本條ノ施行規則ハ土地委員會及稠密地方局ト交涉ノ後總督之ヲ定ムルコトヲ得

第五編 立退小作人

第四十六條 千八百九十一年ノ土地購買法(愛爾蘭)第十三條ハ玆ニ之ヲ改正シ左ノ變更ヲ以テ效力ヲ有ス卽チ本法制定後六箇月ニ代フルニ本法施行後十二箇月ヲ以テス

第四十七條 (一) 小作地ノ小作契約カ千八百七十九年五月一日以後何時ニテモ終了シタル場合ニハ地主又ハ其ノ小作地ノ前ノ小作人又ハ兩者聯合ニテ本法開始後十二箇月以內ニ其ノ小作人ヲ其ノ小作地ニ引戻スカ爲又ハ其ノ小作人ヲシテ其ノ小作地ヲ買ハシメンカ爲土地委員會カ其ノ仲裁人タランコトヲ規定ノ方法ニ依リ同委員會ニ對シ申請スルコトヲ得

(二) 小作人ヲ引戻ス爲ノ聯合申請アルトキハ土地委員會ハ前ノ小作人ヲ其ノ小作地ニ引戻スニ相當ナリト思惟スル小作料及延滯小作料ノ支拂等ニ關スル期間及條件ヲ宣言シ當事者カ規定ノ時期以內ニ規定ノ方法ニ依リ之ニ同意ヲ表スルトキハ其ノ期間及條件ニ依リ小作人ヲ其ノ小作地ニ引戻スノ命令ヲ發スルコトヲ得

(三) 小作地賣却ノ爲聯合申請アルトキハ土地委員會ハ其ノ認許スヘキ立替金額ト其ノ立替ノ爲豫メ充當ノ要アル條件トヲ宣言シ當事者カ規定ノ期間內ニ規定ノ方法ニ依リテ之ニ同意ヲ表スルトキハ恰モ本法ヲ以テ改正セル千八百九十一年ノ土地購買法(愛爾蘭)第十三條ニ依リテ合意ヲナシタルト同樣ニ右ノ條件ニ從ヒ立替ヲ命令スルコトヲ得

(四) 地主又ハ從前ノ小作人ヨリ右ノ申請ヲ爲ストキハ其ノ申請ガ小作人ノ引戻ニ關スルト小作地ノ賣却ニ關スルトヲ問ハス土地委員會ハ若シ其ノ爲スヘキモノト思惟スル審査ヲナシタル後適當ト思惟スルトキハ其ノ申請ヲ聯合申請トシテ取扱フニ同意スルヤ否ヤヲ述ヘンコトヲ求メ若シ其ノ當事者カ其ノ通知後規定ノ時期內ニ異議ヲ述ヘサルトキハ場合ニ從ヒ或ハ小作人引戻ノ爲或ハ小作地賣却ノ爲本條ノ意義內ニ於ケル聯合申請アリタルモノト看做シテ本條ニ依リ處置ヲ爲スコトヲ得

(五) 本條ニ依ル命令ハ總テ何人ヲモ拘束シ終局且確定的ノモノトス

(六) 千六百九十六年一月一日ニ小作人ノ占有セル小作地ニ付テハ本條ニ依ル命令ヲ爲スヲ得

(七) 本條ノ目的上「前ノ小作人」ナル語ハ場合ニ從ヒ前小作人ノ相續人又ハ代理人ヲ含ム

第六編 補則省略

第二 附 欵

廢止法律

會期及章	簡稱	廢止範圍
ヴイクトリア女皇第三十三、三十四年第四十六章	一八七〇年ノ地主小作人法(愛爾蘭)	第三十五條ヲ

ヴィクトリア女皇第四十四、四十五年第四十九章	一八八一年ノ土地法（愛爾蘭）
ヴィクトリア女皇第四十八、四十九年第七十三章	一八八五年ノ土地購買法（愛爾蘭）

第八條ニ於テ第二項「時期ヨリ」「裁判所ノ判決」マテ及第三項「小作料支拂日ヨリ」ヨリ「與ヘラレタリ」マテ

第二十四條「左ノ如シ」ヨリ第一項ノ終リ「小作地ニ對スル相當小作料」マテ

第二十六條ニ於テ「土地委員會ハ立替テナスコトヲ得」ヨリ第四項「小作人ノ支拂フヘキ」マテ

第二十八條初ヨリ「其ノ中ニ記セル購買者」マテニシテ第一項及第二項第三十條第三項ニ於テ「條件ニテ」ヨリ第二ノ「一八七〇年」マテ及「ニシテ支拂フヘシ」ヨリ「之ヲ受ク」マテ

第三十三條

第五十八條ニ於テ第一項、第二項「家庭農園又ハ」マテ第三項第四項

第二條ニ於テ「適法ナラス」ヨリ同條ノ終リマテニシテ(c)項

第四條ニ於テ「本法附則ノ表ニ依リ計算スヘキ價額」ト云フ語

第九條第一項及第二項

第十四條ニ於テ「土地委員會ハ登錄ス」ヨリ「地方登錄」マテ

ヴィクトリア女皇第五十、五十一年第三十三章	一八八七年ノ土地法（愛爾蘭）
ヴィクトリア女皇第五十一、五十二年第四十九章	一八八八年ノ土地購買修正法（愛爾蘭）
ヴィクトリア女皇第五十四、五十五年第四十八章	一八九一年ノ土地購買法（愛爾蘭）

第十七條ニ於テ「土地委員會追加委員」ヨリ「右ノ追加委員ト」マテ

第二十四條

第一條「本法制定」マテ

第四條ニ於テ「小作人モ亦……スルコトヲ得」ヨリ「其ノ他」マテ

第五條

第十七條

第十八條ニ於テ「第三十四條」ヨリ同條ノ終リマテニシテ第二項

第一條「同項及」マテ

第三條本法制定前ニナセル購買約束ニ關スル外

第六條

第四條ニ於テ第二項「保證基金ニ支拂フニ於テ」ヨリ同項ノ終リマテニシテ(b)項

第七條「ニシテ年額」ヨリ條末マテ

第九　千八百九十九年ノ稠密地方局法

(The Congested District Board (Irland) Act, 1899)

本法ハ千八百九十六年ノ土地（愛爾蘭）法ノ規定中稠密地方局ニ影響ア ル部分ヲ改正シ更ニ同局ノ經費ニ對シ議會ヨリ支給セラルル金額ニ付規定シタル法律ナリトス（千八百九十九年八月一日）

稠密地方局ニ依ル土地購買ノ場合ニ於ケル「ビクトリア」女皇第五十九及第六十議會法律第四十七號第四十條ノ改正

第一條　稠密地方局カ所有ノ全部又ハ一部ヲ購入シテ之ヲ其ノ地ノ小作人ニ賣却スル目的ヲ以テ同地ノ購入ヲ土地判事ニ申込ミタル場合ニ於テハ千八百九十六年ノ土地（愛爾蘭）法第四十條ノ規定（本法ニ於テハ主法ト稱ス）ハ其ノ適用ヲ停止セラル而シテ該申込カ土地判事ニヨリ拒絶セラレ或ハ取消サルルニ非サレハ該所有地又ハ其ノ一部ノ購入ニ關シテハ效力ヲ有セサルモノトス

稠密地方局ニ依ル土地購買ノ場合ニ於ケル優先利益ノ銷却ニ關スル規定

第二條　（一）土地委員會カ主法第四十三條第一項ニ依リ稠密地方局ニ貸付ヲ爲シ而シテ同局ノ購入シタル土地カ主法第三十一條ニ定義セル優先利益又ハ千八百八十七年ノ土地（愛爾蘭）法第三十四條ニ定義セル負擔（債權者）ニ屬セル場合ニ於テハ土地委員會ハ稠密地方局ノ申請ニ基キ優先利益ヲ割附銷却セシムル爲ニ土地購買法ニ依リテ附與サレタル權能ヲ行使スルコトヲ得而シテ其ノ時ニ於ケル優先利益ノ銷却價格又ハ其ノ負擔ニ關シテ支拂フヘキ額ト同額ナル保證附土地債券ノ額ヲ小作地購買ノ爲ニ小作人ニ貸付クルト同樣ノ方法ニ依リテ貸付ケ處理セラルヘキコトヲ命スルヲ得而シテ同貸付額ハ同第四十三條第三項ニ規定セル方法ヲ以テ稠密地方局ヨリ拂戻サルヘキモノトス

（二）土地委員會ハ本條ノ目的ノ爲ニ規定ヲ設クルコトヲ得而シテ同規定ハ議會ヘ提出セラルヘキモノトス

土地ノ登記及印紙稅ニ關スル「ビクトリア」女皇第五十九及第六十議會法律第四十七號第四十三條及第四十四條ノ改正

第三條　（一）主法第四十三條第一項ノ規定ニ拘ラス土地所有權カ千八百九十一年ノ所有名義地方登記（愛爾蘭）法ニヨリ登記セラルルニ非サレハ土地委員會ハ夫レニ對シ同項ニ依ル貸付ヲ爲スコトヲ得ス

（二）稠密地方局カ土地ノ所有權ヲ購買スヘキ契約ヲ締結シタル後千八百九十一年ノ所有名義地方登記法ニ依リ其ノ所有權ヲ登記シタル場合ニハ稠密地方局ハ其ノ土地ヲ同局受託者ニ移轉スルニ付所有名義地方登記所ニ何等ノ手數

料ヲ支拂フノ要ナシ又如何ナル場合ニ於テモ稠密地方局ハ登記セラレタル土地ヲ其ノ小作地ノ小作人ニ賣却スルニ付テハ何等ノ手數料ヲ支拂フノ要ナキモノトス

(三) 主法第四十四條第五項ノ規定中該項ニ列擧シタル小作地ニ付テハ千八百九十一年ノ所有名義地方登記法ノ規定ヲ適用セストアル部分ハ之レヲ削除ス

(四) 稠密地方局ハ小作人ニ賣却スルノ目的ヲ以テスル土地ノ購買ニ對シテハ印紙稅ヲ支拂ハサルモノトス

貸付金ノ制限ニ關スル「ビクトリア」女皇第五十九及第六十議會法律

第四十七號第四十三條二項ノ改正及同條第六項ノ削除

第四條 (一) 土地委員會カ稠密地方局ニ對シテ爲シ得ヘキ貸付ニ關スル主法第四十三條第二項ノ制限ハ特別ノ場合ニハ大藏省ノ同意ヲ得テ大藏省ノ定ムル額及期間ニ迄超過及延期セシムルコトヲ得

(二) 同第四十三條第六項(土地委員會カ小作地ノ購買ニ關シテ貸付ヲ爲スヲ禁止スル規定)ハ之ヲ削除ス

稠密地方局ノ資金ノ供給

第五條 千八百九十一年ノ土地購買法(愛爾蘭)第四十條第三項ノ目的ノ爲及稠密地方局(愛爾蘭)法ノ他ノ目的ノ爲ニ稠密地方局ハ千八百九十九年十月一日ヨリ大藏省ノ要求スル條件ニ從ヒ議會ヨリ支給セラルル金額ヨリ年二萬五千磅ヲ超過セサル額ヲ支給セラルヘキモノトス

第六條 (一) 本法ハ千八百九十九年ノ稠密地方局(愛爾蘭)法ノ一部ヲ構成スルモノト解釋シ之ト併セテ稠密地方局法ト稱スルコトヲ得ルモノトス

第十 千九百一年土地購買法

(The Land Purchase (Irland) Act, 1901)

千八百九十一年ノ土地購買(愛爾蘭)法第九條ノ(一)及千八百九十六年ノ土地(愛爾蘭)法第四十三條ノ(二)ヲ改正スル法律(千九百一年七月二日)

第一條 (一) 或ル縣ニ於テ貸付セラルヘキ資金ニ關シ千八百九十一年ノ土地購買(愛爾蘭)法第九條ノ(一)ニ依リテ定メラレタル制限ヲ超過スルヲ便宜ト認メタルトキハ愛爾蘭總督ハ其ノ旨ヲ大藏省ニ證明スルコトヲ得且大藏省ハ其ノ超過カ國庫ニ損失ヲ及ホスノ虞ナシト認ムル場合ニ於テハ其ノ縣ニ對シ分配シタル保證基金ノ五倍ノ金額ヲ超ヘサル限度ニ於テ其ノ定ムル極度迄超過シテ其ノ縣ニ對シ資金ヲ貸付スルノ權限ヲ愛爾蘭總督ニ附與スルコトヲ得

(二) 愛爾蘭總督ハ千八百九十六年ノ土地(愛爾蘭)法第四十三條ノ(二)ニ依リテ定メラレタル制限ニ關シ前項ト同樣ノ結果ヲ證明スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ大藏省ハ前項ト同樣ノ意見ナルトキハ第十三條ノ(二)ノ規定ニ依ル控除ヲ爲シタル後教會剩餘基金ノ爲ニ其ノ縣ニ分配セラレタル金額ノ五十倍ヲ超過セサル範圍內ニ於テ其ノ定ムル程度迄其ノ證明ニ記載シタル縣ノ爲ニ超過シテ貸付スルノ權限ヲ愛爾蘭總督ニ附與スルコトヲ得

(三) 千八百九十九年ノ郡組合役所(愛爾蘭)法ハ之ヲ廢止ス

第二條 本法ハ千九百一年ノ土地購買(愛爾蘭)法ト稱ス

千九百一年ノ土地購買法（第二號）（千九百一年八月二日）

第一條　各法律ニ依リ改正セラレタル千八百八十九年ノ土地購買法ニ依リテ爲サレサル場合ニ之ヲ適用ス
テ土地購買ヲ希望スル小作人ニシテ其ノ小作地ノ賣却カ土地購買法ニ依リテ爲サレタル小作人カ既ニ土地購買法ニ依リ年賦金ヲ支拂ヒタル小作地ノ所有者ナルトキハ其ノ計算ハ從前ノ貸付ニ關シテ支拂ヒタル金額ヲ控除スヘキモノトス且其ノ從前ノ小作地及本法ニ依リ新ニ追加シテ購買スヘキ部分トハ之ヲ單一ナル小作地ト看做シ從前ノ貸付ニ關シ支拂フヘキ年賦金及追加セル部分ニ對スル貸付ニ關シ支拂フヘキモノヲ合算シテ新ナル單一年賦金トシテ支拂フヘキモノトス

第二條　（一）本法ノ規定ニ依リ資金ノ貸付ヲ受ケタル小作人カ既ニ土地購買法ニ依リ年賦金ヲ支拂ヒタル小作地ノ所有者ナルトキハ其ノ計算ハ從前ノ貸付ニ關シテ支拂ヒタル金額ヲ控除スヘキモノトス且其ノ從前ノ小作地及本法ニ依リ新ニ追加シテ購買スヘキ部分トハ之ヲ單一ナル小作地ト看做シ從前ノ貸付ニ關シ支拂フヘキ年賦金及追加セル部分ニ對スル貸付ニ關シ支拂フヘキモノヲ合算シテ新ナル單一年賦金トシテ支拂フヘキモノトス

（二）本條ノ規定ニ依リ支拂フヘキ年賦金ハ土地委員ニ於テ土地ノ購買者ノ申請ニ依リ定メタル期間繼續スルモノトス

第三條　本法ハ千九百一年ノ土地購買（愛爾蘭）法（第二號）ト稱ス

第十一　千九百三年ノ土地法

（本法中第九十三條以下ハ關係ナキニヨリ省略ス）

（The Irish Land Act, 1903）

愛爾蘭ニ於ケル土地ノ專有及所有ニ關スル法律ヲ改正シ且是等ト關聯セル其ノ他ノ目的ノ爲及勞働（愛爾蘭）法ヲ改正セル法律（千九百三年八月十四日）

第一編　土地ノ購買

所有地ノ購買及轉賣

第一條　（一）土地委員會ニ對シテナルト否トヲ問ハス所有地賣却ノ場合ニ土地購買法ニ依リ小作地購買金全部ノ立替申請ヲナシ土地委員會カ其ノ小作地ヲ該小作人カ占有シ居ルコトヲ確認スルトキハ土地購買法ニヨリ小作地ヲ購買セル小作人ニ對シテ爲ス立替ノ制限ニ從ヒ土地委員會ハ左ノ場合ニ立替ヲ認許スヘシ卽チ

（イ）千八百九十六年ノ土地購買法制定以後ニ決定シ若ハ協定シタル裁判上ノ小作料ニ服スル小作地ノ購買ノ場合ニ於テハ本法ニ依リ其ノ立替金ニ對シテ支拂フヘキ購買年金カ現在ノ小作料ノ一割以上三割以下ナルトキ

（ロ）千八百九十六年ノ土地購買法制定以前ニ決定シ若ハ協定シタル裁判上ノ小作料ニ服スル小作地ニ對シテハ土地ニ於テ該購買年金カ其ノ小作料ノ二割以上四割以下ナルトキ

但シ千八百九十六年ノ土地購買法制定以前ニ決定シ若ハ協定シタル裁判上ノ小作料ニ服スル小作地ノ購買ノ場合委員會ハ本條ノ目的上其ノ小作地ヲ千八百九十六年ノ土地購買法制定以後ニ定メタル裁判上ノ小作料ニ服スル小作地トシテ取扱フコトヲ得但シ土地委員會カ之ヲ公平ト認メ且購買契約中其ノ規定アル場合ニ限ル

（二）上記ノ規定ニ適合セサル土地ハ土地委員會ニ於テ之ヲ立替金ニ對シテ擔保ト認メ且其ノ土地ノ利害關係者全部ニ審理ノ機會ヲ與ヘタル後其ノ人々ノ利害ニ照シテ協定シタル價格ヲ公平ナリト認ムルトキハ土地購買法ノ制限ニ從ヒテ立替ヲ認許スルコトヲ得

（三）土地委員會ハ所有地ノ改良上便宜ト認ムルトキハ本條ノ目的上小作地ノ一部ヲ一ノ小作地ト看做ス旨宣言スルコトヲ得而シテ此ノ場合ニハ其ノ土地ノ小作料ヲ小作地ノ購買豫定部分ト其ノ殘餘トニ割當ツルコトヲ得

（四）千八百八十八年ノ土地購買法改正（愛爾蘭）法ニ反對ノ規定アルニ拘ラス土地委員會カ土地法ヲ適用スル小作地ノ賣却ノ爲ニ立替ヲ爲スヲ便宜トスルノ意見ナル場合ニハ土地購買法ノ規定ニ依リ購買者一名ニ七千磅ヲ超ヘサル金額ノ立替ヲ認許スルコトヲ得

（五）本條ハ土地委員會カ本法第六條ニ依リ證明書ヲ附與シタル稠密所有地（congested estates）ニ在ル小作地ノ場合又ハ稠密地方局ノ購買地ニ在ル小作地ノ場合ニモ之ヲ適用セス

第二條（一）所有地賣却ノ場合ニ於テ左ノ條件ヲ備エタルモノハ小作人

（イ）其ノ所有地ニ在ル小作地ノ小作人

（ロ）其ノ所有地ニ在ル小作地ノ小作人ノ後繼者

（ハ）其ノ所有地ノ附近ニテ課稅價格五磅ヲ超ヘサル小作地ノ小作人又ハ所有者タラサル者但シ死亡スルニ非サレハ本號ニ依リ立替ヲ得タルヘキ人ノ死亡シタル場合ニハ土地委員會カ死亡者ノ代理人ト指定シタル者ニ立替ヲ爲スコトヲ得

（二）本條ニ依ル立替金ハ土地購買法ニ依ル以前ノ立替金ノ未拂額（若シアラハ）ト合併シテ一千磅ヲ超過スルヲ得ス

但シ本項ニ依ル制限ハ土地委員會カ購買者ニ對シ其ノ附近ニ住スル他人ノ要求ト事情トヲ審セスシテ之ヨリ多キ立替ヲ認許スルヲ得ヘシト認メタル場合ニハ土地購買法ノ他ノ制限ニ從ヒ之ヲ超過スルコトヲ得

（三）本條ニ依ル土地ノ一部ノ賣却ニ對シ本條ノ規定ニ從ヒ土地購買法ヲ適用スルニハ恰モ其ノ地ノ一部カ小作地ニシテ購買者カ購買ノ當時其ノ小作人タルト同樣ナルヘシ而シテ土地購買法ニ於ケル「小作地」ナル語ハ購買ニ關シ本條ニ從ヒテ立替ヲ爲シタル土地ノ一部ヲ含ムモノトス

第三條（一）土地所有者カ土地購買法ニ依リ其ノ所有地ヲ土地委員會以外ノ者ニ賣却スルノ契約ヲ爲シタル場合ニハ土地委員會ハ其ノ者ノ占有ニ係リ且其ノ所有地ニ接續シ若ハ其ノ附近ニ在ル莊園其ノ他ノ土地ヲ適當ト認ムル賣買價格ヲ以テ其ノ者ヨリ購買スルコトヲ得又右ノ場合ニハ其ノ者ニ轉賣スルコトヲ得但シ土地委員會ハ本法ノ目的進捗ノ爲ニ必要ト認ムルトキハ購買及轉賣シタル土地ハ其ノ所有地ニ接續シ若ハ其ノ附近タルヘシトノ本項ノ條件ヲ廢スルコトヲ得

（二）前項ニヨル土地又ハ土地委員會ノ購買セル土地ノ一部ヲ賣主若ハ（土地判事ニヨリ購買セラレタル所有地ノ場合ニハ）該所有地ノ前所有者又ハ土地委員會カ其ノ代理人ナリト指定シタル者ニ轉賣スル場合ニ於テハ小作地及其ノ所有地ニ包含セラルル他ノ地區ノ總購買金額ノ三分ノ一ヲ超過セサルカ又ハ二萬磅ヲ超過セサルカ何レカ少キ方ニ從ヒテ土地購買法ニ依ル立替ヲ爲スコトヲ得

（三）土地委員會カ所有地ノ賣主ニ土地轉賣ノ契約ヲナスニ付小作地ノ擴張ヲ必要ト認ムル場合ニハ其ノ擴張ニ用ユヘキ土地ノ面積ヲ顧慮スヘシ

（四）本條ニ從ヒ土地ヲ轉賣スル場合ニ於テ法律委員ハ公平ト認ムルトキニ限リ其ノ轉賣地ヲ土地委員會ヘ土地賣却ノ際ニ於テ其ノ土地ニ對シ殘留權ヲ取得シタルカ若ハ其ノ土地ノ歸屬權ヲ有スル者ノ規定期間內ノ申請ニ基キ至當ト認ムル條件ヲ以テ賣却ノ際關係アリタル土著地ノ條件ニ依リテ歸屬スヘキコトヲ命令スルコトヲ得

（五）土著義務ニ服シ土地委員會ニ賣却シタル莊園其ノ他ノ土地ノ所有者カ規定ノ期間內ニ之ヲ買戻ササルトキハ土

地委員會ハ本條ニ依リ土著地受託人ニ立替ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニハ其ノ轉賣地ハ土著地ノ受託ニ服シ占有セラルヘキモノトス

(六) 本條ニ從ヒテ轉賣セル土地ハ世襲占有權登錄地ノ歸屬ニ關スル千八百九十一年ノ所有名義地方登記(愛爾蘭)法ノ規定ニ從ハス

第四條 (一) 所有地賣却ノ場合ニハ土地委員會ノ承認シタル受託人カ泥炭ノ採掘、牧畜、砂礫ノ掘取、海草ノ採取、樹木ノ栽培、野獸鳥魚、森林若ハ栽植地保存ノ目的ノ爲又ハ本法ヲ以テ改正セル千八百八十三年乃至千八百九十六年ノ勞働(愛爾蘭)法ノ目的ノ爲ニ本法ノ規定ニ從フヘキ所有地區ヲ購買スルニ對シ土地購買法ニ依ル立替ヲ爲スコトヲ得

(二) 本條ニ從ヒテ爲ス立替ハ總督ノ認許スル金額タルコトヲ得

第五條 本法第一條第一項ノ規定ヲ適用セサル立替金ノ申請アル所有地賣却ノ場合ニハ土地委員會ハ擔保ヲ充分ナリト認メ且一切ノ事情ニ照シテ協定價格ヲ公平ナリト認メタルトキハ土地購買法ノ制限ニ從ヒテ購買金ノ全部又ハ一部ヲ立替フルコトヲ得

第六條 (一) 土地所有者カ規定ノ方式ニ依リ土地委員會ニ對シ本法本篇ニ依ル所有地賣却ノ目的ヲ以テ土地ノ事情ヲ審査センコトヲ要求スルノ申請ヲ爲ス場合ニハ土地委員會ハ相當ノ審査ヲ經タル後其ノ所有地ヲ購買センコトヲ申込ムコトヲ得其ノ價格ハ立替金ニ關スル本法ノ上記規定ト小作人其ノ他ノ者カ小作地其ノ他ノ所有地ニ包含スル他ノ地區ニ對シテ賣却セント欲スル價格トニ照シテ之ヲ見積ルヘシ

(二) 土地所有者カ規定ノ時期內ニ見積價格ニテ所有地ヲ賣却センコトヲ契約シ而シテ其ノ所有地ニ在ル小作地ノ小作人ノ數ニ於テモ其ノ課稅價格ニ於テモソレヲ總量ノ四分ノ三ヨリ少カラサル者カ其ノ土地ノ小作ニ附セル部分ニ對シ土地委員會ノ見積リタル價額ヲ以テ其ノ小作地又ハ之ニ代ルヘキ他ノ指定地區ヲ同委員會ヨリ買ハントスルトキハ同委員會ハ見積價額ニテ其ノ所有地ノ購買ヲ契約スルコトヲ得

(三) 總督ハ土地委員會カ損失スルノ豫想ナク所有地ノ轉賣ヲ行フヲ得トノ意見ナルコトヲ自己ニ對シ證明スル場合ニハ特別ノ事情ノ下ニ大藏省ノ承認ヲ得テ前項ノ小作地購買ニ關スル條件ヲ廢スルコトヲ得

(四) 本條ニ定義セル稠密所有地ノ場合ニ於テハ土地委員會カ所有者ノ同意ヲ得テ總督ニ對シ其ノ所有地ノ購買及轉賣ハ其ノ土地ノ小作人ノ要求ト事情トヨリ觀察シテ可ナルコトヲ證明スルトキハ同委員會ハ協定價格ニテ其ノ土地ヲ買收スルコトヲ得此ノ場合ニハ損失ノ惧ナキ轉賣ニ付テノ本條ノ條件ハ總督ノ決定スル程度マテ之ヲ弛緩スルコトヲ得

(五) 「稠密所有地」ナル語ハ其ノ半ヨリ少カラサル面積カ課稅價額五磅ヲ超ヘサル數多ノ小作地又ハ山若ハ泥炭地ヨリ成立シ或ハ其ノ四分ノ一ヨリ少カラサル面積カ共同占有若ハ混同地區ニテ保有セラルル所有地ナルコトヲ意味ス

第七條 千八百五十八年ノ土地裁判所(愛爾蘭)法ニ依リ絕對賣却命令ヲ發シタル所有地ヲ本法本篇ノ目的上購買センカ爲處置ヲ執ルヲ土地委員會ニ於テ便宜ト認メタル場合ニハ左ノ規定ハ效力ヲ有スヘシ

(一) 土地判事ハ土地委員會ノ請求ニ依リ同委員會ヲシテ土地ニ關シ委員會ノ必要トスル明細書及證書ヲ備付ケシムルコトヲ得此ノ內ニハ其ノ土地ニ於ケル小作ノ規定樣式ノ附表及其ノ土地ノ服スル優越利益(若シアラハ)ノ申告ヲ含ム

(二) 土地委員會ハ所有地ヲ檢査シタル後優越利益其ノ地ニ介在スル利益又ハ債務ノ負擔等土地ニ利害關係アル一切ノ人々ノ請求ヲ免カレタル所有地又ハ其ノ一部ノ購買ニ付小作地ノ購買竝ニ無損失ノ轉賣ニ關スル前條ノ規定ニ從ヒテ土地判事ニ申込ヲ爲スコトヲ得此ノ申込ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

(イ) 申込ニ含メル土地

(ロ) 同委員會ヘ交附セラルヘキ延滯小作料

(ニ) 購買金額

(三) 土地判事ハ其ノ適當ト認ムル申込ノ告示ヲ爲シ且該所有地ノ利害關係者全部ニ審理ノ機會ヲ與ヘタル後ニ於テ其ノ申込ヲ不充分ナリト認メタル場合而モ此ノ間申込ノ撤回ナキトキハ前記一切ノ請求ヲ免カルルモ延滯小作料其ノ他ニ關シテ申込書中ニ記載セル條件ニ服スル特定ノ土地ヲ成ルヘク早ク競賣ニ附シ且不合理或ハ不正當ト認ムル ニ非サレハ前記當事者ノ利益ニ照シテ之ヲ最高入札人ニ賣却スヘシ

(四) 本條ニ從ヒテ所有地ヲ賣却スル場合ニハ土地判事ハ優越利益及介在利益ノ割當及報償ニ關シ土地購買法ニ依リ附與セラレタル一切ノ權能ヲ有ス

(五) 土地委員會ヲ土地ノ購買者ナリト宣言スル土地判事ノ命令ハ土地委員會ニ土地ヲ歸屬セシムル命令ト同一ノ效力ヲ有スルト共ニ命令ニ特定セル延滯小作料ノ徵收及取立ヲ爲スヘキ權利ヲ同委員會ニ歸屬セシム而シテ其命令ノ證明謄本一通ヲ一八九一年ノ所有名義地方登記（愛爾蘭）法ニ依リ登記官ニ送達スヘシ玆ニ於テ土地委員會ハ該法ニ依リ土地ノ絕對所有者トシテ登記セラル

(六) 土地委員會カ本條ニ依リ所有地購買ノ申込ヲナス場合ニハ千八百九十六年ノ法律第四十條ノ規定ハ其ノ所有地ニ對シテ其ノ申込カ撤回セラルルカ又ハ所有地カ競賣ニ附セラレ賣却セラレサルマテ中止セラレ效力ヲ有セサルモノトス

第八條 土地委員會ハ其ノ購買地又ハ購買見込地ノ轉賣又ハ再分配ヲ容易ナラシムル爲必要ナリト認ムル未小作地ヲ購買スルコトヲ得同委員會カ右ノ如キ未小作地區ノ賣却ヲ行フ場合ニハ所有地ニ含マルル地區ノ購買ニ對シテ爲ス立替金ニ關スル本法前記ノ規定ヲ適用ス

第九條 (一) 大藏省ノ承認セル土地委員會ノ見積ニ依リ總計五百萬磅ノ資本價額ヲ超過スル土地ニシテ同委員會カ該土地ノ購買ヲ爲スヘキ希望ヲ有セサル土地ハ何時ニテモ之ヲ同委員會ニ歸屬セシムルコトヲ得

(二) 土地委員會ハ稠密所有地ヲ購買スルニ當リテ其ノ土地ヲ轉賣スヘキ委員會ノ見積總價格ノ一割以上ヲ一箇年ニ支出スヘキ契約ヲ締結スルヲ得ス

但シ本規定ノ目的上土地委員會カ該土地改良ノ爲ニ支出シタルカ又ハ支出セントスル金額ハ轉賣ニ於ケル購買金ヨリ完全ニ拂込マルルモノト看做シ該一割ノ計算ニ於ケル見積額ニ包含セシメサルモノトス

(三) 本條ノ目的上申込ニ對スル土地判事ノ承諾ハ之ヲ契約ト看做ス

第十條 土地委員會ハ主トシテ農業用又ハ牧畜用地ナラサル所有地ヲ購買スルヲ得ス

第十一條 本法前記規定ニ從ヒテ爲セル立替金ニ關シテハ保證預金又ハ之カ保留ヲナスヲ得ス

第十二條 (一) 土地委員會ハ本法ニ依リテ購買シ若ハ購買セントスル所有地又ハ未小作地ノ利益若ハ改良ノ爲又ハ其ノ使用若ハ享有ノ爲或ハ一般ニ本法ノ目的ノ爲便宜ト認ムル處置ヲ執リ且便宜ト認ムル工事ヲ實行シ又ハ實行セシ

ムルコトヲ得

(二) 本法施行ノ目的上土地委員會ハ本法ヲ以テ改正セル千九百一年ノ稠密地方局(愛爾蘭)法第一條及第二條ニ依リ稠密地方局ニ附與セル土地ノ轉賣ヲ容易ナラシムル一切ノ權能ヲ有ス從テ右改正セラレタル該兩條ハ稠密地方局ニ代リ土地委員會之ヲ適用スヘシ

但シ小作人ノ同意ヲ得テ其ノ小作地面積ヲ變更スル場合又ハ小作人ヲシテ新ナル小作地ヲ占有セシムル場合ニハ土地委員會ハ前小作地ニ於ケル小作人ノ利害ニ關スルカ如キ費用、責任及衡平法上ノ請求權ヲ其ノ小作地ニ繼續セシムルカ又ハ之ヲ變更セル小作地若ハ新ナル小作地ニ移轉スルカノ命令ヲ發スルコトヲ得

尙此ノ場合ニ於テ委員會ハ千九百一年ノ該法第一條ニ規定セル權能カ稠密所有地ノ利益若ハ改良ノ爲必要ナルコトヲ總督ニ證明スルニ非サレハ之ヲ行使スルヲ得ス

第十三條 (一) 土地ヲ土地委員會、小作人又ハ其ノ他ノ者ニ賣却スル際賣主カ千八百八年ノ狩獵法ノ規定ニ從ヒ小作人ヲ除外セル狩獵權ヲ有スル場合ニハ其ノ權利ハ賣主買主間ノ契約ニ依リ之ヲ買主ニ讓渡スルカ又ハ特ニ賣主ニ留保スルコトヲ得右ノ契約ナキ場合ニハ其ノ權利ハ之ヲ土地委員會ニ歸屬セシメ土地委員會ハ總督ノ定ムヘキ規則ニ從ヒテ之ヲ取扱フコトヲ得

(二) 「狩獵權」ナル語ハ或ル土地ニ於ケル野獸鳥ノ狩出、射撃、釣及捕獲ヲナス權利ヲ含ミ「野獸鳥」ナル語ハ千八百八十一年ノ法律第五條ニ於ケルト同一ノ意義ヲ有スルモノニシテ大鹿ヲモ包含ス

(三) 土地購買法ニ依リテ土地委員會カ土地ヲ賣却シ又ハ土地所有者カ其ノ所有地ニ含メル土地ヲ賣却スルトキハ該土地ノ地上又ハ地下ニ於ケル鑛物ノ探索竝ニ探索ノ爲ニスル開鑿用專屬權ハ規定ノ方法ニ依リ

土地委員會ニ留保シ同委員會ハ今後國會ノ規定スヘキ方法ニ依リ其ノ權利ヲ處分スヘシ

但シ本項ハ之ヲ左ニ適用セス

(イ) 本法第三條ニ從ヒテ轉賣セル莊園又ハ其ノ他ノ土地

(ロ) 優越利益ヲ構成シ又ハ國王ニ歸屬スル權利

(ハ) 石礫、砂利又ハ粘土

尙又本項ニ依リ土地委員會カ留保シタル權利ヲ同委員會カ其ノ後何時ニテモ貸與、購買又ハ讓渡シタル場合ニハ賣主(又ハ土地ヲ賣ラサレハ權利アリタル人)ハ其ノ小作料、購買金其ノ他右ニ關シテ土地委員會ノ受クル純益ノ二割五分ヲ受クルノ權利ヲ有ス但シ土地委員會ハ右ノ歩合ニ從ヒ利益ヲ受クルノ權利アル者ヨリ其ノ利益ヲ買收シタルトキハ此ノ限ニ在ラス而シテ同委員會ハ大藏省ノ認許スル條件ニ依リ何時ニテモ右ノ如キ利益ヲ買收スルコトヲ得

(四) 本條ニ規定セル權利ヲ右ノ如ク留保セル場合ニハ第一ニ規定セル權利ヲ行使スヘキ土地ヘ立入ルノ權利及人ノ立入ヲ許容スルノ權利ヲ之ニ附屬セシムヘシ但シ本項ニ從ヒテ土地ニ立入ルモノハ之カ爲ニ生シタル損害ニ對シ相當ノ修繕及賠償ヲナスノ責任ヲ負フヘシ

(五) 前項ノ規定ニ從ヒテ狩獵權ヲ行使スル爲土地ニ立入ルコトヲ得ル者ハ恰モ其ノ土地ノ占有者タルト同シク狩獵上ノ權利侵害ニ對シ告訴ヲナスノ權利ヲ有ス

第十四條 (一) 土地購賣法ニ依リ買主ニ歸屬シタル土地ニ土地委員會カ歷史的、傳統的又ハ美術的利益ノ爲公益物ナリト認ムル古代ノ記念物ヲ包含スル場合ニハ同委員會ハ愛爾蘭土木委員會委員ノ同意ヲ得テ命令ヲ以テ其ノ記念物

ノ所有權ハ買主ニ移轉セサルコトヲ宣言シ且記念物ヲ該委員ニ歸屬セシムルノ命令ヲナスコトヲ得

(二) 右命令ノ發セラルル場合ハ古代記念物ノ維持及毀損處罰ニ關スル千八百八十二年ノ古代記念物保護法ハ該記念物ニ對シ恰モ其ノ記念物カ該法ニ從ヒ同委員會委員ノ保護ノ下ニアルカノ如ク適用セラルヘキモノトス

(三) 該委員カ同記念物ノ自己ニ歸屬スヘキコトヲ承認セサル場合ニハ土地委員會ハ其ノ記念物所在ノ州參事會ノ同意ヲ得テ其ノ記念物ヲ同會ニ歸屬セシムルノ命令ヲナスコトヲ得之ニ對シテハ千八百九十八年ノ地方廳(愛爾蘭)法第十九條第二項ヲ適用スヘシ

(四) 本條ニ於テ「古代記念物」ナル語ハ古代又ハ中世ノ構造物、建設物又ハ記念物或ハ其ノ遺物ヲ意味ス

第十五條 (一) 所有地賣却ノ場合ニ於テ土地委員會ハ若シ適當ト認ムルトキハ又小作人トシテ其ノ所有地ニ含メル土地ノ一部ノ絕對占有ヲナス者ハ之ヲ其ノ地ノ小作人ト看做シ又其ノ地ヲ小作地ト看做スヘキコトヲ宣言スルヿヲ得

(二) 右ノ場合ニ於テ土地委員會ハ土地所有者ト規定時期内ノ介在利益取得權利者トノ間ニ契約ナキトキハ同委員會ノ定ムヘキ價格ヲ以テ土地所有者トノ間ニ介在スル利益(本法本編ニ於テハ介在利益ト稱ス)ト看做シ其ノ買收金ハ土地ノ購買金中ヨリ之ヲ支拂ヒテ恰モ之カ優越利益ノ買收金ト同樣ノ方法ヲ以テ取扱ヒ又ハ同委員會カ公平ト認ムル其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ取扱フヘシ但シ土地委員會カ介在利益ハ評價シ得サル價値ノモノナリトノ意見ナルトキハ同委員會ハ命令ヲ以テ其ノ利益消滅ヲ宣言スヘシ

(三) 本條ノ上記規定ハ介在權利カ其ノ所有者ヲシテ土地購買法ニ依リ小作人ニ賣却スルノ權能ヲ有スル人タラシムルニ足ルヘキ權利ナル場合ニハ之ヲ適用セス

(四) 右ノ所有地ニ含マルル小作地カ聯合小作人若ハ共同小作人ニ依リテ保有セラレ又ハ二人以上ノ人々ノ間ニ再分

セラレ而シテ土地委員會カ右小作人又ハ其ノ小作地ノ個々ノ部分ヲ單獨占有セルモノナルコトヲ確認スル場合ニシテ同委員會ハ若シ適當ト認ムルトキハ本法上記規定ノ目的上其ノ小作人又ハ人々ヲ其ノ單獨占有地一部ノ小作人ト看做シ又其ノ地區ハ之ヲ小作地ト看做スヘキコトヲ宣言シ得ルト共ニ又其ノ小作地ノ小作料ヲ正當ト認ムル所ニ從ヒ其ノ小作人又ハ人々ノ間ニ割當ツルコトヲ得

(五) 本條ニ依ル土地委員會ノ決定ニヨリ不利益ヲ感スル者ハ規定ノ方法ニ依リ法律委員ニ控訴スルコトヲ得

(六) 土地委員會ニ土地ヲ賣却スルノ目的上土地判事ハ本條ニ依リ同委員會ニ附與セル權能ヲ有スヘシ但シ本條ニ依ル土地判事ノ決定ニ對シテハ控訴ヲ許サス

第十六條 (一) 土地委員會ハ土地購買ノ契約ヲナス場合ニ於テ購賣地所有權ヲ左ノ事項ニ從ヒ同委員會ニ歸屬セシムルニ有效ナル歸屬命令ヲ發スルコトヲ得

(イ) 其ノ土地ニ關スル公共ノ權利

(ロ) 賣主ノ留保スル狩獵權

(ハ) 土木法ニ依ル維持費

(ニ) 其ノ土地ノ小作人ノ利益又ハ其ノ利益ニ請求權ヲ有スル者ノ利益及千八百九十六年ノ法律第三十四條ニ規定セル地役權、權利及附屬權利

但シ上記ノ外優越利益又ハ介在利益ニ關スルト雖モ債務ノ負擔其ノ他ニ關スルトヲ問ハス土地ニ利害關係アル者ハ全部ノ請求權ヲ免カレタル鑛物ニ關スル本法ノ規定ニ服ス而シテ右ノ請求權ハ總テ歸屬命令ノ日ヨリ土地ニ對シテ消滅スルト共ニ購買金ヲ附隨スルコト恰モ命令前其ノ請求權カ土地ニ附隨シタルト同樣ナリトス

(二) 本法ニ依リテ歸屬命令ヲ發スル二箇月以前ニ於テ何時ニテモ土地委員會ハ規定ノ公告ヲナシ且命令ヲナスノ意思及其ノ效果ヲ陳述スルヲ必要ナリト認ムルキハ之ヲ通告スヘシ然ルトキハ土地ニ利害關係アル者ハ規定ノ時期內ニ規定ノ方法ニ依リ歸屬ニ反對スル理由ヲ示スコトヲ得此ノ場合ニハ其ノ示サレタル理由ヲ拒絕スルニアラサレハ命令ヲナスヲ得ス

(三) 本條ニ依ル各歸屬命令ハ千八百九十一年ノ所有名義地方登記(愛蘭爾)法ニ依リテ之ヲ登記官ニ送達スヘシ是ニ於テ土地委員會ハ曩ニ規定セル一切ノ請求權ヲ免カレタル土地ノ絕對所有者トシテ該法ニ依リ登記セラル

第十七條 (一) 本法ノ上記規定ニ依リ土地ヲ賣却セントノ明瞭ナル證據ヲ提出シ其ノ時ヨリ前六箇年以上自己若ハ其ノ直前名義人カ自ラ若ハ代理人ヲ以テ小作料又ハ土地ノ利得ヲ受取リタルコトヲ土地委員會カ確認シタル場合ニシテ且適當ト認ムルトキハ其ノ者ヲ規定セラルヘキ廣告及通告ニ關スル條件ニ從ヒ更ニ其ノ所有名義ノ調査ヲ行ハスシテ購買金ノ分配若ハ本法ニ依リテ定メタル土地購買補助資金ヨリノ支拂歩合ニ關スル一切ノ目的ニ對シ土地所有者トシテ取扱フコトヲ得

(二) 無能力者ニアラサル者カ土地ノ制限所有者タルコトヲ土地委員會ニ確認セシメタル場合ニハ其ノ者ハ土地委員會カ適當ト認ムルトキハ千八百八十二年乃至千八百九十年ノ土着地法ノ目的上其ノ土着地ノ受託人アルト否トヲ問ハス又右ノ如キ受託人ノ(若シアラハ)同意ヲ得タルト否トヲ問ハス上記ノ目的上其ノ土地ノ所有者トシテ取扱ハルルコトヲ得

第十八條 (一) 土地委員會ニ於テ購買スルコトヲ契約シタル土地ノ小作料及利得ハ一箇年三歩五厘ヲ降ラサル率ノ利益タル千八百九十六年ノ法律第三十五條ニ依ル利益及本條ノ規定ニ從ヒ購買契約ノ日ニ支拂期ニ達シテ同委員會ノ未タ取立テサル延滯小作料ト共ニ恰モ小作地ニ負擔セル購買年金ノ賦拂金ト同樣ニ該契約ノ日ヨリ同委員會ニ支拂フヘク又同委員會ノ取立ツヘキモノトス

(二) 土地委員會ハ該契約ノ日ヨリ土地カ同委員會ニ歸屬スルマテ該契約ノ際土地ノ小作料ヲ受取レル者又ハ同委員會カ之ヲ受クルノ權利アリト認ムル其ノ他ノ者ニ對シ一箇年三歩五厘ノ率ニテ購買金ノ利息ヲ支拂フヘシ但シ若シ土地カ土地委員會ニ歸屬セサルトキハ本條ノ上記規定ハ同委員會カ賣却ヲ完了シ得サルコトヲ證明スル日ヨリ效力ヲ失ヒ同委員會ハ其ノ受領シタル金額ト以上ノ規定ニ依リ其ノ支拂ヒタル利息間ノ計算ヲナシ同委員會ノ證明セル殘金(若シアラハ)ヲ同委員會ヨリ又ハ委員會ヘ夫々支拂フヘシ而シテ其ノ證明書ハ其ノ中ニ述フル事項ヲ確定スルモノトス

(三) 千八百九十六年ノ法律第三十五條ハ本條ノ規定ニ從ヒ土地委員會トノ小作地購買契約ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 土地委員會カ所有地ヲ購買シ其ノ土地ノ小作人カ其ノ數及其ノ納付スル課稅價額ニ於テソレラ總額ノ四分ノ三ノ程度ニ達スルモノカ其ノ小作地ヲ買ハンコトヲ同意シタル場合ニハ所有地委員會委員ハ其ノ場合ノ事情ニ照シテ若シ便宜ト認ムルトキハ殘餘ノ小作人或ハ土地委員會ノ何人カカ其ノ申込ヲ承諾シタルモノト看做スヘキコトヲ命令スルコトヲ得從テ小作人カ購買金全額ノ立替ヲ得ント欲シ土地委員會カ規定ノ方法ニ依リテ立替ヲ爲サンコトヲ申込ミタル場合ニハ土地購買法ヲ適用ス

第二十條 (一) 受託人カ本法第四條ニ揭ケタル目的ノ爲土地購買法ニ依ル立替金ノ方法ヲ以テ土地ヲ購買スル場合ニハ其ノ受託人ハ總督ノ立案セル計畫カ又ハ承認シタル計畫ニ特定セル如キ事項及條件ニ依リ又右ニ特定セル如キ權利ト權能トヲ以テ其ノ土地ヲ保有スヘシ而シテ斯ノ如キ計畫ニハ新ナル受託人ノ任命、其ノ計畫ノ遂行ト受託人ノ

作爲或ハ不作爲ニ依リ困却セル者ヨリ總督ニ提出スル控訴及總督ヲシテ其ノ控訴ヲ審理シ正當ト認ムル命令ヲ爲サシムルコトニ關スル規定ヲ載スヘシ

(二) 右ノ如ク購買セル土地カ上記ノ目的ノ何レニ對シテモ必要ナキ場合ニハ總督ノ承認スル公共目的ノ爲ニ之ヲ處分スルコトヲ得

第二十一條 (一) 小作地ノ一部カ泥炭地ヨリ成ル所有地ノ賣却ニ際シ買主カ其ノ購買前泥炭採掘ノ獨占權ヲ有セサル場合ニ於テハ土地委員會ハ其ノ小作地ノ附近ニ在ル土地ノ占有者ノ爲ニ必要ナリト思惟セラルル泥炭地ニ對シ支拂其ノ他ニ關シテ土地委員會ノ必要ト認ムル條件ニテ其ノ占有者ノ採掘ヲ認許スル規則ヲ設クルコトヲ得而シテ此ノ規則ハ上記ノ目的ノ爲ニ土地ニ立入ルノ權利ヲ附與スルコトヲ得

(二) 本條ニ依ル取締規則ハ泥炭ノ切採其ノ泥炭地ノ將來ノ埋立ヲ妨クサルコト及相當期間小作地所有者ノ使用ノ爲ニ充分ナル泥炭及牧草ヲ殘スコトヲ確保スヘシ

(三) 本條ニ依ル取締規則ハ該規則ノ認許ノ下ニ土地ニ立入ル人カ之カ爲ニ生シタル損害ニ對シ相當ノ修繕及賠償ヲナスヘキコトヲ規定スヘシ

(四) 本條ニ依ル取締規則ハ略式方法ニテ取立ツヘキ五磅以下ノ罰金ヲ以テ規則違反ノ處罰規定ヲ設クルコトヲ得

第二十二條 土地購買法ニ依リ購買シタル小作地ノ所有者カ規定ノ方法ニテ申請ヲ爲ストキハ土地委員會ハ利害關係者ノ要求ニ依リ若シ適當ト認ムルトキハ右ノ所有者中ノ或者カ小作地ノ他ノ所有者又ハ小作人ニ對シテ要求セル小作地境界地役權又ハ附屬權利ニ關シテ生スル一切ノ問題ヲ決定スルコトヲ得

第二十三條 (一) 本法ノ上記規定ニ依リ土地委員會ノ司法權、權能及職務ハ今後ニ規定スル如ク指定若ハ任命セラルル三名ノ委員會委員(本法ニテハ土地財産委員會委員ト稱ス)ノミニ之ヲ行使スヘシ法律問題ハ若シ所有地委員會委員カ適當ト認ムルトキハ之ヲ法律委員會委員ニ附託シ其ノ裁決ヲ受クルヲ得又利害關係者ノ申請アルトキハ之ヲ法律委員ニ附託シ其ノ裁決ヲ受ケシムヘシ但シ土地財産委員會委員カ其ノ申請ノ愚妄ナルコトヲ文書ニテ證明スルトキハ此ノ限ニ在ラス

(二) 土地財産委員會委員カ問題ヲ法律委員ニ附託スルコトヲ拒絶シタル爲困却セル者ハ法令ヲ以テ改正セル千八百七十七年ノ終審法院(愛爾蘭)法第六十一條ノ下ニ在ル規則ヲ以テ規定セラレタル法ニ依リ法律委員會委員ノ規定セル時期内ニ高等裁判所又ハ同裁判所判事ニ土地財産委員會委員ヲシテ問題ヲ附託セシムルノ命令ヲ請フコトヲ得而シテ此ノ申請ニ對スル高等裁判所又ハ其ノ判事ノ判決ハ終審トス

(三) 土地財産委員會委員ノ一名ハ總督ノ指定スル現在土地委員會委員ニシテ其ノ他ハ御璽ヲ鈐セル命令書ヲ以テ土地財産委員會追加委員トシテ陛下ノ指定セラルヘキ人々トス

(四) 右ノ如ク任命セラレタル者ハ國會ノ備フル金額中ヨリ二千磅ノ年俸ヲ受クヘシ

(五) 土地財産委員會委員ハ樞密院ノ命令ニ依リテノミ其ノ職ヲ免セラルルモノトス而シテ此ノ命令ハ猶豫ナク之ヲ國會ノ兩院ニ提出スヘキモノナリ若シ何レカノ議院カ其ノ命令ノ提出サレタル後會議シ其ノ後四十日以内ニ其ノ命令ヲ無效トセンコトヲ請フノ上奏ヲ陛下ニ奉ルトキハ樞密院ニ於ケル陛下ハ之ヲ無效トスルコトヲ得ルモノニシテ爾後其ノ命令ハ無效トス

(六) 右ノ如ク指定若ハ任命セラレタル者ニ死亡、辭職、職務ニ堪ヘサルコト及其ノ他ニヨリ缺員ノ生スル場合又ハ之ニ代リテ任命セラレタルモノカ右ノ事故アル場合ニ陛下カ適當ト認メラルルトキハ御璽ヲ鈐スル命令書ヲ以テ或

人ヲ指名シ其ノ缺員ヲ補充セシムルコトヲ得

(七) 本法開始後法律委員會委員又ハ土地財産委員會委員ノ外土地委員會委員ニ生スル二名ノ缺員ハ之ヲ補充セス

(八) 土地財産委員會委員ハ本法ノ上記規定ノ施行ニヨリ總督ノ一般監督下ニ在ルモノトシ總督カ隨時定ムヘキ取締規則ニ準據シテ行動スヘシ

(九) 土地財産委員會委員ノ上記規定ノ施行ヲ補助セシムルカ爲總督ハ土地委員會委員ト協議ノ上必要ナル土地委員會ノ補助官吏ヲ指定スルコトヲ得又員數ト報酬トニ關シ大藏省ノ同意ヲ得テ他ノ必要ナル人々ヲ任命シ若ハ其ノ雇傭ヲ認許スルコトヲ得而シテ此ノ人々ノ報酬ハ土地委員會ノ經費ノ一部トシテ之ヲ支拂フヘシ

(一〇) 右ノ補助官吏及其ノ他ノ人々ハ土地財産委員會委員カ彼等ニ劃當ツヘキ職務ヲ行使スヘシ

(一一) 土地財産委員會委員ニ對スル所有地ノ賣却及所有地委員會委員ヨリ小作人其ノ他ノ者ニ爲ス賣却ハ賣主カ所有地委員會委員ノ承認ヲ得テ指定スル土地周旋人、辯護士又ハ土地書記ヲ以テ協議セシムルコトヲ得右ノ指定ナキトキハ所有地委員會委員カ大藏省ノ同意ヲ得テ定ムヘキ標準ニ依リ一定ノ價格若ハ歩合ニテ同委員ノ承認スル者ヲ以テ共ノ協議ヲナサシムルコトヲ得右ノ價格若ハ歩合ハ土地委員會ノ經費ノ一部トシテ之ヲ支拂フヘシ

(一二) 土地委員會以外ノ者ニ所有地ヲ賣却スル場合ニハ土地財産委員會委員ノ認許スル金額ハ賣主ノ同意ヲ得テ購買金中ヨリ賣却關係費用ノ一部トシテ其ノ周旋人ニ支拂フコトヲ得

(一三) 法律委員會委員及土地財産委員會委員ハ總督ノ承認ニ從ヒ且愛爾蘭合同法律協會長ト協議ノ後本法ノ上記規定ノ施行規則ヲ定ムルコトヲ得此ノ規則ハ以上ノ諸規定ニ從ヒテ土地ヲ購買センコトヲ土地委員會ニ申請スル者ノ經費ヲ制限スルノ目的上必要ニシテ且實行シ得ヘキ調査ト他ノ職務執行トヲ上記ノ官吏及人々カ行ハンコトヲ特ニ規定スヘシ而シテ是等諸規定ニ於ケル「規定ノ」ナル語ハ是等ノ規則ヲ以テ規定セルコトヲ意味ス但シ前後ノ文意上之ニ反スルノ要アルトキハ此ノ限ニ在ラス

(一四) 土地財産委員會委員ハ大藏省ノ定ムル樣式ト時期トニ依リ同委員ノ處置ノ定期報告ヲナスヘシ此ノ報告ト前項ニヨル諸規則トハ其ノ作製後成ルヘク早ク之ヲ國會ニ提出スヘシ

所有地購買金

第二十四條 (一) 土地委員會以外ノ者ヘ所有地ヲ賣却スル場合ニ於テハ其ノ所有地ニ含マルル小作地又ハ土地ノ一部カ買主ニ歸屬スルト同時ニ土地委員會ハ千八百八十七年ノ法律第十四條第一項ニ從ヒ購買金ヲ愛爾蘭銀行ニ拂込ミ購買金ニ對スル請求權ヲ附スル命令ヲナスヘシ此ノ命令ハ其ノ目的ニ對シテハ土地委員會カ自己ニ土地ヲ歸屬セシムル爲作製セル歸屬命令ト同一ノ效力ヲ有ス

(二) 土地委員會カ作製セル歸屬命令ニ依リ土地カ同委員會ニ歸屬スル場合又ハ上記ノ如ク愛爾蘭銀行ヘ現金ヲ拂込ム場合ニハ同委員會ハ本法ノ規定ニ從ヒ命令ノアリタル日ヨリ或ハ銀行拂込ノ日ヨリ購買金全部ノ分配アルマテ購買金中當分分配サレサル金額ニ對シ一箇年三歩五厘ノ利息ヲ支拂フヘシ右ノ利息ハ賣却契約ノ際土地ノ小作料ヲ受クル者又ハ土地委員會ニ於テ之ニ對シテ權利アリト認ムル其ノ他ノ者ニ之ヲ支拂フモノトス

(三) 土地委員會以外ノ者ニ土地ヲ賣リタル場合ニ於テ購買金ニ相當スル出資ニ對スル配當金カ右ノ利息ノ支拂ニ足ラサルトキハ其ノ不足額ハ購買金中ヨリ之ヲ支拂フヘシ

(四) 此ノ規定ヲ有效ナラシムル爲土地委員會ハ適當ト認ムルトキハ有期負擔ノ場合ニ於テハ其ノ負擔ノ年額ヲ支拂

フニ足ルヘキ年收入資本金額ヲ出資シテ之ヲ支拂フコトヲ得此ノ出資ハ受託人カ法律ニ依リ受託金ヲ出資スルヲ許サレタル有價證券ヲ以テスルヲ得

(五) 優越利益若ハ介在利益ノ所有者又ハ債權者ハ場合ニ依リ購買金ノ利息ヨリ或ハ購買金ニ相當スル出資ノ配當金ヨリ其ノ請求スル年收入ニ關スル支拂ヲナサシムルノ命令ノ發布ヲ何時ニテモ土地委員會ニ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ同委員會ハ若シ之ヲ正當ト確認スルトキハ命令ヲ發スルコトヲ得本項ニ於テ「年收入」ナル語ハ保險證券上ノ保險料カ土地ノ負擔タル場合ニ此ノ保險料ニ關シテ支拂フヘキ年額ヲ含ム

(六) 土地委員會ハ可及的迅速ニ購買金ノ請求權ヲ有スル者ノ目的上規定ノ方法ニ依リ請求金額若ハ請求價額ヲ確カメテ之ヲ購買金ヨリ辨濟シ償却シ若ハ支拂フコトヲ得而シテ一切ノ負擔又ハ債務ノ負擔ハ如何ナル證書ニ反對ノ指示、但書又ハ契約アリトモ之ヲ支拂フコトヲ得

(七) 場合ニ依リ歸屬命令ノアリタル後或ハ愛爾蘭銀行ヘノ拂込アリタル後ハ土地委員會ノ許可ヲ得サレハ購買金又ハ其ノ收入ニ對スル請求ニ關シテハ如何ナル手續モ取ルヲ得ス

(八) 後ニ規定スル日附ニヨリ延滯小作料カ支拂ハルヘキ小作地ヲ含ム所有地ノ賣却ノ場合ニハ如何ナル場合ニ於テモ延滯金ニ相當スル金額ヲ一箇年ノ小作料ヲ超過セサル高ニ於テ購買金中ヨリ支出シテ其ノ延滯金ヲ自己ノ使用ノ爲ニ受取ルノ權利アリタル者ニ支拂フヘシ上記ノ日附ハ土地委員會ノ購買セル所有地ノ場合ニハ其ノ購買契約ノ日トシ其ノ他ノ者ノ購買シタル所有地ノ場合ニハ小作地購買契約ノ日トス

(九) 土地委員會ハ購買金ニ對スル名義ヲ確カメ且之ヲ分配スル爲必要ニシテ且實行シ得ヘキ調査ト其ノ他ノ職務トヲ其ノ役員ヲシテ行ハシムルコトヲ得此ノ確認及分配ハ大藏省ノ認許スル程度マテハ購買金ニ對シテ權利アル者ニ負擔ヲ負ハシメスシテ之ヲ行フヘシ而シテ此ノ目的上土地委員會カ所有名義地方登記局、證書登記所及判決登記所ニ於テ司ル一切ノ搜査ハ無料ニテ之ヲ行フモノトス

(十) 土地委員會ハ申請ヲ俟タスシテ本法ニ依ル賣却ノ完成ヲ容易ナラシムル目的上地主ヨリ小作人ヘ賣却ヲナス場合ニ土地購買法ニ依リ同委員會ニ附與セル一切ノ權能ヲ有シ且之ヲ行使スルコトヲ得玆ニ謂フ賣買ノ完成中ニハ購買金ノ分配ヲ含ム

(十一) 本條ノ目的上土地委員會ハ其ノ有スル權能ノ外千八百四十五年ノ土地條目整理法第七十八條及第七十九條ニ依リテ高等裁判所ニ附與セル一切ノ權能ヲ有ス而シテ右ノ兩條ハ恰モ本條ニ依リテ分配サルヘキ購買金カ兩條ニ依リテ支拂ヒ若ハ積立テラルルカノ如ク之ヲ土地委員會ニ準用ス

(十二) 本條ニ依リテ土地委員會ノナス手續ハ如何ナル裁判所ヘモ之ヲ移スヲ得ス又如何ナル裁判所モ之ヲ制限スルヲ得ス本條及千八百九十六年ノ法律第四十一條ヲ以テ規定セラルルモノノ外土地委員會ノ如何ナル決定ニ對シテモ控訴ヲ許サス

(十三) 法律委員會委員ノ與ヘタル本條ニ依ル決定又ハ法律委員會委員カ當事者タル決定ニ對シテハ控訴院ニ控訴ヲナスヘシ而シテ法律問題以外ノ問題ニ關スル控訴院ノ決定ハ終審トス

第二十五條 (一) 土地委員會カ購買金ノ請求權ヲ附スル命令ヲナス場合又ハ土地委員會カ土地購買契約ヲ締結スル場合ニハ其ノ命令又ハ契約ニハ場合ニ依リ本法ニ於テ「締切日」ト稱スル日ヲ特定スヘシ此ノ日ハ命令又ハ契約ノ日ヨリ十二箇月ヲ超エサルモノトス

(二) 賣主タルト債權者タルト優越利益若ハ介在利益ノ所有者タルトヲ問ハス購買金ニ對シ請求權ヲ附セラレタル者

ノ名義ヵ締切日ニ於テ定マラサルトキ及請求額ニ相當スル購買金ノ一部分ヵ千八百八十七年ノ法律第十四條第一項ヲ以テ附與セラレタル權限ニ從ヒテ出資セラレサルトキハ其ノ名義ノ定マルマテ其ノ請求ニ關スル利息ハ購買金ヨリ之ヲ支拂フヲ得ス又土地委員會カ未濟立替金ニ關シテ國債委員ニ支拂フヘキ率ヨリ高キ率ニテ契約又ハ捺印證書ニ依リ之ヲ取立ツルヲ得ス但シ本項ハ土地委員カ右ノ名義ノ不決定ハ其ノ者ノ行爲若ハ怠慢ノ爲ニアラスシテ其ノ請求金額カ上記ノ如ク出資セラレサルコトニ因ルコトヲ確カムル場合ニハ之ヲ適用セス

此ノ規定ノ目的上利息ハ優越利益又ハ介在利益ノ償却價額ニ對シテ之ヲ計算スヘシ

(三) 購買金ニ利害關係アル者カ自身又ハ代理人若ハ辯護士ニヨリテ請求權確認ノ手續ヲ執ルノ義務アルカ又ハ之ヲ執ルコトヲ命セラレタルニ不拘之ヲ爲スヲ遲滯シタル罪アル場合ハ其ノ遲滯ハ土地委員會ニ於テ宥スヘカラサルモノト認ムルトキハ同委員會ハ其ノ者カ本法ノ上記規定ニ依リテ有スヘキ利益ニ對スル權利ノ全部又ハ一部ヲ命令ヲ以テ剝奪スルコトヲ得

(四) 本條ノ規定アルニ拘ラス賣主又ハ債權者ハ分配未濟ノ購買金ヲ法律カ保管基金ノ投資ニ付隨時認許スル有價證券ニテ出資センコトヲ裁判所ニ申請スルコトヲ得

第二十六條 土地購買法ニ依リテ土地ヲ賣ルヘキ權利アル者カ白痴ナル爲ニ其ノ權利ヲ失ヒタル場合ニハ大法官ハ恰モ其ノ賣却カ千八百七十一年ノ白痴取締(愛爾蘭)法第六十三條ニ規定セル目的ノ一ニ必要ナルモノトシテ土地賣却ノ命令ヲナスコトヲ得從テ同條ヲ適用ス

一般財政

第二十七條 土地購買法ノ月的ノ爲ノ立替金ハ本法制定後締結シタル契約ノ場合ニ於テハ保證土地債券ヲ以テセシシテ現金ヲ以テスヘシ而シテ此ノ目的ノ爲ニ要スル金額ハ國債委員會委員ノ管理下ニ在リテ「愛爾蘭土地購買基金」ト稱スル特別基金ヨリ之ヲ支出ス

第二十八條 (一) 愛爾蘭土地購買基金ニ要スル金額ヲ募集スル爲大藏省ハ英克蘭銀行又ハ愛爾蘭銀行ニ宛テタル命令書ヲ以テ額面資本額ニ對シ一箇年二歩四分ノ三ノ率ノ配當金ヲ附スル無期年金ヨリ成レル新資本債券(「保證付二歩四分ノ三利債券」ト稱シ本法ニ於テハ「債券」ト稱ス)ノ設定ヲ命スルコトヲ得

(二) 年金ハ最初ノ債券發行命令書ヲ以テ定メラレタル毎年ノ時期ニ半箇年又ハ四分ノ一箇年ノ同額配當金ヲ以テ支拂フヘキモノトス

(三) 債券ハ本法ノ開始ヨリ三十箇年滿了マテハ之カ償還ヲナスコトヲ得スト雖其ノ滿了ノ日ヨリ「ロンドン、ガゼツト」新聞及「ダブリン、ガゼツト」新聞ニテ公表セル三箇月ノ告示後債券額百磅毎ニ英貨百磅ノ率ニテ一切ノ拂殘利息ノ支拂ト共ニ之ヲ償還スヘシ

(四) 債券ニテ募集シタル金額ハ發行費ヲ支給シタル後愛爾蘭土地購買基金ノ資本勘定ノ貸方ニ之ヲ入ルヘシ

(五) 債券ハ預金竝ニ割賦拂金ノ支拂及配當金ヲ附シ又ハ附セサル假債券發行ニ關シ大藏省ノ指定スルカ如キ時期、額及條件ニ依リ之ヲ發行スルコトヲ得

第二十九條 (一) 債券ニ對スル配當金ハ愛爾蘭土地購買基金ノ收入ヨリ之ヲ支拂ヒ若シ其ノ收入ニテ足ラサルトキハ合衆王國國債整理基金又ハ其ノ增加利得ノ負擔トシ其ノ中ヨリ之ヲ支拂フヘシ

(二) 右ノ如ク整理基金ヨリ支拂ハルル金額ハ愛爾蘭土地購買基金ニ對スル臨時立替金トシテ之ヲ取扱ヒ保證基金ヲ以テ之ヲ補償スヘシ

第三十條　債券ヲ發行スル代リニ大藏省ハ其ノ承認スル條件ニテ愛爾蘭土地購買基金ノ爲ニ臨時借入ヲ爲スコトヲ國債委員會委員ニ認許スルコトヲ得右ノ如キ借入認許額ハ國債委員會委員カ投資ニ利用シ得ヘキ現金殘高中ヨリ之ヲ貸與シ又ハ英克蘭銀行若ハ愛爾蘭銀行ヨリ之ヲ貸與スルコトヲ得此ノ場合ニハ次ノ發行債券ヨリ又ハ愛爾蘭土地購買基金ノ資本勘定ノ貸方トナレル金額ヨリ之ヲ拂戻スモノトス右ノ如キ借入金ノ利息ハ債券ノ配當金ト同樣ニ愛爾蘭土地購買基金ノ收入ノ負擔トスヘシ

第三十一條　當債券ハ他ノ債券カ千八百七十年ノ國債法ニ依リテ移轉シ得ルト同樣ニ英克蘭銀行及愛爾蘭銀行ノ帳簿ニ之ヲ移轉スルコトヲ得ルヲ以テ本法ノ趣旨ト一致スル範圍内ニ於テ該法ノ規定及該法ニヨリ改正セラレタル規則ニ從フヘシ

第三十二條　國債管理ノ爲英克蘭銀行及愛爾蘭銀行ニ支拂フヘキ年額計算ノ目的上該債券ヲ以テ英克蘭銀行及愛爾蘭銀行ノ帳簿ニ書込メル國債ノ一部ト看做スト雖右ノ如ク支拂フヘキ年額ハ土地委員會ノ經費ノ一部トシテ之ヲ支拂フヘシ

第三十三條　資本ト收入トニ關スル愛爾蘭土地購買基金ノ收支計算ハ國債委員會委員之ヲ行ヒ監督官及檢査官長其ノ計算ヲ檢査シタル後之ヲ國會ニ提出ヘシ

第三十四條　（一）當分愛爾蘭土購買基金ノ資本勘定又ハ收入勘定ノ貸方ニ在ル金額ハ該基金ノ負擔トナレル金額ノ支拂又ハ本法ニ依ル立替金ニ之ヲ充當スルコトヲ得

（二）愛爾蘭土地購買基金ノ資本勘定又ハ收入勘定ノ貸方ニ在ル殘高ハ大藏省ノ承認スル方法ニ依リ國債委員會委員ニ於テ臨時之ヲ投資スルコトヲ得

第三十五條　（一）本法ノ目的上土地委員會ハ大藏省ノ指示スル如キ細目ト記入事項トヲ載スル帳簿ヲ作リ大藏省ノ必要トスル場合ニ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ

（二）土地委員會ノ帳簿ハ大藏省ノ規定スル方法ニ依リテ之ヲ檢査スヘシ

第三十六條　（一）土地委員會ハ國債委員會委員カ本法ニ依リ土地委員會ニ立替ヘタル金額ニシテ同委員ノ購戻シ證明ナキモノノ全部ニ對シテハ一箇年二歩四分ノ三ノ率ノ利息ヲ國債委員會委員ニ支拂フヘシ

（二）土地委員會カ立替ヲナス場合ニハ同委員會ハ其ノ立替金ノ拂戻濟マテ其ノ立替ニ關シ一箇年十志ノ歩合ヲ國債委員會委員ニ支拂フヘシ此ノ十志ハ貯蓄減債基金トシテ之ヲ取扱フモノニシテ之カ爲之ヲ愛爾蘭土地購買基金ノ資本勘定ニ貸方トシテ記入シ之ヲ債券ノ購買ニ充當シ又ハ本法ニ依リ更ニ行フ立替金ニ出資シ又ハ大藏省ノ承認スル有價證券ノ購買ニ臨時投資スヘシ

（三）土地委員會カ土地ヲ購買スル場合ニハ減債基金ノ計算ニ對スル金額ハ同委員會カ其ノ土地ヲ買主ニ賣却スルカ又ハ其ノ土地カ同委員會ニ歸屬シテヨリ五箇年ノ期間ヲ滿了スルカ何レカ早キ方ノ來ルマテ之ヲ支拂フヲ得ス但シ五箇年ノ滿了ト土地ノ賣却トノ間ノ中間期間ニ於ケル減債基金ノ計算ニ對スル支拂ハ一箇年十志ノ歩合ニテ之ヲナスヘシ

（四）何時ニテモ右毎年ノ支拂カ四十日間延滯スルトキハ其ノ延滯額ヲ保證基金ニ課シ同基金ヨリ直チニ之ヲ補償セシムヘシ

（五）前項ニ依ル土地委員會ノ支拂ハ大藏省ノ規定スル毎年ノ時期ニ之ヲナスヘシ

（六）債券ヲ割引ニテ發行シタルカ爲債券ニテ募集シタル金額ノ土地委員會ヘノ立替ニ關シ同委員會カ本條ニ依リ會計年度中ニ支拂フヘキ金額カ現在債券ノ總額ニ對スル配當金ト同委員會ノ十志ノ歩合ヲ支拂フヘキ立替金ニ相當ス

ル債券ノ部分ニ對スル十志ノ歩合トヲ支拂フニ足ラサル場合ニハ其ノ不足額ハ保證基金ヨリ之ヲ補償スヘシ

(七) 債券ヲ額面以上ニテ發行シタルカ爲債券ニテ募集シタル金額ノ委員會ヘノ立替ニ關シ同委員會カ本條ニ依リ會計年度中ニ支拂フヘキ金額カ現在債券ノ總額ニ對スル配當金ト同委員會ノ十志ノ歩合ヲ支拂フヘキ立替金ニ相當スル債券ノ部分ニ對スル十志ノ歩合トヲ支拂フヨリモ以上ナル場合ニハ其ノ超過額ハ先ツ之ヲ前項ニ依リ保證基金ヨリ支拂ヒタル金額ヲ大藏省ノ規定スル方法ニテ要求ニ從ヒ同基金ノ拂戻ニ充當シ其ノ殘餘ハ之ヲ積立勘定ニ繰入レテ前項ニ規定スル保證基金ノ將來ノ負擔ノ辨濟スルニ充當セシムルカ又ハ愛爾蘭土地購買基金ト關聯セル他ノ目的ニシテ大藏省ノ承認スルモノニ之ヲ充當スヘシ

第三十七條 總督ハ大藏省ノ承認ヲ得テ土地委員會ノ爲ニ愛爾蘭土地購買基金ニ對シ手形ヲ振出スノ資格アルモノ及其ノ振出シ方法トニ關スル規則ヲ制定スルコトヲ得

第三十八條 若シ今議會ニ於テ通過スル法律ニ依リ愛爾蘭開發補助金ノ規定ヲ爲ストキハ左ノ規定ハ效力ヲ生ス

此ノ補助金ヨリ會計年度毎ニ二萬磅ヲ稠密地方局ニ支拂ヒ五萬磅ヲ千九百七年三月三十一日ニテ終ル年度マテ會計年度毎ニ愛爾蘭土地購買基金ノ收入勘定ニ繰入レ上記期間中ノ補助金ノ殘額ト其ノ後ノ全補助金トヲ以テ保證基金現金部分ノ一部分ノ一部ヲ成サシムヘシ右ノ如ク保證基金ニ繰入タル金額ノ部分カ本法ニ依リテ發行セル債券ノ割引發行ニ關シ不足額ヲ償フカ爲ニ必要ナル範圍内ニ於テ千八百九十一年ノ法律第五條ニ愛爾蘭遺產動產稅補助金ト稱シ現今ニテハ千八百九十四年ノ財產法第十九條ニ依リテ支拂フヘキ遺產相續稅補助金ト稱スル補助金ニ先チテ上述目的ノ爲ニ其ノ部分ヲ充當シ殘餘中保證基金ノ目的ニ要スル部分ハ千八百九十八年ノ地方廳(愛爾蘭)法ニ依リテ農業補助金ニ充當シタル後ニ右ノ目的ニ充當スヘシ

第三十九條 (一) 前條ノ規定ニ從ヒ一箇年五千磅ノ金額ヲ「ダブリン」市「トリニチー」大學ノ計算ノ爲ニ愛爾蘭開發補助金ニヨリ信託官ニ支拂フヘシ

(二) 信託官ハ土地購買法ニ依リ大學ノ所有セル優越利益ノ償還ニ付キ生スル收入ノ缺損卽チ優越利益ニ關シテ支拂ハルヘキ年收入ト優越利益ノ償還金ヲ投スル其ノ投資ノ年收入トノ間ノ差ニ付キ大學ニ對シ右ノ金額ヲ以テ保證スヘシ

(三) 信託官ハ年ニ依リテ大學ニ對シ收入ノ缺損ヲ償フノ要ナキ右五千磅ノ一部分ト其ノ利息トヲ出資シテ其ノ後ノ年ニ於ケル缺損補償ニ充ツルコトヲ得

(四) 大學ノ所有セル優越利益ノ償還金ノ投資ハ信託官ノ助言ニ依リテ之ヲ爲シ右ノ助言ニ依リテ始メテ之ヲ變更スルコトヲ得

第四十條 (一) 法律制定後ノ次ノ三月三十一日以後ハ保證基金ノ現金部分ニ對スル支拂ハ千八百九十八年ノ地方廳(愛爾蘭)法ニ依リ農業補助金ヲ以テ支拂フモノトス該補助金ハ千八百九十四年ノ財政法第十九條ニ依リ支拂フヘキ遺產相續稅補助金ニ充當シタル後前記保證基金ノ正金部分ノ目的ニ之ヲ充當スヘシ

(二) 千八百九十九年ノ農業及技術教育(愛爾蘭)法第十五條ロ號ニ依リテ支拂ヘキ年額ハ保證基金ノ臨時部分ノ一部ヲ成シ貧民白痴扶助費ヲ助クル補助金ニ代レル補助金ニ充當シタル後該目的ニ對シテ用ユヘシ

(三) 千八百九十一年ノ法律第九條第一項ヲ以テ課スル州ノ保證基金割當額二十五倍ノ制限ニ代フルニ右ノ割當額三十倍ノ制限ヲ以テスヘシ

(四) 千九百一年ノ土地購買(愛爾蘭)法第一條第一項ヲ以テ課スル州ノ保證基金割當額五十磅ノ制限ニ代フルニ右

ノ割當額六十倍ノ制限ヲ以テスヘシ

第四十一條　土地購買法ヲ以テ大藏省ニ附與シタル規則制定權ハ本法ノ財政規定施行ニ關スル規則制定ト及本法ニ先タチ通過シタル土地購買法ノ財政ニ關スル規定ヲ本法ノ要求ニ適應セシムルニ關スル規則制定トニ之ヲ擴張スヘシ

第四十二條　國債委員會委員ヲ含ミ總テノ人々ハ整理債券ニ於ケルト同樣ニ債券ニ投資スルノ權能ヲ有ス

第四十三條　（一）大藏省ハ土地委員會ノ要求ニ依リ千八百九十一年ノ法律第五條第二項ロ號ニ依リ設定シタル積立基金ヨリ土地委員會カ所有地及未小作地ノ利益又ハ委員會ノ行フ改良ニ必要ナルコトヲ證明シ得ル金額ノ立替ヲ命スルコトヲ得

（二）土地委員會ハ何時ニテモ右ノ立替額ノ一部ヲ該積立基金ニ拂戻スコトヲ得

（三）大藏省ノ定ムル取締規則ハ土地委員會カ所有地ノ改良ニ經費ヲ支出シ其ノ結果其ノ所有地ノ一部ヲ增加價額ヲ得小作人又ハ其ノ他ノ者ニ賣却シタル場合ニ國債委員會委員ハ改良ノ結果ノ增價ニ相當スル金額ヲ積立基金ヘ拂戻ス爲土地委員會ニ立替フルヲ得ル旨ヲ規定スルコトヲ得

（四）土地委員會カ小作地ノ改良ニ經費ヲ支出シ其ノ改良ノ結果得タル增價ハ本法第一條ノ目的ニ對シテハ之ヲ計算ニ入レサルモノトス

第四十四條　（一）土地委員會ノ購買シタル稠密所有地ノ轉賣ヲ完了スルトキハ最近ニ購買シテ轉賣シタル稠密所有地全體ノ購買及轉賣ニ關聯セル利益若ハ損失ヲ示セル計算書ヲ作ルヘシ

（二）若シ計算カ取引全體ニ於テ純損失ヲ示ストキ換言スレハ土地委員會ノ支拂ヘル額カ轉賣ニテ同委員會ノ得タル資本額以上ナルトキハ二歩四分ノ三ノ率ニ於ケル利息ト前記純損失額ニ對スル一箇年十志ノ歩合ノ減債基金トヲ所有地ノ轉賣ニ依リテ得タル總金額ノ一箇年一割ノ範圍內ニテ大藏省ノ定メタル規則ニ依リテ損失額ノ免除セラルルマテ土地委員會ノ費用ノ一部トシテ支拂ヒ又愛爾蘭土地購買基金ノ貸方ニ記入スヘシ

（三）稠密所有地ノ購買及轉賣ニ關スル利益ト損失トヲ計算スルニ付テハ所有地ノ利益又ハ改良ノ爲土地委員會ノ費シタル金額モ右經費ノ結果得タル價額騰貴モ之ヲ計算ニ入レス

購賣者ノ拂戻

第四十五條　土地購買法ニ依ル立替金ニ關シテハ本法ノ制定後締結シタル契約ニ從ヒ

（一）立替金ハ總テ大藏省ノ規定スル方法ト時期トニ依リ立替金百磅毎ニ三磅五志ノ歩合ニテ又ハ之ヨリ少キ額ニ對シテハ之ニ準シ計算セル購買年金ヲ以テ之ヲ拂戻スヘシ

（二）購買年金ハ其ノ支拂原因タル立替金ノ全部カ大藏省ノ規定スル方法ニ依リ拂戻サレタリト確認セラルルマテ之ヲ支拂フヘシ

（三）購買年金計算法ニ關スル千八百九十六年ノ法律第三十五條ハ之ヲ適用セス

第四十六條　（一）本法ニ依ル各購買年金又ハ未拂ノ部分ハ該年金ヲ支拂フノ責任アル者ヨリ貯蓄減債基金ト債券ノ所要額即チ大藏省ノ定ムル命令ニ依リテ決セラルヘキ額ヲ購買スルニ足ル金額（其ノ日マテノ利息支拂後）トノ間ノ差額ヲ土地委員會ニ支拂ヒ以テ其ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得

（二）購買年金又ハ其ノ一部ノ償還アリタル場合ニハ國債委員ハ大藏省ノ定ムル方法ニ依リ上記ノ債券ノ額ト相殺ス

(三) 本條ニ依ル規則ハ制定後成ルヘク早ク之ヲ國會ノ兩院ニ提出スヘシ

土地購買補助基金

第四十七條 (一) 愛爾蘭土地購買基金ノ一部トシテ「土地購買補助基金」ト稱スル基金ヲ設定シ會計年度毎ニ此ノ基金ヨリ大藏省カ土地委員會ノ要求ニ依リテ認許スヘキ金額ヲ土地委員會ニ支拂フヘシ但シ其ノ支拂總額ハ千二百萬磅ヲ超ユルヲ得ス

(二) 土地購買補助基金ノ爲ニ要スル金額ハ本法ニ規定セル如ク保證附二歩四分ノ三利債券ノ發行ヲ以ヲ之ヲ募集シ本條ノ目的ノ爲ニ發行シタル債券額ニ對スル配當金ヲ支拂フニ足ルヘキ金額ハ減債基金ノ方法ヲ以テスル一箇年十志ノ歩合ト共ニ國會ヨリ支給セラルル金額ヨリ毎年之ヲ愛爾蘭土地購買基金ニ支拂フモノトス

(三) 土地委員會ヨリ國債委員會委員ニ爲ス立替金拂戻ニ關スル本法ノ規定ハ本條ニ依ル立替金ニ之ヲ適用セス

第四十八條 (一) 本法ニ依ル所有地ノ賣却ヲ助クルカ爲土地委員會ハ規定ノ方法規定ノ時期ニ於テ該基金ヨリスル國債委員ノ立替金ヲ以テ土地購買法ニ依リテ立替ヘタル購買金額ニ對シ一割二歩ノ率ニテ計算セル金額ヲ各賣却地ノ賣主ニ支拂フコトヲ得但シ賣主カ土地ノ小作料若ハ利益ノ部分ヲ自己ノ使用ノ爲ニ受取ルノ權利ナキ程土地ニ多額ノ債務ヲ負フ場合又ハ土地判事ノ賣却セル所有地ニ關シ歩合ヲ支拂フヘキ場合ニハ其ノ歩合ハ之ヲ購買金ニ加ヘテ賣主ニ支拂ハサルモノトス

(二) 歩合支拂ノ元金タル購買金額ヲ見積ルニ付テハ土地ノ賣主ニ轉賣シタル土地ノ價額ヲ除ク

(三) 本法開始ヨリ五箇年ノ滿了後五箇年毎ニ大藏省ハ基金ノ未使用殘額ト之ニ對スル債權トノ關係ヲ整理スル爲歩合ヲ改正スルコトヲ得此ノ場合ニハ其ノ發表ノ日以後締結セル土地賣買契約全部ニ其ノ改正歩合ヲ適用ス

(四) 土地カ千八百九十六年ノ法律ニ關係ナク價格ニ付キ所有者ノ同意ナクシテ賣却セラルル如キ事情アル場合ニ土地判事ノ賣却スル所有地又ハ土地判事ノ絶對賣却命令カ本法制定ノ日ニ有效ナルカ如キ事情アル所有地又ハ所有抵當權者ニ依リテ賣却セラルル所有地ニハ本條ヲ適用セス

手數料及印紙

第四十九條 土地委員會又ハ稠密地方局ノ購買セル土地ノ所有權登記或ハ同委員會、同局又ハ兩者ヨリノ購買者ニ發行セル土地證明書ニ付テハ所有名義地方登記局ニ手數料ヲ支拂ハス

第五十條 土地購買法又ハ本法第二編ニ依リテ作製シ又ハ發行セル命令又ハ證書ニ付テハ右ノ法規ニ依リ立替ヲ爲ス土地カ或人ニ歸屬シ又ハ讓渡サレ若ハ讓渡ノ契約セラルル場合ハ之ニ對シ印紙稅ヲ支拂ハス

受託人

第五十一條 (一) 土地購買法ニ依ル立替金ヲ以テ購買セル土地カ千八百八十二年乃至千八百九十年ノ土著地法ノ意義內ニ於ケル土著地ナル場合ニハ土著地受託人ハ土著地ノ內容如何ニ拘ラス受託人カ法律ニ依リテ認許セラレタル信託基金ノ投資ニ對シテノミナラス又次ニ揭クル投資ニ對シ終身小作人ノ要求ニ依リ他ノ同意ヲ經スシテ購買金又ハ其ノ一部ヲ投資スルコトヲ得

(イ) 租稅擔保ニテ借入ヲ認許セラルル合衆王國ノ地方自治團體又ハ其ノ他ノ地方官憲カ國會ノ法律又ハ假命令ノ

認許ノ下ニ課スル地方稅又ハ一般租稅ニ依リテ保證セラルル公債、債券又ハ抵當

(ロ) 合衆王國ノ世襲地ヨリ生スル地代ニシテ其ノ額カ右ノ地代ヲ生スル邸宅地ノ苛重小作料(rack-rent)ノ年額ノ四分ノ一ヲ超ヘサルモノ

(ハ) 國會ノ法律ヲ以テ合同シタル合衆王國鐵道會社ノ債券又ハ抵當

(ニ) 千八百六十年乃至千九百年ノ軌道(愛爾蘭)法ニ係リ配當金ヲ保證セル軌道又ハ輕便鐵道ノ株

(ホ) 受託人カ本法又ハ其ノ他ノ法律ヲ以テ信託基金ノ投資ヲ認許セラレタル投資ニ依リテ保證セラルル公債、債券又ハ抵當

(ヘ) 投資ノ日ニ先ツ十年間其ノ通常株ニ對シ配當ヲ支拂ヒタル鐵道會社ノ債券又ハ全部拂込株

但シ前ニ本條ニ掲ケタル投資ノ場合ニ於テ終身小作人ノ死亡又ハ信託完了ニ依リ其ノ投資額ヲ無效ナラシメサルコトヲ本法ニ依ル信託官ノ報償ニヨリ保證セラルヘシ

(ト) 法規ヲ以テ改正セル千八百七十七年ノ終審法院(愛爾蘭)法第六十一條ニ依ル法制官カ認許セル投資

(一) 其ノ官憲ハ本條ニ依リ購買金ノ投資ニ付テ其ノ認許セル投資ノ一覽表ヲ隨時「ダブリン、ガゼット」新聞ニ公表セシムヘシ

(三) 受託人ハ本條ヲ以テ附與セラレタル權限ニ從ヒテ爲セル投資ノ爲ニ責任ヲ負ハス

(四) 土地購買法ニ依リテ賣却シタル土地又ハ其ノ土地ノ負擔又ハ之カ爲ニ得タル金額ニ關スル一切ノ訴訟手續ノ場合ニハ裁判所ハ信託違反ト稱スル取引カ本法制定ノ前ニ在リタルト後ニ在リタルトヲ問ハス受託人カ信託違反ノ責任アリ若ハ個人的ニ其ノ責任アラント思惟スルモ正當ニ且相當ニ行動シ而モ其ノ信託違反ト此ノ違反事項ニ付裁判所ノ指揮ヲ仰カサリシ點トニ對シテ充分寬恕ノ理由アリト認ムルトキハ之ニ對スル受託人ノ全部又ハ一部ニ對シ責任ヲ許スコトヲ得

第五十二條 (一) 土地購買法ノ目的上信託官ヲ設ク

(二) 信託官ハ其ノ名稱ヲ以テスル團體ニシテ永久ニ繼續シ且官印ヲ有シ其ノ名ニ於テ訴訟ヲ起シ又ハ起サルルコトヲ得

(三) 總督ハ信託官ノ職ニ適當ナル人ヲ任命シ其ノ欲スル期間在職セシム

(四) 信託官ハ國會ノ供與スル金額ヨリ大藏省ノ認可スル俸給ヲ受クルモノトス

(五) 信託官ハ大藏省ノ認許ニ從ヒ本法ノ目的上必要ナリト認ムル率ト方法トニ依リテ報酬ヲ受ク而シテ信託官ノ職務ノ費用ト其ノ職務ニ附隨スル費用トハ土地委員會ノ經費ノ一部トシテ之ヲ支拂フモノトス

(六) 信託官カ本法ニ依リテ爲セル勞務ニ對シテハ手數料ヲ信託官ニ支拂ハス

(七) 信託官ハ本法ノ規定ニ從ヒテ誠實ニ行ヘル行爲若ハ事項ノ爲ニ責任ヲ負ハス

(八) 信託官ハ個人又ハ社團法人若ハ單獨法人ト共ニ財產ヲ共有スルコトヲ得又其ノ名ヲ以テ單獨ニ又ハ個人ト共同ニテ會社又ハ個人ノ帳簿上ニ株又ハ有價證券ノ所持者トシテ記入セラルルコトヲ得

(九) 信託官カ其ノ官印ヲ捺シテ發セル命令ハ信託官ノ利害關係ヲ有スル範圍ニ於テハ株及有價證券ノ移轉ニ關シ會社又ハ個人ニ對シ必要且充分ノ證憑トス

(一〇) 土地購買法ニ依ル立替金ヲ以テ土著地ヲ購買シ其ノ土著地受託人アラサル場合ニハ土地委員會ハ信託官ヲ其ノ

土著地受託人ニ任スルコトヲ得

(二) 土著地受託人カ前條ニ從ヒテ認許セラレタル有價證券ニ購買金ノ投資ヲ拒ミ又ハ之ヲ怠リタルトキハ終身小作人ハ信託官ヲ以テ此ノ受託人ニ代ヘンコトヲ土地委員會ニ申請スルコトヲ得之ニ對シ土地委員會ハ命令ヲ以テ此ノ變換ヲ行フコトヲ得

(三) 土著地受託人ハ自己ノ信託ヲ解キ信託官ヲ後任者ニ命セラレンコトヲ土地委員會ニ申請スルコトヲ得土地委員會ハ若シ適當ト認ムルトキハ之ニ依リ命令ヲナスコトヲ得

(三) 本條ノ規定ニ依リテ信託官カ土著地受託人ニ任命セラレタル場合ニハ土地委員會ハ事情ニ應シテ信託基金ヲ之ニ歸屬セシムルヤ否ヤノ爲ニ必要ナル命令ヲ更ニ發スルコトヲ得

(四) 本條ノ上記規定ヲ以テ土地委員會ニ附與セル權限ハ土地判事カ土地購買法ニ依リヲ賣却スル土地ノ購買金ヲ分配スルカ又ハ分配シタル場合ニハ土地判事之ヲ行使スルコトヲ得從テ以上ノ規定ハ土地委員會ニ土地判事ヲ代ヘテ之ヲ適用ス

(五) 土地判事及土地委員會ハ本條ヲ施行シ且信託官ノ權限竝ニ職務ノ行使ヲ取締ル爲メ總督ノ承認ヲ得テ規則ヲ定ムルコトヲ得殊ニ所有地ヲ賣ラント欲スル者ノ要求アルトキハ信託官ハ其ノ賣却ノ經濟的結果ノ見込ヲ示スヘキコトヲ規定スルコトヲ得

雜則

第五十三條　立替金ニ制限ヲ負ハシムル土地購買法ノ規定如何ニ拘ハラス左ノ規定ハ效力ヲ有ス

(一) 千九百一年一月一日以後ニ小作地ノ小作ヲ設定シタルトキハ小作地ノ購買ニ關スル立替金ハ當時未タ購買者ノ支拂ハサル土地購買法ニ依ル前ノ立替金額（若シアラハ）ト共ニ五百磅ヲ超ユルヲ得ス但シ稠密地方州ヲ含マサル行政州又ハ其ノ州ノ一郡ニ在ル小作地ニ在リテハ土地委員會カ其ノ購買者ニ更ニ多クノ立替ヲ認可スルモ附近ニ住スル他人ノ要求ト事情トヲ害スルコトナシト認ムル場合ニハ土地購買法ノ他ノ制限ニ從ヒテ右ノ制限ヲ超ユルコトヲ得但シ又本條ハ從前ノ小作地又ハ其ノ一部ヲ購買スル前小作人若ハ土地委員會カ其ノ代理人ト指定スル者ノ場合及稠密地方局ノ設定セル小作ノ場合ニ之ヲ適用セス

(二) 土地委員會ハ土地ヲ所有地ノ賣主ニ賣戻ス場合ノ外裁判所又ハ判事ノナセル一千磅以上ノ貸付ニ依リ保有セル土地ノ購買者ニ對シテハ土地購買法ニ依リテ立替ヲ認可セス但シ本項ノ制限ハ土地委員會カ前項ニ規定セル事情ニ依リテ便宜ト認ムル場合ニハ之ヲ二千磅ニ擴張スルコトヲ得

(三) 本條ノ規定ハ土地判事カ本法制定前當該第四十條ニ依リテ土地委員會ニ要求ヲ發シタル所有地ニ影響ヲ及ホサス

第五十四條　(一) 土地委員會カ本法開始後土地購買法ニ依リテ購買ノ爲立替ヲ爲シタル小作地ノ終身所有者ト土地委員會トノ間ニハ左ノ條件ヲ附ス卽チ

(イ) 其ノ小作地ハ土地委員會ノ同意ヲ得サレハ之ヲ細分シ若ハ貸付スルヲ得ス所有者若シ右ノ同意ヲ經スシテ其ノ小作地又ハ其ノ一部ヲ細分シ若ハ貸付シタルトキハ土地委員會ハ其ノ小作地ヲ賣却セシムルコトヲ得

(ロ) 所有者カ破產ノ爲ニ其ノ小作地ノ名義ヲ剝奪セラルルトキハ土地委員會ハ其ノ小作地ヲ賣却セシムルコトヲ得

（八）　所有者ノ死亡ニ依リ小作地カ遺贈、遺讓、無遺言ノ爲ニ細分セラルルカ又ハ一人以上ノ者ニ歸屬スル場合ニハ土地委員會ハ所有者ノ死亡ヲ知リタル後十二箇月以内ニ其ノ小作地ヲ一人ノ者ニ賣却センコトヲ要求スルコトヲ得而シテ若シ之ヲ行ハサルトキハ土地委員會ハ其ノ小作地ヲ賣却セシムルコトヲ得

但シ土地委員會ハ其ノ小作地ヲ賣却センコトヲ要求シ又ハ之ヲ賣却セシムル代リニ規定ノ方法ト利害關係者ノ規定ノ要求トニ依リ利害關係者ヲ指名シテ其ノ小作地ノ所有者タラシメ又他ノ利害關係者ノ債權ヲ其ノ小作地其ノ他ニ負擔セシムルニ依リテ其ノ債權ヲ辨濟スルノ規定ヲ爲スコトヲ得右ニ述ヘタル他ノ利害關係者中ニハ死亡者ノ債權者ヲ含ム

（二）　一名以上ノ者ハ土地委員會ノ同意ヲ得サレハ千八百九十一年ノ所有名義地方登記（愛爾蘭）法第四篇ニ依リ小作地ノ所有者トシテ登記セラルルヲ得ス

（三）　小作地所有者土地委員會ノ同意ヲ得サレハ立替ノ際ニ於テ小作地又ハ其ノ小作地ノ總計十倍或ハ夫レ以上ナル金額ニ對シ其ノ一部ニ付之ヨリ以上ノ額ヲ負ハシムル小作地又ハ其ノ一部ヲ抵當トシ若ハ之ニ負擔ヲ負ハシムルヲ得ス而シテ小作地又ハ其ノ一部ニ付無效トス小作地ノ一部カ抵當トセラレ若ハ負擔ヲ負ハシメラルル場合ニハ土地委員會ハ此ノ法規ノ目的上其ノ部分ニ關シテ支拂フヘキ購買年金ノ額ヲ査定スヘシ此ノ法規ニ依ル土地委員會ノ同意ハ遺言狀ヲ以テ設ケタル負擔ノ場合ニハ遺言者ノ死亡ノ前タルト後ナルトヲ問ハス何時ニテモ之ヲ與フルコトヲ得

（四）　土木法ニ依ル負擔以外本法開始後ニ作成セル小作地抵當證書ハ總テ其ノ小作地ニ關スル負擔トシ千八百九十一年ノ所有者名義地方登記（愛爾蘭）法ニ依リ之ヲ登記スヘシ若シ抵當權設定者又ハ負擔權設定者カ作成日ヨリ三箇月以内ニ其ノ登記ヲ爲サルルトキ又ハ遺言狀若ハ追加遺言狀ヲ以テ設ケタル負擔ニ於テ遺言者ノ死亡後六箇月以内ニ其ノ登記ヲ爲ササルトキハ無效トス

（五）　法規ヲ以テ改正セル千八百八十一年ノ法律第三十條第二項及第三項ハ本條ニ依ル手續ニ之ヲ適用スヘシ

第五十五條　土地委員會ノ要求又ハ同意ヲ以テ小作地ヲ競賣ニ附スル場合ニハ其ノ小作地購買年金（若シアラハ）及土木法ニ依ル負擔ニ從ヒ一方其ノ小作地ニ利害關係アル一切ノ人々ノ他ノ一切ノ請求權又ハ債權ヲ解除シテ之ヲ賣却スヘシ右一切ノ請求權ハ賣却日前ニ小作地ニ附隨シタルト同樣ニ賣却日ヨリ小作地ニ對シテ止ミ購買金ニ附隨スルモノトス

第五十六條　（一）　評價委員及境界測量官ハ

（イ）　土地委員會ヨリ供給ノ依賴アル地圖ヲ同委員會ニ供給スヘシ

（ロ）　土地購買法ニ基キテ立替ヲ爲シタル小作地ノ細分又ハ貸與ヲ爲シタルコトヲ知リタル時ハ直チニ其ノ旨ヲ規定ノ方法ニ依リテ土地委員會ニ通知スヘシ

（二）　貧民稅ノ徵收官カ右ノ如キ小作地ノ細分又ハ貸與ヲ知リタルトキハ成ルヘク早ク其ノ旨ヲ評價委員及境界測量官ニ通知スヘシ

（三）　出生死亡地方登記官ハ其ノ管轄域内ニ全部又ハ一部位置スル右ノ如キ小作地ノ所有者タリシ者ノ死亡ヲ知リタル時ハ直ニ其ノ者ノ死亡ヲ規定ノ方法ニテ土地委員會ニ通知スヘシ

（四）　地方登記官及貧民稅徵收官ニシテ故意ニ本條ノ要求ニ從ハサル者ハ卽決裁判ヲ以テ二磅以下ノ罰金ニ處ス

（五）　總督ハ本條ノ目的ヲ遂行スル爲ニ規則ヲ設クルコトヲ得此ノ規則ハ其ノ有效期間内ハ本法ニ規定セラレタルト

同一ノ效力ヲ有ス

第五十七條　千八百九十六年ノ法律第三十五條ハ土地判事ニ爲ス訴訟手續ニ次ノ如キ改正ヲ加ヘ土地購買法ニ從フ小作地ノ賣買ノ場合ニ適用ス

（一）購買金ニ對シテ支拂フヘキ利息ノ起算日ハ

（イ）千八百九十六年ノ法律第四十條ニ依リテ賣買ヲ行フ場合ニハ土地判事カ小作地ノ賣却申込ヲ小作人ニ爲スヘシトノ命令ヲ發シタルノ日

（ロ）土地購買法ノ他ノ規定ニ依リテ賣却ヲ行フ場合ニハ小作人ノ申込ノ受理ヲ土地判事カ命令シタルノ日トス

（二）右ノ利息ハ土地委員會カ立替ヘタル同額ノ購買金ニ對シ之ヲ計算シテ土地委員會ニ支拂フヘキモノニシテ同委員會ハ之ヲ徵收シ取立ツルモノトス從ツテ千八百九十六年ノ法律第三十五條第二項ハ同項中契約ノ日トアルヲ土地判事ノ該命令ノ日ト改正シ且本條規定ノ改正ヲナシ之ヲ適用ス

（三）右ノ利息ニシテ千八百八十七年ノ法律第二十條ニ依リテ充當セラルルノ責任ナキ部分ハ之ヲ土地判事ノ命スル人ニ支拂ヒ又ハ其ノ命スル計算ニ入ルヘシ

（四）土地判事カ小作人ニ對シテ爲セル小作地賣却ノ申込カ承諾セラルル場合ニハ一箇年分ヲ超過セサル延滯小作料ヲ其ノ小作人ヨリ取立ツヘシ

（五）本條ノ目的上千八百九十六年ノ法律第三十五條第二項ノ「地主」ナル語ハ何等カノ處置若ハ事項ニ於テ指定セラレタル受領者ヲ含ム

第五十八條　（一）千八百九十六年ノ法律第四十條第一項（イ）號ニ規定セル報告ハ二名ノ委員ノ代リニ一名ノ委員ニヨリテ作成セラルルモノトス土地判事カ其ノ報告ヲ土地委員會ニ附託シテ再考ヲ求ムル場合ニハ委員三名ヲシテ之ヲ再考セシム該委員ハ之ヲ確認シ又ハ之ヲ變更シ又ハ新タナル報告ヲ作成スルノ權能ヲ有ス但シ本條ニ規定セルノ外其ノ報告ニ記載セル條件ハ土地判事ノ同意ヲ經スシテ之ヲ變更スルヲ得ス

（二）右第四十條第一項（ロ）號ハ土地判事又ハ收入判事カ莊園地ヲ含メル小作地又ハ都市村落附近ノ宅地ニ適當スル土地ニ付テ爲セル貸借ニ依リテ占有セル者ノ場合ニハ之ヲ適用セス但シ土地判事カ之ヲ命スル場合ハ此限ニ在ラス

（三）土地委員會カ一所有地ニ於ケル小作地ノ數ト課稅價額トノ四分ノ三ノ立替金ヲ認可スルヲ得ストノ報告ヲナス場合ニハ土地判事ハ適當ト認ムルトキハ右第四十條ノ規定ヲ其ノ土地ニ適用セサルコトヲ宣言スルノ命令ヲ發スルコトヲ得玆ニ於テ同條ハ其ノ適用ヲ止ム

第五十九條　土地購買法ニ依ル賣買ヲ容易ナラシムル目的ノ爲ニ土地判事ハ適當ト認ムルトキハ千八百九十六年ノ法律第二十三條ニ依ル規則ヲ以テ規定スル條件ニ從ヒ權利、地役及境界ノ確認ニ關シ千八百五十八年ノ土地裁判所（愛爾蘭）法第五十四條、第五十五條及第六十一條ニ於ケル要求ヲ廢スルコトヲ得

第六十條　（一）千八百五十八年ノ土地裁判所（愛爾蘭）法又ハ土地購買法ニ依ル所有地ノ賣買手續中ニ於テ其ノ土地ニ於ケル所有者又ハ其ノ小作地ノ小作人カ隣地ノ部分ヲ占有シ又ハ隣地ニ於ケル所有者又ハ小作地ノ小作人カ前者ノ土地ノ部分ヲ占有セルコトヲ明ニセシ場合ニハ其ノ交換占有カ契約ノ結果タルト水流變更ノ爲ナルト否トヲ問ハス土地判事又ハ法律委員會委員カ便宜ト認ムルトキハ各土地所有者ノ同意ヲ得テ又ハ規定ノ方法ヲ以テ所有者ニ通知ヲナシ且審理ノ機會ヲ與ヘテ交換認可ノ命令ヲ爲スコトヲ得此ノ命令又ハ附屬地圖及設計書ニハ交換ノ結果獲得シタル土地ト與ヘタル土地トヲ明示スヘシ

(二) 右ノ交換ニヨリテ獲得シタル土地ハ同一ノ小作ニテ之ヲ占有セラルルモノト看做シ何等讓渡其ノ他之ニ關スル所有權ノ移轉手續ナクシテ移轉シ效力ヲ生シ同一ノ使用ニ供セラレ同一ノ信用ニ移リ且命令ナカリセハ交換ニテ與ヘタル土地カ制限セラレ又ハ服スヘキト同一ノ小作料、條件、負擔及債務ノ負擔ニ服ス又交換ニヨリテ與ヘタル土地ハ同一ノ小作ニテ之ヲ占有セルモノト看做シ何等讓渡其ノ他之ニ關スル所有權移轉手續ナクシテ移轉シ效力ヲ生シ同一ノ使用ニ供セラレ同一ノ信用ニ移リ且命令ナカリセハ交換ノ結果獲得シタル土地カ制限セラレ又ハ服スヘキト同一ノ小作料、負擔及債務ノ負擔ニ服スルモノトス

(三) 右ノ如ク交換シタル土地ノ各部分ニ關シテ支拂フヘキ小作料ノ取立ニ關スル一切ノ權利及賠償權ハ場合ニ從ヒ或ハ附與セラレタル土地或ハ獲得シタル土地ニ關シテ之ヲ行使シ且其ノ土地ニ對シテ之ヲ繼續シ得ルコトハ恰モ元來其ノ責任アリタル土地ニ對シテ該權利ヲ行使シ又ハ繼續シタルト同樣ナルヘシ

第六十一條 (一) 土地購買法ニ依ル賣買手續ノ主體タル土地カ他ノ土地ト共ニ國王ニ納付スヘキ免役小作料其ノ他永久小作料ノ責任アルトキハ山林委員會委員ハ其ノ小作料ヲ支拂フヘキ責任アル數種ノ土地又ハ其ノ土地ノ部分ニ割當テ殘餘ヲ免除スルコトヲ得又ハ其ノ小作料ノ全部ヲ其ノ負擔責任アル土地ノ部分ニ課シ殘餘ヲ免除スルコトヲ得

(二) 本條ニ依ル割當又ハ單一負擔ノ目的ノ爲ノ前述ノ小作料又ハ其ノ一部カ何レカノ土地ニ關シテ二十年以上ノ期間又ハ何等カノ契約ノ規定ノ下ニ服スル場合ニハ右ノ小作料又ハ其ノ一部ハ場合ニ從ヒ本來右ノ如キ負擔ノ責アルト否トヲ問ハス以上ノ土地ニ課スルモノト看做ス

(三) 右ノ割當又ハ單一負擔ハ總テ國王及一切ノ人ヲ拘束シ其ノ小作料ノ割當部分又ハ右ノ如ク單一ニ課セル小作料ハ爾後之ヲ割當テ又ハ單一ニ課スル土地ノ負擔トシテ支拂ハルヘキモノトス

(四) 右ノ如キ割當又ハ單一負擔ハ右ノ如ク割當テラルルモノトシ本來單一ニ課セラルル該小作料ノ賦課セラレタル土地ニ於ケル國王ノ歸屬地又ハ殘餘ノ土地ニ對シテハ如何ナル方法ヲ以テスルモ之ニ影響ヲ及スコトナシ又小作料ノ割當テラレタル部分又ハ單一ニ課セラルル小作料又ハ同一地ニ於ケル歸屬地若ハ殘餘地ニ於ケル國王ノ利益ノ賣却ハ右ノ如ク割當テラレ若ハ本來單一小作料ヲ課セラレタル土地ノ他ノ部分ニ於ケル國王ノ權利若ハ利益ヲ未タ賣却セラレサル斯カル土地ニ課セル小作料ニ關シ又ハ斯カル土地其ノ他ニ於ケル國王ノ歸屬地若ハ殘餘地ニ於ケル利益ニ關シ何レニモ影響ヲ及スコトナシ

(五) 右ノ如キ割當又ハ單一負擔ヲ爲シタル場合ニハ山林委員會委員ノ署名ニテ其ノ期間ヲ示セル證明書ヲ發行スヘシ其ノ證明書ハ其ノ期間ト斯ク單一ニ課セラレ若ハ割當テラレタル小作料若ハ其ノ一部ニ對シ其ノ中ニ指示スル土地ノ負擔トノ確證トス「ダブリン」記錄局ニハ此ノ證明書ノ副本ヲ保存スヘシ

(六) 山林委員會委員ハ本條ニ依ル事件ニシテ法律問題ニ關シ同委員カ決定スルコトヲ欲セサル場合ハ之ヲ法律委員會委員又ハ土地判事ニ附託シ現在ノ法規ヲ以テ附與セラレタル權能ニ依リ決定セシムルコトヲ得

(七) 山林委員會委員ハ大法官、土地判事及法律委員會委員ノ承認ヲ得テ本條ノ目的ノ爲ニ規則ヲ設クヘシ

第六十二條 (一) 土地購買法ニ依リテ賣却シタル土地カ他ノ土地ト共ニ優越利益ニ服シ裁判所カ賣却前二十年以上ノ期間ニ該賣却地ノ所有者カ其ノ利益ニ關シテ何等支拂ヲナサス且優越利益ニ服スル他ノ土地カ充分ナル擔保タルコトヲ確カムル場合ニハ斯カル土地ノ購買金ハ右ニ關係ナク之ヲ分配スルコトヲ得

(二) 右ト同樣ノ場合ニ於テ裁判所カ賣却前二十年以上ノ期間其ノ賣却地ノ所有者カ優越利益ノ一部ノミニ關シテ支

拂ヲナシ他ノ土地カ其ノ殘金ノ充分ナル擔保タルコトヲ確カムル場合ニハ賣却地ノ購買金ハ右ノ殘金ニ關係ナク之ヲ分配スルコトヲ得

(三) 又右ト同樣ノ場合ニ於テ裁判所ハ賣却地カ優越利益ニ關スル請求ニ對シ他ノ土地ヲ以テ賠償セラルル權利ヲ有シ其ノ他ノ土地カ其ノ充分ナル擔保タルコトヲ確カムルトキハ公平ト思惟スル條件(若シアラハ)ト方法トニ依リ他ノ土地ノミニ優越利益ノ全部ヲ負擔セシムルコトヲ得

(四) 本條ノ上記規定ハ適當ナル改正ヲ加ヘ賣却土地ニ影響ヲ及ホス土地ノ優越利益若ハ其ノ一部又ハ優越利益若ハ其ノ一部ノ償却金ニ對シ該土地ヲ賣却地トシテ之ヲ準用ス

(五) 本條ハ限定相續地又ハ國王ニ歸屬スヘキ相續地ノ終了ニ際シ豫期スル歸屬地若ハ土地ニ之ヲ適用セス

第六十三條 (一) 優越利益又ハ其ノ割當部分カ土地購買法ニ依リテ償却セラレ且其ノ償却價額カ三十磅ヲ越ヘサル場合ニハ自己ノ利益ノ爲ニ優越利益ノ收入ノ占有者又ハ受取人ニ之ヲ支拂フコトヲ得又右ノ如キ人カ無能力ナル場合ニハ場合ニ從ヒ其ノ人ノ後見人、監督者、夫或ハ管財人ニ之ヲ支拂フコトヲ得

(二) 償却價額カ三十磅ヲ越ユルモ百磅ヲ越ヘサル場合ニ於テ之ヲ優越利益ノ收入ノ占有者、受取人又ハ場合ニ依リ土地委員會委員若ハ土地判事ノ指定又ハ承認セル管財人ニ關シ規定ノ方法ニ從ヒ之ヲ千八百八十二年乃至千八百九十年ノ土著地法ニ依リテ生セル資本金額ト同樣ニ取扱ハントスル場合ハ該償却金ヲ右ノ者ニ支拂フコトヲ得

第六十四條 千八百九十七年ノ法律第十六條第三項ノ規定ノ如何ニ拘ラス若シ當事者カ規定ノ期間内ニ優越利益ノ償却價額ヲ協定セサルトキハ場合ニ依リ法律委員會委員又ハ土地判事其ノ價額ヲ定ムヘシ

第六十五條 土地委員會カ賣却セシムル權利アル小作地ヲ競賣ニ附シ其ノ小作地カ賣却セラレサリシ場合ニハ同委員會ハ其ノ指定シタル人ヲシテ之ヲ占有セシムルノ命令ヲ執達吏ニ發スルコトヲ得此ノ命令ハ占有引渡令狀ト同樣ニ執達吏之ヲ執行ス

第六十六條 (一) 所有地委員會委員又ハ稠密地方局カ土地ニ建物ヲ建テ又ハ建物ヲ改良シ之ニ對シテ土地購買法ニ依リ立替ヲナシタル場合ニ於テ土地委員會ハ適當ト認ムルトキハ火災ノ損害ニ對シテ其ノ建物ヲ保險ニ附スルコトヲ得又立替金ノ拂戻アルマテ引續キ之ヲ保險ニ附スルヲ得

(二) 土地委員會ハ本條ニ從ヒテ爲セル保險證書ニ對シ保險料ヲ支拂フヘシ此ノ保險料ハ購買地ノ負擔ニシテ各保險料ノ金額ハ同委員會之ヲ土地ノ購買者ヨリ集メ購買年金ト同樣ニ之ヲ取立ツヘシ

第六十七條 (一) 千八百九十六年ノ法律第三十八條第三項ヲ以テ附與セラレタル年金割當權又ハ年金ニ關スル小作地一部ノ責任免除權ハ其ノ小作地カ千八百九十六年ノ法律制定前賣却又ハ細分セラレタル場合ニ之ヲ行使スルコトヲ得

(二) 土地委員會カ改正セラレタルト否トヲ問ハス前記第三項ヲ以テ附與セラレタル割當權ヲ行使スル場合ニハ同委員會ハ立替金ノ拂戻ヲ確保スル爲留保セラレタル保證積立金(若シアラハ)ヲ同歩合ニテ割當ツルコトヲ得此ノ割當ハ保證積立金所有者ノ同意ヲ得スシテ之ヲ行フコトヲ得

(三) 土地委員會ニヨリテ購買年金ノ一部ヲ課セラレタル土地カ購買年金ニ服スル小作地ノ所有者ニ讓渡サルル場合ニ於テハ其ノ讓渡セラレタル土地及其ノ小作地ヲ一個ノ小作地ト看做シ同年金及年金ノ一部ハ規定セラルヘキ方法ト條件トニ依リテ之ヲ支拂フヘシ

第六十八條 (一) 千八百九十六年ノ法律第二十九條第二項(土地委員會ヲシテ保證積立金ノ全部又ハ一部ヲ權利者ニ

支拂ハシムル）ハ何レカノ土地購買法ニ依リテ立替金ニ關シテ爲シ又ハ留保シタル保證積立金ニ之ヲ適用ス

（二）右第二十九條第三項ハ玆ニ之ヲ廢止ス

第六十九條（一）土地ノ購買ニ關シ土地購買法ニ依リ立替ヲ爲シタル場合ニハ其ノ土地ニ負擔ヲ負ハシムル土地委員會ノ命令ハ立替申請人死亡スルトモ有效トス

（二）立替申請者死亡シ其ノ法律上ノ代理人ナキカ又ハ土地購買法ニ依ル賣買ニ對シ其ノ賣買ヲ行フヘキ法律上ノ代理人ナキ場合ニハ土地委員會ハ其ノ適當ト認ムル條件（若シアラハ）ニテ適當ノ人ヲ其ノ賣買ノ目的ニ限リタル死亡申請人ノ管財人ニ任命スルコトヲ得此ノ制限管財人ハ恰モ申請人カ無遺言ニテ死亡シ其ノ動產一切ノ管理カ適當ニ其ノ制限管財人ニ附與セラレタルト同樣ノ方法ヲ以テ以上ノ目的ニ關シ死亡申請人ヲ代理ス

（三）千八百九十一年ノ所有名義地方登記（愛爾蘭）法第二十三條第二項ニ依ル通則ハ本條ヲ適用スル場合ニ於ケル土地所有者ノ登記ヲ規定スヘシ

第七十條　土地購買法ニ依ル賣買ノ目的上同法ニヨル土地ノ讓渡ヲ禁止制限シ又ハ制限セントスル借地契約又ハ借地料第三者收得借地契約ニ於ケル慣行協定及條件ハ全部無效ト看做シ千八百七十年ノ地主小作人（愛爾蘭）法第三十三條及千八百八十一年ノ法律第二十九條ハ斯カル禁止ノ放棄又ハ消滅ヲ要求スル範圍ニ於テ之ヲ廢止ス

第七十一條　土地購買法ニ依リテ生スル法律問題ノ決定ハ利害關係人ノ申請ニ依リ又ハ其ノ申請ナキトキハ大法官ノ同意ヲ得テ法律委員會委員ニ於テ千八百七十七年ノ裁判（愛爾蘭）法ノ規則ト同樣ノ方法ニ依リ之ヲ土地委員會ヨリ高等裁判所ノ判事又ハ其ノ何レカノ部ヘ移送スルコトヲ得其ノ決定ハ高等裁判所終局命令ノ效力ヲ有シ同命令ト同一ノ控訴權ニ服ス

第二編　稠密地方

第七十二條（一）土地購買ノ立替ノ爲稠密地方局ノ要求スル金額ハ國債委員會委員カ本法ニ依リ土地委員會ヘ爲シタル立替金中ヨリ之ヲ同局ニ支拂フヘシ右ノ支拂ハ土地購買法ノ目的上土地委員會ヘ立替ヲ爲シタルモノト看做シテ之ヲ取扱フモノトス

（二）稠密地方局カ其ノ購買シタル土地ヲ土地購買法ニ依リ購買者ニ賣却スルマテハ其ノ間該立替金ノ全額ニ對シ年二步四分ノ三ノ利息ヲ規定ノ金額ト時期トニ依リ同局ヨリ土地委員會ニ支拂フヘシ但シ五箇年ノ年限終了後右ノ購買地カ處分セラレサルトキハ同局ハ同委員會ニ對シ一箇年十志ノ步合ニテ固定基金ノ計算ニ對シ支拂ヲ爲スヘシ右ノ利息及固定基金ノ支拂ハ總テ之ヲ同局每年ノ收入ニ課シ其ノ收入ヨリ之ヲ支拂ハシムルモノトス

（三）大藏省ノ定ムル取締規程ハ稠密地方局カ所有地ノ改良ニ經費ヲ投シタル結果其ノ土地ノ價額ヲ昂メ之ヲ小作人又ハ其ノ他ノ者ニ賣却シタル場合ニハ國債委員會委員ハ其ノ改良ノ結果生シタル增價ニ相當スル金額ヲ土地委員會ニ立替ヘ之ヲ稠密地方局ニ拂戻サシムルコトヲ得旨規定スルヲ得

第七十三條　保證基金ノ目的上稠密地方州ハ其ノ地理的所在州ヨリ之ヲ引離サス地方補助金ハ「模範學校及國民學校」ト稱スル費目ノ下ニ州行政區劃全體ニ亙レル該基金中ノ臨時基金ノ一部タラシメ教會剩餘補助金ニ對スル利息ハ州選擧區ニ於ケル該基金ノ一部タラシムルコトヲ廢ス

第七十四條　大藏省ノ承認セル土地委員會ノ見積ニ從ヒテ爲セル總計ニ於テ其ノ額カ教會剩餘補助金ニ對スル利息ノ三十倍ニ相當スル資本價額ヲ超過スルカ如キ無小作地ハ如何ナル場合ニ於テモ稠密地方局ノ管理者ニ歸屬セシムルヲ得

ス

第七十五條　（一）　稠密地方局カ稠密地方州ノ利益ノ爲ニ土地ヲ購買スル場合ニハ同局ハ其ノ土地ノ一部ニシテ其ノ州ノ小作地ノ小作人ニ必要ナラサルモノハ之ヲ其ノ土地ノ隣接地又ハ附近地ニ在ル課稅價額五磅ヲ超ヘサル小作地ノ小作人又ハ持主（Proprietors）又ハ右ノ如キ小作人ノ子ニ土地購買法ニ依リテ賣却スルコトヲ得

（二）　土地ノ一部ニ對スル土地購買法ノ適用ニ關スル本法ノ規定ハ右土地一部ノ賣却ノ場合ニ之ヲ適用ス

第七十六條　（一）　稠密地方局ノ購買セル所有地ノ一部カ賣主又ハ移住地ノ管理者ニ轉賣セラルル場合ニハ如何ナル場合ニ於テモ夫レ等ノモノニ對シ其ノ土地購買價額ノ三分ノ一以下又ハ二萬磅ノ中何レカ低キ方ニ從ヒ土地購買法ニ依ル立替ヲナスコトヲ得

（二）　本法第三條第四項及第六項ハ本條ニ從ヒテ立替ヲ爲セル土地ノ場合ニ之ヲ適用ス

第七十七條　（一）　土地委員會ノ申込ニ對スル土地判事ノ權限及職務ニ關スル本法ノ規定ハ土地委員會ニ代フルニ稠密地方局ヲ以テシ稠密地方局カ土地判事ヨリ土地ヲ購買スル目的ニ適用ス

（二）　周密地方局ヲ土地ノ購買者ナリト宣言スル土地判事ノ命令ハ讓渡カ土地判事ニ依リテ爲サレタル場合ト同一ノ效力ヲ有スルト共ニ其ノ命令ニ特定セル延滯小作料ヲ徵收シ取立ツルノ權利ヲ同局ニ附與シ該命令ノ證明謄本一部ヲ所有名義地方登記（愛爾蘭）法ニ依リテ登記官ニ送附スルト同時ニ同局ノ管理人ハ同法ニ依リ其ノ土地ノ絕對所有者トシテ登記セラルルモノトス

第七十八條　稠密地方局ハ土地ヲ購買シタル場合ニハ小作地上ニ芝生ヲ作リ又ハ創去スルコトヲ認許スル規則ニ關シ本法第一編ノ規定ヲ以テ土地委員會ニ附與シタル一切ノ權能ヲ有ス從テ土地委員會ニ代フルニ稠密地方局ヲ以テシテ該規定ヲ適用ス

第七十九條　（一）　稠密地方局ハ所有地委員會委員カ本法第一編又ハ其ノ他ノ規定ニ依リ土地所有者トシテ取扱ヒ得ルコトヲ證明セル者ヨリ土地ヲ購買スルノ契約ヲ締結スルコトヲ得所有土地委員會委員ハ總督ノ定ムル規則ニ依リ規定シ得ル方法ニ依リ右ノ如キ契約ヲ爲スノ準備ヲ爲シ且其ノ契約ノ結果稠密地方局ノ受託人ニ土地ヲ歸屬セシムルノ命令ヲ發スルコトヲ得

（二）　本條ニ從ヒテ歸屬命令ヲナス場合ニハ土地委員會ハ同委員會ニ歸屬シタル土地ノ購買金ト同樣ニ其ノ購買金ヲ分配スヘシ從テ該歸屬地ノ購買金ノ分配ニ關スル本法第一編ノ規定ハ全部之ニ適用ス

第八十條　土地委員會ニ對シ稠密地方局カ土地ヲ購買スル者ニ土地購買法ニ從フ立替ヲ爲スノ申請ヲ爲シ且同局カ其ノ土地ノ立替金拂戻ノ充分ナル擔保アルコトヲ認ムルノ證明ヲナス場合ニハ土地委員會ハ其ノ立替ヲ認可スヘシ

第八十一條　何時ニテモ土地委員會カ稠密地方局ノ證明ニ從ヒテ認可セル立替金ニ關シテ支拂フヘキ購買年金ノ延滯金取立ノ不可能ヲ宣言スルトキハ同局ハ教會剩餘補助金ニ對スル利息中ヨリ該延滯額ヲ土地購買勘定ニ支拂フヘシ

第八十二條　（一）　稠密地方局ハ都會地ニ在ル小作地ノ小作人ノ數ニ於テモ其ノ課稅價額ニ於テモ之等總量ノ四分ノ三ヨリ少カラサル者ノ爲セル要求ニ付千九百一年ノ稠密地方局（愛爾蘭）法第一條ヲ以テ附與セラレタル權能ヲ施行スルコトヲ得右ノ都會地ハ此ノ權能ノ行使ニヨリ影響ヲ受クヘシ

（二）　小作地ニ於ケル小作人ノ利害ニ影響ヲ及ホス負擔責任及衡平法上ノ請求權ニ關スル州裁判所ノ命令ニ關シ前記第一條ノ規定ハ小作人ノ同意ヲ得テ稠密地方局カ其ノ小作人ノ小作地ノ面積ヲ變更シ又ハ其ノ小作人ヲシテ新小作地ヲ占有セシムル場合ニ之ヲ適用ス

第八十三條　法定期間ノ繼續中稠密地方局ノ爲ス小作地ノ回收ハ千八百八十一年ノ法律第五條第六項ニ特定セル目的ノ外移民ノ目的又ハ小作地擴張ノ目的ノ爲同項ニ從ヒ之ヲ認許スルコトヲ得

第八十四條　總督ノ次官ハ千八百九十一年ノ法律第三十四條第一項ニ依リテ指定セラレタル土地委員會委員ニ代リテ稠密地方局ノ特別委員トナルモノトス

第八十五條　稠密地方州ニ關シテ規定ヲ爲セル千八百九十九年ノ農工業教育（愛爾蘭）法第十八條ハ玆ニ之ヲ廢止ス

第三編　土地法

第八十六條　（一）　大法官ハ裁判長及記錄保管判事以外ノ高等裁判所判事ヲ指定シテ土地法ニ依リ控訴ヲ審理セシムル爲土地委員會ニ添加シタル法律委員會委員トシテ其ノ特定スル期間內行動セシムルコトヲ得右ノ指定判事ハ其ノ期間內千八百八十一年ノ法律ニ依リ任命セラレタル法律委員會委員ト同一ノ裁判權ヲ有ス

（二）　千九百二年一月一日前ニ任命セラレタル高等裁判所判事ハ其ノ同意ヲ得サレハ之ヲ本條ニ依リテ指定スルヲ得ス

（三）　土地委員會ノ一員タル Honourable Gerald Fitzgerald ハ本法開始ノ際千八百八十一年ノ法律ニ依リテ法律委員會委員ニ任命セラレタルト同一ノ地位及職務ヲ以テ土地法及土地購買法ノ目的ノ爲ニノミ其ノ現在ノ權能ノ外法律委員會委員ノ一切ノ裁判權ト權能トヲ有シ二千五百磅ノ俸給其ノ他千八百三十四年乃至千八百九十二年ノ養老金法ノ規定ニ依リテ計算セル養老手當ヲ受クルノ權利ヲ有ス

（四）　Right Honourable Frederick Stinger Wrench カ若シ所有地委員會委員ニ指定セラルルトキハ現在俸給ノ外國

會ヨリ支給セラルル金額ヨリ五百磅ノ俸給ヲ受ク

（五）　土地委員會ノ一員タル Mursough O'Brien 氏及皇帝陛下ノ任命セラレタル二名ノ所有地委員會委員ハ千八百三十四年乃至千八百九十二年ノ養老金法ノ規定ニ依リ養老手當ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第八十七條　土地法ニ依リ申請ヲ審理スルノ目的ヲ有スル補助委員會ハ補助法律委員一名及普通補助委員一名ヨリ成立スルモノトス

第八十八條　（一）　法律委員會委員ニアラサル一名ノ委員又ハ委員會分會カ土地法ニ依リテ發セル命令ノ爲ニ困却セル者ハ土地委員會ニ再審ヲ申請スルコトヲ得同委員會ハ該命令ヲ確認シ改正シ又ハ廢棄スルコトヲ得

（二）　千八百八十一年ノ法律第四十七條ニ依ル一切ノ控訴又ハ本條ニ依ル再審及千八百八十一年ノ法律第四十四條ノ要求ニ依ル一切ノ再審ハ一名ノ法律委員カ特別資格アル普通鑑定官ノ一名ヲ補佐者トシテ之ヲ審理判決ス其ノ鑑定官ハ證據ヲ審理シ且當事者中何レカノ申請ニヨリ小作地ヲ檢査シ規定ノ方法ニ依リ法律委員會委員ニ其ノ旨ヲ報告スルモノトス

（三）　本法開始後屆書ヲ差出シタル控訴ノ審理又ハ再審ニ於テハ前裁判所ニ提出シ得タルニモ拘ラス提出セサリシ證據ハ特別理由アルトキニ限リ之ヲ許ス但シ控訴又ハ再審ヲ審理スル法律委員會委員ノ特別ノ許可ヲ要セス

（四）　控訴又ハ再審ヲ爲スニ當リ前裁判所ニテ定メタル事實ニ付キ爭議ヲ惹起セル場合ニ於テハ其ノ控訴又ハ再審ヲ審理スル法律委員會委員ハ控訴人カ其ノ爭議ニ關シテ所有シ若ハ獲得シ得ヘキ實質的ノ證據ヲ前裁判所ニ提出セサリシコトヲ確認スルトキハ控訴又ハ再審費用ノ全部又ハ適當ト認ムル部分ノ支拂ヲ控訴人ニ命スルコトヲ得

（五）　千八百八十一年ノ法律第五十條ニ依ル規則ハ本條ニ依ル控訴及再審手續ニ關シ大法官ノ承認ヲ得テ法律委員會

委員之ヲ定ムルコトヲ得此ノ規則ハ控訴又ハ再審ノ屈書ニ對シテ支拂フヘキ手數料ノ從價率ヲ特ニ規定スヘシ

第八十九條　法律委員會委員ハ本法本編ニ依リ鑑定官トシテ行動スヘキ農業ノ熟練ト經驗トアル人々ノ名簿作製及其ノ人々ノ職務ト報酬トノ確定ニ關シ總督及大藏省ノ承認ヲ得テ普通命令ヲ定ムルコトヲ得而シテ當分該人名簿ニ揭ケラレタル者ハ總テ普通命令ニ依リ出席スヘシ

第九十條　「ダブリン、ガゼツト」ニ農產物ノ平均價額ノ揭載ナク他ノ規定モ存セス價額ノ平均ヲ標準トシテ計算スヘキ可變小作料ヲ決定スル能ハサル場合ニハ千九百年ノ「十分ノ一第三者收得小作料（愛爾蘭）法」第二條及第三條ハ本法開始ヨリ之ヲ可變小作料ノ場合ニ適用シ同條ニ於ケル「十分ノ一第三者收得小作料」ナル語ハ上記ノ可變小作料ヲ含ムモノト看做ス

第九十一條　千八百九十六年ノ法律第五條第三項ノ解釋上「共同小作人」ナル語ハ二人又ハ二人以上ノ間ニ小作地ヲ分割シタル人々ヲ含ムモノト看做ス

第九十二條　千八百八十一年ノ法律第五十條又ハ何等カノ規定ヲ以テ改正セル同條ニ依ル規則ニ關シ陳述書ノ提出期間ハ百日ヲ改メテ四十日トス

第十一　千九百九年ノ土地法（本法中第六十五條乃至第七十條ハ關係ナキニヨリ省略ス）

（The Irish Land Act, 1909）

愛爾蘭ニ於ケル土地ノ占有及所有ニ關スル法律ヲ改正シ及之ニ關聯スル其ノ他ノ目的ノ爲メノ法律（千九百九年十二月三日）

第一章　土地購買財政

第一條　（一）將來ノ購買約束ニ基キテ爲シタル立替金ノ場合ニ於テハ千九百三年ノ愛爾蘭土地法（本法ニ於テハ千九百三年ノ法律ト稱ス）第四十五條ニ依ル購買年賦金ノ率ノ三磅五志ハ之ヲ三磅十志ニ改ム

（二）將來ノ購買約束ニ基キテ爲シタル立替金ニ關シテハ土地委員會カ千九百三年ノ法律第三十六條ニ依リテ國債委員ニ支拂フヘキ利率及稠密地方局カ同法第七十二條ニ依リヲ土地委員會ニ支拂フヘキ利率ハ年二歩四分ノ三ヲ改メテ年三歩トス

（三）國債委員ハ其ノ保管スル愛爾蘭土地購買基金ノ帳簿ニ於テ現在ノ購買約束ニ基キテ爲シタル立替ト將來ノ購買約束ニ基キテ爲シタル立替トノ間ニ區別ヲ設クヘシ

第二條　（一）愛爾蘭土地購買基金（土地購買補助金ヲ包含ス）ニ要スル金額ヲ募集スルノ目的ヲ以テ債券ヲ發行スル大藏省ノ權限ハ保證三歩利附債券ト稱スル新資本債券ヲ發行スルノ權限ヲ包含シ大藏省ハ其ノ適當ト認ムルトキハ何時ニテモ此ノ目的ノ爲メニ保證二歩四分ノ三利附債券又ハ保證三歩利附債券ノ何レニテモ之ヲ發行スルコトヲ得

（二）千九百三年ノ法律ノ債券ニ關スル規定ハ利率二歩四分ノ三トアルヲ三歩ニ改メ且滿期償却期限トシテ千九百三年ノ法律開始ヨリ三十箇年トアルヲ本法通過ヨリ三十箇年ニ改メテ同法ニ依リテ發行シタル保證二歩四分ノ三利附債券ニ適用スルト共ニ之ヲ本條ニ依リテ發行シタル保證三歩利附債券ニ適用ス

（三）千八百九十三年貯蓄銀行法第五條第二項ノ國庫債券ノ定義ハ千九百三年ノ法律又ハ本法ニ依リテ發行シタル債券カ千八百九十三年ノ貯蓄銀行法附款第一ニ包含セラレタルト同樣ニ之ヲ解釋スヘキモノトス

第三條　（一）　千九百三年ノ法律ノ第二十七條ノ規定如何ニ拘ラス土地購買法ノ目的ノ爲ニスル立替ハ本條ノ規定ニ從ヒ本條ニ依リ規定ヲ定メタル方法及條件ニ依リ債券ヲ以テ其ノ全部又ハ一部ヲ行フコトヲ得

（二）　現在ノ購買約束ヲ實行スルカ爲ニ若シ賣主カ承諾スルトキハ規定ノ方法ニ依リ規定ノ條件ニ從ヒ規定ノ人ニ對シ保證二歩四分ノ三利附債券ノ發行ノ方法ニ依リ立替ヲ爲スコトヲ得其ノ額ハ債券ノ價額カ額面價額百磅ノ債券ニ對シ九十二磅以下ナラサルトキハ發行ノ日（規定ノ方法ニテ證明セラルル）ノ市場價額ヲ以テ立替金額ト同額迄ト若シ債券カ右ノ價格以下ナルトキハ（利落）若シ其ノ債券カ其ノ價額ニアリトセハ立替金額ニ均シカルヘキ債券ノ額迄トス

（三）　將來ノ購買約束ヲ實行センカ爲ニ大藏省カ適當ト認ムルトキハ額面價額ニ於テ立替金額ニ均シク且立替ノ日ヨリ利子ヲ附スル保證三歩利附債券ヲ發行シテ立替ヲ爲スコトヲ得

（四）　立替金ニ等シキ額トシテ本條ニ從ヒテ發行シタル債券ハ賣主ト買主トノ間ニ在リテハ購買金額ニ等シキ額トシテ賣主之ヲ承諾スヘキモノトス且賣主ハ絕對ノ所有者ニ非サルトキト雖現在ノ購買約束實行ノ爲本條ニ依ル債券ヲ以テ立替ヲ爲スコトヲ承諾スルコトヲ得尙土地購買法ニ依リテ賣却ノ權限ヲ有スル者ハ絕對所有者ニ非サル者ト雖購買金カ現金ノ代リニ本條ニヨル債券ヲ以テ支拂ハルルニ拘ラス將來ノ購買約束ヲ締結スルコトヲ得

第四條　（一）　愛爾蘭總督ハ現金ヲ以テスルト債券ヲ以テスルト又ハ一部現金ヲ以テシ一部債券ヲ以テスルトヲ問ハス立替ヲ認可シ若ハ立替ヲ爲スヘキ優先順序ヲ定ムル規則及各種階級ノ賣買間ニ隨時立替ニ充當スヘキ金額ヲ割當ツル規則ヲ制定スルコトヲ得

（二）　右ノ規則中ニ於テハ同階級ノ賣買間ノ優先順序ヲ定ムルニ各賣買手續ヲ始メタル日時ヲ出來得ル限リ考慮スヘク又手續ヲ一階級ヨリ他階級ヘ移ス場合ニ於テハ各移轉ノ日時ヲ出來得ル限リ考慮スヘキ旨ヲ規定スルヲ要ス

（三）　本條ニ基キテ制定シタル各規則ハ制定後遲滯ナク之ヲ兩議院ニ提出スヘシ

第五條　（一）　千九百三年ノ法律又ハ本法ニ依リ債券ヲ發行シテ募集スルコトヲ得ル金額ハ大藏省ノ定ムル形式ニ依リ大藏省ノ定ムル七年ヲ超エサル期間及三歩ヲ超ヘサル利率ヲ附スル手形又ハ證券ノ發行ニ依リ臨時ニ之ヲ募集スルコトヲ得

（二）　右ノ手形又ハ證券ノ利子ハ千九百三年ノ法律第二十九條ニ依ル債券ノ利子ト同樣ニ之ヲ課シ之ヲ支拂フヘク且愛爾蘭土地購買基金ノ收入勘定ニ關スル同法ノ規定ハ手形又ハ證券ノ利子カ債券ノ利子タリシト同樣ニ之ヲ適用ス

（三）　右ノ手形又ハ證券ノ元金ハ本法ノ規定ニ從ヒ愛爾蘭土地購買基金中ヨリ之ヲ拂戻シ若シ該基金ノ資本勘定不足スルトキハ合衆王國國債整理基金又ハ夫レヨリ生スル增加收入ニ之ヲ負擔セシメテ支拂ハシムルモノトス債券又ハ新手形又ハ新證券ハ必要ナル場合ニ要スル元金募集ノ爲ニ之ヲ發行スルコトヲ得

（四）　千九百三年ノ法律ノ第三十六條第六項及第七項（債券ノ割引發行ヨリ生スル不足及債券ノ「プレミアム」附發行ノ日ヨリ生スル剩餘ニ關スル）ノ規定ハ債券發行ノ場合ニ適用スルト同樣ニ本條ニ依ル手形又ハ證券ノ發行ノ場合ニ之ヲ適用ス

第六條　（一）　千九百三年ノ法律第四十八條ニ依リテ支拂フヘキ歩合ハ本法附款第一ニ記載セル率ニ依リ之ヲ計算シ且該條ノ目的ノ爲ニ右ニ依リテ定メラレタル率ヲ以テスルト歩合ハ之ヲ該條ニ依ル歩合ト看做ス右ノ場合ニ於テ千九百八年十一月二十四日又ハ其ノ以前ニ購買約束ヲ締結シ若ハ本條ニ從ヒテ購買約束ヲ締結シタリト看做スヘキ土地ヨリ成立シ又ハ之ヲ包含スル土地財產權購買金ニ對シテ支拂フヘキ歩合ハ本條ニ依リ之ヲ計算セスシテ一割二歩ノ率

ヲ以テ（其ノ歩合カ是等ノ土地ノ購買ニ關シテ支拂フヘキ範圍内ニ於テ）計算スルモノトス

（二）或ル土地ノ購買約束ニシテ千九百八年十一月二十四日以前ニ締結セラレサリシモノト雖左ノ場合ニ於テハ本條ノ目的ノ爲ニ之ヲ右ノ日又ハ其ノ以前ニ締結シタル購買約束ト看做ス

（イ）右ノ日又ハ其ノ以前ニ賣主カ千九百三年ノ法律第六條ニ依リ土地委員會ヲシテ又ハ同法第七十九條ニ依リ稠密地方局ヲシテ土地財産權又ハ土地ヲ購買セシムルノ目的ヲ以テ制定シタル規則所定ノ方法ニ依リ最初ノ請求ヲ提出シタル場合

（ロ）右ノ日又ハ其ノ以前ニ賣主カ千九百三年ノ法律第六條又ハ第八條ニ依リ土地財産權又ハ土地購買ノ目的ヲ以テ土地委員會ノ作成シタル價額見積ヲ承諾シ又ハ同法第七十九條ニ依リ土地財産權又ハ土地ノ購買ヲ目的トシテ稠密地方局ト豫備約束ヲ締結シタル場合

（ハ）土地判事カ右ノ日又ハ其ノ以前ニ千九百三年ノ法律第七條ニ依リテ土地委員會ヲシテ又ハ同法第七十七條ニ依リテ稠密地方局ヲシテ土地又ハ土地財産權カ結局賣却セラルル訴訟ノ進行中ニ土地ニ關スル明細書又ハ證書ヲ提出セシメタル場合

（ニ）右ノ日又ハ其ノ以前ニ土地財産權委員カ千九百七年追放小作人（愛爾蘭）法第二條第四項ニ依リ土地財産權又ハ土地ノ購買ノ申込ヲ爲シタル場合

（三）千九百三年ノ法律第四十七條ハ土地購買補助基金ニ支拂フヘキ總額ヲ千二百萬磅ニ制限スル點ニ付キ其ノ效力ヲ失フ

第七條　（一）債券手形若ハ證券ノ割引發行ニ關シ額面價額ニ於ケル不足ニ對スル保證基金ノ負擔ハ同基金ノ現金部ヲ組織セル愛爾蘭開發補助金ノ額迄之ヲ擴張シ且右ノ不足ニシテ該額中ヨリ補償セラレサルモノハ議會ニ於テ準備セラレサル金額中ヨリ之ヲ補償セラルヘキモノトス

（二）土地委員會ハ國債委員ニ對シテ二歩四分ノ三ノ利子ヲ以テ支拂フヘキ立替金ノ爲ニ三歩利付債券ヲ以テ募集セル金額ニ依リテ生スル利子又ハ固定基金ノ不足ハ債券ノ割引發行ニ關シテ生スル不足カ本條ヲ以テ修正セル千九百三年ノ法律第三十六條第六項ニ依リテ補償セラルルト同樣ニ之ヲ補償スヘキモノトス

第八條　（一）土地購買法ノ目的ノ爲ニ債券ヲ發行シ且其ノ發行ノ條件カ之ニ依リテ募集スヘキ金額ヲ割賦拂ニテ支拂ハシムヘキ規定ナル場合ニ於テハ發行ノ際ニ定メタル日以後迄割賦拂金又ハ其ノ一部カ支拂ハレサルトキト雖其ノ日ヨリ債券ノ額面總額ニ對シテ利子ヲ支拂フコトヲ得且若シ利子トシテ支拂ヒタル額カ實際ニ拂込ミタル金額ニ相當スル債券ノ部分ニ對シテ支拂フヘキ額ヲ超過スルトキハ其ノ差額ハ債券ノ發行費用ノ一部トシテ之ヲ取扱フヘキモノトス

（二）本條ハ千九百八年七月一日以後ニ於テ設定シ且發行シタル債券及本法通過後發行シタル債券ニ之ヲ適用ス

第九條　（一）本法通過後立替ヲ受ケタル者ハ立替金ノ支拂カ期限ニ到達シタル第一ノ支拂日ニ於テ其ノ日カ支拂期日ナル利子又ハ購買年賦金割賦拂額ノ外其ノ支拂ノ日ト千九百三年ノ法律又ハ本法ニ依リテ發行シタル債券ニ關シ次ノ利子ヲ支拂フヘキ日トノ間ノ期間ノ立替金ノ利子ヲ支拂フヘキモノトス

（二）支拂フヘキ利子ハ土地委員會カ立替金ニ關シテ國債委員ニ支拂フ利子ノ率ニ依リ且購買年賦金ノ一部トシテ之ヲ回收スヘキモノトス

第十條　（一）千九百六年ノ勞働者（愛爾蘭）法第二十三條ニ依リテ附與セラレタル印紙稅ノ免除ハ愛爾蘭土地委員會

ノ立替ニ關シ抵當其ノ他同法第十六條ニ基キテ農村會議ノ與ヘタル擔保ニ對シテ支拂フヘキ印紙稅又ハ千八百九十九年ノ財政法第八條ノ意義ノ貸付資本タルヘキ立替金ニ關シ同條ニ基キテ支拂フヘキ印紙稅ニ之ヲ適用ス

(二) 國內租稅委員ハ千九百六年勞働(愛爾蘭)法施行以後支拂フヘキ稅金ヲ免除シ且同日以後本法通過前ニ支拂ヒタル稅金ヲ拂戻スコトヲ得

(三) 千九百三年ノ法律第五十條ニ依ル印紙稅ノ免除ハ其ノ條ニ規定シタル證書ニ適用スルト同樣ニ土地委員會ノ費用トシテ印紙稅ヲ支拂フヘキ證書ニ之ヲ適用ス

第十一條 (一) 千九百六年ノ勞働者(愛爾蘭)法第十六條ニ依リテ爲セル立替ハ(同條ニ依リ土地購買法ニ依ル立替金ト同樣ニ拂戻スヘキモノナルカ)本法制定前ニ爲シタルト後ニ爲シタルトヲ問ハス現在ノ購買契約ニ從ヒテ爲セル立替ト同樣ニ之ヲ拂戻スヘシ右ノ立替金ニ關シテ土地委員會カ國債委員ニ支拂フヘキ利息ハ年二步四分ノ三ノ率

トス

(二) 千九百六年ノ勞働者(愛爾蘭)法第十七條ニ據リ愛爾蘭開發補助金ニ負擔セシメタル支拂ハ該補助金カ其ノ支拂ニ不足スル範圍ニ於テハ該補助金ニ負擔セシメスシテ國會ノ供スル金額中ヨリ之ヲ支出ス但シ該補助金ニ負擔セシムル支拂ノ總額又ハ國會ノ供スル金額中ヨリ支出スル支拂ノ總額ハ如何ナル年ニ於テモ二萬八千磅ヲ超ユルヲ得ス

第十二條 (一) 購買者死亡ノ爲又ハ小作地ニ於ケル購買者ノ利益移轉ノ爲メ又ハ部分轉貸小作ニ關スル千九百三年ノ法律第十五條ニ依ル土地委員會ノ指示ノ結果トシテ前ニ爲シタル元ノ購買約束ニ依ルヘキ新ナル購買約束ヲ締結シタル場合ニ於テハ其ノ新ナル約束ハ本法本章ノ目的上之ヲ元ノ約束ニ代リタルモノト看做シ土地委員會ニ其ノ提出アリタル場合ニハ元ノ約束ヲ提出シタル日ニ土地委員會ニ之ヲ提出シタルモノト看做ス

(二) 賣主カ土地委員會又ハ稠密地方局以外ノ人ニ賣ランコトヲ申出テタル土地ヨリ成リ又ハ之ヲ含メル不動產ニシテ其ノ購買約束ヲ千九百八年十一月二十四日前ニ土地委員會ニ提出シタルモノニ付テ賣主カ土地委員會ノ要求ニ依リ同委員會又ハ稠密地方局ト賣買約束ヲ締結スル場合ニ於テハ其ノ不動產ノ購買金ニ對シ又ハ此等ノ土地(他ノ土地ヲ含メル不動產ノ場合ニ)ノ購買金ニ相當スル購買金ノ部分ニ對シテ支拂フヘキ步合ハ購買金又ハ其ノ部分カ元ノ約束ヲ以テ定メタル購買金ノ總額ヲ超過セサル範圍ニ於テハ恰モ其ノ不動產ノ賣買約束カ千九百八年十一月二十四日前ニ締結セラレタルト同樣ニ之ヲ計算シ是等ノ土地ノ再賣ニ對シテ支拂フヘキ購買年賦金モ亦右ト同樣ノ率ヲ以テ之ヲ支拂フヘキモノトス

第十三條 本法本章ニ於テハ前後ノ文意上反對ノ要求アルニ非サレハ

(a) 「現在ノ購買約束」ナル語ハ千九百九年九月十五日前ニ土地委員會ニ提出シタル約束又ハ同日前ニ土地委員會、土地判事又ハ稠密地方局ノ締結シ若ハ之ト締結シタル約束ヲ意味ス

(b) 「將來ノ購買約束」ナル語ハ同日以後ニ土地委員會ニ提出シタル約束、土地委員會、土地判事又ハ稠密地方局ノ締結シ若ハ之ト締結シタルモノト看做スヘキ土地ノ再賣ニ付締結シタル購買約束又ハ

但シ何時ニテモ土地委員會又ハ稠密地方局カ

(一) 千九百九年九月十五日前ニ其ノ既ニ購買シ若ハ購買セント約シタル土地ノ再賣ニ付締結シタル購買約束又ハ

(二) 事實上千九百八年十一月二十四日前ニ購賣約束ヲ締結セサルモ千九百三年ノ法律ニ依リテ支拂フヘキ步合ニ關スル本法本章ノ規定ノ目的上同日以前ニ締結シタルモノト看做スヘキ土地ノ再賣ニ付締結シタル購買約束ハ本

法本章ノ目的上之ヲ現在ノ購買約束トシテ取扱ヒ將來ノ購買約束トシテ取扱ハス

(c) 土地委員會又ハ稠密地方局ニ土地ヲ歸屬セシムル千九百三年ノ法律第七條又ハ第七十七條ニ依ル土地判事ノ命令及千九百七年ノ追放小作人（愛爾蘭）法第二條ニ依リ土地委員會ニ土地ヲ歸屬セシムル不動產委員ノ命令ハ本法本章ノ目的上場合ニ從ヒ或ハ土地委員會或ハ稠密地方局ノ締結シタル約束トシテ之ヲ取扱フ

(d) 「規定ノ」ナル語ハ國庫ノ規定ヲ意味ス

第十四條 土地購買法ヲ以テ國庫ニ附與シタル規則制定權ハ本法本章ノ規定ヲ實行スル爲及土地購買財政ニ關スル土地購買法ノ規定其ノ他本法前ニ制定ノ規定ヲ本法ノ要求ニ適應セシムル爲ノ規則制定ニ之ヲ適用ス

第二編 土地購買

第十五條 （一） 本法制定後締結シタル小作地購買約束ニ從フ小作人ニハ土地購買法ニ依リテ三千磅ノ金額ヲ超過スル立替ヲ認可セス但シ(a)其ノ小作人カ其ノ小作地ニ居住シ又ハ其ノ小作人ノ居住スル小作地ト共ニ使用セラルル場合(b)土地委員會ハ五千磅ヲ超ヘサル立替金ヲ認可シテ相當ナリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

（二） 小作地ニ作業シ若ハ管理スル爲直接附近ニ家屋ヲ占有スルトキハ本條ノ意義內ニテ小作地ニ居住スルモノト看做ス

第十六條 （一） 千九百九年九月十五日後小作ヲ設定シタルトキハ小作地購買ニ關シ土地購買法ニ依リテ立替ヲ爲サス

（二） 本條ハ土地委員會又ハ稠密地方局ノ設ケタル小作ニ之ヲ適用セス

第十七條 （一） 土地委員會ハ不動產賣却ノ場合ニハ左ノ人々カ其ノ地區ヲ購買スルニ對シテ土地購買法ニ依ル立替ヲ爲スコトヲ得

(a) 課稅價額十磅ヲ超ヘサル小作地ノ小作人若ハ地主

(b) 稠密ヲ免カルル爲小作地ヲ引渡シタル者

(c) 千九百三年ノ法律制定前二十五年以內ニ土地法ノ適用アル小作地ノ小作人タルモノニシテ購買ノ日ニ其ノ小作地ノ小作人若ハ地主タラサル者又ハ右ノ如キ者死亡ノ場合ニ土地委員會カ其ノ代理人ト指定シタル者

(d) 上記(a)(b)(c)ニ規定セル人々ノ要求ヲ充タス爲相當ノ準備ヲ爲シタル後土地委員會カ立替ヲ爲スヘキモノト認メタル者

（二） 本條ニ依ル立替金ハ曩ニ土地購買法ニ依リテ既ニ立替ヲ爲シ今尙購買者ノ未拂ナル額（若シアラハ）又ハ購買者ノ立替申請未決ナル額ト相合シテ一千磅ヲ超ユルヲ得ス但シ本項ノ制限ハ土地委員會カ購買者ニ對シ之ヨリ多キ立替ヲ爲スモ附近ニ居住セル他人ノ必要ト事情トヲ害スルコトナシト認ムル場合ニ於テハ土地購買法ニ於ケル他ノ制限ニ從ヒテ之ヲ超過スルコトヲ得

（三） 土地購買法ハ本條ノ規定ニ從ヒ本條ニ依ル地區ノ賣買ニ適用セラルルコト恰モ其ノ地區カ小作地ニシテ購買者カ其ノ購買當時其ノ小作人タルト同樣ニシテ且購買法ニ於ケル「小作地」ナル語ハ購買ニ關シ本條ニ依リテ立替ヲ爲シタル地區ヲ含ム

（四） 千九百三年ノ法律第二條ハ本法制定前購買約束ヲ結ヒタル地區ノ賣買ニ關スル外及他ノ法律ニ於ケル同條トノ

關係規定カ本條ト關係アリト解釋セラルル場合ノ外其ノ效力ヲ失フ

第十八條　(一)　愛爾蘭農工業教育局又ハ郡會或ハ農村會カ千九百三年ノ法律第四條ニ依リ同條ニ規定セル目的ノ爲地區ヲ購買スルハ適法トス該局該會其ノ他土地ヲ購買スルノ權能ヲ有スル團體ハ以上ノ目的ニ對スル信託者トシテ行動スルコトヲ得且購買ニ對シテ立替ヲ受クルコトヲ得

(二)　前記ノ局又ハ郡會或ハ農村會カ本條ニ依リテ土地ヲ購買スル場合ニハ千九百三年ノ法律第二十條ニ規定セル土地使用者ニ對スル案ハ同局之ヲ作成又ハ承認スヘシ總督ノ該案作成又ハ承認ニ關スル同條ノ要求ハ之ヲ適用セス

(三)　郡會又ハ農村會カ本條ニ依リテ土地ヲ購買スル場合ニハ購買年賦金ノ割賦拂ニ要スル金額ハ郡會ニ在リテハ廣ク郡負擔トシテ之ヲ募集シ農村會ニ在リテハ農村ノ負擔トシテ之ヲ募集ス

(四)　本條ヲ以ヲ修正セル千九百三年ノ法律第四條及第二十條ノ規定ハ稠密地方局以外ノ者ニ土地財產權ノ賣却ヲ爲ス場合ト同シク稠密地方局ニ土地財產權ノ賣却ヲ爲ス場合ニモ之ヲ適用スヘキコトヲ茲ニ宣言ス

第十九條　(一)　信託者カ千九百三年ノ法律第四條ニ依リ樹木ノ栽植又ハ森林若ハ栽培地保存ノ爲メ地區ヲ購買シ若ハ購買セント欲シ而モ其ノ地區カ牧畜其ノ他ノ權利又ハ其ノ土地上ニ在ル小作地ニ附帶スル地役ニ服スル場合ニハ土地委員會ハ適當ト認ムルトキハ信託者ノ申請ニ依リ利害關係者ノ協定セル賠償其ノ他ニ關スル條件ヲ以テ以上ノ權利及地役ヨリ其ノ地區ヲ解放スルノ命令ヲ爲スコトヲ得右ノ協定ナキトキハ土地委員會ノ定ムル條件ヲ以テス此ノ命令ハ其ノ中ニ明記セル方法及程度ニ依リ以上ノ權利及地役ヨリ地區ヲ解放スルノ效力ヲ有ス

(二)　千九百三年ノ法律第三條又ハ第七十六條ニ從ヒ不動產所有者ニ土地ヲ再賣シ其ノ土地カ前記ノ如キ權利又ハ地役ニ服スル場合ニ於テ土地委員會ハ所有者ノ申請ニ依リ若シ其ノ土地又ハ其ノ一部カ前記ノ目的ノ爲所有者之ヲ必要トスルモノナルトキハ其ノ範圍ニ於テ前項ヲ以テ附與セラレタル上記ノ權利及地役ニ付キテ權能ヲ行使スルコトヲ得

(三)　土地委員會ハ土地購買法ニ依リテ土地財產權ヲ賣却セント欲スル地主ノ規定ノ方法ニ依ル申請ニ基キ若シ樹木ヲ植附ケ又ハ森林若ハ栽培地ヲ保存シ又ハ樹木ヲ成育セシムルヲ爲其ノ不動產上ニ在ル小作地ノ一部ヲ取戻スコトヲ地主ニ認許スルヲ可トシ且其ノ取戻ノ爲小作地ノ價額著シク減少セサルコトヲ確ムルトキハ小作人ニ對スル充分ナル賠償ヲ條件トセル土地委員會ノ承認ヲ以テ其ノ部分ヲ取戻スコトヲ地主ニ認許スルコトヲ得從テ小作料ヲ割當テ且其ノ小作地ノ其ノ部分ヲ小作ヨリ解放スル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十條　(一)　千九百三年ノ法律第六條第五項（稠密地ヲ定義スル）ノ五磅ヲ七磅ニ改メ又同條第四項ヲ以テ要スル所有者ノ同意ハ以後其ノ要ナシトス

(二)　右ノ如ク修正セル同條ノ意義內ニテ稠密地ナラサル土地カ其ノ區域ニ一以上ノ稠密都會地ヲ包含スル場合ニハ土地委員會ハ土地購買法ノ目的上右ノ如キ都會地ノ全部又ハ一部ヲ各別ノ土地ナリト宣言スルコトヲ得但シ稠密郡ニ位置スル都會地ニ在リテハ稠密地方局此ノ宣言ヲ爲スコトヲ得是ニ於テ右ノ都會地ハ以上ノ目的上之ヲ別々ノ稠密地ト看做ス

(三)　以上ノ稠密都會地ノミヨリ成ル土地ハ之ヲ稠密地ナリト看做ス

(四)　「稠密都會地」ナル語ハ小作地ノ半以上カ

(a)　稠密小作地又ハ

(b)　課稅總額ヲ小作地數ヲ以テ除スレハ各小作地七磅以下ノ價額トナル小作地ヲ含ム都會地ヲ意味ス

「稠密小作地」ナル語ハ左ノモノヲ意味ス

(a) 課稅價額七磅ヲ超ヘサル小作地

(b) 共同占有又ハ混合ニテ占有セル小作地

第二十一條　千九百一年ノ稠密地方局（愛爾蘭）法第一條ヲ以テ同局ニ又千九百三年ノ法律第十二條ヲ以テ土地委員會ニ附與セル再賣ノ便宜ニ資スル權能ハ前記第一條又ハ千九百三年ノ法律第八十二條ニ規定セル要求ノ有無ヲ問ハス之ヲ行使スルコトヲ得

第二十二條　小作地ノ所有者間ノ爭議決定ノ爲千九百三年ノ法律第二十二條ヲ以テ土地委員會ニ附與シタル權能ハ申請アルトキハ既ニ購買約束ヲ結ヒタル土地又ハ賣買協約中ノ土地ニ於ケル小作人ニ付規定ノ方法ニ於テ之ヲ行使スルコトヲ得從テ該條ノ規定ハ恰モ小作人カ地主タルト同樣ニ之ヲ適用ス

第二十三條　（一）土地委員會又ハ稠密地方局カ土地ヲ購買シ又ハ購買セント約束シタル場合ニ於テハ土地購買法ニ依リ其ノ土地ニ於ケル小作地ノ購買約束ヲ結フノ權能ヲ有スル者ハ場合ニ依リテハ同會又ハ同局カ元ノ小作地ニ劣ラサル價額アルモノト認ムル他ノ小作地ト交換ノ爲ニ土地委員會或ハ稠密地方局ト規定ノ方法ニ依リテ約束ヲ結フ權能ヲ有シ從テ又同委員會又ハ同局ニ元ノ小作地ヲ引渡スノ權能ヲ有ス

（二）本條ニ依リ小作地ヲ引渡ストキハ其ノ小作地ニ於ケル小作人ノ利益ニ關スル一切ノ負擔、責任及衡平法上ノ請求權ハ何等引渡若ハ命令ナクシテ其ノ者カ新小作地ニテ得タル利益ニ移轉ス

（三）元ノ小作地ニ含マルル土地ハ其ノ引渡アリタルニ拘ラス依然引續キテ引渡ノ際ニ服シタル一切ノ地役及利益ニ服ス

（四）小作地ニ於ケル小作人ノ利益ニ關スル負擔責任及衡平法上ノ請求權ニ付テノ千九百一年ノ稠密地方局（愛爾蘭）法第一條第六項ニ依ル申請又ハ命令ノ目的上其ノ負擔責任及衡平法上ノ請求權ヲ明記スルノ要ナシトス

（五）本條ニ依ルト雖タ千九百一年ノ稠密地方局（愛爾蘭）法第一條ニ依ルトヲ問ハス負擔責任又ハ衡平法上ノ請求權ヲ移受シタル小作地カ土地購買法ニ依リテ賣却セラルル場合ニ於テ千八百九十六年ノ法律第三十二條ニ從テ登記官憲ニ移牒スヘキ明細書ハ其ノ負擔責任又ハ衡平法上ノ請求權ヲ移シタル元ノ小作地ノ詳細ヲ記載ス右ノ如キ場合ニ於テ登記官憲カ負擔ノ確認ヲ廢スル場合ニハ千八百九十一年ノ所有名義地方登記局（愛爾蘭）法第二十九條第三項ニ依リテ作成スルヲ要スル注意書ハ移轉サレタル負擔責任又ハ衡平法上ノ請求權ヲ保護スル爲ニ必要ナル變更又ハ追加ヲ載スヘシ

第二十四條　土地委員會又ハ稠密地方局カ小作地ニ建物ヲ建テ又ハ改良スルニ費消シ若ハ費消スヘキ金員ノ拂戻負擔ヲ負ハサレタル小作地ノ小作人カ同委員會又ハ同局ト土地購買法ニ依リ其ノ小作地ノ購買約束ヲ締結スル場合ニ於テハ其ノ者ハ千八百九十六年ノ法律第二十五條ノ規定ノ爲ニ其ノ負擔ニ關スル責任ヲ免セラルルコトナシ

第二十五條　本法本章ノ上記規定ニ依ル土地委員會ノ裁判權、權能及職務ハ土地財產權委員ノミ之ヲ行使執行ス

第二十六條　土地委員會ノ爲セル歸屬命令ヲ以テ土地ヲ土地委員會ニ歸屬セシムル場合ニ於テハ其ノ購買金ヲ愛爾蘭銀行ニ拂込ミ恰モ其ノ土地カ土地委員會以外ノ人ニ賣ラレタルト同樣ニ之ヲ放資スルコトヲ得千九百三年ノ法律第二十四條第三項ノ規定ハ土地委員會ニ對スル賣却ニシテ其ノ購買金ヲ本條ニ依リ放資シタル場合ニ之ヲ適用ス

第二十七條　土地委員會カ一年間ニ爲ス土地ノ再賣ニ於テ國庫カ其ノ年ニ對シテ定メタル額以上ノ總損失アルヘキ豫算ヲ以テ稠密地購買約束ヲ結フハ千九百三年ノ法律第九條第二項ニ依ル制限ヲ害スルモノトス

第二十八條　（一）　千八百九十一年ノ法律第五條第二項(b)ニ依リテ設ケタル積立基金盡キタル場合ニハ千九百三年ノ法律第十二條第一項ヲ適用シ土地委員會カ其ノ權能ノ行使ニ要スル金額ハ毎年國庫ノ承認スル額マテ國會ノ供スル金額中ヨリ之ヲ支拂フモノトス

（二）　右ノ積立金ハ其ノ盡キタル場合ニハ別ノ基金トシテ存在セス法律其ノ他ニ依リ同基金ニ支拂フヘキ金額ハ之ヲ大藏省ニ拂込ムヘシ

第二十九條　（一）　土地委員會カ其ノ購買シタル土地ノ改良ニ付金員ヲ費消シタル場合及其ノ土地ノ再賣ニ依リテ得タル金額カ曩ニ其ノ土地購買ノ際愛爾蘭土地購買基金ヨリ立替ヘタル金額ヲ超過スル場合ニ於テハ國庫委員ハ其ノ超過額ニ均シキ金額ヲ土地委員會ニ立替ヘ又若シ其ノ金額カ改良ニ費シタル額ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ニ均シキ金額ヲ同委員會ニ立替ヘ以テ若シ積立基金未タ盡キサルトキハ該基金ヘ又若シ該基金既ニ盡キタルトキハ太藏省ヘ拂戻ヲ爲サシムルヲ得ル旨ヲ國庫ノ定ムル規則ヲ以テ規定スルコトヲ得

（二）　土地委員會カ稠密地ノ再賣又ハ改良ニ金額ヲ費シタル稠密地ナラサル土地ノ再賣ニヨリ得タル金額カ土地購買ノ爲曩ニ愛爾蘭土地購買基金ヨリ立替ヘタル額ヨリモ少キ場合ニ於テ夫レカ稠密地ニ在リテハ其ノ不足額ヲ超過セス稠密地ナラサル土地ニ在リテハ改良ニ費シタル額ヲ超過セサル範圍ノ不足額ニ付若シ積立基金カ盡キサルトキハ場合ニ依リ新ニ之ヲ其ノ基金ニ負擔セシメ或ハ之ヲ引續キ負擔セシメ又若シ該基金盡キタルカ又ハ該基金カ其ノ目的ノ爲ニ不足ナル場合ニ於テハ國會ノ供スル金額中ヨリ之ヲ支拂ヒテ國庫ノ指示スル方法ニ依リ之ヲ愛爾蘭土地購買基金ノ貸方ニ記帳ス

（三）　千九百三年ノ法律第四十三條第三項ハ其ノ效力ヲ失フ

第三十條　（一）　土地委員會ハ地主カ小作人ニ賣却シ又ハ賣却ヲ約束シタル小作地ノ改良ニ金額ヲ投スルヲ便宜ト認ムル場合ニハ國庫ノ定ムヘキ規則ニ依リ恰モ右ノ要スル金額ハ土地購買法ニ依リ小作地購買ノ爲立替ヘラレタルモノト同樣ノ方法ヲ以テ其ノ金額ノ拂戻ニ付キ小作人トノ約束ヲ結フコトヲ得從テ其ノ金額ハ年賦金ノ增加ヲ以テ之ヲ拂戻スヘシ

（二）　事情ノ許ス限リハ此ノ增加年賦金ハ國庫ノ定ムヘキ規則ニ依リ之ヲ整理シテ購買年賦金ニテ支拂ヒ得ヘキモノトス

（三）　土地委員會ノ支出シタル金額ノ拂戻カ本條ニ依ル增加年賦金ヲ以テ擔保セラルル場合ニ於テハ國庫ノ定ムル規則ニヨリ國債委員ニ於テ積立基金未タ盡キサルトキハ該基金ヘ又若シ該基金既ニ盡キタルトキハ大藏省ヘ拂戻ノ爲右金額ヲ土地委員會ニ立替ヘ得ル旨ヲ規定スルコトヲ得

第三十一條　千九百三年ノ法律第四十八條第四項ノ目的上土地財產權ハ所有者タル者ノ同意カ債權拘束者其ノ他ノ資格ニ於テ必要ナルコトアルニ拘ラス所有者トシテノ資格ニ於テ必要ナラサルトキハ價額ニ關シ所有者ノ同意ヲ得スシテ千八百九十六年ノ法律トハ無關係ニ賣却セラルヘキ事情ニ在ルモノト看做ス

第三十二條　（一）　土地委員會カ本法制定後土地購買法ニ依リ立替ヲ爲シテ購買シタル小作地ノ持主ト土地委員會トノ間ニハ千九百三年ノ法律第五十四條ニ規定セル條件ノ外左ノ條件ヲ附ス

(a)　持主ハ其ノ所持セル小作地ニ關シテ受ケタル立替金ノ額ニ他ノ小作地ヲ購賣スルカ爲土地購買法ニ依リテ得タル立替金ノ未濟額ヲ加算シタル時其ノ額カ七千磅ヲ超過スヘキトキハ土地委員會ノ同意ヲ經サレハ上述ノ他ノ土地ヲ購買スルヲ得ス

(b) 持主ハ愛爾蘭農工業教育局ノ規定形式ノ書面上ノ同意ヲ得サレハ其ノ小作地ノ裝飾又ハ保護ニ必要ナル小作地上ノ樹木（果樹又ハ柳以外）ヲ伐採若ハ引拔キ又ハ伐採若ハ引拔クトキハ本法ニヨル犯罪ヲ構成シ卽決裁判ヲ以テ伐採若ハ引拔カシムルヲ得ス持主若シ此ノ條件ニ違背シテ樹木ヲ伐採又ハ引拔クトキハ本法ニヨル犯罪ヲ構成シ卽決裁判ヲ以テ伐採若ハ引拔キタル樹木一本ニ付五磅以下ノ罰金ニ處ス但シ規定ノ同意ヲ得タルコトヲ裁判所ニ確認セシムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

(二) 本法制定後小作人カ前記法律ニ依リ其ノ小作地ノ購買約束ヲ結フ場合ニハ樹木ノ伐採及引拔ニ關スル上記ノ條件ハ其ノ約束ノ日ヨリ立替ヲ爲シタルト同樣ニ之ヲ立替申請ノ拒絶若ハ撤回マテ其ノ小作地ニ適用ス

(三) 千八百八十一年ノ法律第三十條第二項及第三項ハ其ノ修正法規ト共ニ本條ニ依リ土地委員會ノ賣却ニ之ヲ適用ス

(四) 土地購買法ニ依リテ小作地購買立替金ノ全部カ拂戻サレタル場合ニハ本條又ハ千九百三年ノ法律第五十四條ノ條件ハ其ノ小作地又ハ其ノ持主ニ關シテ效力ヲ失フ

第三十三條 千九百三年ノ法律第六十七條第三項ハ土地委員會カ土地又ハ小作地ノ位置大小及性質ニ照シテ該項ノ規定ヲ適用スルヲ便宜ト認ムルニ非サレハ購買年賦金ニ服スル土地又ハ小作地ニ之ヲ適用セス

第三十四條 土地委員會ハ小作地ノ購買金ニ對スル利息ノ支拂ヲ受クヘキ場合ニハ其ノ利息ノ取立ニ付キ購買年賦金ノ未拂割賦拂金ノ取立ニ付キテ有スルト同一ノ救濟方法ヲ有ス

第三十五條 千九百三年ノ法律第六十九條第二項ノ規定ハ（土地委員會カ死亡セル立替金申請者ノ管理人ヲ任命スルニ關スル）立替前申請者ノ死亡セル場合ニ之ヲ適用ス

第三十六條 土地購買法ニ依リ賣買約束アル土地ノ購買金ニ對スル利息カ

(a) 千八百九十六年ノ法律第三十五條ニ依リテ土地委員會ニ

(b) 本法ヲ以テ擴張セラレタル千九百三年ノ法律第十八條ニ依リテ土地委員會又ハ稠密地方局ヨリ支拂ハルヘキ場合ニハ優先利益若ハ參加利益ノ所有者又ハ債權拘束者ハ其ノ土地カ購買者ニ歸屬スル以前ニ於テ何時ニテモ土地委員會ニ對シ其ノ請求スル一箇年收入ニ關シ購買金ニ對スル利息中ヨリ支拂ヲ爲スヘシトノ命令ノ發行ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ同委員會若シ之ヲ正當ナリト認ムルトキハ其ノ命令ヲ爲スコトヲ得

第三十七條 (一) 千九百七年ノ愛爾蘭土地法第一條ニ規定セル採鑛權處分ノ爲同條ヲ以テ土地委員會ニ附與セル權能ハ同委員會ノ適當ト認ムル小作料及條件ヲ以テ二年ヲ超ヘサル期間書留又ハ試掘借地契約ノ方法ニ依リ何人ニモ其ノ權利ヲ讓渡スルノ權能ヲ含ム此ノ場合ニ於テハ同樣ノ條件其ノ他ノ協定條件ニテ右ノ借地契約ニ代リテ復歸借地契約ヲ採ル選擇自由ヲモ有ス

(二) 本條ヲ以テ修正セル千九百七年ノ該法ニ依リ土地讓渡アルトキハ得タル鑛物ノ價額又ハ價値ニ依リテ變化スヘキ鑛山採掘稅又ハ一定ノ賃借料又ハ此ノ兩者ハ土地委員會ニ之ヲ留保スルコトヲ得

(三) 若シ書留又ハ試掘借地契約實行前該法第一條第五項ニ從ヒテ廣告ヲ爲シタルトキハ復歸借地契約ヲ許スモノナルニ付同項ニ規定セル廣告ハ土地委員會ノ必然行ハサルヘカラサル事項ニ非ス

第三十八條 (一) 土地購買法ニ依ル立替金ヲ以テ購買セル土地カ千八百八十二年乃至千八百九十年ノ遺產地法ノ意義內ニ於ケル遺產地ナル場合ニハ遺產管財人ハ終身小作人ノ要求ニ依リ遺產證書ニ反對ノ規定アルニ拘ラス左ノ方法ニ於テ購買金又ハ其ノ一部ヲ投資スルコトヲ得（卽チ）

(a) 信託官ノ認可ヲ得テ

（イ）公債又ハ基金又ハ外國ノ公債ニ
又ハ
（ロ）米國、墨斯哥、亞爾然丁共和國又ハ加奈陀ノ鐵道會社ニシテ投資日前五年間毎年其ノ優先株（若シアラハ）
及普通株ニ對シ配當ヲ爲シタルモノノ企業ニ負擔セシムル抵當、公債、債券又ハ債券株ニ

(b) 右ノ認可ヲ得スシテ

（イ）國會ノ特別法律ヲ以テ組織セル合衆王國ノ鐵道會社ニシテ放資前五年間毎年其ノ優先株（若シアラハ）又
ハ普通株ニシテ配當ヲ爲シタルモノノ抵當、公債、債券又ハ債券株及右ノ如キ鐵道會社ニシテ同樣ノ期間普通
株ニ對シテ配當ヲ爲シタルモノノ優先株ニ

（ロ）千八百六十年乃至千九百年ノ軌道法（愛爾蘭）ニ依リ配當ヲ保證シタル市街鐵道又ハ輕便鐵道ノ株ニ

（ハ）法律又ハ假命令ノ認許ノ下ニ合衆王國ノ郡會又ハ都會地會カ發行シ若ハ發行セントスル株、抵當、公債、債
權又ハ債券株ニ

又同樣ノ條件ニ從ヒテ隨時其ノ投資法ヲ變更スルコトヲ得

（二）信託官ハ本條ニ依リ放資ニ對シテ其ノ認可ヲ必要トスル場合ニハ其ノ放資ヲ認可スル前ニ其ノ放資ハ終身小作
人ノ死亡又ハ管財行爲終了ノ際ニハ放資額ヨリ少カラサル金額ヲ得ルヲ得ヘシトノ相當ナル見込アルコトヲ自ラ確
ムヘシ信託官ハ其ノ誠實ニ與ヘ又ハ與ヘサル認可ノ爲ニ責任ヲ負ハス

（三）本條ヲ以テ管財人ニ附與シタル放資權ハ遺產證書又ハ國會ノ法律ヲ以テ附與シタル放資權ノ外ニシテ遺產證書
ニ反對ノ規定アルニ拘ラス之ヲ行使スルコトヲ得

（四）管財人ハ本條ヲ以テ附與セラレタル權能ノ行使上爲セル放資ノ爲ニ責任ヲ負ハス

（五）千九百三年ノ法律第五十一條第一項、第二項及第三項ハ效力ヲ失フ

第三十九條　辯護士ハ土地購買法ノ規定ニ依リ土地委員會ノ檢查員トシテ臨時ニ任命セラレ且行動スト雖夫レカ爲ニ其
ノ業務ヲ廢シタルモノト看做サス

第四十條　小作地ノ直接地主カ土地購買法ニ依リ小作人ニ賣却スル權能ヲ有スル人タルニ足ルノ利益ヲ有セサル場合
ニハ右ノ利益ヲ有スル次ノ上級地主ハ其ノ小作地カ其ノ上級地主ノ全不動產タルニ不拘之ヲ該法ニ依リ占有小作人ニ
賣却スルノ權能ヲ有スル人ト看做シ從テ千九百三年ノ法律第十五條ヲ適用ス

第四十一條　（一）土地購買法ニ依リ賣却セラレタル土地カ小作契約ノ下ニ留保セル小作料ニ服シ右ノ賣買前四十年間
其ノ小作料ノ支拂ヲ爲ササリシ場合ニハ右ノ小作料ハ其ノ賣買及購買金分配ノ目的上免除セラレタルモノト看做ス

（二）其ノ小作料ノ諸部分カ種々ナル所有者ニ歸屬スルニ至リタル場合ニハ其ノ小作料カ恰モ別々ノ小作料ナルカノ
如ク本條ヲ其ノ小作料ノ各部分ニ適用ス

第四十二條　（一）土地財產權委員ハ所有者カ千九百三年ノ法律第六條ニ依リ申請ヲ爲サルニ拘ラス同條ニ依リ稠密
地方ノ郡ニ所在セサル土地ノ購買ニ付申込ヲ爲シ且協約ヲ爲スコトヲ得

（二）土地財產權委員ヲシテ其ノ購買セント欲シ且申込値段ヲ豫算セント欲スル稠密地又ハ無小作地ノ境界、廣狹及
性質ヲ確メ得シムルノ目的上檢查員其ノ他同委員ノ任命スル者ハ同委員カ其ノ所有者ナリト認ムル人ニ郵便ニテ通
知ヲ送リタル後其ノ土地又ハ無小作地（untenanted land）ニ入リテ上記ノ目的ニ必要ナル一切ノ調查ヲ爲シ且一切
ノ事項ヲ行フコトヲ得

第四十三條　（一）　土地購買法ニ依リ稠密地方ノ郡ニ所在セサル稠密地又ハ無小作地ノ購買ニ付キ協約ヲ爲シ又ハ申込ヲ爲シタルモ何等ノ合意ヲ得ル能ハサル場合ニハ土地財産權委員ハ稠密ヲ免レシムル爲其ノ土地又ハ無小作地ヲ購買スルヲ可ト認ムルトキハ其ノ所有者ト認ムル人ニ規定ノ方法ニ依リ其ノ購買ニ付テノ最後ノ申込書ヲ造ルコトヲ得

（二）　最後申込書ニハ左ノ諸項ヲ記載スヘシ

(a)　申込ヲ爲ス土地又ハ無小作地ノ說明

(b)　土地財産權委員カ左ニ從ヒ其ノ土地又ハ無小作地ニ對シテ與ヘント欲スル價額

（イ）　其ノ土地又ハ無小作地ニ關スル公共ノ權利

（ロ）　土木法ニ依ル維持費

（ハ）　土地ノ場合ニハ小作人ノ利益又ハ其ノ利益ニ對シテ請求權ヲ有スル人々ノ利益及千八百九十六年ノ法律第三十四條ニ規定セル地役、權利竝ニ附屬權利

但上記ノ外尙優越利益、參加利益又ハ債權拘束ニ關スルト否トヲ問ハス其ノ土地又ハ無小作地ニ利害關係アル一切ノ人々ノ請求ヲ辨濟シタル鑛物ニ關スル千九百三年ノ法律ノ規定ニ從フ

(c)　申込ノ受領サルヘキ時期

（三）　規定ノ時期内ニ土地財産權委員カ千九百三年ノ法律第十七條ニ依リ其ノ土地又ハ無小作地ノ所有者トシテ取扱ハルヘキモノト認メタル者カ最後申込ニ明定セル時期内ニ文書ヲ以テ申込ヲ承諾スルトキハ申込ト承諾トハ土地財産權委員カ右ノ申込及承諾ノアリタルコトヲ證明スル日ヨリ本法ヲ以テ修正セル該法律ニ依リ其ノ土地又ハ無小作地ノ購買約束ト同一ノ效力ヲ有シ其ノ約束ノ場合ニ於ケルト同樣ノ結果ヲ生シ同樣ノ手續ヲ行フヘキモノトス但シ賣主カ額面上立替金額ニ均シクシテ立替日ヨリ利子ヲ附スル保證三分利附債券ヲ現金ノ代リニ受領スヘキコトヲ合意ヲ以テ承諾シ土地財産權委員モ亦此ノ方法ニテ立替ヲ爲スコトヲ合意承諾スル場合ノ外ハ本法ニ如何ナル反對ノ規定アルモ購買目的上ノ立替ヲ債券ヲ以テセスシテ現金ヲ以テスルハ此ノ限ニ在ラス

（四）　若シ右ノ申込カ上記ノ如ク承諾ヲ得サルトキハ土地財産權委員ハ適當ト認ムレハ本法第四章ヲ以テ規定セル方法ニ依リ强制的ニ其ノ土地又ハ無小作地ヲ獲得スルノ處置ヲ爲スコトヲ得

（五）　最後申込書ニ指定スヘキ價額ヲ見積ルニ付テハ土地財産權委員ハ立替ニ關シテ本法ヲ以テ修正セル千九百三年ノ法律ノ規定ト小作人其ノ他ノ人々カ其ノ土地又ハ無小作地ニ含マルル地區及小作地（若シアラハ）ニ對シテ支拂ハント欲スル價額トヲ考慮スヘキモノトス

第三編　稠密地方

第四十四條　（一）　愛爾蘭稠密地方局ハ其ノ設立ノ日ヨリ「愛爾蘭稠密地方局」ト稱スル社團法人ニシテ其ノ法人名ヲ以テ土地ヲ獲得シ占有シ又訴訟ヲ起シ訴訟ヲ受クルノ資格ヲ有ス

（二）　同局ハ公務上且法律上認メラルヘキ官印ヲ有シ官印ハ同局ノ常置役員又ハ書記役ノ署名ヲ以テ之ヲ確認ス

（三）　法律ヲ以テ同局ニ附與シ又ハ移シタル權能又ハ義務ノ執行又ハ實行ニ付テハ同局ハ愛爾蘭稠密地方局ノ名稱及印章ヲ用フヘシ

（四）　法律ニ依ル愛爾蘭稠密地方局ノ信託者ノ權能及義務ハ指定ノ日ニ於テ之ヲ同局ニ移ス

（五）千八百九十一年ノ法律第三十四條第三項及千八百九十三年ノ稠密地方局法（愛爾蘭）第二條第二項及第三項ハ設立ノ日ヨリ效力ヲ失フ

第四十五條（一）稠密地方局ハ設立ノ日ヨリ左ノ役員ヲ以テ組織ス

(a) 書記官長、總督府秘書官及愛爾蘭農工業教育局次長以上ハ員外役員トス

(b) 皇帝陛下ノ任命スル役員九名（本法ニ於テハ之ヲ任命役員ト稱ス）

(c) 皇帝陛下ノ任命スル有給役員二名（本法ニ於テハ之ヲ常置役員ト稱ス）

（二）任命役員ノ任期ハ五箇年ニシテ再任ヲ妨ケス任命役員ノ死亡、辭職又ハ無能力等ノ理由ニ依リテ生スル臨時缺員アルトキハ皇帝陛下ヨリ其ノ補缺トシテ任命セラレタル者ハ前任者ノ殘期間在職シ其ノ時ニ至リテ退職ス

（三）各常置役員ノ任期ハ其ノ隨意ニシテ同局ノ處分内ニ在ル基金ヨリ年俸二千磅ヲ受ク

但シ常置役員ハ樞密院令ニ依ルノ外之ヲ退職セシムルヲ得ス此ノ命令ハ直チニ之ヲ國會ノ各院ニ提出シ其ノ兩院何レカ其ノ命令提出後會議シタル次ノ四十日以内ニ皇帝陛下ニ對シ其ノ命令ヲ無效タラシメンコトヲ請フノ上奏ヲナストキハ樞密院ニ於ケル陛下ハ之ヲ無效トスルコトヲ得爾後其ノ命令ハ無效トス

（四）稠密地方局ノ現在役員ニシテ員外役員ニアラス又ハ本條ニ依リテ任命セラレサル者ハ總テ指定ノ日ニ退職ス

第四十六條（一）本法ヲ以テ修正セル稠密地方局法（愛爾蘭）ノ目的上左ノ各行政郡即チ「ドネガル」郡「スリゴ」郡「レートリム」郡「ロスコムモン」郡「メーヨ」郡「ガルウェー」郡及「ケリー」郡ハ稠密地方郡トシ「クレー アー」郡ニ在ル「バリヴアガン」「エンニスチモン」「キルラッシュ」「スカリツフ」「チュラ」及「キルラヂサート」ノ六農村地方ハ合シテ一ノ稠密地方郡ヲ成シ又「コーク」郡ニ在ル「バントリー」「キヤツスルタウン」「スカル」及「スキツベリーン」ノ四農村地方ハ合シテ一ノ稠密地方郡ヲ成ス

（二）本法制定後ハ選擧區ハ稠密地方郡ノ一部タラス又ハ其ノ一部ヲ成サス但シ本條ニ依リテ作ラルル稠密地方郡ニ含マルル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十七條　法規ニ依ル稠密地方局ノ權限及職務ハ左ノ事項即チ

(a) 種薯及種燕麥ノ供給

(b) 農業教育又ハ農事實習

(c) 林業ノ補助開發又ハ家畜並ニ家禽ノ飼育

ニ關スル範圍ニ於テハ指定ノ日ニ愛爾蘭農工業教育局（本法本章ニテハ局ト稱ス）ニ移リ同日ヨリ稠密地方局ハ其ノ執行又ハ實行ヲ廢ス

第四十八條　愛爾蘭農工業教育局及稠密地方局カ併行ノ權能又ハ義務ヲ有スル區域ニ於ケル海洋漁獵ノ補助開發ニ關シ各局事務施行聯絡ノ目的ヲ以テ兩局ニ助言スル爲六名ヨリ成レル評議委員會ヲ設ケ其ノ内三名ハ農工業教育局三名ハ稠密地方局之ヲ指名ス

第四十九條　指定ノ日ヨリ年額十六萬三千七百五十磅ヲ國會ノ供スル金額中ヨリ支拂フヘシ即チ左ノ如シ

本法ニ依リ農工業教育局ニ移リタル權能ノ行使及義務ノ履行ノ爲右ノ金額中ヨリ年額一萬九千磅ヲ同局ニ支拂ヒ殘餘ヲ稠密地方局ニ支拂フモノトス

但シ指定ノ日ヨリ五箇年ノ滿了後何時ニテモ總督ハ兩局一方ノ申請ニ依リ上記目的ノ爲農工業教育局ニ支拂フヘキ金額ノ增減ヲ隨時命令スルコトヲ得從テ其ノ增減額ハ總督ノ定ムル日ヨリ本條ニ依リ同局ニ支拂フヘキ金額トス

第五十條　(一)　權能及義務カ本法本章ニ依リテ一ノ官憲ヨリ他ノ官憲ニ移サルル場合ニハ

(イ)　動産タルト不動産タルトヲ問ハス(地役、權利及訴訟中ノ事項)以上ノ權能及義務ノ爲ニ前ノ官憲ノ占有受託又ハ歸屬ノ財産一切ハ之ニ關スル一切ノ債務及責任ニ服シテ何等ノ讓渡ナク後ノ官憲ニ移轉シ歸屬ス

(ロ)　後ノ官憲ハ土地、利益及目的ニ關シテ財産權ヲ握リ且捺印、契約、條件及期限ニ服ス此ノ契約、條件及制限ハ本條ニ依リテ變更セラレサル限リ本法ノ制定ナケレハ之ニ依リテ財産ヲ占有シタルト同一ノモノトス

(ハ)　權能及義務ノ爲ニ生セル前官憲ノ債務及責任一切ハ後ノ官憲ノ債務及責任トナル

(ニ)　權能及義務ニ關シ移轉ノ際未決ニシテ前官憲ノ當事者タル訴訟ニ於テハ後官憲ハ前官憲ニ代ハルモノニシテ其ノ訴訟ハ此ノ變換ノ爲ニ中斷セス

(ホ)　以上ノ能權又ハ義務ニ關スル法規、命令、證書、契約、其ノ他ノ證書上前官憲ニ關スルモノハ其ノ權能ノ行使及其ノ義務ノ履行ニ必要ナル限リハ後官憲ニ關スルモノト解釋スヘシ

(ニ)　本條ニ於ケル「官憲」ナル語ハ稠密地方局、農工業教育局及周密地方局ノ信託者ヲ意味ス

第五十一條　(一)　總督ハ樞密院令ニ依リ左ノ事項ヲ行フコトヲ得(即チ)

(イ)　稠密地方局ノ議事及會議(定員ヲ含ム)ヲ律スル規則ヲ定ムルコト

(ロ)　常置役員ノ權能及義務ヲ律シ且明確ニスルコト

(ハ)　本法本章施行ノ爲必要又ハ便宜ト認ムル規則ヲ定ムルコト

(二)　本條ニ依リテ發スル樞密院ニ於ケル總督ノ命令ハ其ノ命令ヲ全部又ハ一部無效タラシメンコトヲ請フノ上奏ヲ爲ストカ會議シタル次ノ四十日以內ニ皇帝陛下ニ對シ其ノ命令ヲ全部或ハ一部之ヲ無效トスルコトヲ得爾後其ノ命令ノ全部又ハ無效トセラレタル部分ハ無效トナルモ其ノ間ニ其ノ命令ニ依リタル處置ノ有效ヲ害スルコトナシ

但シ命令ノ全部又ハ其ノ一部カ右ノ如ク無效トセラルル場合ニハ樞密院ニ於ケル總督ハ六箇月以內ニ其ノ命令ノ全部又ハ其ノ無效トセラレタル部分ニ代ハルヘキ他ノ命令ヲ定ムルコトヲ得但シ之亦國會ニ提出セラレ上記ノ如キ方法ニテ樞密院ニ於テ陛下之ヲ無效トスルコト屢々アルモノトス

第五十二條　(一)　稠密地方局ハ同局ノ常置役員退職ノ際若シ其ノ者カ國家ノ永久的文官ヲ退職スルトスレハ千八百三十四年乃至千八百九十二年ノ養老金法又ハ其ノ修正法律ノ規定ニ依リテ受クルノ資格アルヘキ養老金又ハ其ノ他ノ手當(若シアラハ)ヲ國庫ノ承認ヲ得テ附與スルモ適法ナリトス右ノ如キ手當ハ同局ノ處分內ニ在ル基金ヨリ之ヲ支拂フヘシ但シ常置委員カ其ノ任命ノ際永久的文官タリシ場合ニハ國庫カ其ノ文官タル資格ニ於ケル前勤務ニ對シ支拂フヲ相當トスト決定シタル手當部分ハ以上ノ法律ニ依ル養老金又ハ其ノ他ノ手當ト同樣ニ之ヲ支拂フ

(二)　稠密地方局ハ國庫カ隨時承認スヘキ同局ノ役員其ノ他ノ使用人ニシテ恩給資格ナキ者ニ對シ國庫ノ承認ヲ經テ千八百三十四年ノ養老金法又ハ其ノ修正法律ノ規定セル標準及條件(適用シ得ヘキ限リ)ニ依リ恩給又ハ慰勞金ノ附與ヲ規定スル案ヲ作ルコトヲ得同局ハ國庫カ各場合ニ認可スル案ニ依リ右ノ恩給又ハ慰勞金ヲ其ノ處分內ノ基金中ヨリ右ノ如キ役員又ハ人々ニ支給スルコトヲ得

第五十三條　(一)　稠密地方局ハ本法制定後其ノ買ヒタル地區ヲ稠密地方郡ニ於ケル小作地ノ小作人又ハ地主又ハ土地ヲ使用シ若ハ土地ト關聯シテ使用セル牧畜者ニ賣却スルコトヲ得

(二)　土地購買法ヲ地區ニ適用スルニ關スル本法ノ規定ハ本條ニ依リ地區ノ賣却ノ場合ニ之ヲ適用ス